

管理番号	CII-FITS0100
------	--------------

PC-F 手順相互運用性検証システム (FITS) 詳細設計書
Ver. 1.0

PC-F 手順検証システム開発WG

版	発行年月日	摘 要
1	平成7年11月 1日	Ver. 1.0 発行
2		
3		
4		
5		
6		
7		





はじめに

産業社会の発展に伴う情報・通信システム環境の多様化、高度化に対応し、通信システム間の「接続性」のみならず、「相互運用性」を確保することが重要となってきた。このことは、「相互運用性」の問題が世界情報インフラ（GII）を実現するための重要な課題の一つとして議論されていることから理解できる。

産業情報化推進センター（CII）では、近年における通信環境（特にISDN回線の普及）の急激な変化に伴い新しい通信手順に対する要望が高まってきたことから、平成元年8月から鉄鋼、電力、石油化学、電子機器、商社、小売、銀行、保険、証券などの国内主要業界の協力を得て、「新手順検討委員会」を設置し、EDI（電子データ交換）向け通信手順としてOSI-F TAMをベースに「ファイル転送用手順（F手順）」の開発に着手した。

F手順の仕様は平成5年1月に制定され、現在に至るまでに、F手順製品間の基本的な相互接続実験が以下のとおり行われている。

- ・EDI国際フォーラム『EDICOM'92』での接続実験デモンストレーション（平成4年6月開催）
- ・(財)情報処理相互運用技術協会（INTAP）主催の『INE'93』にて実施されたF手順接続実験デモンストレーション（平成5年10月開催）

また、平成6年度には本格的な相互運用性試験環境の整備に向けてINTAPより「F手順相互運用性試験 試験項目」が作成されている。

しかし、F手順製品の相互運用性の検証は上記の接続実験によりメインフレーム（以下、MFと称す）・ワークステーション（以下、WSと称す）間においてのみ実施され、パソコン（以下、PCと称す）相互間、PC～MF/WS間は未実施となっている状況にある。PCは中小企業において非常に高い普及率を示し、今後の産業界のネットワーク化において重要な位置づけにあることから、PCベースのF手順（以下、PC-F手順と称す）の相互運用性試験環境整備を図ることを目的に本書を作成することとなった。

当センターではF手順の普及促進活動を積極的に展開しており、上述のとおりPC-F手順の普及・拡大はその“要”となると考え、INTAP作成の「F手順相互運用性試験 試験項目」を“実のあるもの”とするためPC-F手順向けの相互運用性検証システムを設計・開発することで、その相互運用性試験環境の整備を図り、なお一層のF手順の普及促進を期待するものである。

本書はPC-F手順向けの相互運用性検証システムの詳細設計を行う上で汎用的な設計技法を用い、本仕様に基づきプログラミングを行う技術者が理解し易い形に整えた。本書の構成は、以下のとおりである。

- (1) システム開発の目的、位置付け、適用範囲（第1章）
- (2) システム仕様の概要（第2章）
- (3) システム詳細設計仕様（第3章）

以上のような内容を持つ本書が、F手順普及の上で重要な役割を果たす相互運用性試験の実施に活用されることを念願する次第である。

なお、本書の執筆に当たり、「PC-F手順検証システム開発WG」の委員各位および(財)情報処理相互運用技術協会（INTAP）のご協力に深く感謝申し上げます。

財団法人 日本情報処理開発協会
産業情報化推進センター



PC-F手順検証システム開発WG名簿

〔主査〕

加藤 久晴 株式会社オーエスアイ・プラス 技術部
部長

〔委員〕

佐藤 孝一 株式会社オーエスアイ・プラス 技術部
部長

浜中 敏 株式会社オーエスアイ・プラス 技術部

山本 純子 株式会社オーエスアイ・プラス 技術部

花田 浩行 沖電気工業株式会社 情報通信システム事業本部
オープンソリューションセンタ ソフトウェア技術第四部 技術第三課

伊藤 陽子 株式会社東芝 府中工場 コンピュータ通信・ネットワーク機器開発設計部
開発第二担当

〔オブザーバ〕

荻原 淳 東電ソフトウェア株式会社 技術開発部
主任

吉村 政幸 日本電気ソフトウェア(株) 共通ソフトウェア事業部 ミドルウェア開発部
部長

白澤 隆彦 (財)情報処理相互運用技術協会〔INTAP〕 INTAP試験検証センター〔ICTC〕
技術2課長

〔事務局〕

老川 健治 財団法人 日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター ユーザー環境課
課長

向山 洋二 財団法人 日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター ユーザー環境課
研究員



目 次

1.	本書作成上の基本的な考え方	
1. 1	作成目的、狙い	1
1. 2	システムの位置付け	2
1. 3	試験形態	3
1. 3. 1	試験形態の特徴	3
1. 4	適用範囲	5
1. 5	サンプルプログラムの提供	9
2.	概要	
2. 1	FITSの仕様	10
2. 2	試験で使用するパラメタ	12
2. 3	F-UAPによる転送制御情報アクセスフロー	13
3.	画面仕様	
3. 1	画面基本構成	14
3. 2	画面定義	16
4.	ファイル仕様	
4. 1	試験データファイルの仕様	24
4. 2	ファイル状況通信ファイルの仕様	26
4. 3	試験結果ログ構成	27
4. 4	試験結果ログファイル定義	29
5.	試験プログラム仕様	
5. 1	図式目次	48
5. 2	試験パラメタ定義	52
5. 3	IPOダイアグラム(モジュール詳細)	61

5. 3. 1 起動側処理 ----- 61

転送管理機能

TM-001	FTAM-3, 固定長ファイルの受信	62
TM-002	FTAM-3, 固定長ファイルの送信	65
TM-003	INTAP-1, 固定長ファイルの受信	68
TM-004	INTAP-1, 固定長ファイルの送信	71
TM-101	マルチファイル転送	74
TM-201	代表名によるファイル読み出し(ファイル有)	78
TM-202	代表名によるファイル読み出し(ファイル無)	82
TM-203	代表名によるファイル読み出し(対象外ファイル)	86
TM-301	ゼロ件データ転送(正常扱い)	90
TM-302	ゼロ件データ転送(受信時の異常扱い)	93
TM-303	ゼロ件データ転送(送信時の異常扱い)	96

運用管理機能

OM-001	サイクル管理(ファイル受信)	99
OM-002	サイクル管理(ファイル送信)	102
OM-003	サイクルIDのカウントアップ(ファイル受信)	105
OM-004	サイクルIDのカウントアップ(ファイル送信)	110
OM-101	二重読み出し防止	115
OM-102	二重書き込み防止	118
OM-201	許可時間外転送防止(相手先単位)	122
OM-202	許可時間外転送防止(ファイル単位)	125
OM-301	問合せ機能(送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	128
OM-302	通知機能(送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	133

セキュリティ機能

SM-001	起動者識別	137
SM-101	応答側識別	140
SM-201	起動者の認証	143
SM-301	アクセス制御	146

5. 3. 2 応答側処理 ----- 149

転送管理機能

TM-001	FTAM-3, 固定長ファイルの受信	150
TM-002	FTAM-3, 固定長ファイルの送信	153
TM-003	INTAP-1, 固定長ファイルの受信	156
TM-004	INTAP-1, 固定長ファイルの送信	159
TM-101	マルチファイル転送	162
TM-201	代表名によるファイル読み出し (ファイル有)	166
TM-202	代表名によるファイル読み出し (ファイル無)	170
TM-203	代表名によるファイル読み出し (対象外ファイル)	174
TM-301	ゼロ件データ転送 (正常扱い)	178
TM-302	ゼロ件データ転送 (受信時の異常扱い)	181
TM-303	ゼロ件データ転送 (送信時の異常扱い)	184

運用管理機能

OM-001	サイクル管理 (ファイル受信)	187
OM-002	サイクル管理 (ファイル送信)	190
OM-003	サイクルIDのカウントアップ (ファイル受信)	193
OM-004	サイクルIDのカウントアップ (ファイル送信)	197
OM-101	二重読み出し防止	201
OM-102	二重書き込み防止	204
OM-201	許可時間外転送防止 (相手先単位)	207
OM-202	許可時間外転送防止 (ファイル単位)	210
OM-301	問合せ機能 (送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	213
OM-302	通知機能 (送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	217

セキュリティ機能

SM-001	起動者識別	220
SM-101	応答側識別	223
SM-201	起動者の認証	226
SM-301	アクセス制御	229

5. 3. 3 起動側 / 応答側共通処理 ----- 232

COM-001	環境設定情報	233
---------	--------	-----



1. 本書作成上の基本的な考え方

1. 1 作成目的、狙い

本設計書は、F手順相互運用性試験の環境をパソコンベースで実現するためのプログラム設計仕様を公開する事を目的として作成する。本設計書を基に作成されたアプリケーションとパソコン上でF手順のFTP機能を実現するシステムとを組み合わせることにより「PC-F手順相互運用性検証システム」(F-procedure Inter-operability Test System : FITS)を実現する。

本設計書が公開されパソコンでのF手順相互運用性試験環境が整備される事により、以下のような効果が期待される。

(1) FITSはパソコン上で実現できるため、各ベンダは自社のシステムとの相互運用性試験を手軽に実施することができ、F手順関連の新製品開発やシステムの特定制客向けチューニング作業等の効率化を図ることができる。

(2) FITSと相互運用性試験を事前に実施することにより、他のベンダ間で接続を行う際に無用なトラブルを避けることができ、作業負担の軽減が期待できる。

(3) 今までのメインフレーム、ワークステーション間の相互運用性に対する実績の他にパソコンとの間の実績が加わり、異機種間の相互運用性に関する実績が大幅に向上する。

(4) OSI環境がパソコンでも十分に実現できることが示され、F手順の普及を図る上で大きなアピール効果がある。

本設計書の作成にあたっては、次のような点を考慮して作成を行った。

(1) 詳細仕様の記述にはHIPO(Hierarchy Input Process Output)を使用し、仕様の可読性及び保守性を高める。

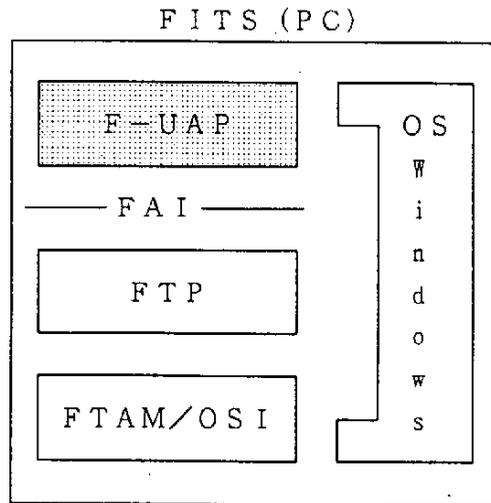
(2) F手順FTPの論理的なインタフェース定義であるFAI(FTP Access Interface)を忠実に採用した設計とする。

(3) 本設計書に基づくプログラムは、汎用性を高めるためにパソコンのプラットフォームとして広く普及しているWindows*上で動作するものとする。

* Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。

1. 2 システムの位置付け

図1-1に、FITSのシステム構成を示す。



- F-UAP : FITS対応UAP (User Application Process)
- FAI : FTPアクセスインタフェース
- FTP : ファイル転送システム
- FTAM/OSI : OSI標準ファイル転送プロトコル (INTAP実装規約準拠)

図1-1 FITSのシステム構成

F-UAPは、FITSが被検証システムと相互運用性試験を行う際に使用されるユーザアプリケーションである。本仕様書により新規に作成される部分であり、「ファイル転送手順 (F手順) 仕様書」に基づいている。

1.3 試験形態

図1-2にFITSを使用した場合の試験形態を示す。

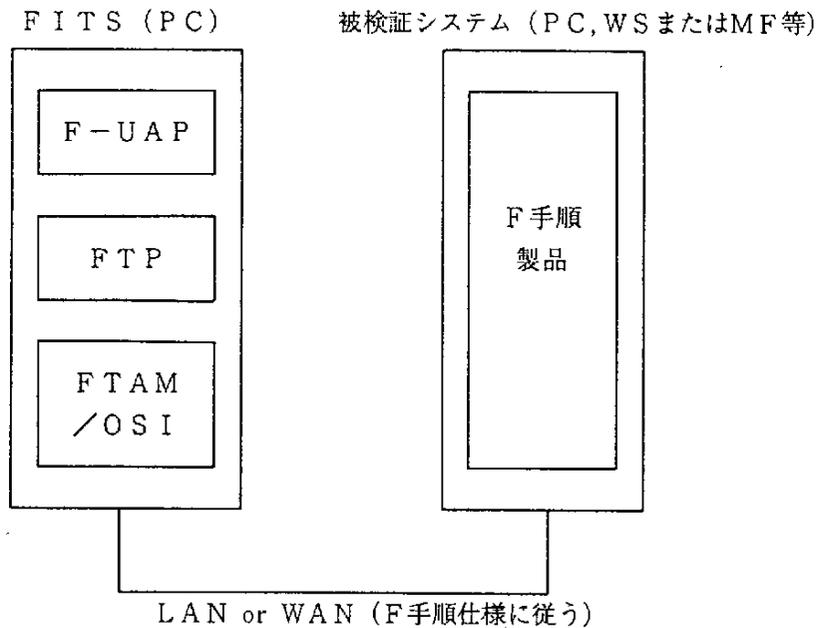


図1-2 試験形態構成図

1.3.1 試験形態の特徴

- ①被検証システムはF手順製品を搭載したシステムであれば、機種は問わない。
(PC, WSまたはMF等)
- ②FITSにより検証できる範囲はFTP及びUAPの一部 (F手順仕様部分) である。
- ③試験形態のネットワーク環境は、FITSと被検証システムをLAN又はWANを介して試験 (相互運用性試験) を行う。
その際のネットワークプロトコルは「F手順-ネットワークプロトコル仕様」に従う。
参考として「F手順-ネットワークプロトコル仕様 Ver 2. 2」で規定されている仕様規定を表1. 1に示す。

表 1. 1 ネットワークプロトコル仕様の仕様規定 (V2. 2)

ネットワーク種別	仕様規定
パケット交換網	オプション
回線交換網	オプション
電話網	オプション
専用線網	オプション
ISDN回線交換網 (Bチャンネル/デマンド)	必須
ISDN回線交換網 (Hチャンネル/デマンド)	オプション
ISDNパケット交換網 (Dチャンネル)	オプション
ISDNパケット交換網 (Bチャンネル/セミパーマナント)	オプション
ISDNパケット交換網 (Bチャンネル/デマンド)	オプション
CSMA/CD方式LAN	オプション
トークンバスアクセス方式LAN	オプション
トークンリングバスアクセス方式LAN	オプション
FDDI方式LAN	オプション

1. 4 適用範囲

(1) サポート機能

INTAP(財団法人情報処理相互運用技術協会)発行の「F手順相互運用性試験 試験項目」の全項目の試験実行機能を実装する。また、試験用のドキュメントタイプとしては、FTAM-3、INTAP-1の他にJOUG-1の使用も可能とする。

(2) 要求条件

本設計書に基づいて作成されるF-UAPを使用するにあたっては、FITSを構成するFTPおよびFTAM以下の通信機能、さらに対向する被検証システムのF手順機能において、以下に示す要求条件を満たす必要がある。

(a) FTAM基本機能

No.	項目	要求条件
1	サービスクラス	「転送クラス」を実装。
2	機能単位	「読み出し」、「書き込み」及び「グループ化」をサポート。
3	属性グループ	「カーネル」、「機密保護」をサポート。
4	ドキュメント型	「FTAM-3」、「INTAP-1」をサポート。 「JOUG-1」のサポートは自由。
5	圧縮	実装するか否かは自由。
6	実装情報パラメタ	F-INITIALIZE応答の実装情報パラメタをサポート。 内容には応答側識別子を文字列で設定できること。
7	診断情報	診断情報パラメタをサポートすること。 診断情報内の詳細情報もサポートすること。
8	F-SELECT要求/応答ファイル属性	ファイル属性は、F-P.TESTnFID+サイクルID(n=1,...,9,0)が設定できること。 サイクルIDを使用しない場合は、4文字の空白を設定する。
9	F-DATAコンカチネーション	実装するか否かは自由。
10	最大レコード長	FTAM-3では7168オクテットまでのレコードを送受信する。 INTAP-1では32767オクテットまでのレコードを送受信する。 JOUG-1では32767オクテットまでのレコードを送受信する。
11	PSAPアドレス	プレゼンテーションアドレスが使用可能であること。

(b) 転送管理機能

No.	項目	要求条件
1	マルチファイル転送時のアソシエーション	1アソシエーション内で複数のファイルを転送すること。
2	代表名によるファイル読み出し	本機能をサポートすること。
3	ゼロ件データ転送	ゼロ件データの転送は正常として扱えること。 送信側の指定によりエラーとすることも可能なこと。
4	データ転送の強制中断	強制中断された内容を障害情報として通知できること。

(c) 運用管理機能

No.	項目	要求条件
1	サイクル管理	本機能をサポートすること。
2	二重交換防止	送受信ファイル状況確認で使用するファイルは、二重交換防止の対象外とできること。
3	転送許可時間	相手先及びファイル単位での指定が可能なこと。
4	送受信ファイル状況確認	「問い合わせ要求」と「問い合わせ応答要求」を別々のタイミングで発行できること。
5	転送状態問合せ	本機能は使用しない。
6	プライオリティ制御	本機能は使用しない。

(d) セキュリティ

No.	項目	要求条件
1	起動側識別子	F-INITIALIZE要求の起動者識別パラメタに設定する。 4オクテット以上の文字列が設定できること。
2	応答側識別子	F-INITIALIZE応答の実装情報パラメタに設定する。 4オクテット以上の文字列が設定できること。
3	起動者の認識	F-INITIALIZE要求のファイルストアパスワードパラメタに設定する。 8オクテットの文字列が設定できること。
4	アクセス制御	F-SELECT要求のファイルアクセスパスワードパラメタに設定する。 8オクテットの文字列が設定できること。
5	セキュリティログ	アソシエーション単位およびファイルアクセス単位で情報を通知する。

(3) 事前取り決め事項

FITSを使用してF手順の相互運用性試験を実施するにあたっては、以下に示す取り決め事項を、被検証システム側と事前に取り決めておく必要がある。

(a) FTAM環境での取り決め必要事項

No.	項目	取り決め事項
1	回線種別	どの回線を使用するかを取り決める。
2	NSAP	お互いのネットワークアドレスを情報交換する。
3	Tセクタ	お互いのトランスポートセクタを情報交換する。 推奨値:20(Hex)。
4	Sセクタ	お互いのセッションセクタを情報交換する。 推奨値:20(Hex)。
5	Pセクタ	お互いのプレゼンテーションセクタを情報交換する。 推奨値:使用しない。

(b) 試験スイートごとの取り決め必要項目

No.	項目	取り決め事項
1	起動側/応答側区分	起動側として動作するか、応答側として動作するか、または両方かを取り決める。
2	起動側識別子	推奨値:ベンダ毎の識別子(3桁)+1。
3	応答側識別子	推奨値:ベンダ毎の識別子(3桁)+1。
4	起動者パスワード (ファイルストア パスワード)	推奨値: 起動側識別子+応答側識別子。 起動側と応答側の両方を試験するときには入れ替わるので注意
5	ファイルアクセス パスワード	推奨値:使用しない。
6	代表名読み出し	結果確認のため、読み出される対象ファイルのファイル名 (ファイルID+サイクルID)を通知。
7	転送許可時間帯	転送許可時間を設定するため、試験実施時間帯を取り決める
8	試験ファイル	試験ファイルで使用する文字コードセットを取り決める。 試験スイートの推奨ファイル以外のものを使用する場合、その ファイル形式(レコード長等)、ファイル内容を取り決める。
9	ドキュメント型	TM-001、TM-002、TM-003、TM-004、以外の試験項目で使用 するドキュメント型(FTAM-3、INTAP-1、JUG-1)を取り決 める。

(c) オプション項目の試験実施の取り決め

No.	項目	取り決め事項
1	サイクルIDカウントアップ(受信)	試験番号OM-003を行うかどうかを取り決める。
2	サイクルIDカウントアップ(送信)	試験番号OM-004を行うかどうかを取り決める。
3	問い合わせ機能	試験番号OM-301を行うかどうかを取り決める。
4	通知機能	試験番号OM-302を行うかどうかを取り決める。
5	起動者認証	試験番号SM-201を行うかどうかを取り決める。
6	アクセス制御	試験番号SM-301を行うかどうかを取り決める。

1. 5 サンプルプログラムの提供

(1) インタフェース規定

論理的なインタフェース規定であるFAI (FTPアクセスインタフェース) に実装上の具体的なインタフェースを対応付けるため、FAIの各々のインタフェースに対応するC言語構造体を想定する。各構造体のメンバ名はFTPアクセスインタフェース仕様 (F-M03) に規定されるパラメタ名をほとんどそのまま使用する。

F-UAPとFTPが別プロセスとして構成されるものと想定し、上記構造体がいずれらの間のプロセス間通信を行う。また、転送制御情報へのアクセスは上記構造体を引き数とするライブラリを呼び出すことによって実現するものとする。

(2) 動作環境

FITSのサンプルプログラムが動作する環境は、Windows3.1*およびWindowsNT3.5*を想定する。上記インタフェース規定で想定されるプロセス間通信は、Windows3.1*およびWindowsNT3.5*において標準でサポートされるDDE (ダイナミックデータ交換) の機構を使用する。したがってFITSで使用するFTPは、上記インタフェース規定で想定される構造体をDDEの機能を用いてやり取りする機構を有する必要がある。また、転送制御情報を設定変更するために、上記構造体を引き数としたDLL (ダイナミックリンクライブラリ) が提供される必要がある。

これらのインタフェースの機構を有し、動作が確認されているものとして以下の製品を推奨する。

「F手順端末パッケージ」：(株)オーエスアイ・プラス製 (03)3794-8400

* Windows3.1およびWindowsNT3.5は米国マイクロソフト社の商標です。

(3) 提供ファイル

上記インタフェース条件および動作環境を基に作成した、F-UAPサンプルプログラムの実行ファイルおよびソースファイルを提供する。

なお、サンプルプログラムの提供を希望する方は下記宛に連絡願いたい。

〒105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 (財)日本情報処理開発協会 産業情報化推進センター TEL (03)3432-9386 FAX (03)3432-9389

2. 概要

2.1 FITSの仕様

(1) 試験内容

FITSで実現するF手順相互運用性試験の試験項目一覧を表2-1に示す。

FITSの試験内容については、以下の仕様書に従うものとする。

「F手順相互運用性試験 試験項目」 (INTAP-10P-006-01)
財団法人 情報処理相互運用技術協会 INTAPnet委員会

表2-1 F手順試験項目

(凡例) ◎:必須 ○:オプション

機能項目分類	試験項目	試験番号	試験レベル
転送管理機能	・FTAM-3, 固定長ファイルの受信	TM-001	◎
	・FTAM-3, 固定長ファイルの送信	TM-002	◎
	・INTAP-1, 固定長ファイルの受信	TM-003	◎
	・INTAP-1, 固定長ファイルの送信	TM-004	◎
	・マルチファイル転送	TM-101	◎
	・代表名によるファイル読み出し (ファイル有)	TM-201	◎
	・代表名によるファイル読み出し (ファイル無)	TM-202	◎
	・代表名によるファイル読み出し (対象外ファイル)	TM-203	◎
	・ゼロ件データ転送(正常扱い)	TM-301	◎
	・ゼロ件データ転送(受信時の異常扱い)	TM-302	◎
	・ゼロ件データ転送(送信時の異常扱い)	TM-303	◎
	運用管理機能	・サイクル管理(ファイル受信)	OM-001
・サイクル管理(ファイル送信)		OM-002	◎
・サイクルIDのカウンタアップ (ファイル受信)		OM-003	○
・サイクルIDのカウンタアップ (ファイル送信)		OM-004	○
・二重読み出し防止		OM-101	◎
・二重書き込み防止		OM-102	◎
・許可時間外転送防止(相手先単位)		OM-201	◎
・許可時間外転送防止(ファイル単位)		OM-202	◎
・問合せ機能 (送信ファイル蓄積、 受信ファイル準備)		OM-301	○
・通知機能 (送信ファイル蓄積、 受信ファイル準備)		OM-302	○
セキュリティ機能	・起動者識別	SM-001	◎
	・応答側識別	SM-101	◎
	・起動者の認証	SM-201	○
	・アクセス制御	SM-301	○

(2) コード設計

エラーコードについては、F手順コード一覧（F-M04）に準拠する。

試験データファイルの文字コードセットは、EBCDIC、EUC、ASCIIの三つのセットをサポートする。

試験の実施の際には、三つのセットの中から、当事者間で種類を選択する。

ただし、ファイル状況通信ファイルで使用するコードは、ASCIIコードを使用する。

(3) 入出力画面設計

パラメタの変更は入力画面では行わず、環境設定ファイルを用いて行い、入力画面では、試験スイート実行の指示を行う。

出力画面では、試験実行前に相手先情報およびファイル情報を確認するための表示を行い、試験実行中は、要求発行および処理結果取得の表示を行う。

・画面基本構成

F-UAPにおける画面基本構成を記述する。

・画面定義

F-UAPにおける画面の定義を記述する。

(4) プロセス設計

入力データについては、環境設定ファイルおよび「5.2 試験パラメタ定義」に示される試験パラメタ初期値の入力により実現するものとし、個々のパラメタについての画面上での入力を行わないものとする。

転送開始要求については、開始要求（登録方式）を用いるものとし、既に登録されている転送要求情報の変更は行わないものとする。

相手先情報およびファイル情報については、各試験項目ごとに既に登録されている情報の更新を行う。

・図式目次

F-UAPにおける機能の全体的な階層図を示す。

・試験パラメタ定義

F-UAPにおける試験パラメタを示す。（初期値の定義）

・IPOダイアグラム（モジュール詳細）

F-UAPにおける個々のモジュールの機能を示す。

(5) ファイル設計

F-UAPに必要な以下のファイルのフォーマットを設計する。

・試験データファイル

試験データは通常の転送に使う「試験ファイル」と問合せ機能／通知機能 試験項目で使用する「ファイル状況通信ファイル」がある。「試験ファイル」は「F手順相互運用性試験項目」の付録Aの試験ファイルのデータフォーマットを推奨するものとする。（ただし、ゼロ件データ転送用については専用のファイルとする。）

・環境設定ファイル

試験環境に係わるデータ項目を当該ファイルに格納し、個々の試験を実施する場合に参照するためのファイルを設計する。

・試験統計データファイル

試験結果のログをテキストファイルにより保存するファイルを設計する。
要求発行、転送制御情報の設定、結果取得のログをファイルに保存する。

2. 2 試験で使用するパラメタ

試験環境におけるFTAMレベルのパラメタおよびF手順のパラメタの設定について以下に示す。
これらのパラメタについては、プログラム外部より与えられるものとし、このファイルのことを環境設定ファイルと呼ぶ。

試験スイートによっては、これらのパラメタの設定が重要となるので注意する必要がある。

(1) ドキュメント型

ドキュメント型に、INTAP-1またはJ OUG-1またはFTAM-3を設定する。

「ファイル転送基本機能」の試験項目のドキュメント型については、INTAP-1とFTAM-3の両方を行うものとする。(この場合は、環境設定ファイルの情報は意味を持たない。)

ただし、「問い合わせ」および「通知機能」の試験項目については、ドキュメント型にJ OUG-1を指定しないこと。

(2) 起動側識別子

「起動側識別」の試験項目において、不正な起動側識別子を使用する場合には設定変更の必要がある。(不正な値は起動側で設定、最大32オクテット指定可能)

(3) 応答側識別子

「応答側識別」の試験項目において、不正な応答側識別子を使用する場合には設定変更の必要がある。(不正な値は応答側で設定、最大32オクテット指定可能)

(4) 起動者パスワード(ファイルストアパスワード)

「起動者の認証」の試験項目において、不正な起動者パスワードを使用する場合には設定変更の必要がある。(不正な値は起動側で設定、最大8オクテット指定可能)

(5) ファイルアクセスパスワード

「アクセス制御」の試験項目において、不正なファイルアクセスパスワードを使用する場合には設定変更の必要がある。(不正な値は起動側で設定、最大8オクテット指定可能)

(6) 転送許可時間

相手先単位の転送許可時間(接続許可時間)および、ファイル単位の転送許可時間を与えるものとする。

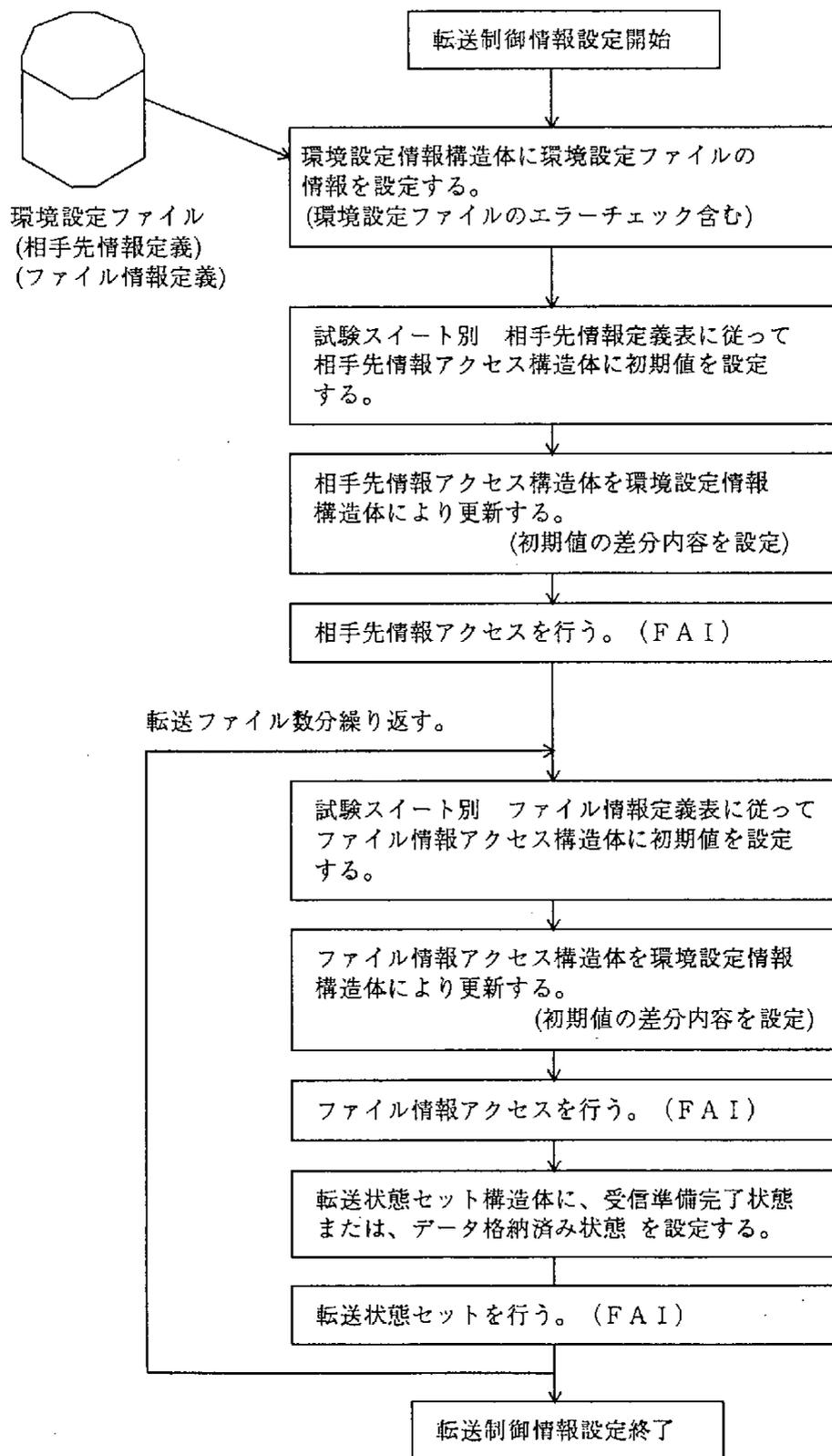
「転送許可時間」の試験項目において、転送許可時間を使用する場合には設定変更の必要がある。
(応答側設定)

転送許可時間は、開始時間および終了時間を24時間制にて指定する。

各パラメタの推奨値については、「F手順相互運用性試験項目」の「1. 3. 2 パラメタ」を参照する事。

2.3 F-UAPによる転送制御情報アクセスフロー

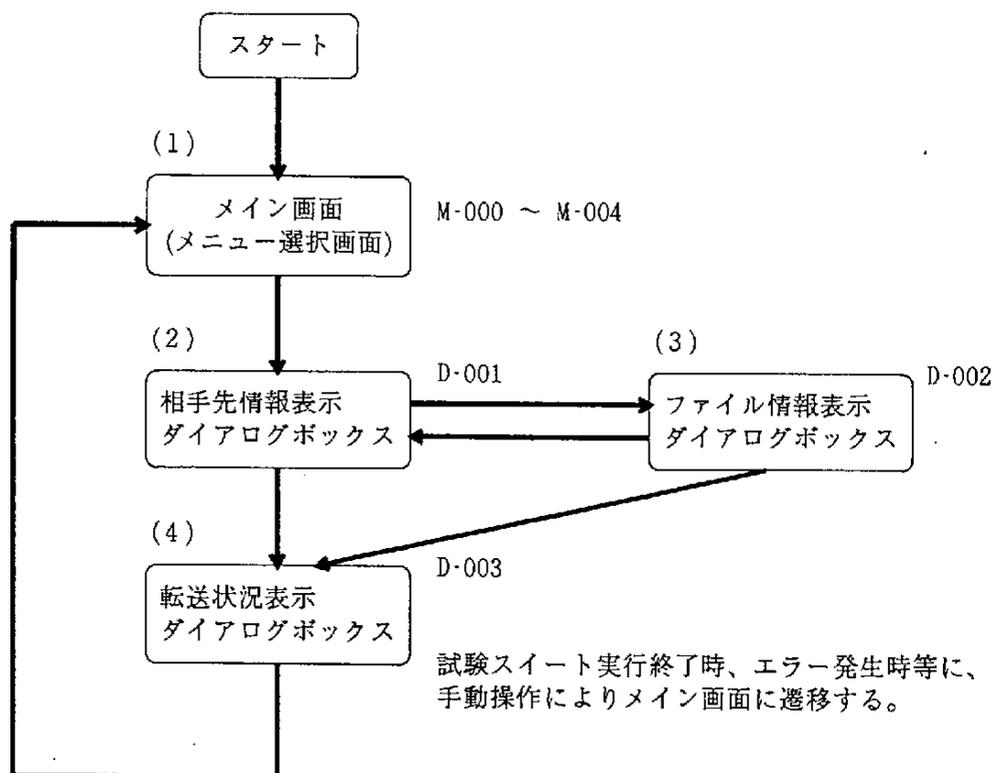
F-UAPでは試験項目別に転送制御情報を更新(UPDATE)する必要がある。
転送制御情報アクセスにおける基本的なフローを以下に示す。



3. 画面仕様

3.1 画面基本構成

F-UAPの処理の開始から一連の画面処理の流れを示し、次頁より画面基本構成を示す。



(1) メイン画面

F-UAPの起動画面であり、サブメニューにより機能を選択する。

(a) ファイルサブメニュー

起動側/応答側システムの選択、およびプログラム終了を選択する。

このサブメニューでの処理選択時は、画面遷移は発生しない。

(b) 試験スイートの選択

以下のサブメニューより、実行する試験スイートの選択を行う。

試験スイートの選択後、相手先情報表示ダイアログボックスに遷移する。

(I) 転送管理サブメニュー

転送管理機能の試験項目を選択する。

(II) 運用管理サブメニュー

運用管理機能の試験項目を選択する。

(III) セキュリティサブメニュー

セキュリティ機能の試験項目を選択する。

(2) 相手先情報表示ダイアログボックス

試験スイートで設定される相手先情報の表示を行い、試験実行の指示を行う。

(3) ファイル情報表示ダイアログボックス

試験スイートで設定されるファイル情報の表示を行い、試験実行の指示を行う。

(4) 転送状況表示ダイアログボックス

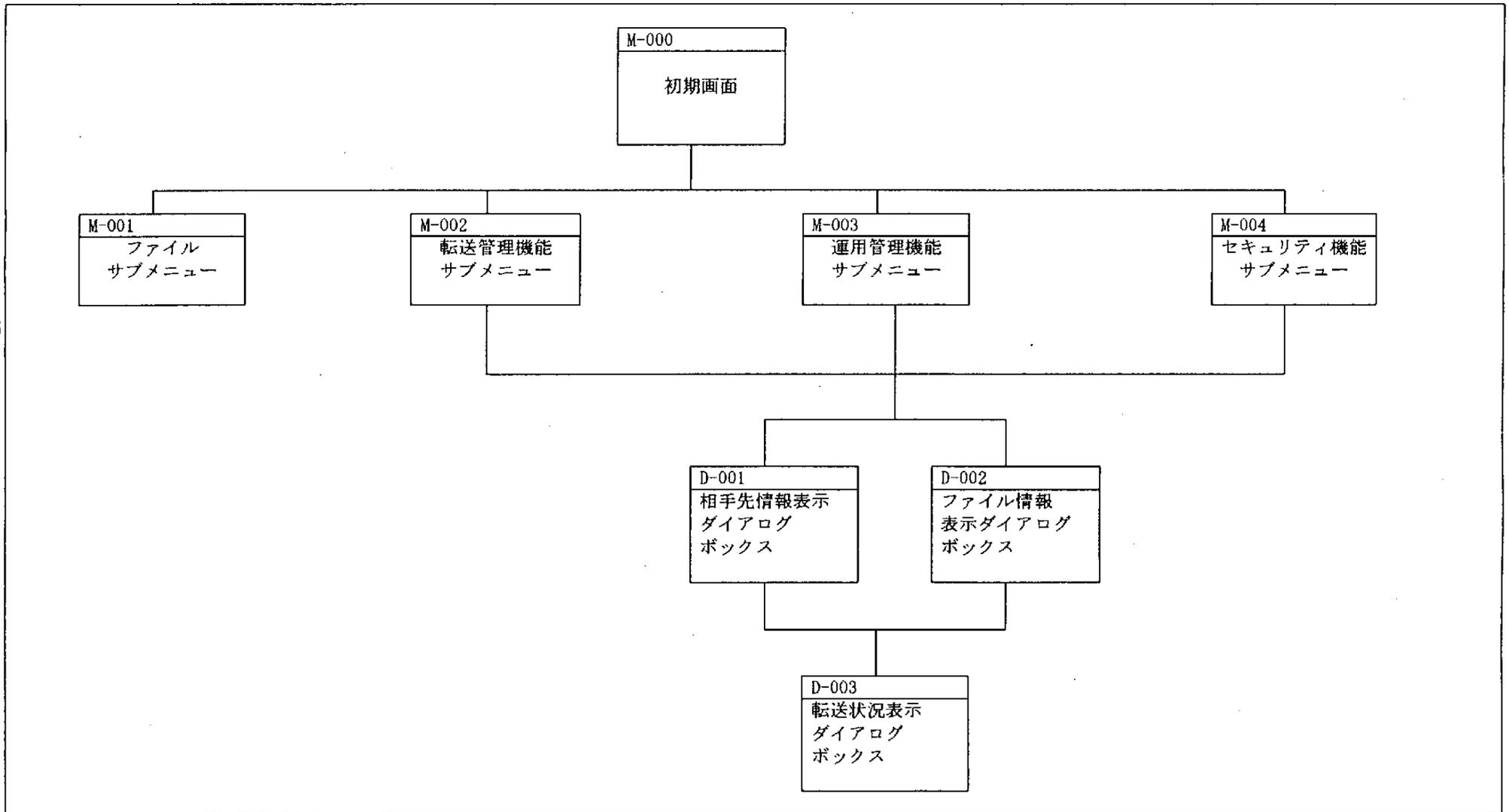
要求発行および処理結果取得情報を表示し、転送キャンセルの指示を行う。

表示する内容については、試験結果ログファイルと同一内容のものとする。

「4.2 試験結果ログファイル定義」の項目を参照

画面構成

システム名	PC-F手順相互運用性検証システム	プログラム名	PC-F手順相互運用性検証UAP	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
-------	-------------------	--------	------------------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----



3. 2 画面定義

F-UAPにおける画面定義を次頁より示す。

画面定義

画面名称	メインメニュー画面 ファイル サブメニュー表示	画面ID	M-001	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
------	----------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

—		F手順相互運用性検証システム (起動側)			
ファイル(F)	転送管理機能	運用管理機能	セキュリティ機能	ヘルプ!	
起動側システム					
応答側システム					
終了					

画面定義

画面名称	メインメニュー画面 転送管理機能 サブメニュー表示	画面ID	M-002	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
------	------------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

F手順相互運用性検証システム (起動側)	
ファイル(F)	転送管理機能 運用管理機能 セキュリティ機能 ヘルプ!
	FTAM-3 受信 TM-001
	FTAM-3 送信 TM-002
	INTAP-1受信 TM-003
	INTAP-1送信 TM-004
	マルチファイル転送 TM-101
	代表名によるファイル読み出し(ファイル有り) TM-201
	代表名によるファイル読み出し(ファイル無し) TM-202
	代表名によるファイル読み出し(対象外ファイル) TM-203
	ゼロ件データ転送(正常扱い) TM-301
	ゼロ件データ転送(受信時の異常扱い) TM-302
	ゼロ件データ転送(送信時の異常扱い) TM-303

画面定義

画面名称	メインメニュー画面 運用管理機能 サブメニュー表示	画面ID	M-003	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
------	------------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

F 手順相互運用性検証システム (起動側)			
ファイル(F)	転送管理機能	運用管理機能	セキュリティ機能 ヘルプ!
		サイクル管理(ファイル受信)	OM-001
		サイクル管理(ファイル送信)	OM-002
		サイクルIDのカウントアップ(ファイル受信)	OM-003
		サイクルIDのカウントアップ(ファイル送信)	OM-004
		二重読み出し防止	OM-101
		二重書き込み防止	OM-102
		転送時間外転送防止(相手先単位)	OM-201
		転送時間外転送防止(ファイル単位)	OM-202
		問い合わせ機能(送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	OM-301
		通知機能(送信ファイル蓄積、受信ファイル準備)	OM-302

画面定義

画面名称	メインメニュー画面 セキュリティ機能 サブメニュー表示	画面ID	M-004	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
------	--------------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

F 手順相互運用性検証システム (起動側)				
ファイル(F)	転送管理機能	運用管理機能	セキュリティ機能	ヘルプ!
			起動側識別	SM-001
			応答側識別	SM-101
			起動者認証	SM-201
			アクセス制御	SM-301

画面定義

画面名称	ファイル情報表示ダイアログボックス (起動側 例)	画面ID	D-002	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/2
------	------------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

試験番号 : TM-303	試験項目分類 : 転送管理機能
試験項目 : ゼロ件データ転送 (送信時の異常扱い)	試験レベル : 必須
試験目的 : 起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験します。	
ファイル情報 :	FLCODE(ファイルID) = F-P.TESTIFID
	CYCLE(サイクルID) =
ページ 1/1	SRMODE(送受信モード) = 送信
	STINF(実ファイル情報) = C:\YPC-FPROCYZERODATA
	CONTYPE(ドキュメント型) = FTAM3
	MAXLENG(最大レコード長) = 80
	LENGKBN(最大レコード長形式) = 固定長
	PACTREAD(読み出し動作の許可) = 読み出しを許可する。
	PACTREPL(置換動作の許可) = 置換を許可する。
	PWDRFORM(読み出しアクセスパスワード) =
	PWDWFORM(置換アクセスパスワード) =
	STIMEF(転送開始時間) = 00:00:00
	ETIMEF(転送終了時間) = 24:00:00
	NOREC(ゼロ件データ送信データの扱い) = 異常終了
	FLREP(代表名によるファイル読出し) = 行わない
	DPCHK(二重交換防止) = 防止
次ページ	
前ページ	
試験実行	キャンセル
	相手先情報確認

画面定義

画面名称	転送状況表示ダイアログボックス (起動側 例)	画面ID	D-003	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
------	----------------------------	------	-------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

「問い合わせ結果取り込み」 (ファイル状況問い合わせ)
 or
 「次のファイル転送を開始」 (サイクルIDのカウンタアップ、二重交換防止)

実行している試験項目名を表示

FTAM-3、固定長ファイルの受信 [TM001]

転送キャンセル

閉じる

=====転送開始要求(登録方式)=====yyyy-mm-dd hh:mm:ss

<入力パラメタ> 転送識別子 =9999 転送要求モード : 通常転送

<出力パラメタ> 要求受付識別子=9999

リターンステータス =正常終了

アソシエーション確立 hh:mm:ss

転送開始 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 hh:mm:ss

転送終了 テキスト数 : ZZZZZZZZZZ レポート(バイト)数 : ZZZZZZZZZZ hh:mm:ss

エラーメッセージ

アソシエーション解放 hh:mm:ss

要求発行画面
 { 要求発行時の
 入力イベントと
 出力イベント
 を表示する }

処理結果取得画面
 { 結果取得イベントの
 内容を表示する }

4. ファイル仕様

4. 1 試験データファイルの仕様

F-UAPにおける試験データファイルの仕様を次頁に示す。

試験ファイルのデータフォーマット

- 試験ファイルの形式 : 1ファイル = 10レコード = 800オクテット
 この形式を推奨するが、双方の合意により他の形式としても良い。
 その場合は、環境設定ファイルにより、レコード形式およびレコード（ストリング）長の設定を変更する。
- 試験ファイルのファイル名 : ' F - P . TESTnFID ' + ' サイクルID '
 n : 通常の試験項目は、n = 1
 マルチファイル転送等のように試験項目により、複数（2つ以上）の試験ファイルを使用する場合は、随時nをカウントアップ。
 サイクルID : 試験項目により、0001 から随時サイクルIDをカウントアップする。
 使用しない場合は、4桁の空白を設定。

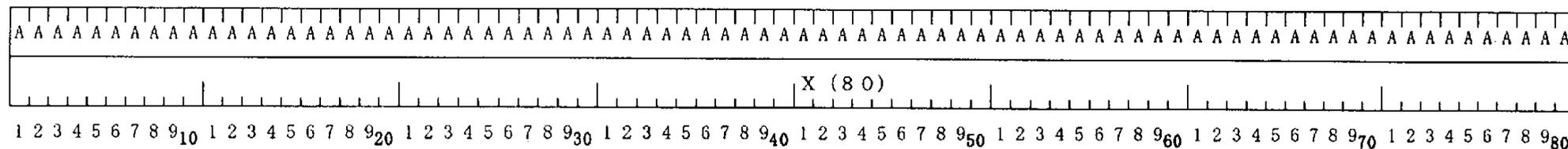
試験ファイルのファイル名に関しては、「試験スイート別 ファイル情報定義」を参照の事。

- 試験ファイルのデータ内容 : 下図に示すレコードの繰り返し（10回）。
 この形式を推奨とするが、双方の合意により他のデータ内容としても良い。

コード系 : EBCDIC、EUC、ASCIIの内から、双方の合意により決定。
 推奨は、EBCDICコード系。

【1レコードのデータ内容】

(80 オクテット/レコード)



4. 3 試験結果ログ構成

F-UAPにおける試験結果ログについての説明を以下に示し、試験結果ログ構成を次頁より示す。
ログファイルのフォーマットは、テキストファイルとする。

(1) 試験内容ログファイル

試験実行時にその試験の内容（試験番号、試験分類、試験項目、試験レベル、試験内容）をログファイルに記録する。

(2) 要求発行ログファイル

要求発行時の入力パラメタと出力パラメタをログファイルに記録する。
記録される内容には、以下の5種類がある。

- ・転送開始要求(登録方式)
- ・転送キャンセル要求
- ・ファイル状況問い合わせ要求
- ・ファイル状況問い合わせ応答要求
- ・ファイル状況通知

(3) 転送制御情報設定ログファイル

転送制御情報設定時のログファイルに記録する。
記録される内容には、以下の2種類がある。

- ・相手先情報設定
- ・ファイル情報設定

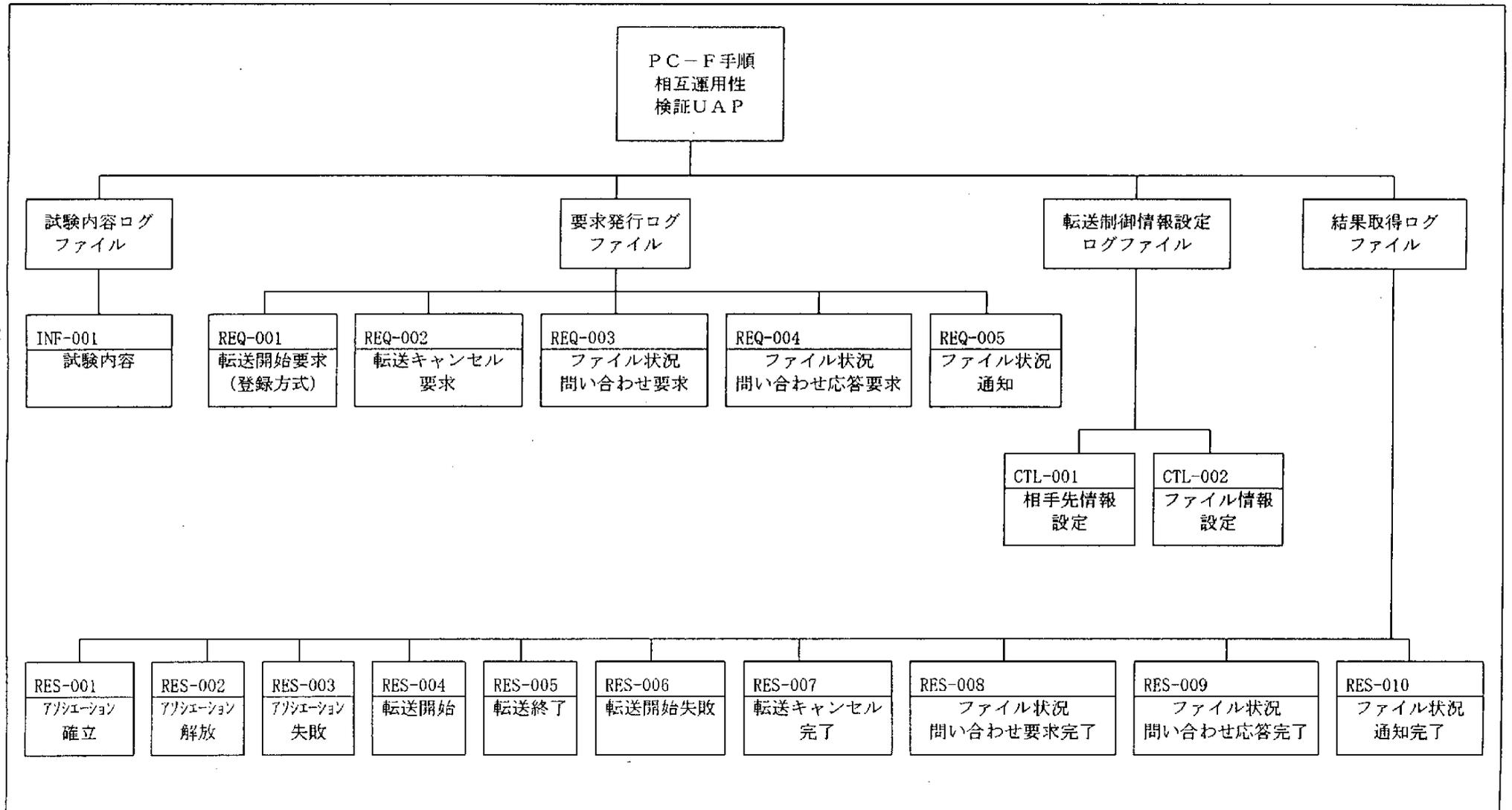
(4) 結果取得ログファイル

結果取得情報をログファイルに記録する。
記録される内容には、以下の10種類がある。

- ・アソシエーション確立
- ・アソシエーション解放
- ・アソシエーション失敗
- ・転送開始
- ・転送終了
- ・転送開始失敗
- ・転送キャンセル完了
- ・ファイル状況問い合わせ要求完了
- ・ファイル状況問い合わせ応答完了
- ・ファイル状況通知完了

試験結果ログ構成

システム名	PC-F手順相互運用性検証システム	プログラム名	PC-F手順相互運用性検証UAP	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
-------	-------------------	--------	------------------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----



4. 4 試験結果ログファイル定義

F-UAPにおける試験結果ログファイル定義を次頁より示す。

ログファイル定義

ファイル名称	試験内容ログ	ファイルID	INF-001	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 試験内容 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
試験番号：TM-001                試験項目分類：転送管理
試験項目：FTAM-3、固定長ファイル受信    試験レベル：必須
試験内容：FTAM-3、固定長ファイル（あるいは可変長）の受信を試験します。
-----

```

ログファイル定義

ファイル名称	転送開始要求(登録方式)	要求発行ログ	ファイルID	REQ-001	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------------	--------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 転送開始要求(登録方式) ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
<入力パラメタ> 転送識別子=9999 転送要求モード : 通常転送
<出力パラメタ> 要求受付識別子=9999
リターンステータス : 正常終了
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	転送キャンセル要求	要求発行ログ	ファイルID	REQ-002	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	-----------	--------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 転送キャンセル要求 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
<入力パラメタ> 要求受付識別子=9999
<出力パラメタ>
リターンステータス : 正常終了
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	ファイル状況問い合わせ要求 要求発行ログ	ファイルID	REQ-003	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	-------------------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== ファイル状況問い合わせ要求 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
<入力パラメタ> 転送識別子=9999
<出力パラメタ> 要求受付識別子=9999
リターンステータス : 正常終了
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	ファイル状況問い合わせ応答要求 要求発行ログ	ファイルID	REQ-004	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	---------------------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== ファイル状況問い合わせ応答要求 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
<入力パラメタ> 転送識別子=9999
<出力パラメタ> 要求受付識別子=9999
リターンステータス : 正常終了
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	ファイル状況通知	要求発行ログ	ファイルID	REQ-005	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	----------	--------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== ファイル状況通知 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
<入力パラメタ> 転送識別子=9999
<出力パラメタ> 要求受付識別子=9999
リターンステータス : 正常終了
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	相手先情報設定ログ	ファイルID	CTL-001	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	-----------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 相手先情報設定 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
LINDID(リンク識別子)                = 0001
TYPE(起動側・応答側)                 = 起動側
RCCODE(相手PSAP)                      = 0001
HCCODE(自己PSAP)                     = 0001
IIDCHK(起動側識別子チェック)         = 送信する。
INITID(起動側識別子)                  = INIT
RIDCHK(応答側識別子チェック)         = チェックする。
RESPID(応答側識別子)                  = RESP
PWFORM(ファイルストアパスワード形式) = 図形文字列形式
FSPSWD(ファイルストアパスワード)     = INITRESP
STIMER(接続開始時間)                  = 00:00:00
ETIMER(接続終了時間)                  = 24:00:00
NOREC(セクションデータ転送の扱い)    = 正常転送

相手先情報アクセス：正常終了
-----

```

ログファイル定義

ファイル名称	ファイル情報設定ログ	ファイルID	CTL-002	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== ファイル情報設定 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
FLCODE(ファイルID)                = F-P. TEST1FID
CYCLE(サイクルID)                  =
SRMODE(送受信モード)              = 送信
STINF(実ファイル情報)              = C:¥PC-FPROC¥SENDDAT1
CONTYPE(トキメント型)              = FTAM3
MAXLENG(最大レコード長)            = 80
LENGKBN(最大レコード長形式)        = 固定長
PACTREAD(読み出し動作の許可)       = 読み出し許可
PACTREPL(置換動作の許可)           = 置換許可
PWDRFORM(読み出しアクセスワード)   =
PWDWFORM(置換アクセスワード)       =
STIMEF(転送開始時間)                = 00:00:00
ETIMEF(転送終了時間)                = 24:00:00
NOREC(セロ件データ送信データの扱い) = 異常終了
FLREP(代表名によるファイル読出し)  = 行わない
DPCHK(二重交換防止)                 = 二重交換防止
ファイル情報アクセス : 正常終了
SETMODE(転送状態)                   = データ格納済み状態
転送状態セット : 正常終了
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	アソシエーション確立	ファイルID	RES-001	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別：起動側
-----
アソシエーション確立                                     hh:mm:ss
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	アソシエーション解放	ファイルID	RES-002	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結 果 取 得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード'=9999 相手先コード'=9999 取得イベント種別： 起動側
-----
アソシエーション解放                                     hh:mm:ss
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	アソシエーション失敗	ファイルID	RES-003	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別：起動側
-----
アソシエーション失敗                                     hh:mm:ss
      エラーメッセージ
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	転送開始	ファイルID	RES-004	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別 : 起動側
-----
転送開始   ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999                送信           hh:mm:ss
-----

```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	転送終了	ファイルID	RES-005	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別：起動側
-----
転送終了 テキスト数：ZZZZZZZZZ9 レコード(バイト)数：ZZZZZZZZZ9 hh:mm:ss
エラーメッセージ
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	転送開始失敗	ファイルID	RES-006	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	--------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別：起動側
-----
転送開始失敗                                     hh:mm:ss
      エラーメッセージ
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	転送キャンセル完了	ファイルID	RES-007	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	-----------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別 : 起動側
-----
転送キャンセル完了                                     hh:mm:ss
-----
    
```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ ファイル状況問い合わせ要求完了	ファイルID	RES-008	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	---------------------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

```

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
要求受付識別子=9999 自己ポート=9999 相手先ポート=9999 取得イベント種別：応答側
-----
ファイル状況問い合わせ要求完了                                     hh:mm:ss
#1 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#2 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#3 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#4 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#5 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#6 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#7 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#8 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#9 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
#10 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信
-----

```

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ ファイル状況問い合わせ応答完了	ファイルID	RES-009	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	---------------------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

===== 結果取得 ===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
 要求受付識別子=9999 自己コード=9999 相手先コード=9999 取得イベント種別 : 起動側

 ファイル状況問い合わせ応答完了 hh:mm:ss
 #1 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #2 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #3 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #4 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #5 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #6 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #7 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #8 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #9 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #10 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み

ログファイル定義

ファイル名称	結果取得ログ	ファイル状況通知完了	ファイルID	RES-010	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/1
--------	--------	------------	--------	---------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----

=====**結果取得**===== yyyy-mm-dd hh:mm:ss
 要求受付識別子=9999 自己コード'=9999 相手先コード'=9999 取得イベント種別 : 応答側

 ファイル状況通知完了 . hh:mm:ss
 #1 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #2 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #3 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #4 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #5 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #6 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #7 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #8 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #9 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み
 #10 ファイルID=XXXXXXXXXXXX サイクルID=9999 送信 データ格納済み

5. 試験プログラム仕様

F-UAPの機能は以下の3つの機能から構成される。

(1) 起動側機能

各試験項目ごとに異なる転送制御情報を設定し、転送要求情報(登録方式)にて要求を発行する。
結果取得の情報を表示する。

(2) 応答側機能

各試験項目ごとに異なる転送制御情報を設定する。 起動側からの要求を待つ。
結果取得の情報を表示する。

(3) 起動側/応答側共通機能

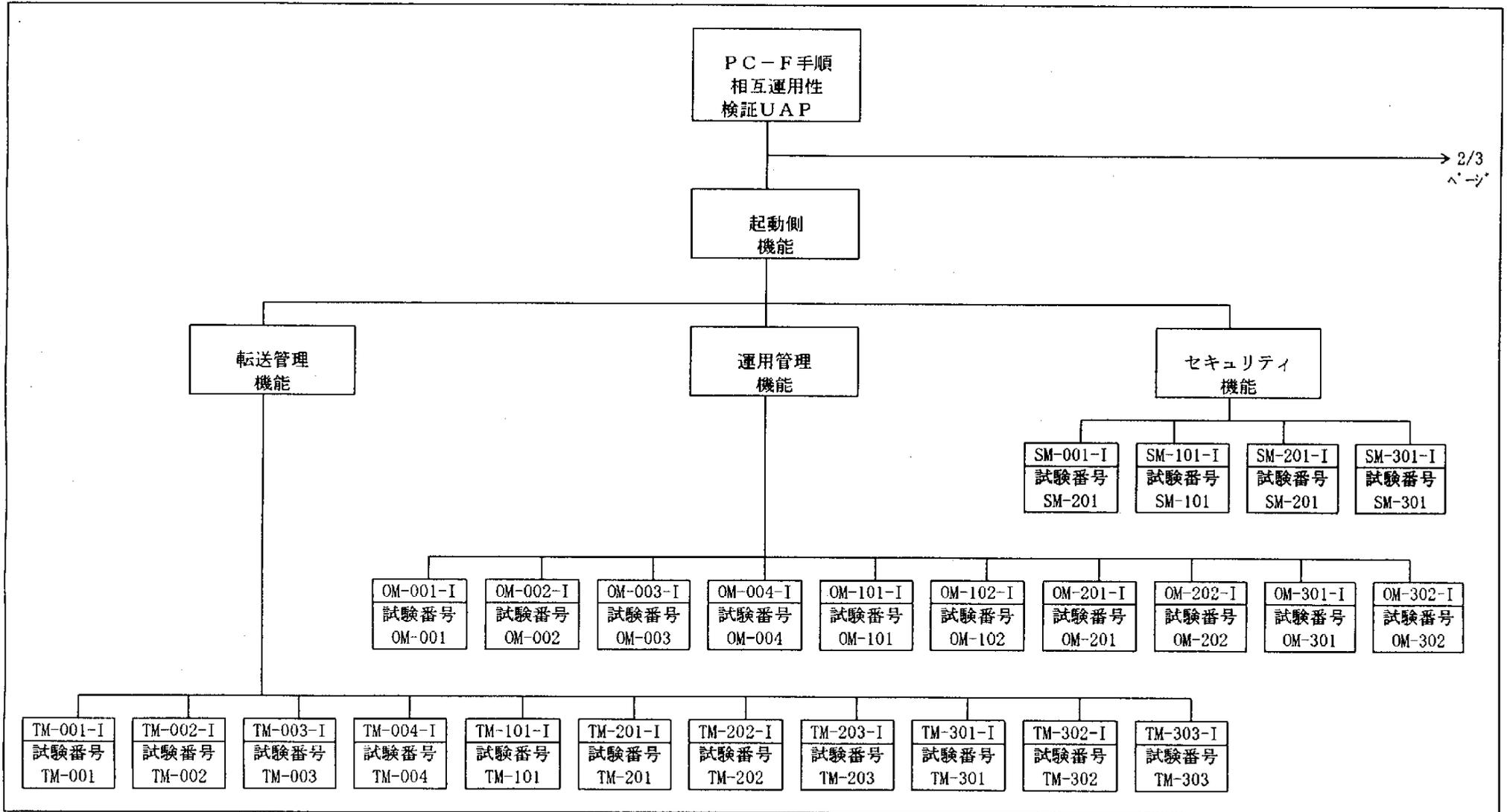
被試験機に対応して設定された環境設定ファイルから試験に必要な情報を入力する。

5. 1 図式目次

F-UAPにおける図式目次を次頁より示す。

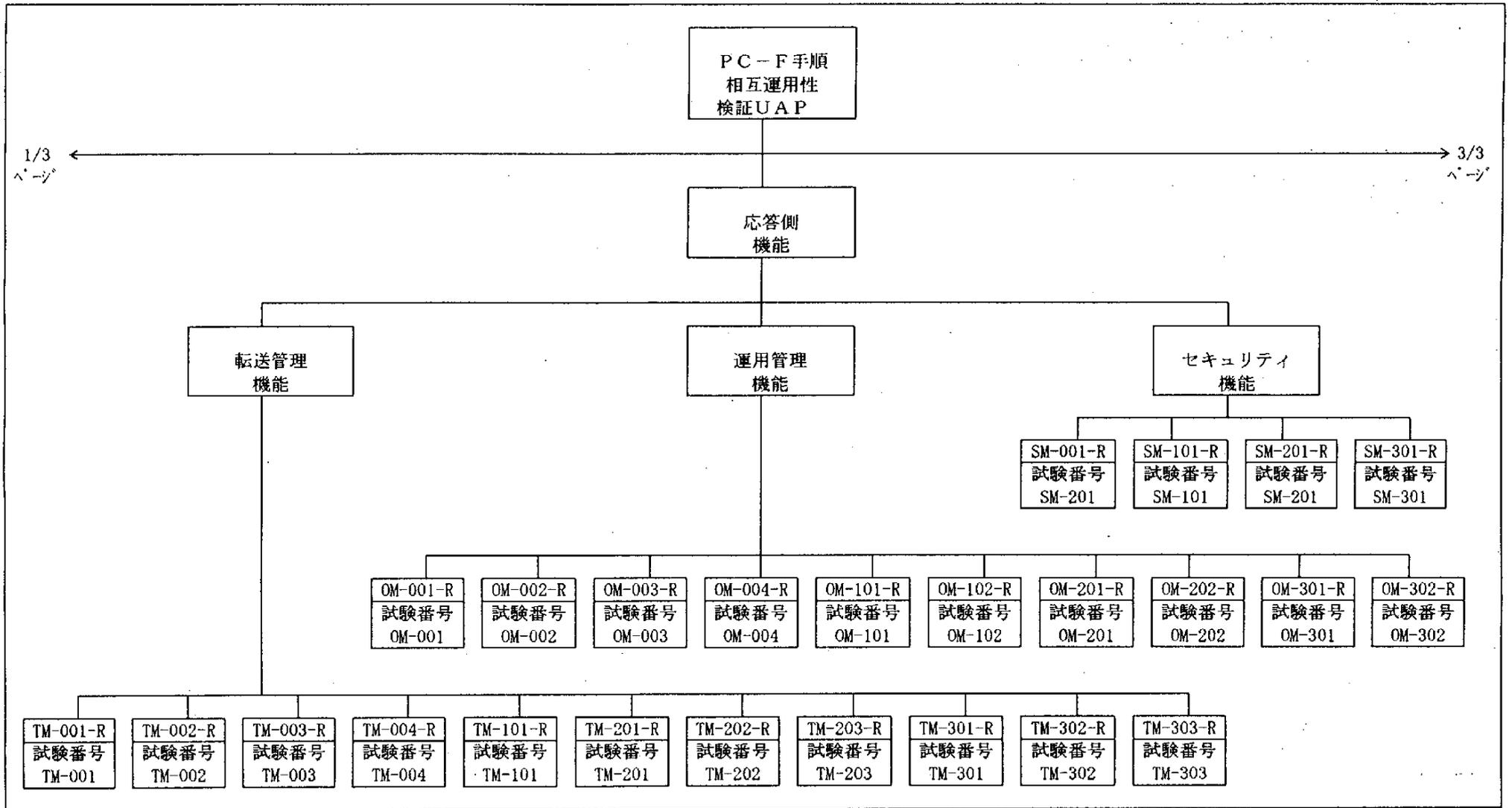
図式目次

システム名	PC-F手順相互運用性検証システム	プログラム名	PC-F手順相互運用性検証UAP	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
-------	-------------------	--------	------------------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----



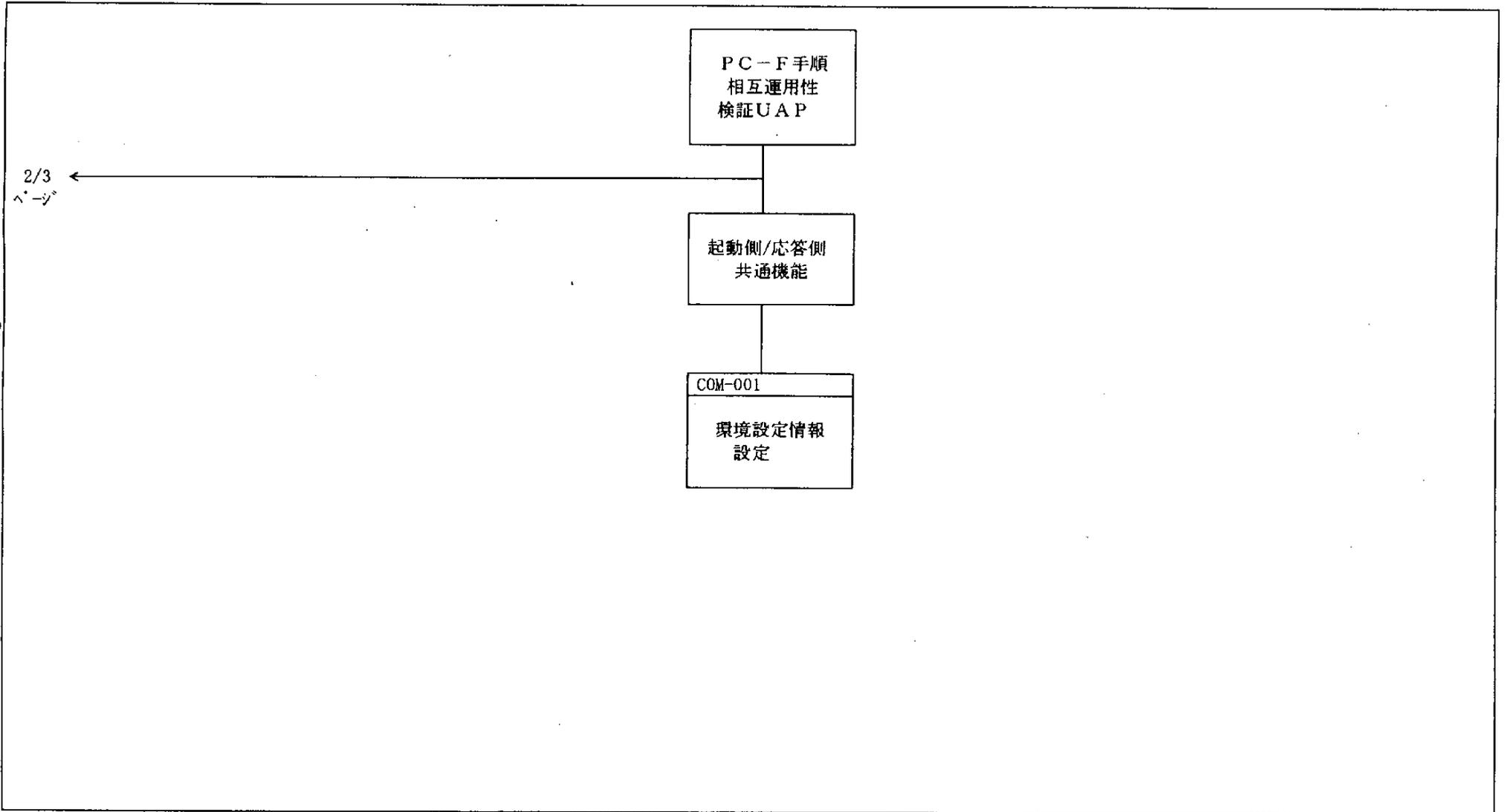
図式目次

システム名	PC-F手順相互運用性検証システム	プログラム名	PC-F手順相互運用性検証UAP	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
-------	-------------------	--------	------------------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----



図式目次

システム名	PC-F手順相互運用性検証システム	プログラム名	PC-F手順相互運用性検証UAP	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
-------	-------------------	--------	------------------	-------------	-------------------	-------------	-------------------	-----	-----



5. 2 試験パラメタ定義

F-UAPにおける試験パラメタ初期値および環境設定ファイルを定義する。

(1) 転送要求情報

転送要求情報(登録方式)等にて要求発行する情報を示す。(起動側システムのみ)

これらの値は、あらかじめ登録(ADD)されているものとし、F-UAP内で更新(UPDATE)することはない。

(2) 相手先情報

あらかじめ登録(ADD)されている値を、F-UAP内で更新(UPDATE)するための相手先情報の初期値を定義する。

(3) ファイル情報

あらかじめ登録(ADD)されている値を、F-UAP内で更新(UPDATE)するためのファイル情報の初期値を定義する。

(4) 環境設定ファイル

試験パラメタ初期値の値を更新するための環境設定ファイルのフォーマットを定義する。

試験スイート別 転送要求情報

試験番号	パラメタ	MODE	FTID	LINKID	FLCODE	CYCLE
		ADD /UPDATE /DELETE /READ	転送 識別子	リンク 識別子	ファイルID	サイクルID
1	TM-101		1	1	F-P.TEST1FID F-P.TEST2FID	
2	OM-001 OM-002 OM-003(*1) OM-004(*1)		2	1	F-P.TEST1FID	0001
3	OM-003(*2) OM-004(*2)		3	1	F-P.TEST1FID	0002
4	TM-201 TM-202 TM-203		4	1	F-P.TEST1FID	****
5	OM-301 OM-302		5	1	F-PROC.STATE	
6	上記以外		6	1	F-P.TEST1FID	

注)* 1 : サイクルIDのカウンタアップの試験で1回目の転送用

* 2 : サイクルIDのカウンタアップの試験で2回目の転送用

試験スイート別 相手先情報定義(起動側)

パラメタ 試験番号	MODE	LINKID	TYPE	RCCODE	HCCODE	IIDCHK	INITID	RIDCHK	RESPID	PWFORM	FSPSWD	STIMER	ETIMER	NOREC	試験内容
	ADD /UPDATE /DELETE /READ	リンク 識別子	I /R	相手先 コード	自己 コード	Y /N	起動側 識別子	Y /N	応答側 識別子	N /S,0	パス ワード	開始 時刻	終了 時刻	Y /N	
1 SM-001	UPDATE	1	I	1	1	Y	SM-ERR*1					00:00	24:00	Y	起動側識別子
2 SM-101	UPDATE	1	I	1	1			Y	SM-101*1			00:00	24:00	Y	応答側識別子
3 SM-201	UPDATE	1	I	1	1					S	SM-ERR*1	00:00	24:00	Y	ファイルストアパスワード
4 上記以外	UPDATE	1	I	1	1							00:00	24:00	Y	通常の試験項目の相手先情報

試験スイート別 相手先情報定義(応答側)

パラメタ 試験番号	MODE	LINKID	TYPE	RCCODE	HCCODE	IIDCHK	INITID	RIDCHK	RESPID	PWFORM	FSPSWD	STIMER	ETIMER	NOREC	試験内容
	ADD /UPDATE /DELETE /READ	リンク 識別子	I /R	相手先 コード	自己 コード	Y /N	起動側 識別子	Y /N	応答側 識別子	N /S,0	パス ワード	開始 時刻	終了 時刻	Y /N	
1 OM-201	UPDATE	1	R	1	1							01:00	02:00	Y	接続許可時間
2 SM-001	UPDATE	1	R	1	1	Y	SM-001*1					00:00	24:00	Y	起動側識別子
3 SM-101	UPDATE	1	R	1	1			Y	SM-ERR*1			00:00	24:00	Y	応答側識別子
4 SM-201	UPDATE	1	R	1	1					S	SM-201*1	00:00	24:00	Y	ファイルストアパスワード
5 上記以外	UPDATE	1	R	1	1							00:00	24:00	Y	通常の試験項目の相手先情報

注) *1 : 環境設定ファイルに値が定義されていた場合には、この値は更新される。

パラメータ	MODE	LINKID	FLCODE	CYCLE	SRMODE	STINF	CONTYPE	DFORMNO	MAXLENG	LENGKBN	PACTREAD	PACTREPL
試験番号	ADD /UPDATE /DELETE /READ	リンク 識別子	ファイルID	サイクルID	SEND /RCV	実ファイル 情報	FTAM3 /INTAP1 /JOU1	データフォーマ ット識別子	最大 レコード長	V /F,N	Y /N	Y /N
1	TM-001	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	FTAM3. RCV	FTAM3			Y	Y
2	TM-002	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	FTAM3. SND	FTAM3			Y	Y
3	TM-003	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	INTAP1. RCV	INTAP1			Y	Y
4	TM-004	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	INTAP1. SND	INTAP1			Y	Y
5	OM-101 OM-201 OM-202	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	RECVDAT1				Y	Y
6	OM-102 SM-001 SM-101 SM-201	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDDAT1				Y	Y
7	SM-301	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDDAT1				Y	Y
8	TM-301 TM-302	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	RECVZERO				Y	Y
9	TM-303	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDZERO				Y	Y
10	TM-201 TM-202 TM-203	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	RCV RCV	RECVDAT1.001 RECVDAT1.002				Y Y	Y Y
11	OM-001	UPDATE	1	F-P. TEST1FID	0001	RCV	RECVDAT1.001				Y	Y
12	OM-002	UPDATE	1	F-P. TEST1FID	0001	SEND	SENDDAT1.001				Y	Y
13	OM-003	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	RCV RCV	RECVDAT1.001 RECVDAT1.002				Y Y	Y Y
14	OM-004	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	SEND SEND	SENDDAT1.001 SENDDAT1.002				Y Y	Y Y
15	TM-101	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST2FID		SEND SEND	SENDDAT1 SENDDAT2				Y Y	Y Y
16	OM-301	UPDATE	1	F-PROC. STATE		SEND ↓ RCV	F-FPROC. SND ↓ F-FPROC. RCV	*1	80	F	Y	Y
17	OM-302	UPDATE	1	F-PROC. STATE		SEND	F-FPROC. SND	*1	80	F	Y	Y

注) *1 : ドキュメント型にJ OUG-1は指定不可

パラメータ	PWDRFORM	PWDREAD	PWDWFORM	PWDREPL	STIMEF	ETIMEF	NOREC	FLREP	DPCHK	
試験番号	N /S, 0	ファイル 読出アクセス パスワード	N /S, 0	ファイル 置換アクセス パスワード	開始 時刻	終了 時刻	Y /N	N /Y	Y /N	
1	TM-001				00:00	24:00	Y	N	Y	
2	TM-002				00:00	24:00	Y	N	Y	
3	TM-003				00:00	24:00	Y	N	Y	
4	TM-004				00:00	24:00	Y	N	Y	
5	OM-101				00:00	24:00	Y	N	Y	
	OM-201									
	OM-202									
6	OM-102				00:00	24:00	Y	N	Y	
	SM-001									
	SM-101									
	SM-201									
7	SM-301	N		S	SM-ERR *2	00:00	24:00	Y	N	Y
8	TM-301				00:00	24:00	Y	N	Y	
	TM-302									
9	TM-303				00:00	24:00	N	N	Y	
10	TM-201				00:00	24:00	Y	Y	Y	
	TM-202				00:00	24:00	Y	Y	Y	
	TM-203									
11	OM-001				00:00	24:00	Y	N	Y	
12	OM-002				00:00	24:00	Y	N	Y	
13	OM-003				00:00	24:00	Y	N	Y	
					00:00	24:00	Y	N	Y	
14	OM-004				00:00	24:00	Y	N	Y	
					00:00	24:00	Y	N	Y	
15	TM-101				00:00	24:00	Y	N	Y	
					00:00	24:00	Y	N	Y	
16	OM-301				00:00	24:00	Y	N	N	
17	OM-302				00:00	24:00	Y	N	N	

注) * 2 : 環境設定ファイルに値が定義されていた場合には、この値は更新される。

パラメータ	MODE	LINKID	FLCODE	CYCLE	SRMODE	STINF	CONTYPE	DFORMNO	MAXLENG	LENGKBN	PACTREAD	PACTREPL
試験番号	ADD /UPDATE /DELETE /READ	リンク 識別子	ファイルID	サイクルID	SEND /RCV	実ファイル 情報	FTAM3 /INTAP1 /JOUG1	データフォーマ ット識別子	最大 レコード長	V /F,N	Y /N	Y /N
1	TM-001	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	FTAM3. SND	FTAM3			Y	Y
2	TM-002	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	FTAM3. RCV	FTAM3			Y	Y
3	TM-003	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	INTAP1. SND	INTAP1			Y	Y
4	TM-004	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	INTAP1. RCV	INTAP1			Y	Y
5	OM-101 OM-201	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDDAT1				Y	Y
6	OM-202	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDDAT1				Y	Y
7	OM-102 SM-001 SM-101 SM-201	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	RECVDAT1				Y	Y
8	SM-301	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	RECVDAT1				Y	Y
9	TM-301	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDZERO				Y	Y
10	TM-302	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		SEND	SENDZERO				Y	Y
11	TM-303	UPDATE	1	F-P. TEST1FID		RCV	RCVZERO				Y	Y
12	TM-201 TM-202	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	SEND SEND	SENDDAT1. 001 SENDDAT1. 002				Y Y	Y Y
13	OM-001	UPDATE	1	F-P. TEST1FID	0001	SEND	SENDDAT1. 001				Y	Y
14	OM-002	UPDATE	1	F-P. TEST1FID	0001	RCV	RECVDAT1. 001				Y	Y
15	TM-203 OM-003	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	SEND SEND	SENDDAT1. 001 SENDDAT1. 002				Y Y	Y Y
16	OM-004	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST1FID	0001 0002	RCV RCV	RECVDAT1. 001 RECVDAT1. 002				Y Y	Y Y
17	TM-101	UPDATE	1	F-P. TEST1FID F-P. TEST2FID		RCV RCV	RECVDAT1 RECVDAT2				Y Y	Y Y
18	OM-301	UPDATE	1	F-PROC. STATE		RCV ↓ SEND	F-PROC. RCV ↓ F-PROC. SND	*1	80	F	Y	Y
19	OM-302	UPDATE	1	F-PROC. STATE		RCV	F-PROC. RCV	*1	80	F	Y	Y

注) *1 : ドキュメント型に JOUG-1 は指定不可

パラメータ	PWDRFORM	PWDREAD	PWDWFORM	PWDREPL	STIMEF	ETIMEF	NOREC	FLREP	DPCHK	
試験番号	N /S, 0	ファイル 読出アクセス パスワード	N /S, 0	ファイル 置換アクセス パスワード	開始 時刻	終了 時刻	Y /N	N /Y	Y /N	
1	TM-001				00:00	24:00	Y	N	Y	
2	TM-002				00:00	24:00	Y	N	Y	
3	TM-003				00:00	24:00	Y	N	Y	
4	TM-004				00:00	24:00	Y	N	Y	
5	OM-101 OM-201				00:00	24:00	Y	N	Y	
6	OM-202				01:00 *2	02:00 *2	Y	N	Y	
7	OM-102 SM-001 SM-101 SM-201				00:00	24:00	Y	N	Y	
8	SM-301	N		S	SM-301 *2	00:00	24:00	Y	N	Y
9	TM-301				00:00	24:00	Y	N	Y	
10	TM-302				00:00	24:00	N	N	Y	
11	TM-303				00:00	24:00	Y	N	Y	
12	TM-201 TM-202				00:00 00:00	24:00 24:00	Y Y	Y Y	Y Y	
13	OM-001				00:00	24:00	Y	N	Y	
14	OM-002				00:00	24:00	Y	N	Y	
15	TM-203 OM-003				00:00 00:00	24:00 24:00	Y Y	N N	Y Y	
16	OM-004				00:00 00:00	24:00 24:00	Y Y	N N	Y Y	
17	TM-101				00:00 00:00	24:00 24:00	Y Y	N N	Y Y	
18	OM-301				00:00	24:00	Y	N	N	
19	OM-302				00:00	24:00	Y	N	N	

注) * 2 : 環境設定ファイルに値が定義されていた場合には、この値は更新される。

環境設定ファイルの仕様

環境設定ファイルは、Windows の初期化ファイルとして実現する。

(1) Windows 初期化ファイルの形式

Windows の初期化ファイルは、セクションと呼ばれる論理的なグループに分けられる。各セクションは次のような形式となっている。

```
[section]  
keyname=value
```

<i>[section]</i>	セクションの名前。名前を囲む “[]” は必ず付けなければならない。また、“[” は、行の先頭に配置しなければならない
<i>keyname</i>	エントリの名前。任意の文字と数字の組み合わせによって構成される。大半の <i>keyname</i> の直後には、“=” を付けなければならない。
<i>value</i>	エントリの値。値は、エントリの性質によって整数、文字列、“” で囲まれた文字列のどれかになる

次頁に環境設定ファイルの仕様を示す。

F 手順相互運用性検証システム Windows 初期化ファイルの仕様

ファイル名称	環境設定ファイル (1 / 1)			
初期化ファイル名	PC-FPROC.INI			
項目名	[セクション名]	エントリ名	属性(桁)	値の設定方法(例)
	[Environment]			[Environment]
1. 起動側識別子 (起動側) (応答側) (SM-001 起動側)		INITID1_I INITID1_R INITID2_I	X(32)	INITID1_I=INITI
2. 応答側識別子 (起動側) (応答側) (SM-101 応答側)		RESPID1_I RESPID1_R RESPID2_R	X(32)	RESPID1_I=RESPI
3. ファイルストア パスワード (起動側) (応答側) (SM-201 起動側)		FSPSWD1_I FSPSWD1_R FSPSWD2_I	X(8)	FSPSWD1_I=PSWD1
4. 接続開始時間 (OM-201 応答側)		STIMER_R	X(5)	STIMER_R=01:00
5. 接続終了時間 (OM-201 応答側)		ETIMER_R	X(5)	ETIMER_R=02:00
6. ドキュメント型		CONTYPE	X(6)	CONTYPE=INTAPI
7. データフォーマット識別子 (1) オブジェクト識別子 (2) テキスト本体		DFORMNOKEY DFORMNOGTX	X(309) X(127)	DFORMNOKEY =2.6.7.11.0 DFORMNOGTX =id-bp-edifact-ISO646
8. 最大レコード長		MAXLENG	9(5)	MAXLENG=32767
9. 最大レコード長形式		LENGKBN	X(1)	LENGKBN=V
10. ファイル読出しアクセス パスワード (起動側) (応答側)		PWDREAD1_I PWDREAD1_R	X(8)	PWDREAD1_I=READ1
11. ファイル置換アクセス パスワード (起動側) (応答側) (SM-301 起動側)		PWDREPL1_I PWDREPL1_R PWDREPL2_I	X(8)	PWDREPL1_I=REPL1
12. 転送開始時間 (OM-202 応答側)		STIMEF_R	X(5)	STIMEF_R=01:00
13. 転送終了時間 (OM-202 応答側)		ETIMEF_R	X(5)	ETIMEF_R=02:00
14. 実ファイルディレクトリ (起動側) (応答側)		STINF_DIR_I STINF_DIR_R	X(64)	STINF_DIR_I=C:\PC-FPROC

5.3 IPOダイアグラム(モジュール詳細)

F-UAPにおけるIPOダイアグラムを以下に示す。

5.3.1 起動側処理

F-UAPにおける起動側処理のIPOダイアグラムを次頁より示す。

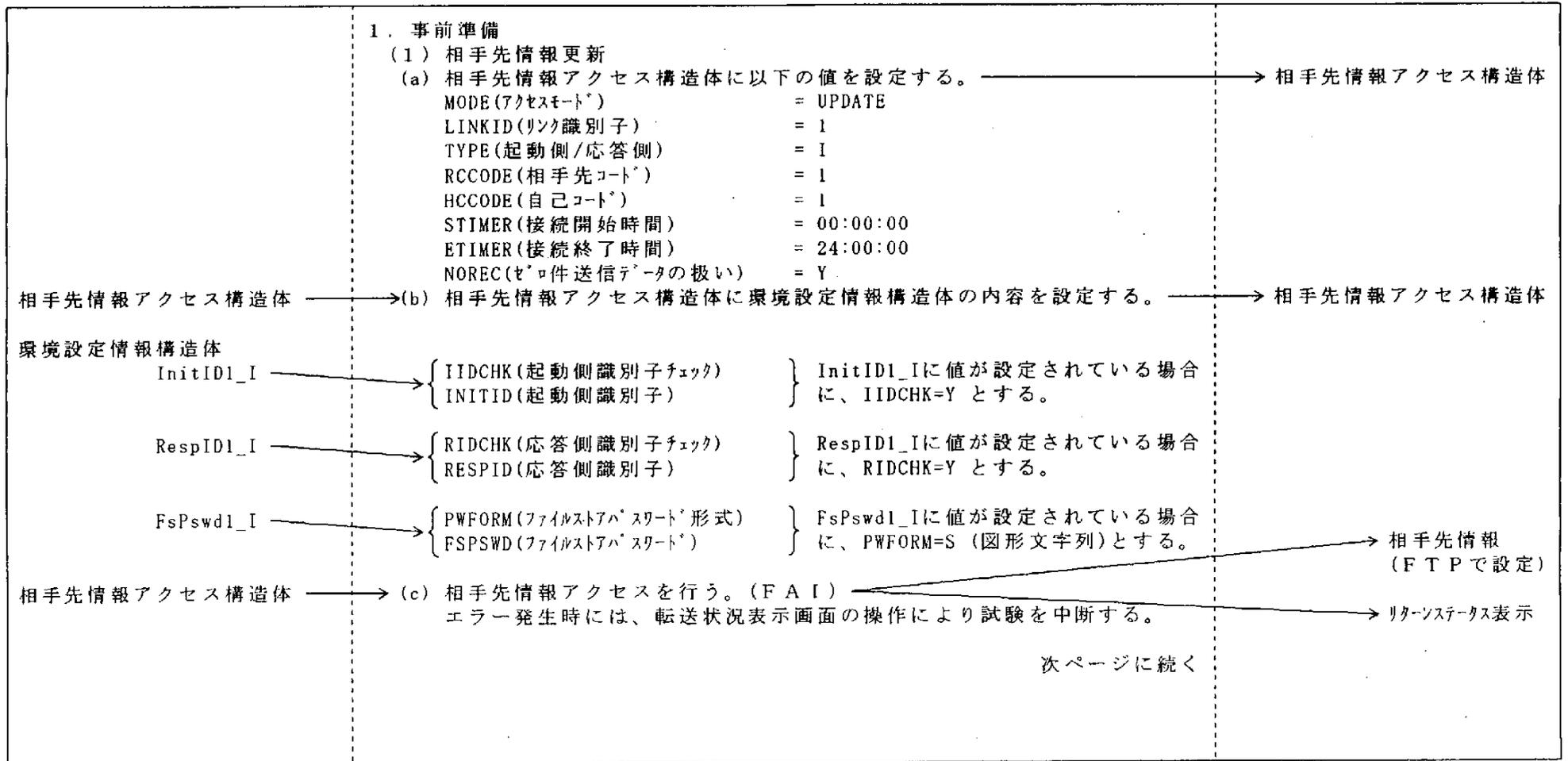
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



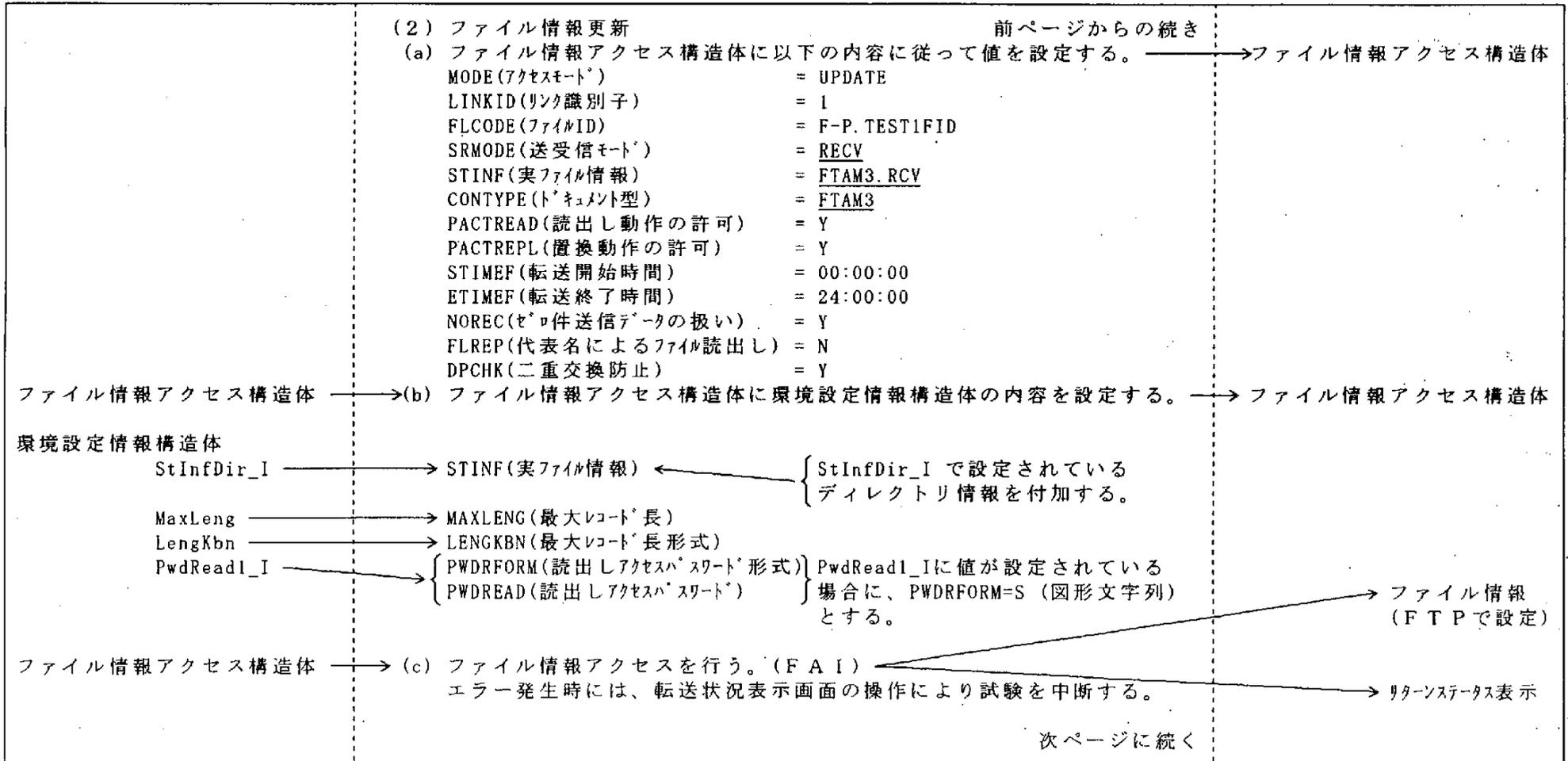
I P Oダイアグラム (モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



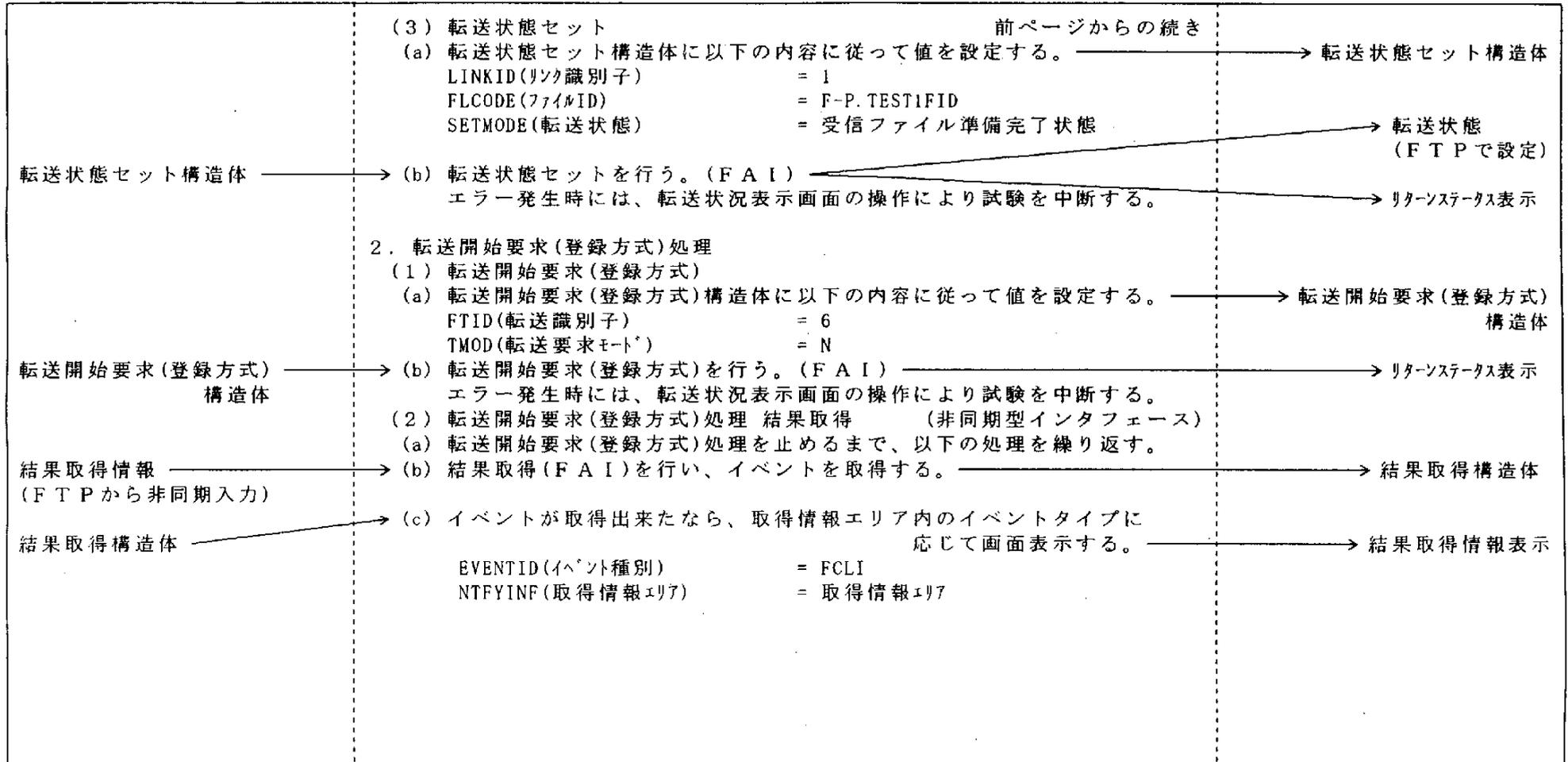
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-001-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



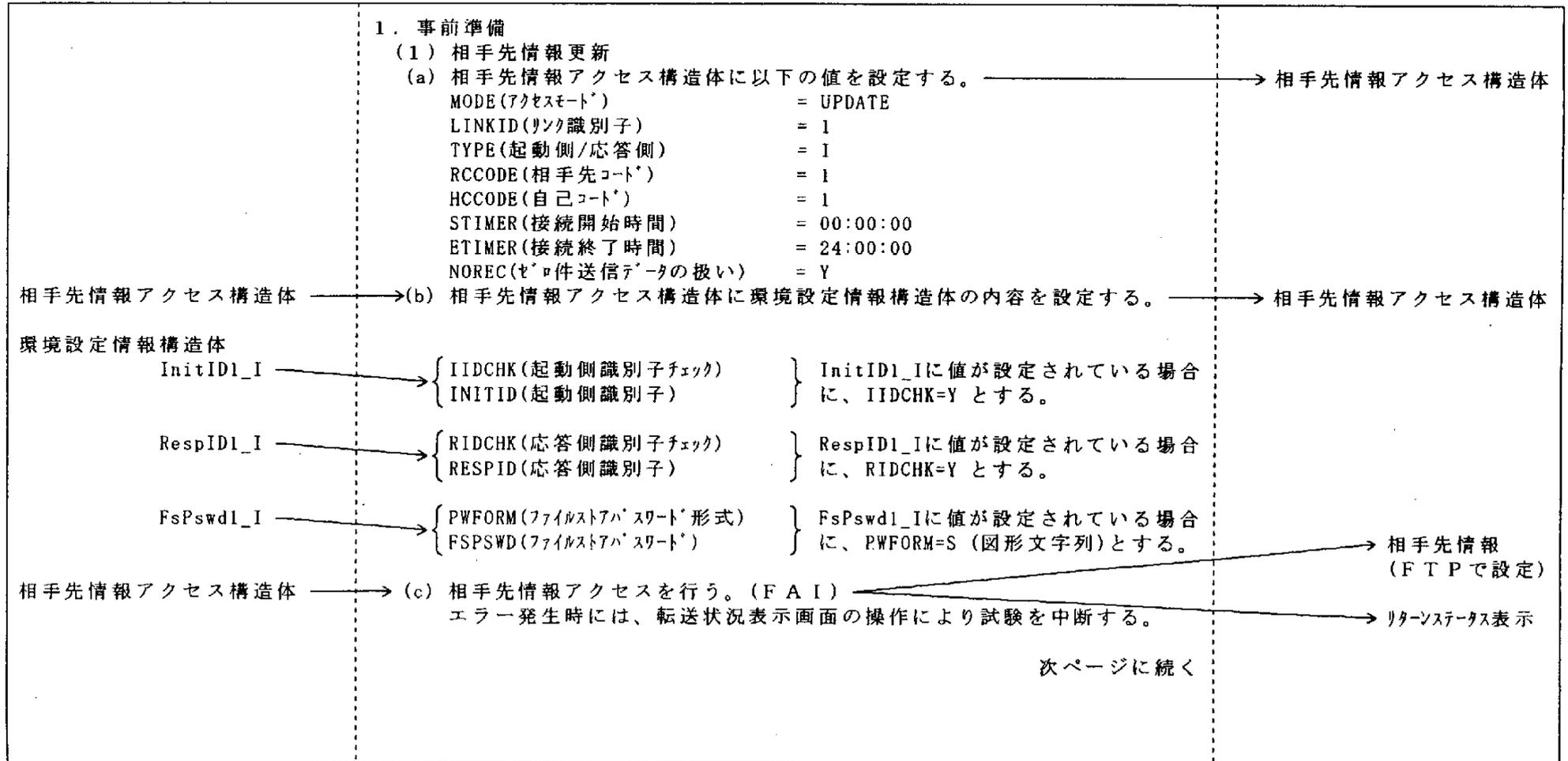
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-002-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



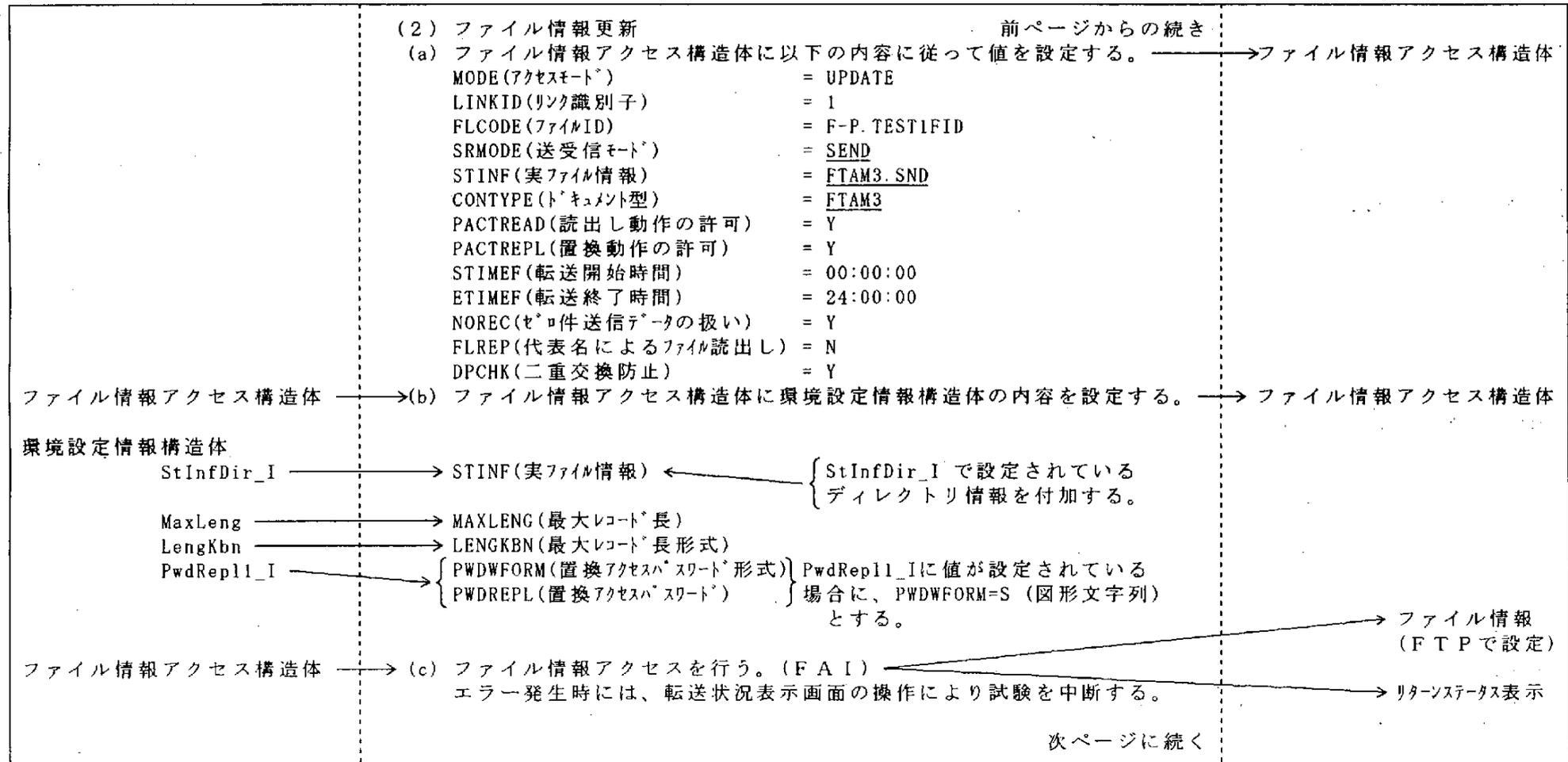
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-002-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	F T A M - 3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



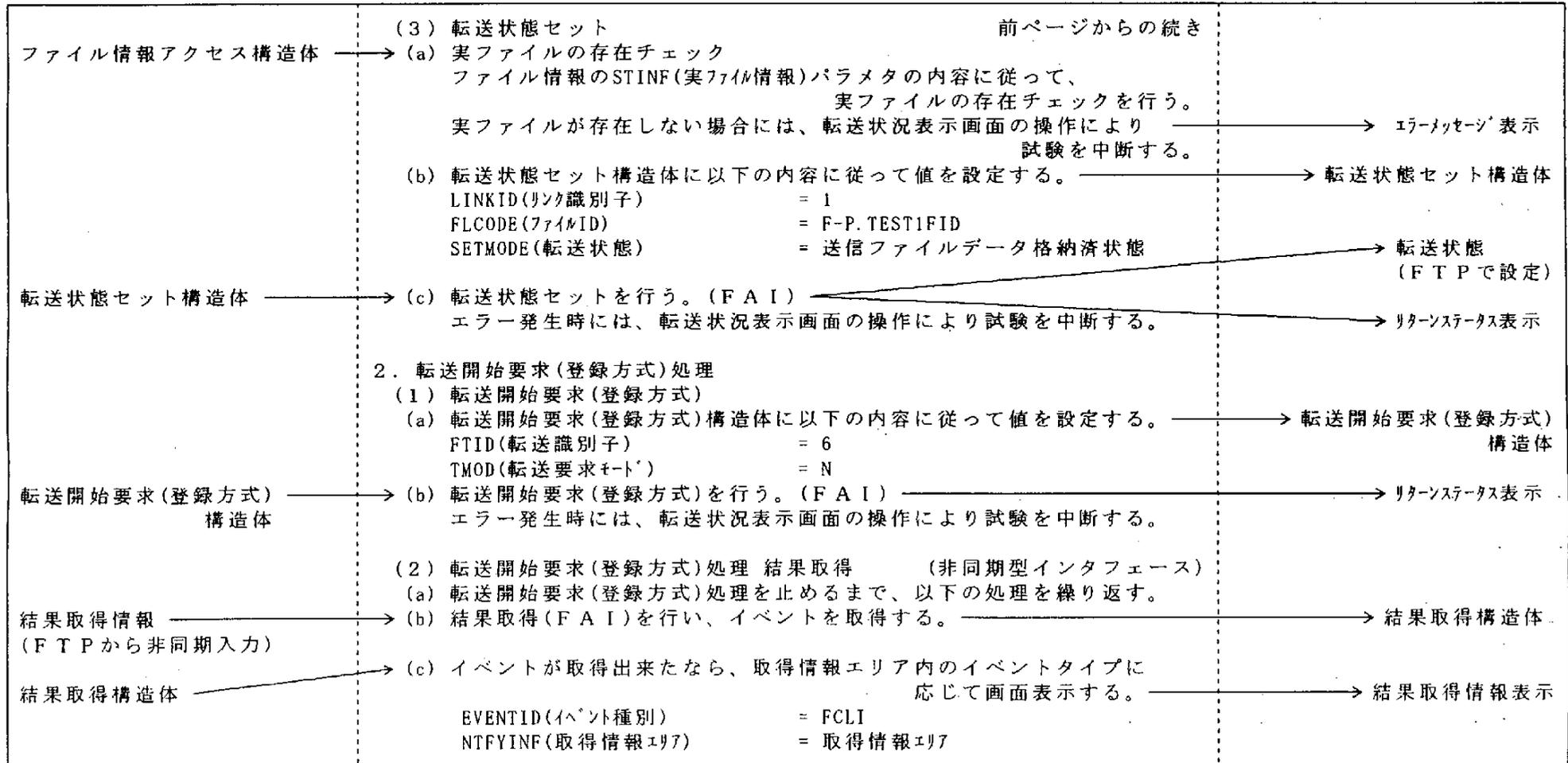
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-002-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



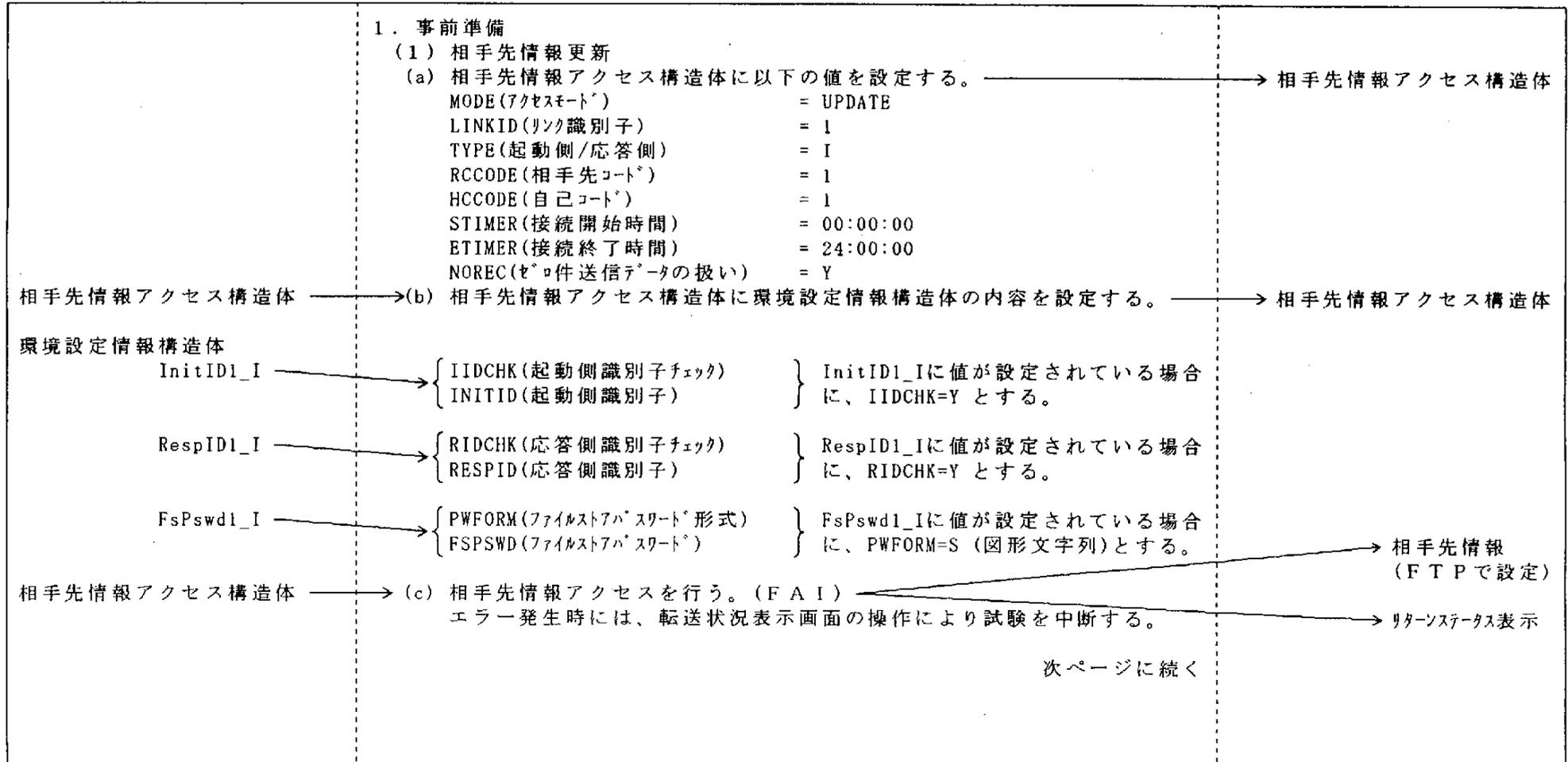
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 受信	モジュール ID	TM-003-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	I N T A P - 1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



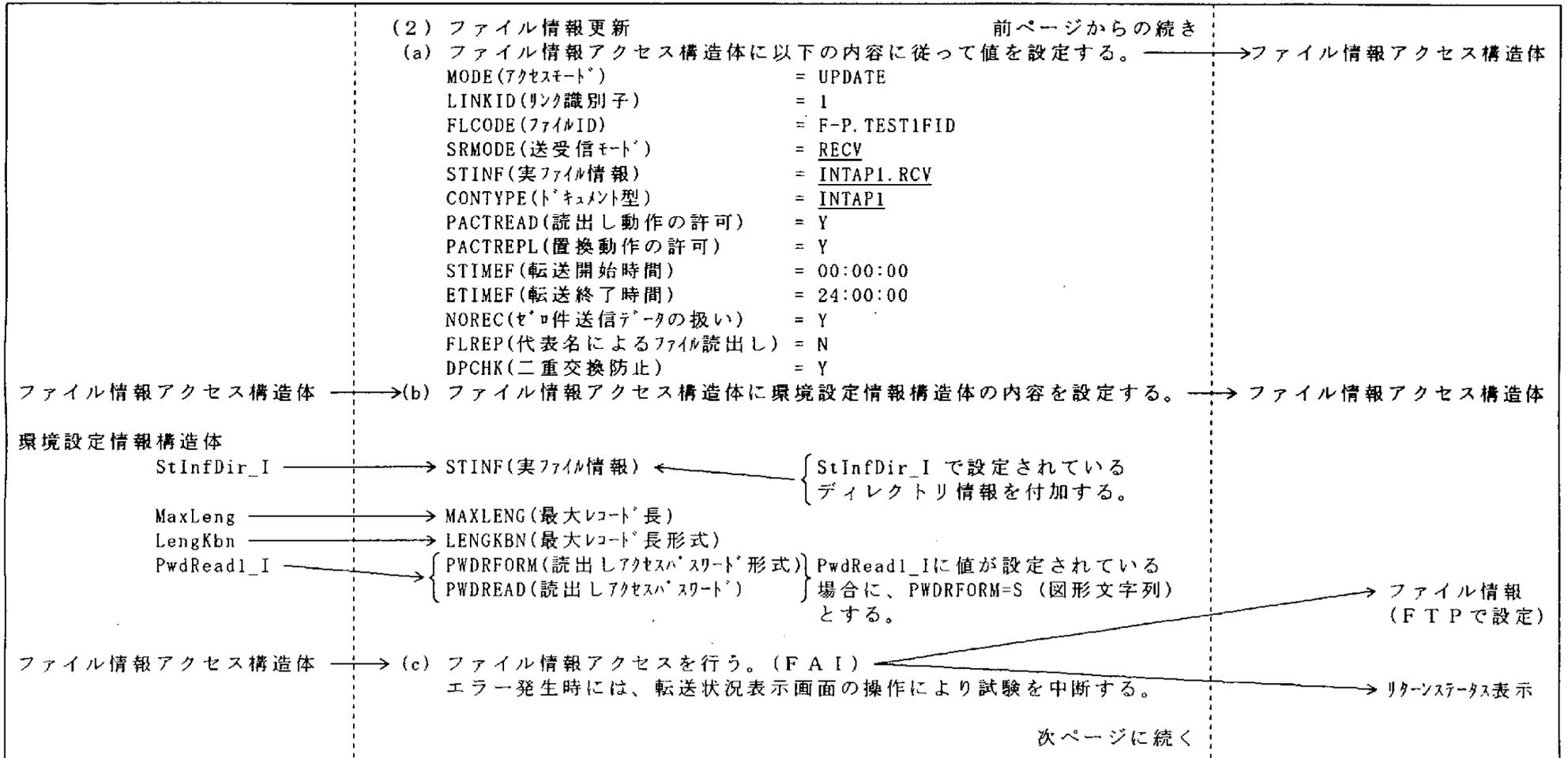
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 受信	モジュール ID	TM-003-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



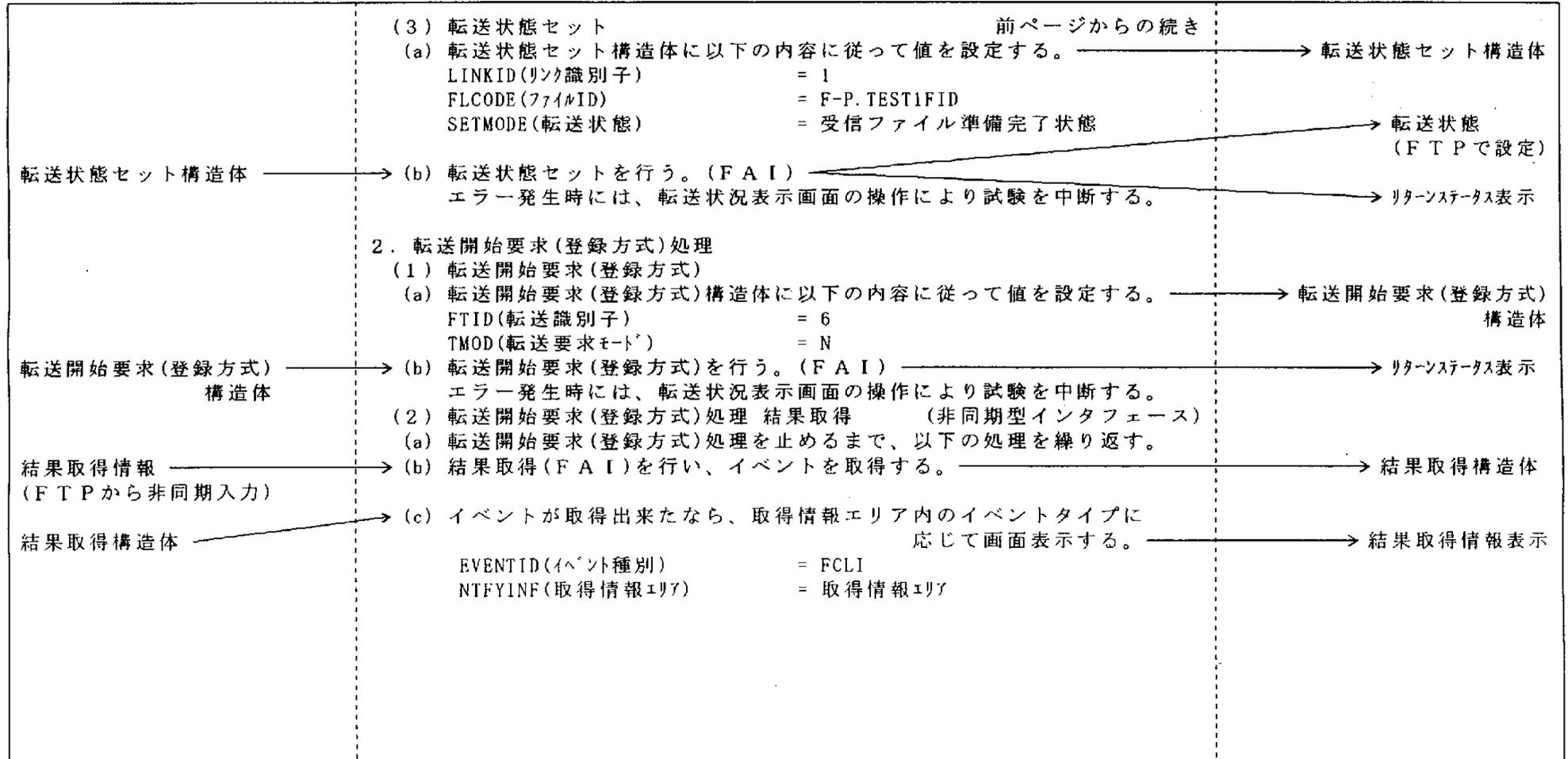
POダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 受信	モジュール ID	TM-003-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



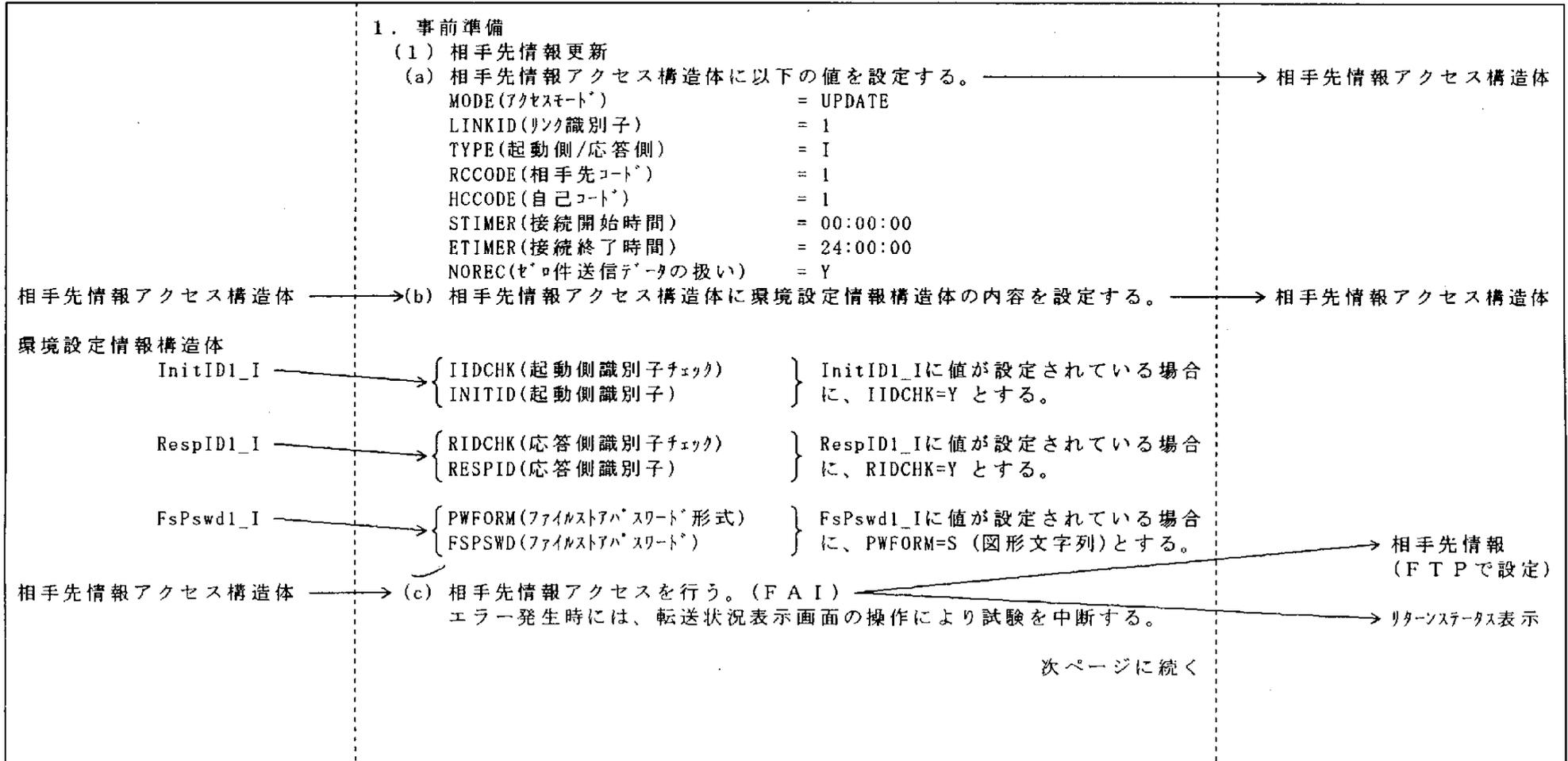
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-004-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



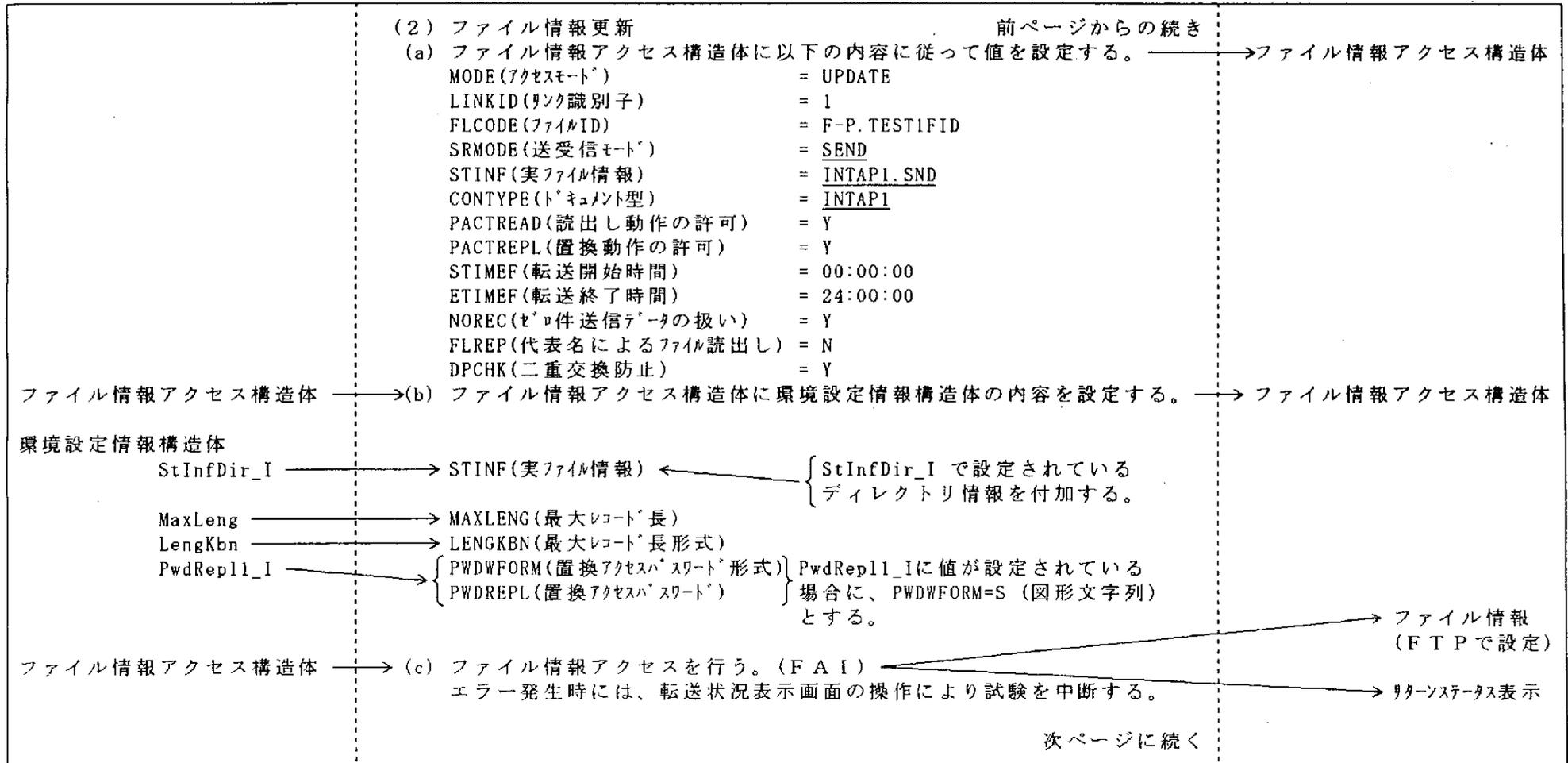
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-004-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



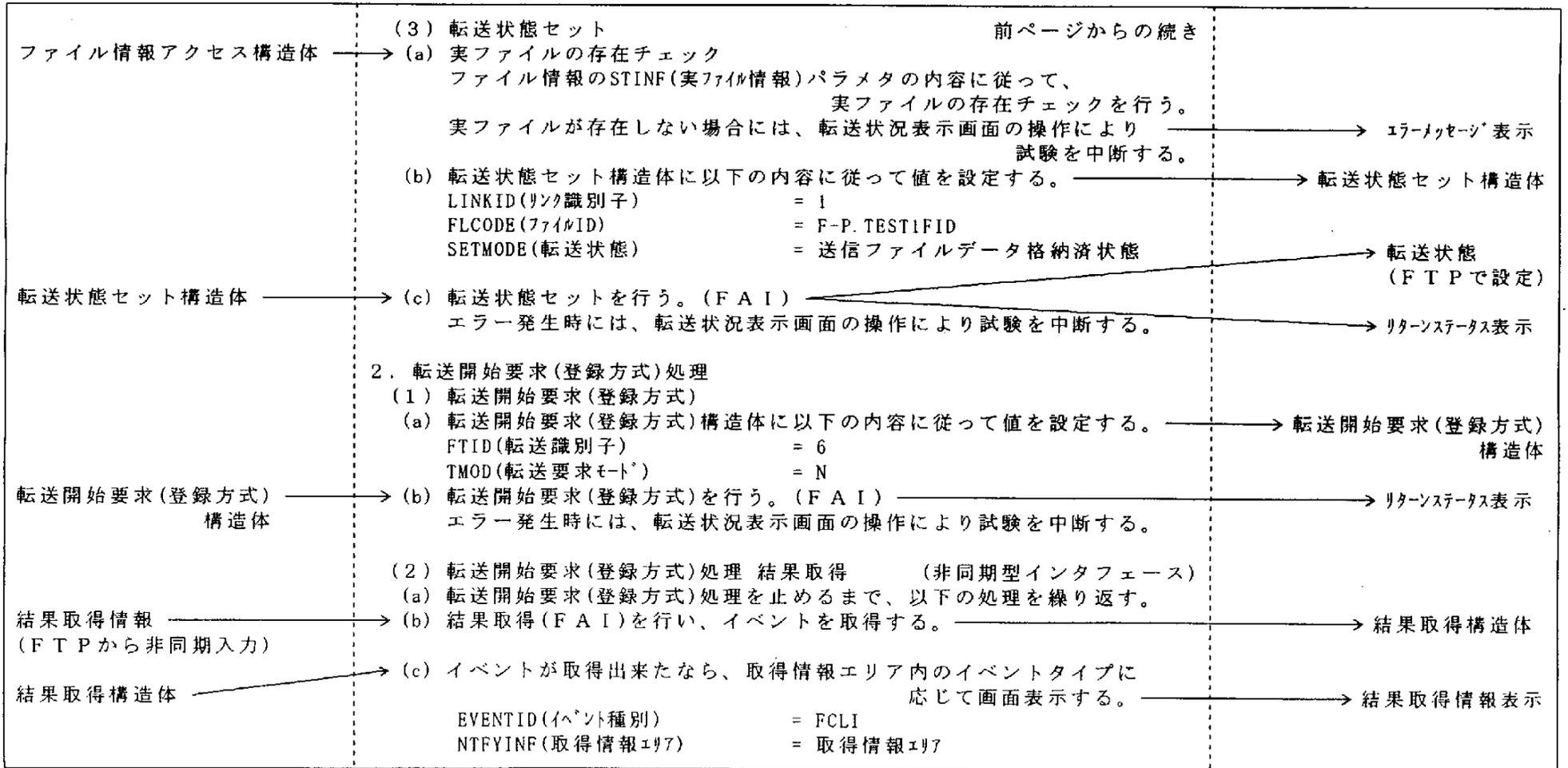
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-004-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



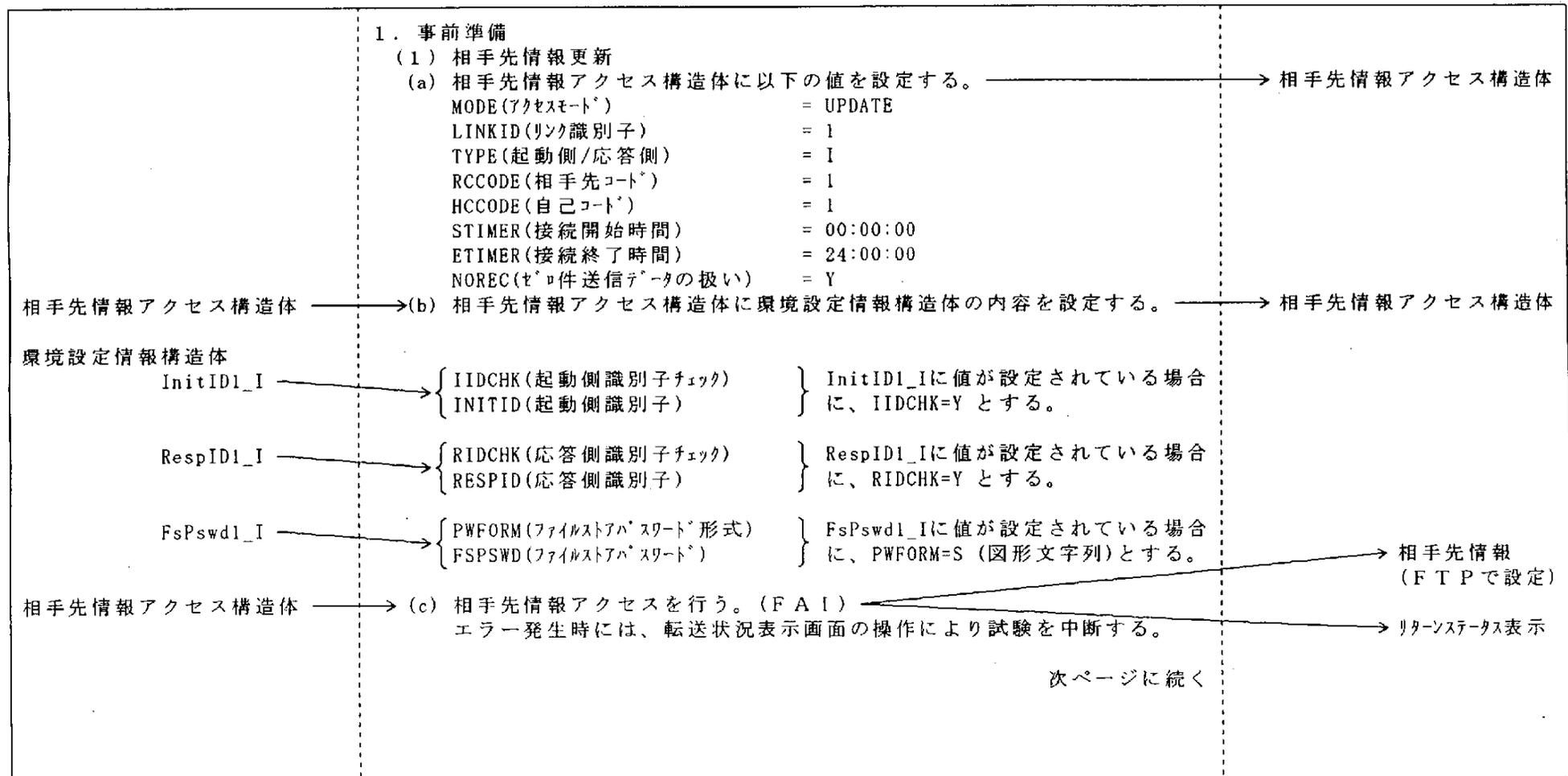
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 起動側 マルチファイル転送	モジュールID	TM-101-1	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



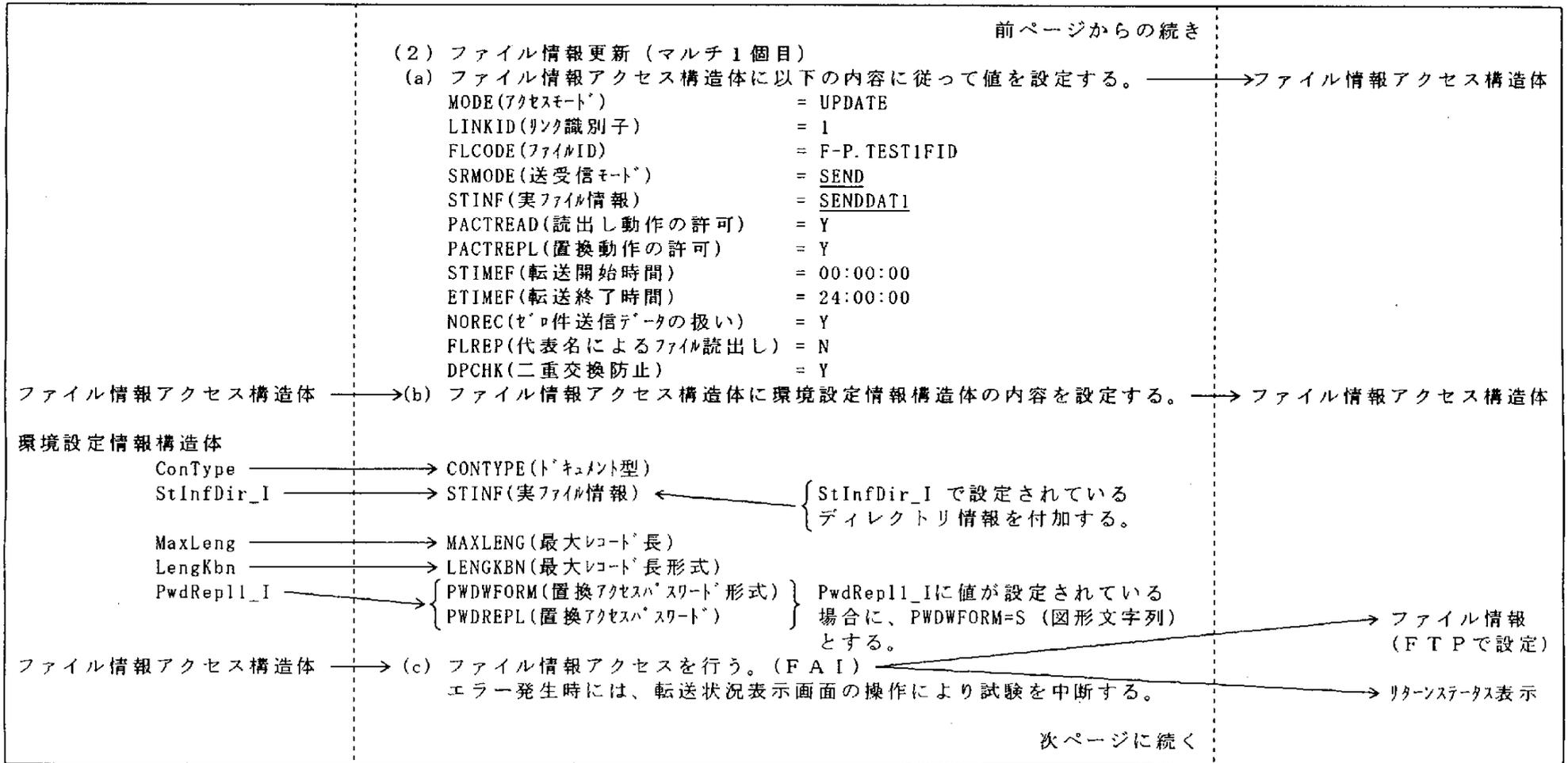
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



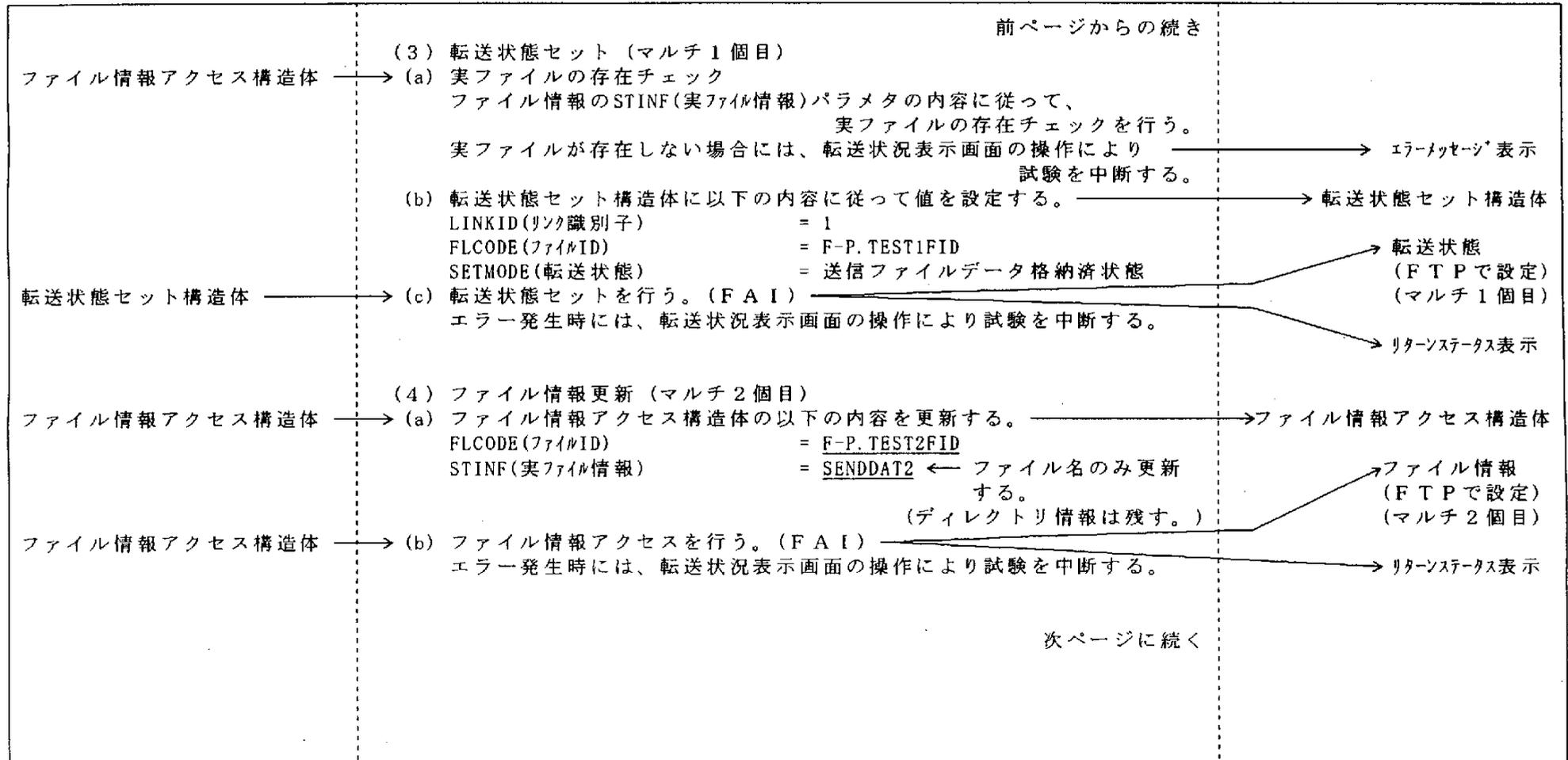
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



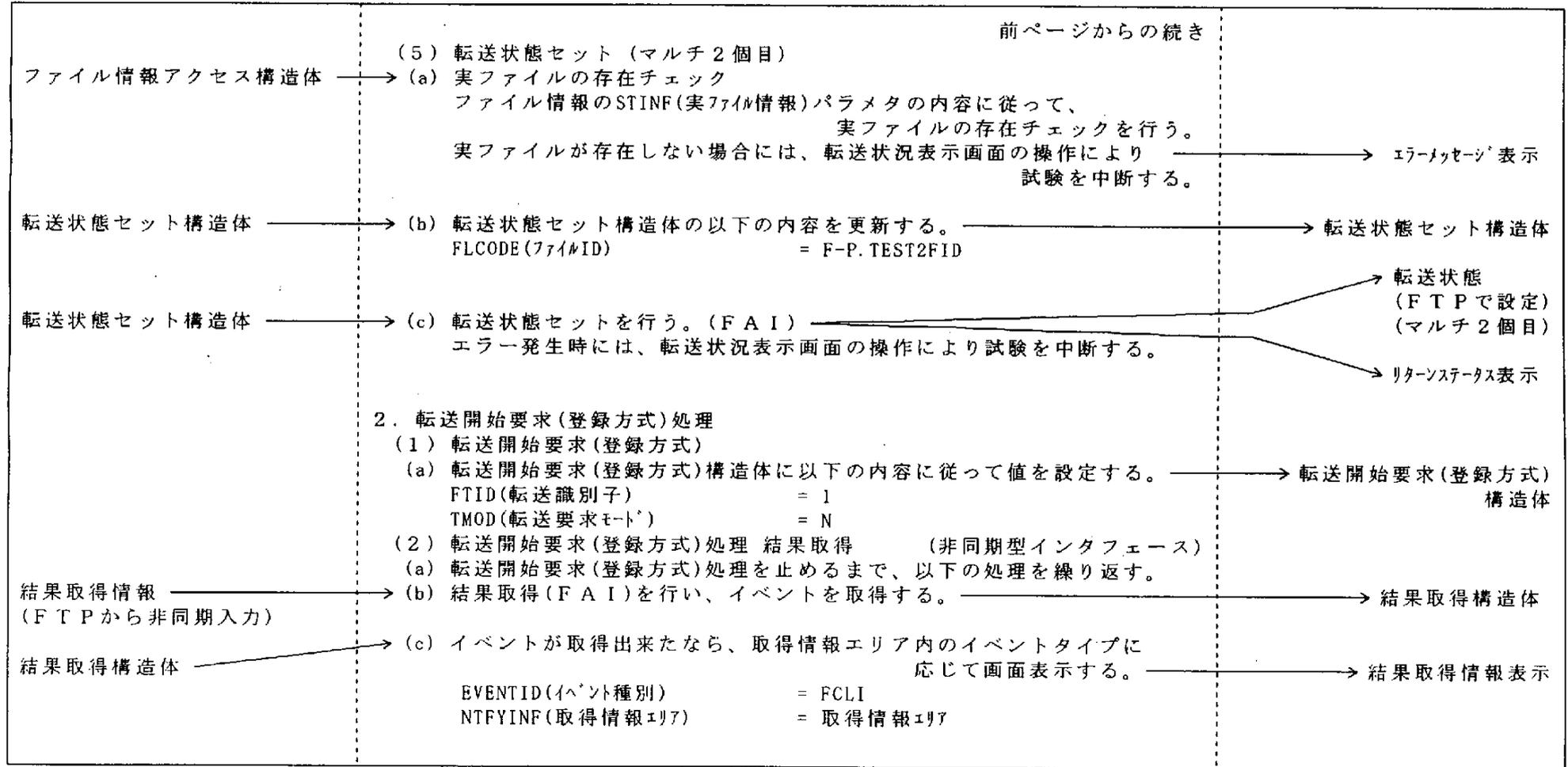
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



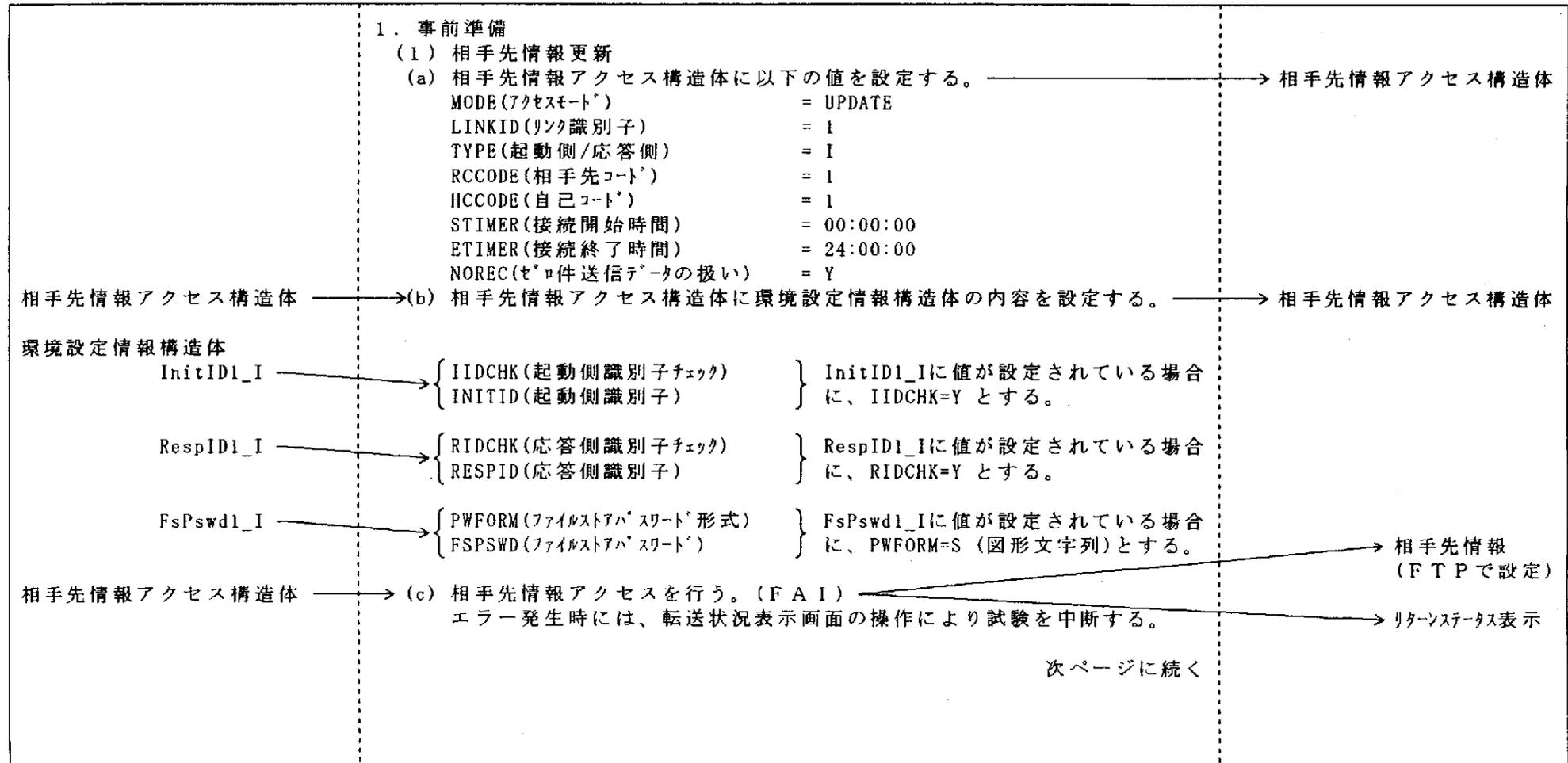
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



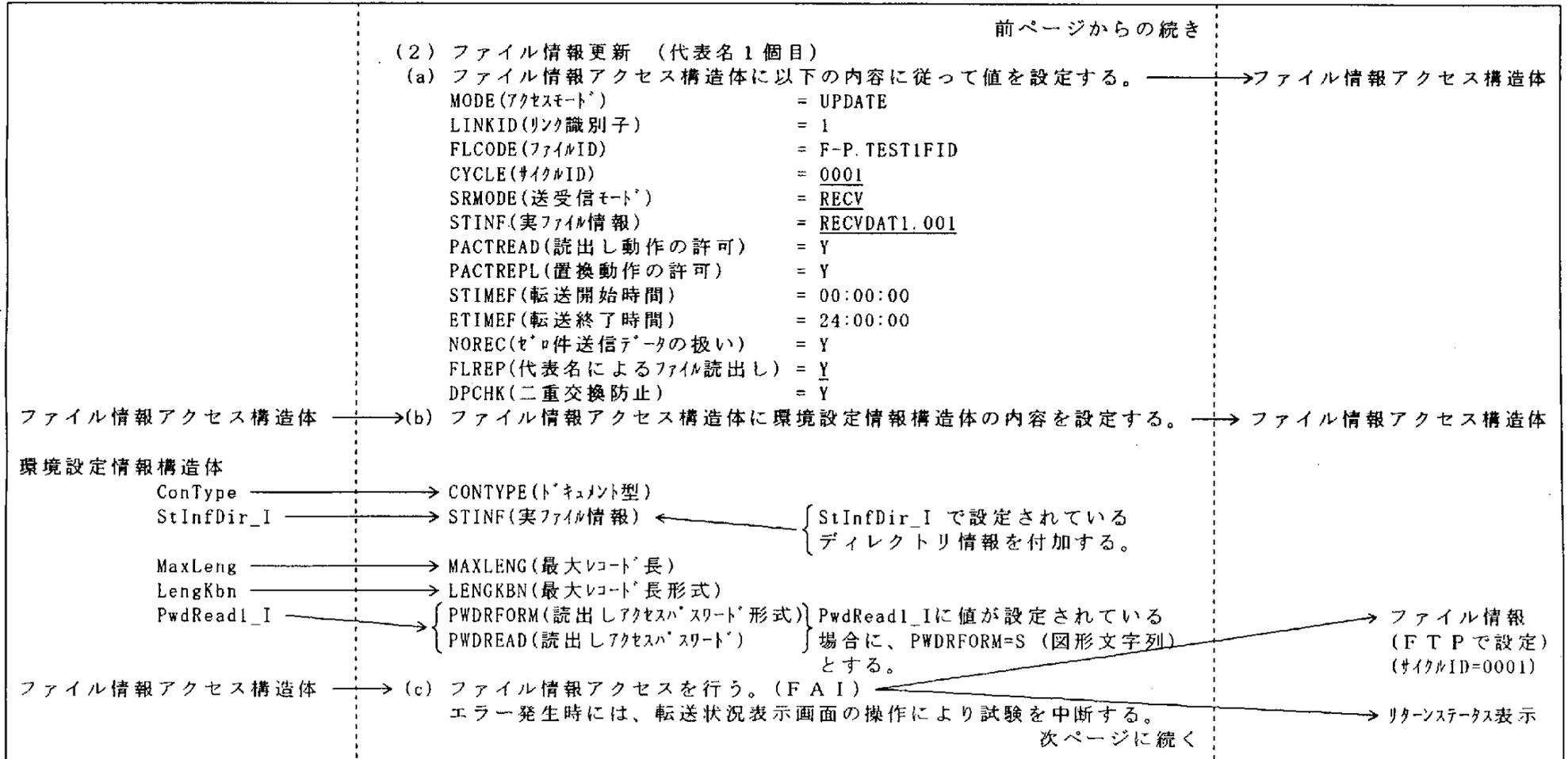
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



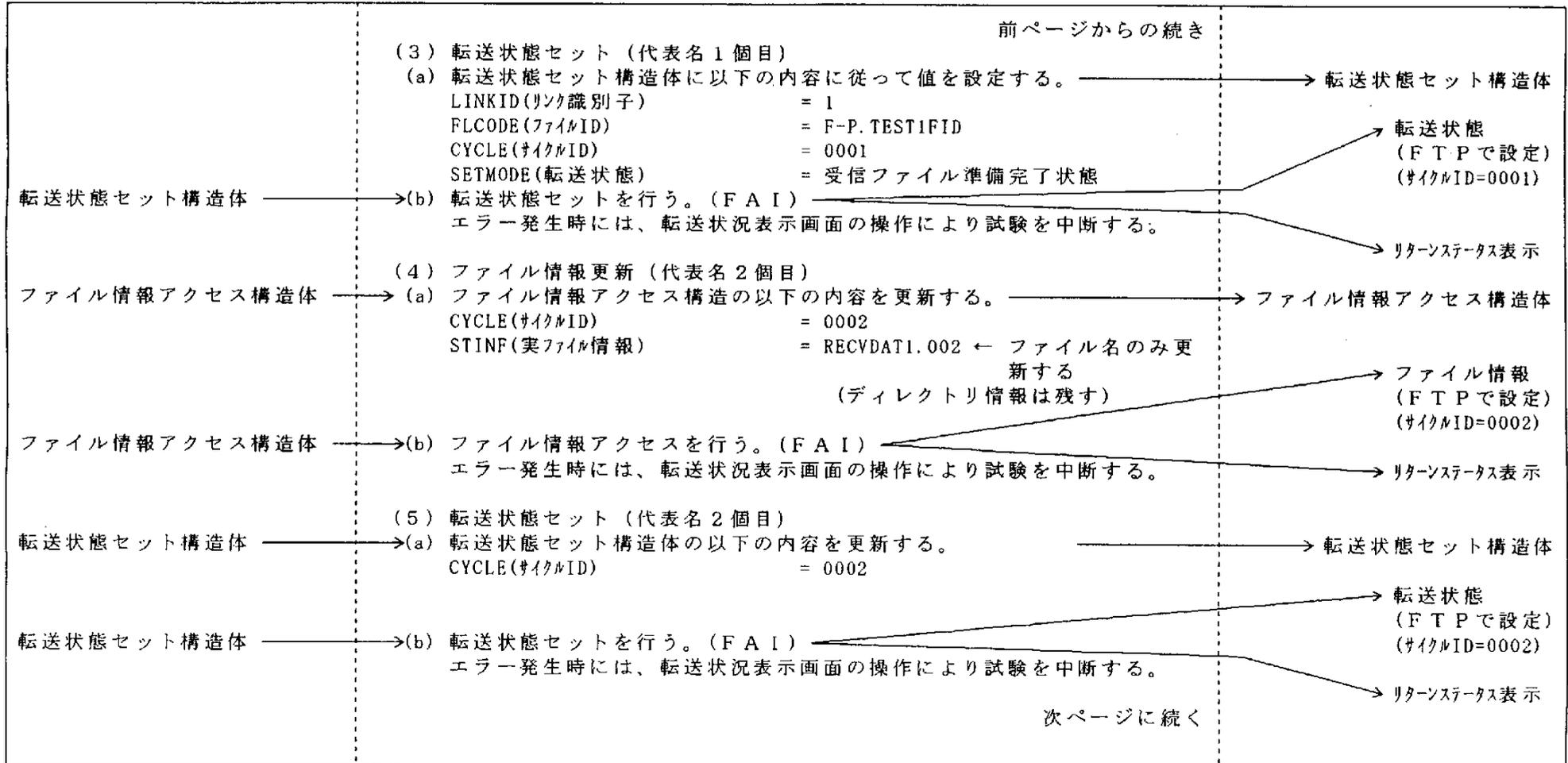
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-1	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



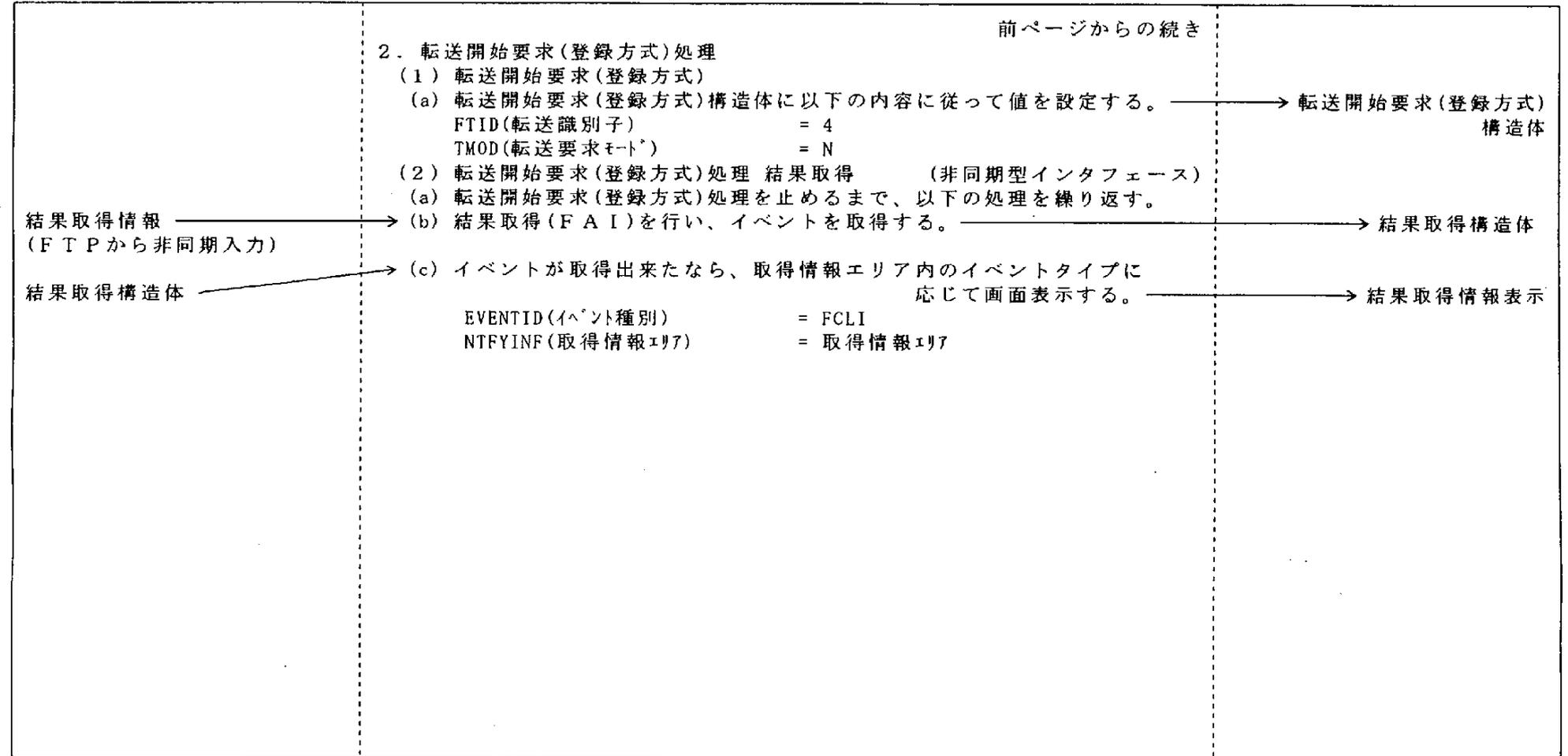
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名 正常終了	モジュール ID	TM-201-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



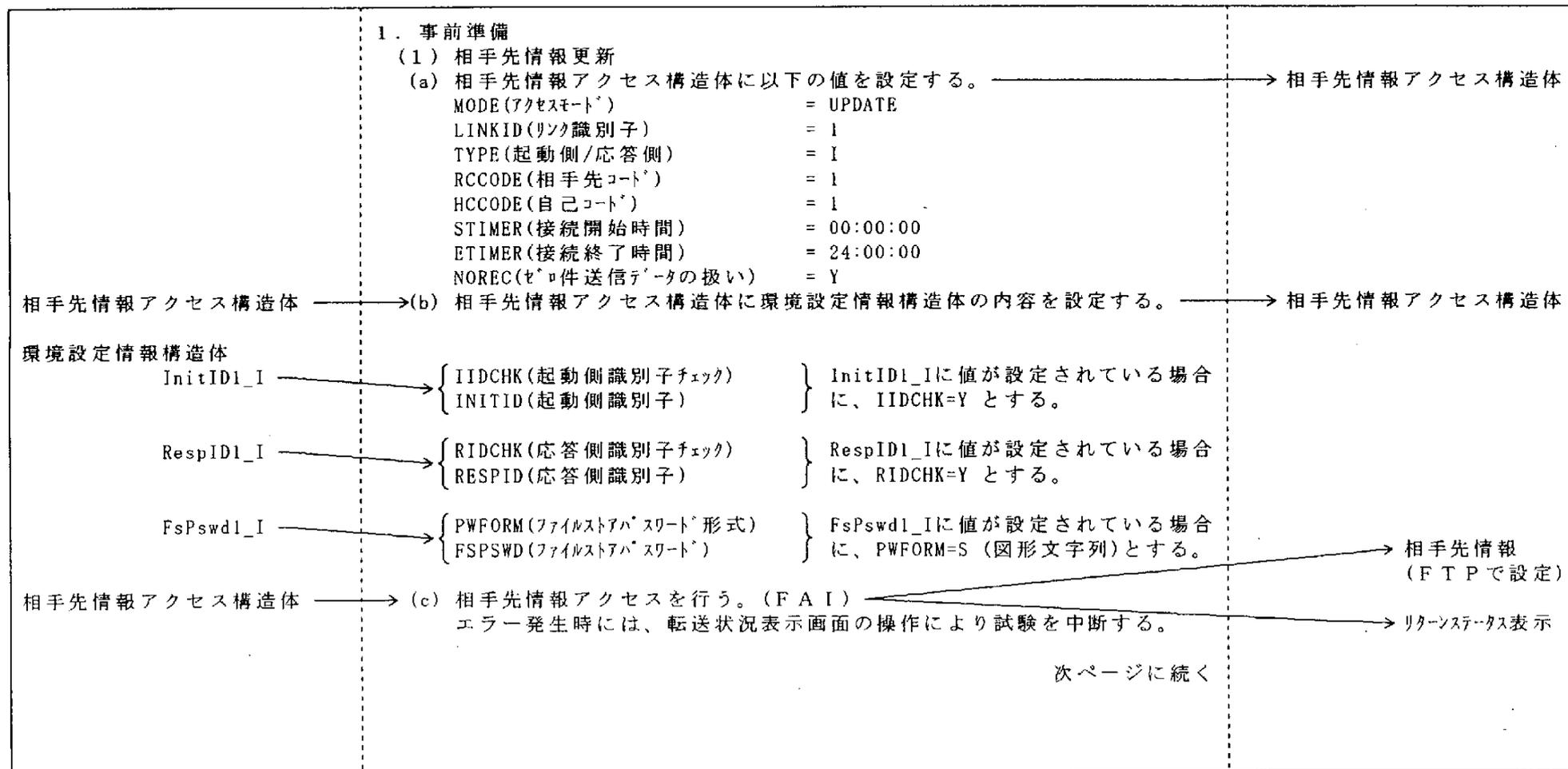
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



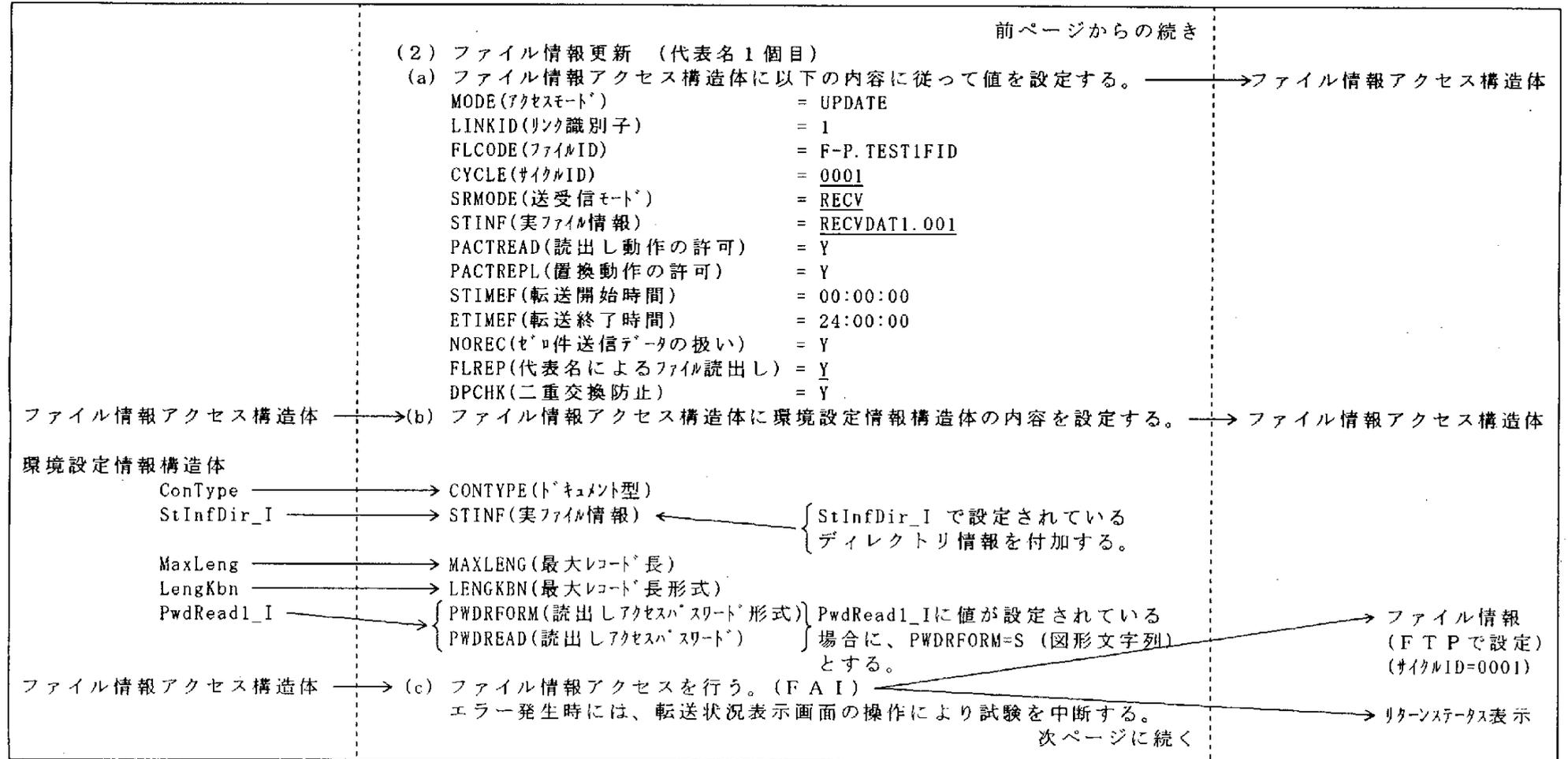
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



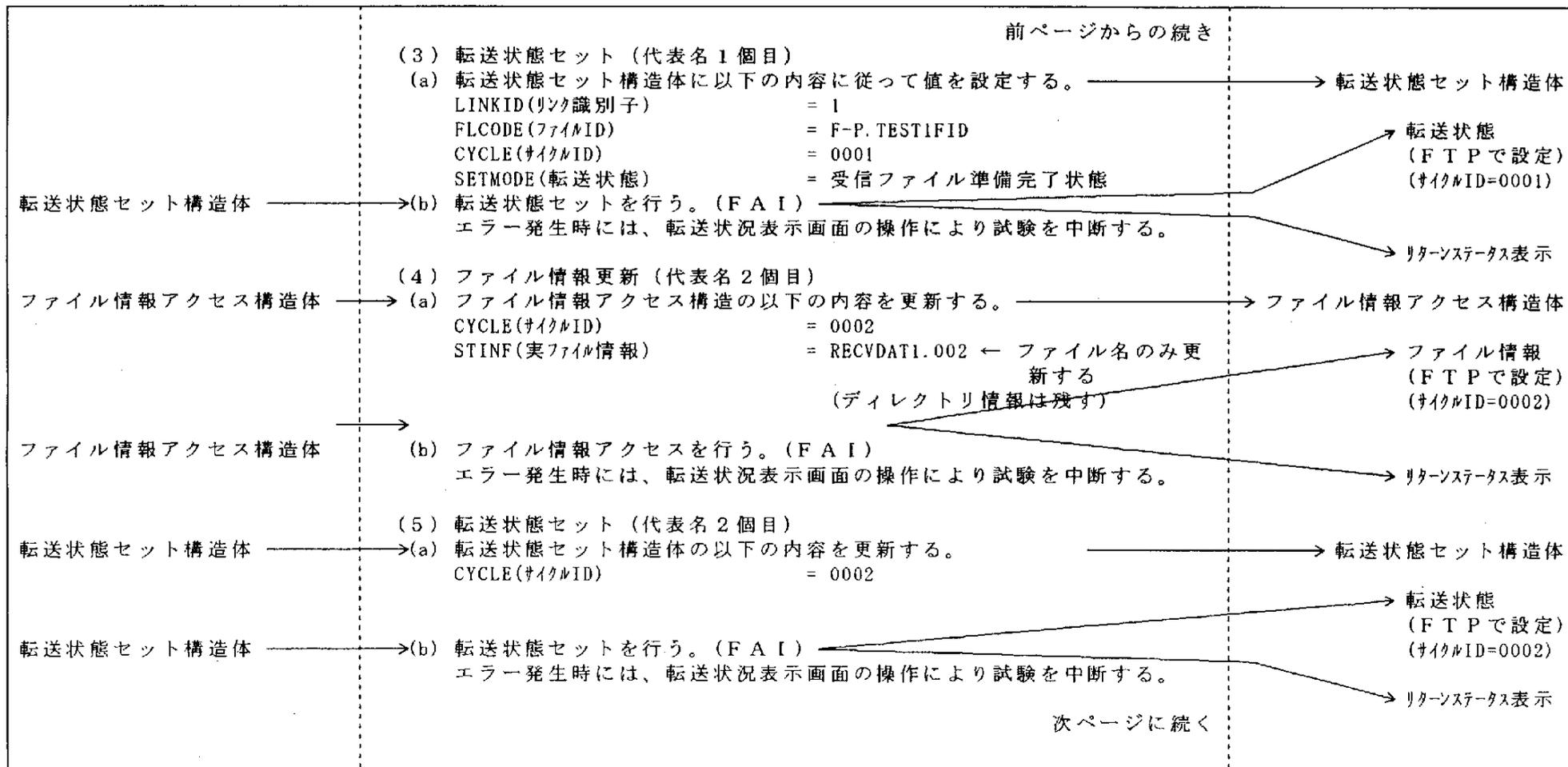
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



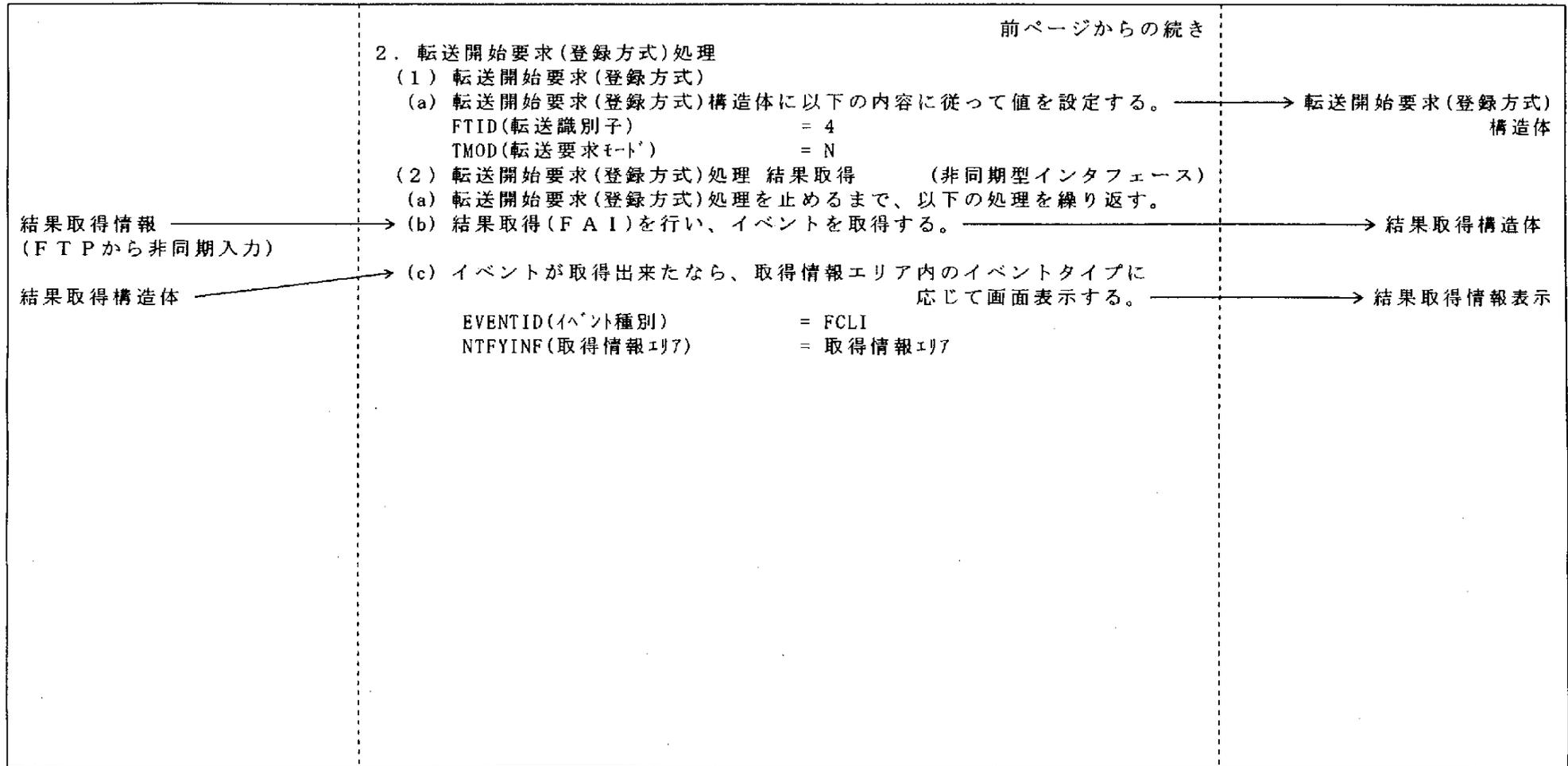
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



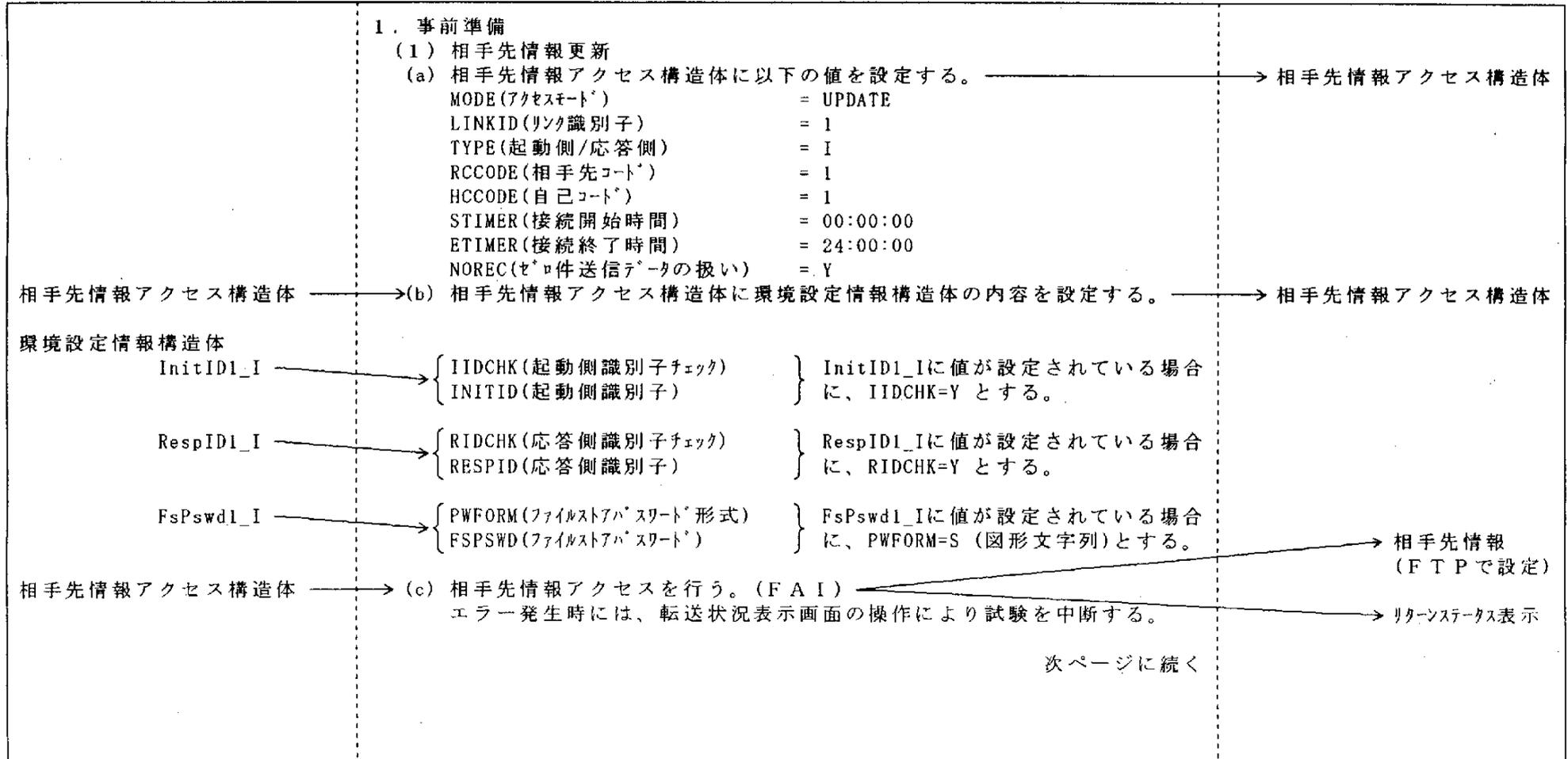
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



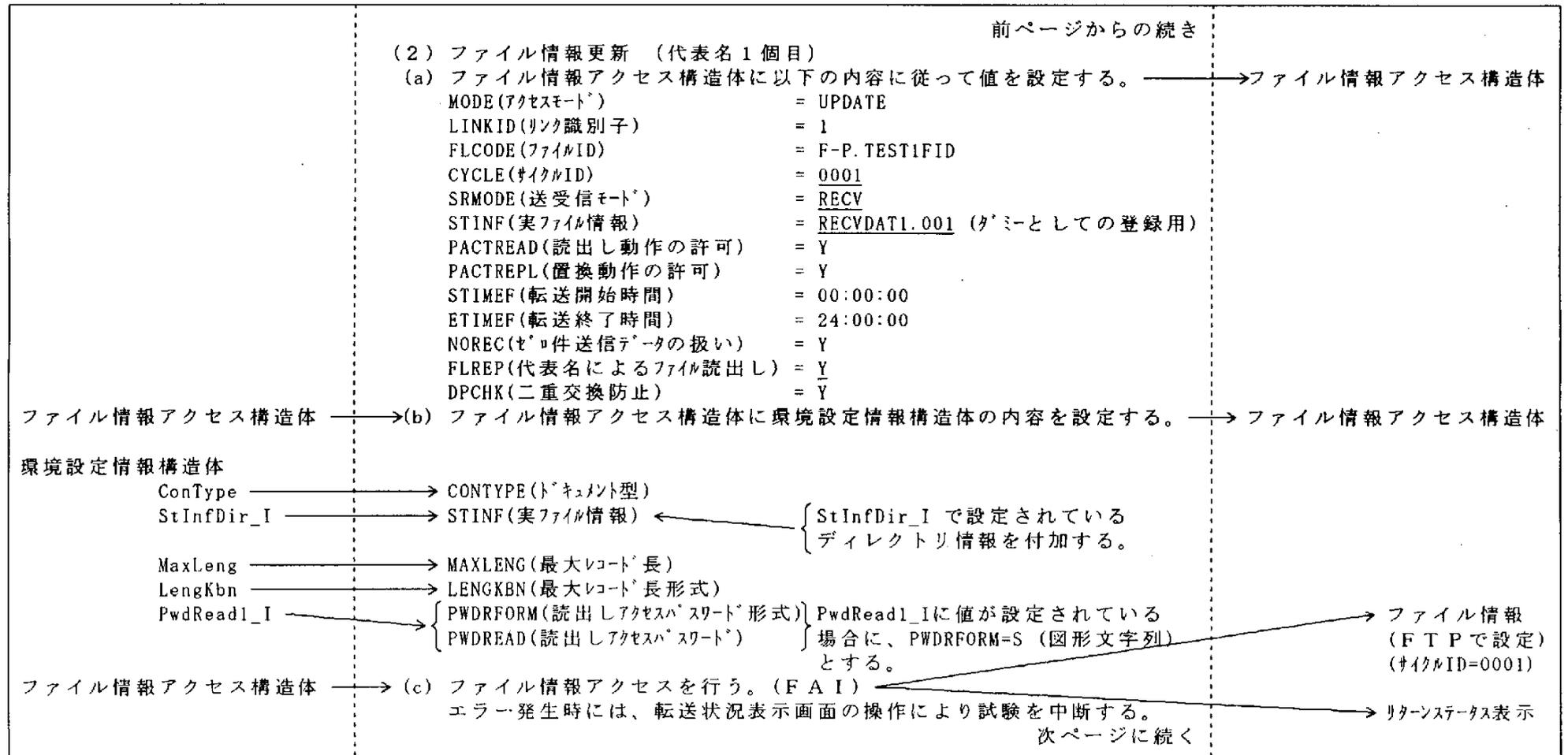
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



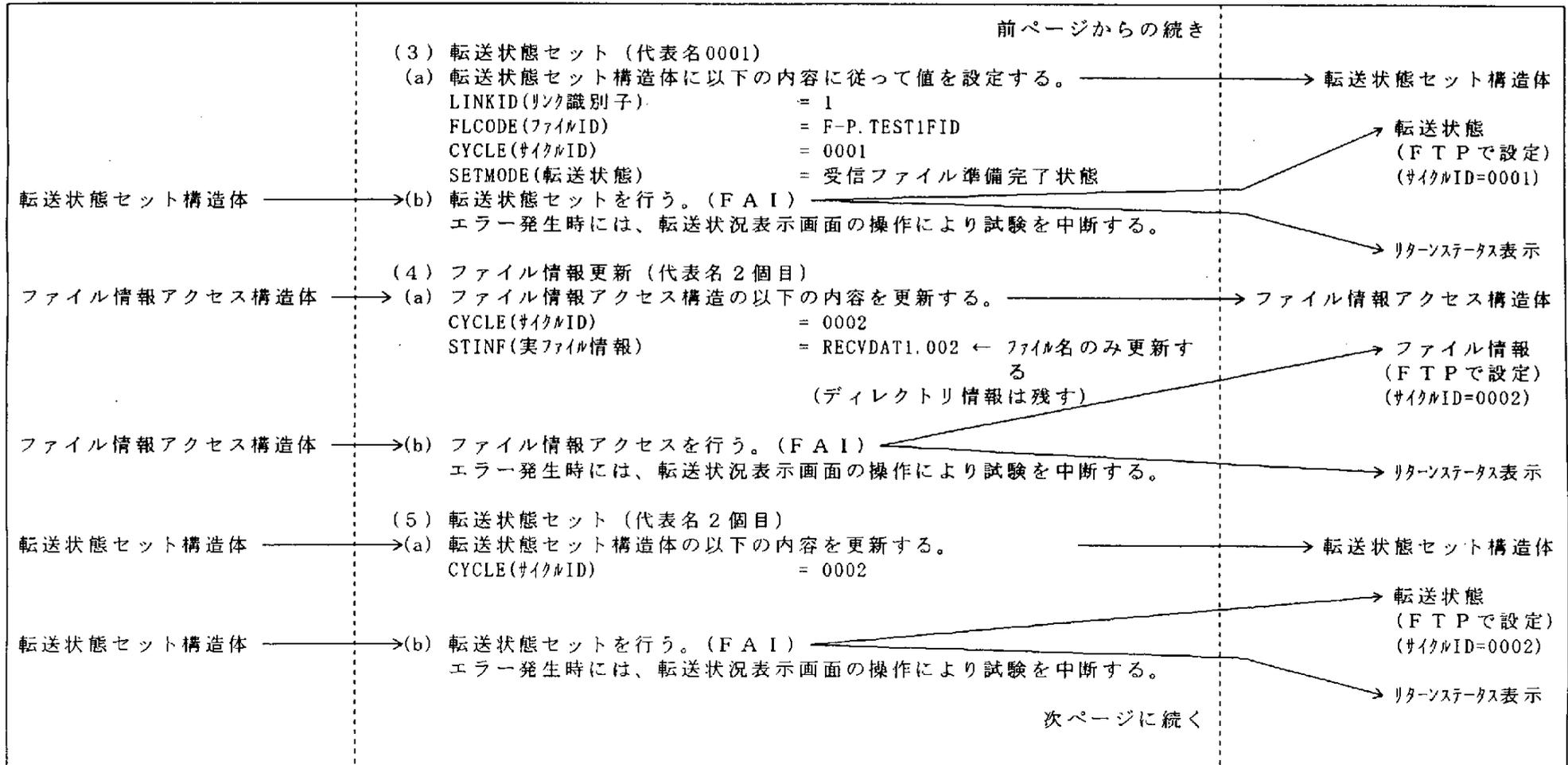
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



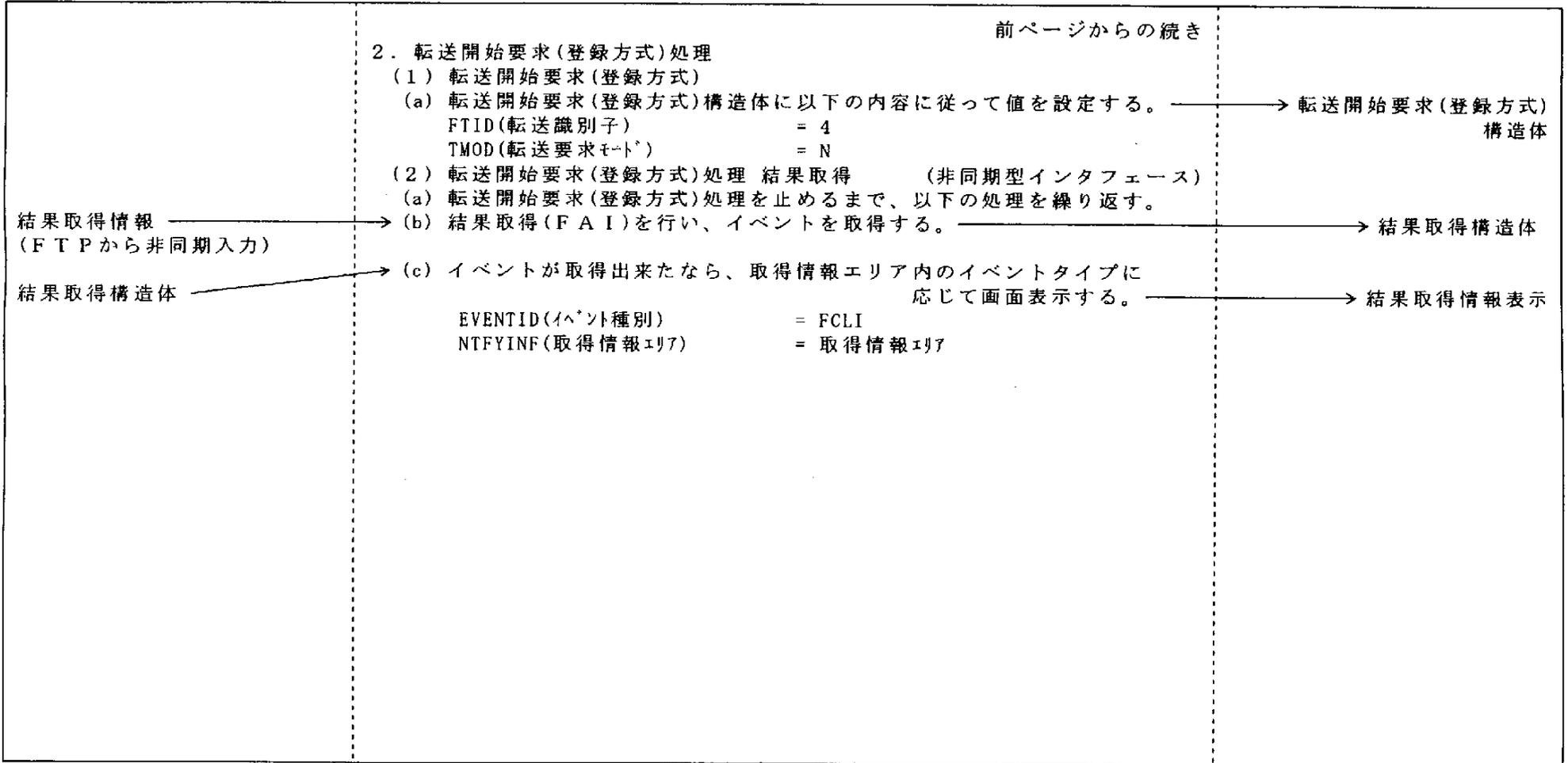
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



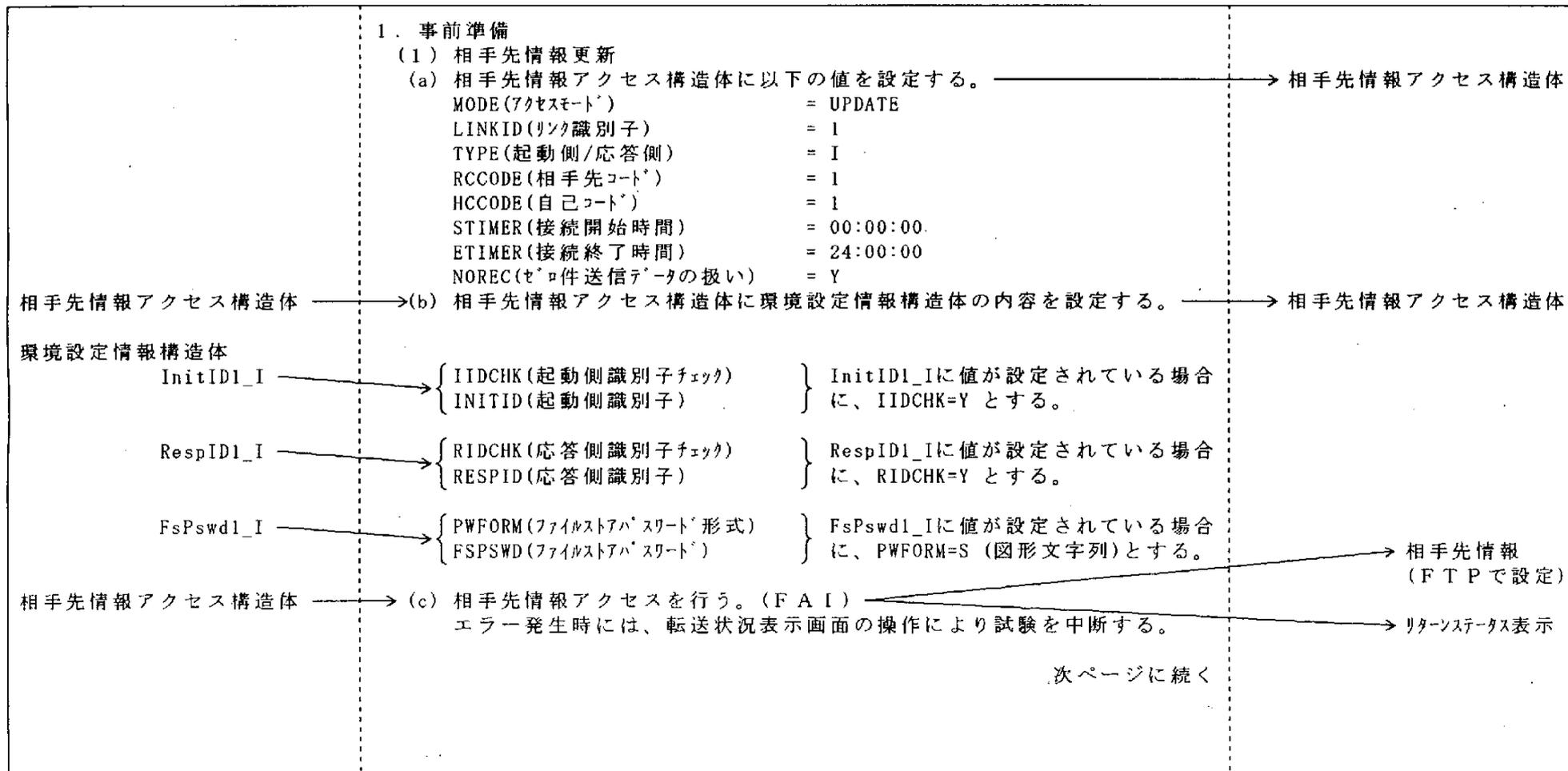
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件正常受信	モジュール ID	TM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



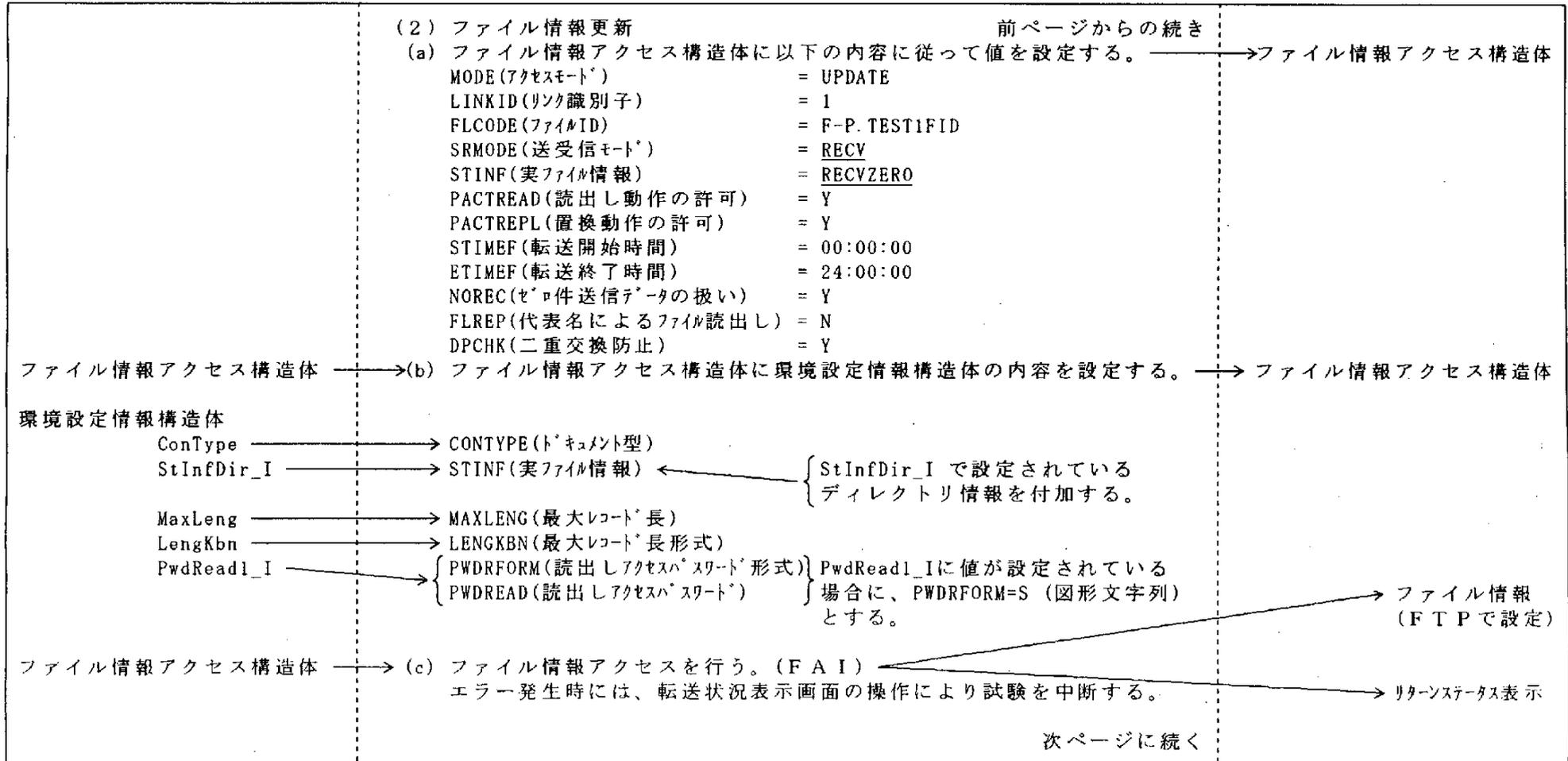
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件正常受信	モジュールID	TM-301-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。										

入 力

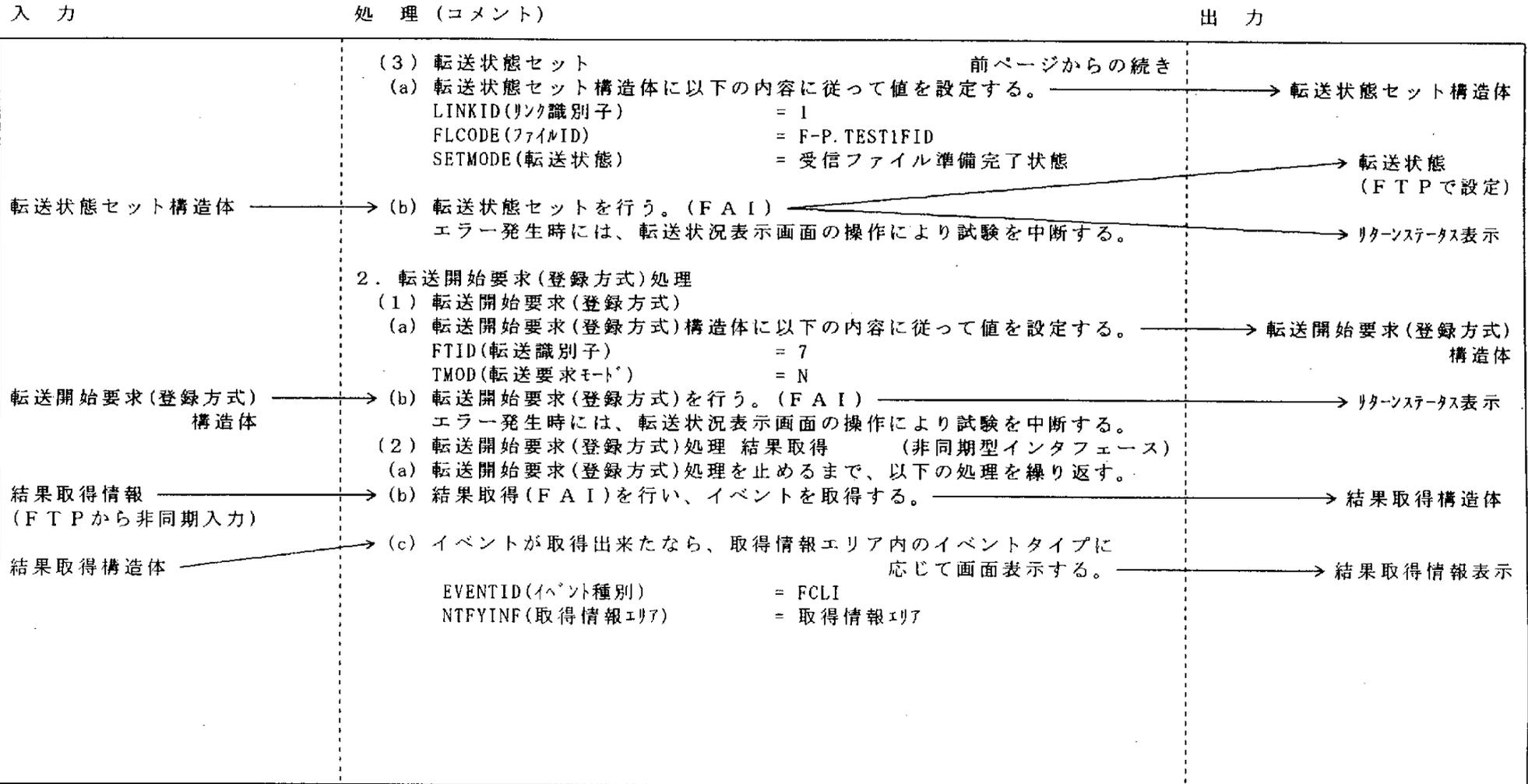
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件正常受信	モジュール ID	TM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。										



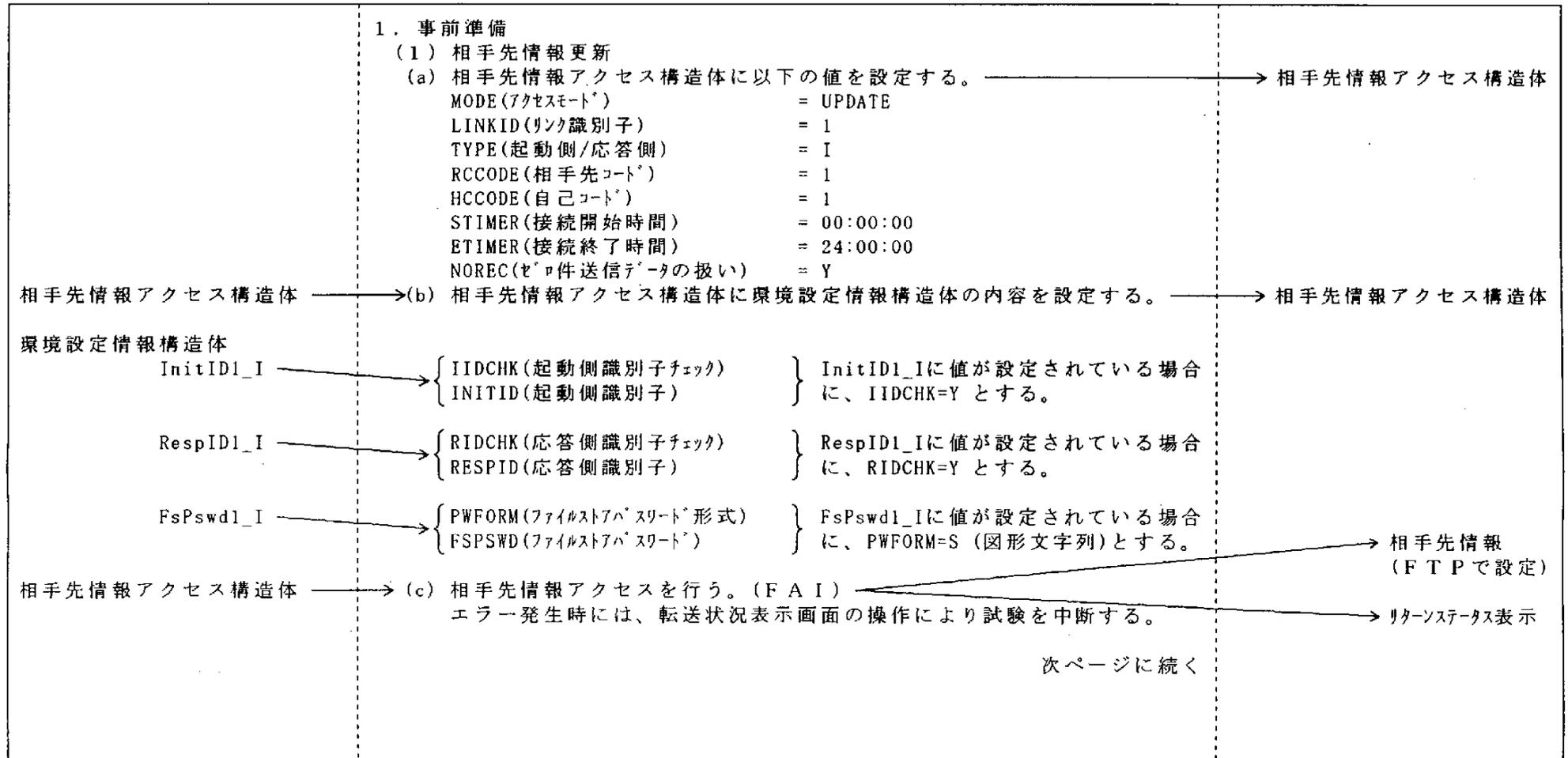
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-302-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



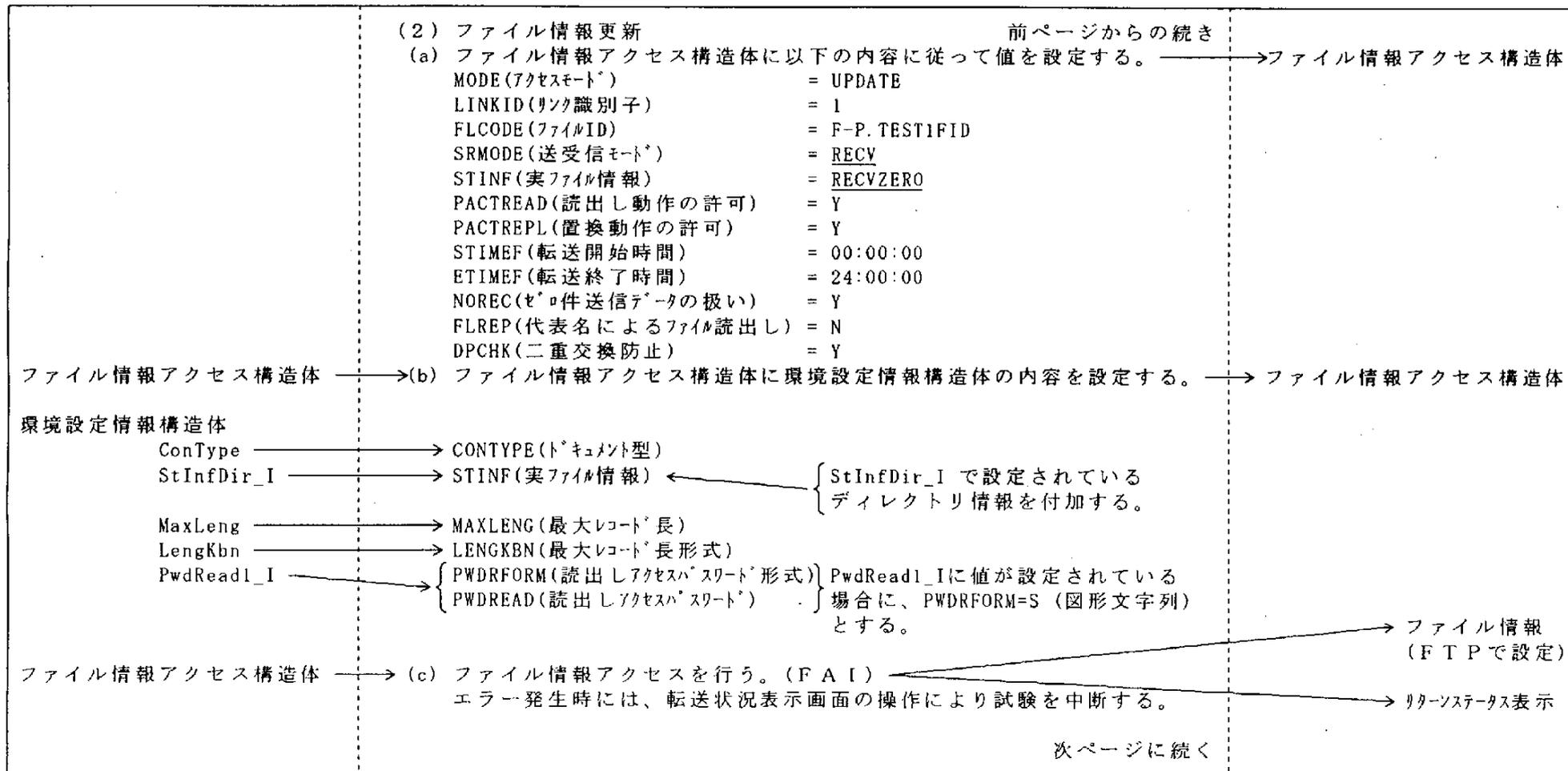
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



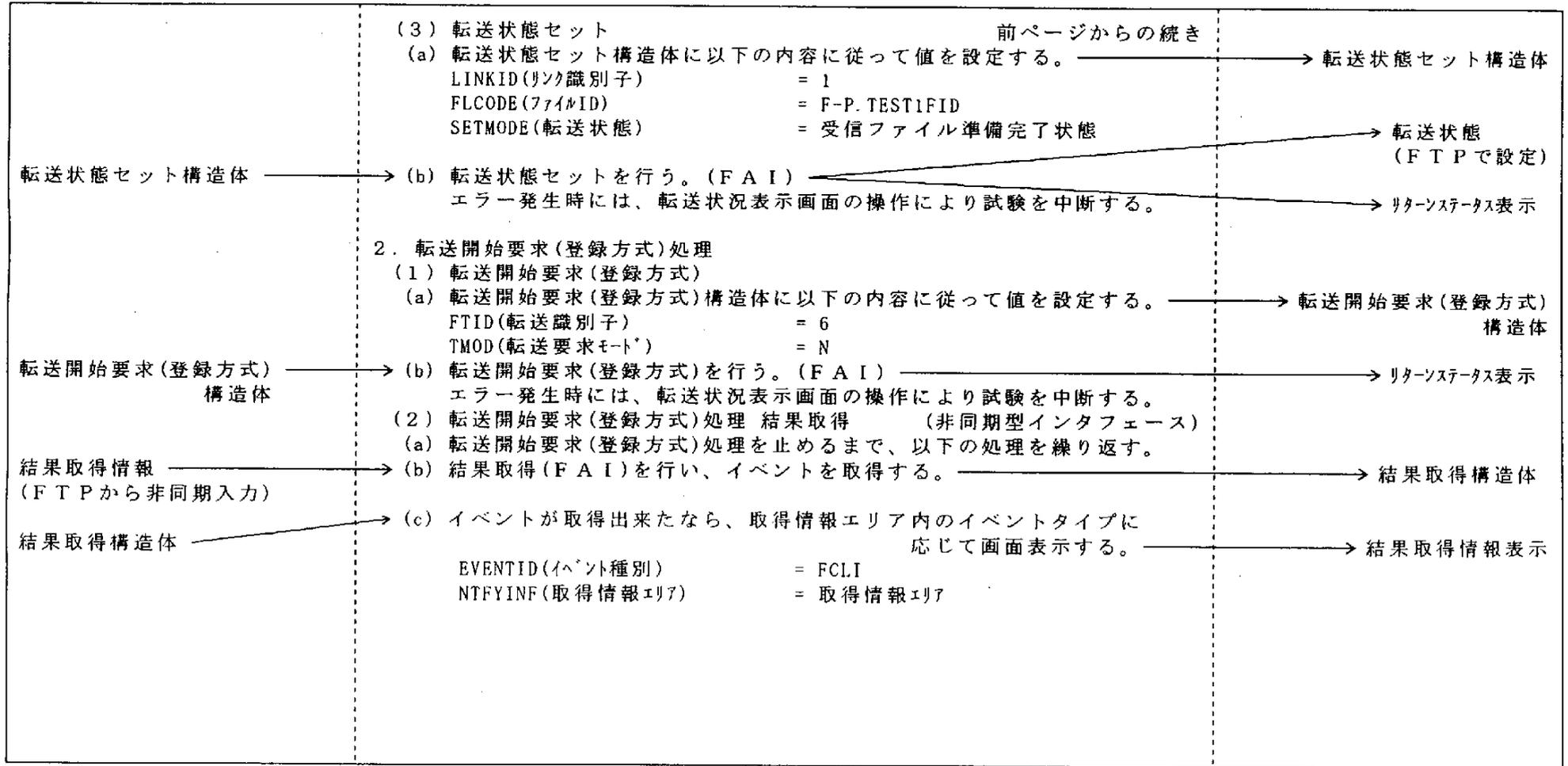
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



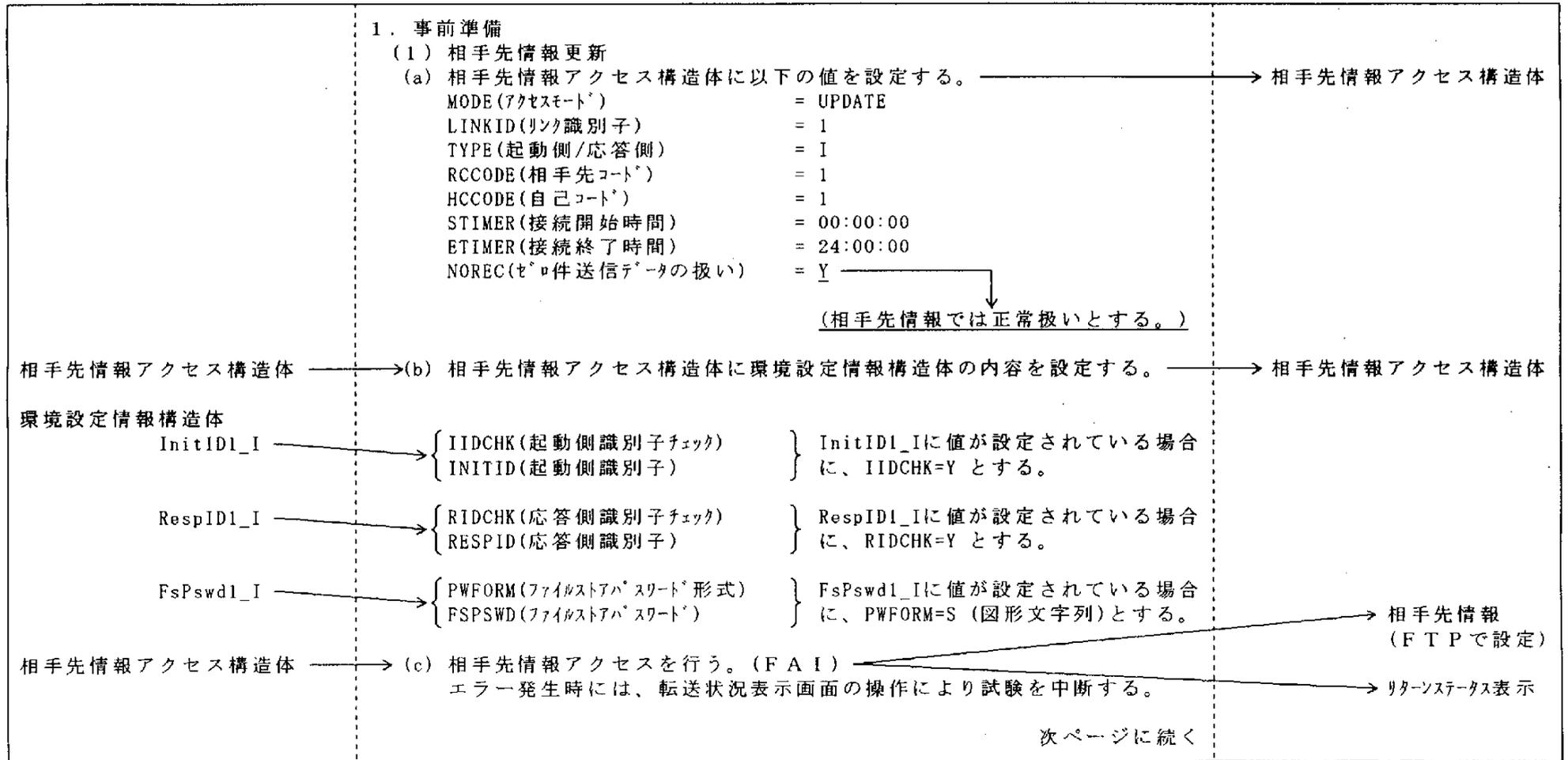
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常送信	モジュール ID	TM-303-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



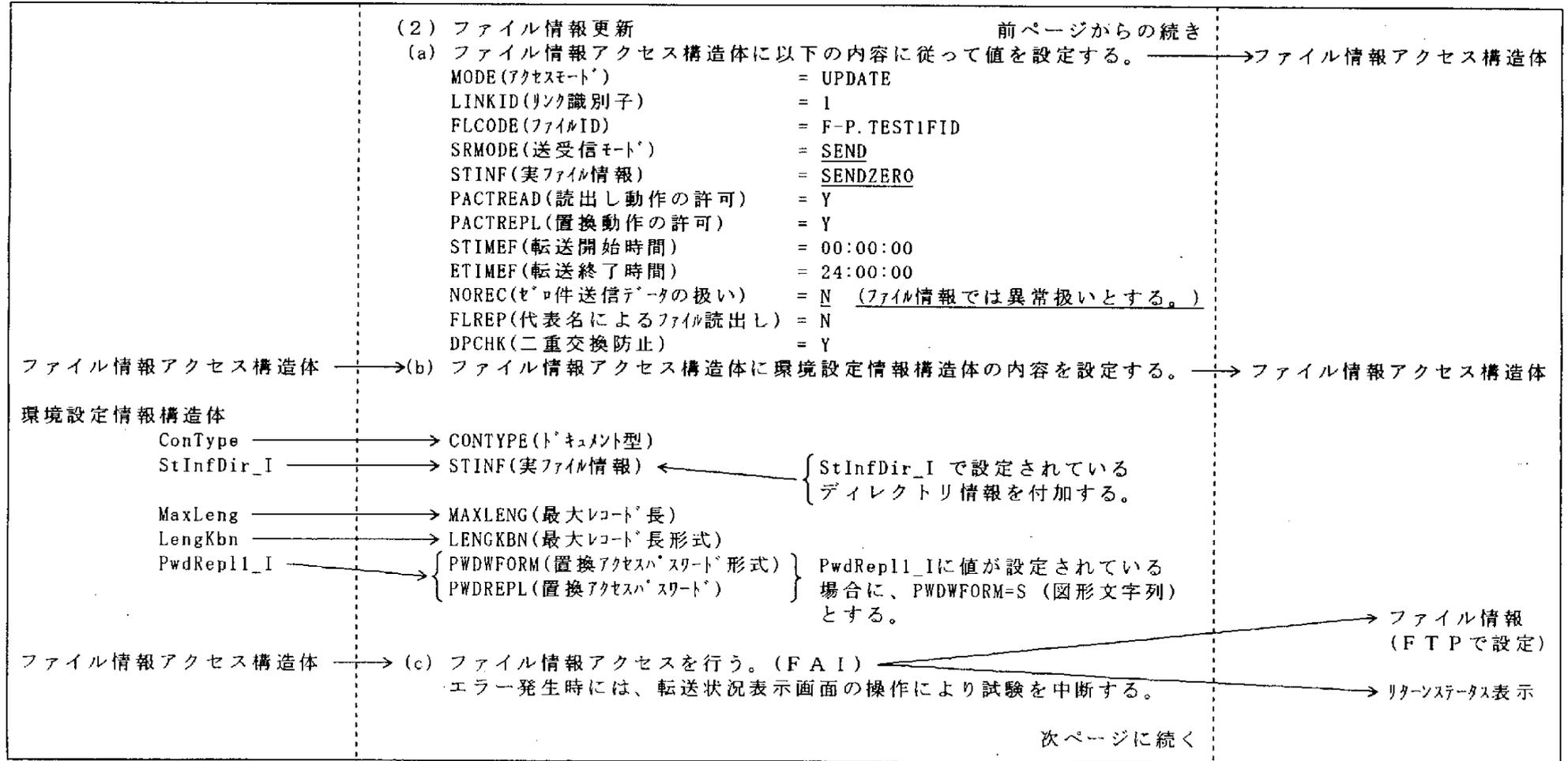
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常送信	モジュール ID	TM-303-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



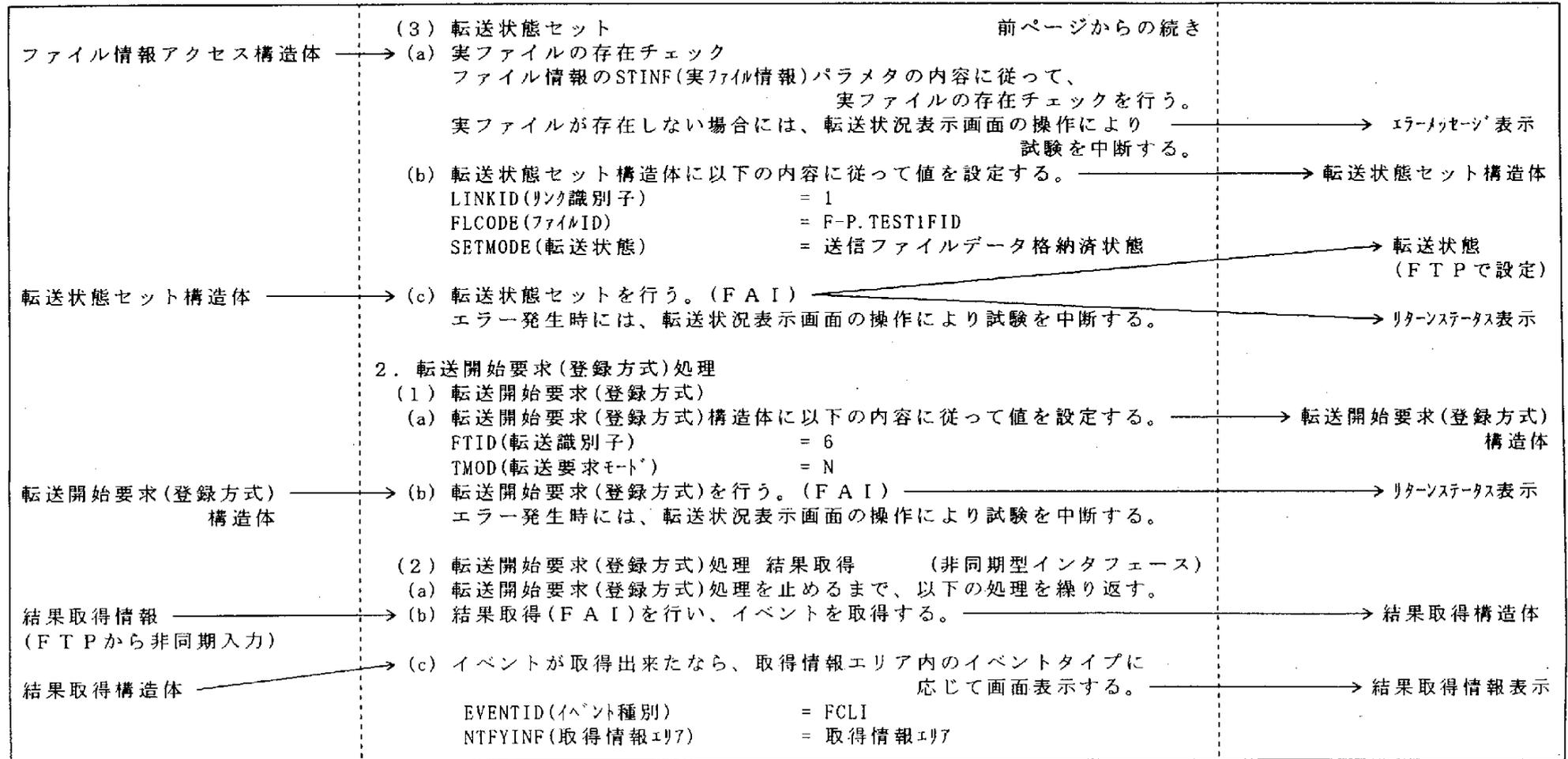
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 起動側 ゼロ件異常送信	モジュールID	TM-303-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



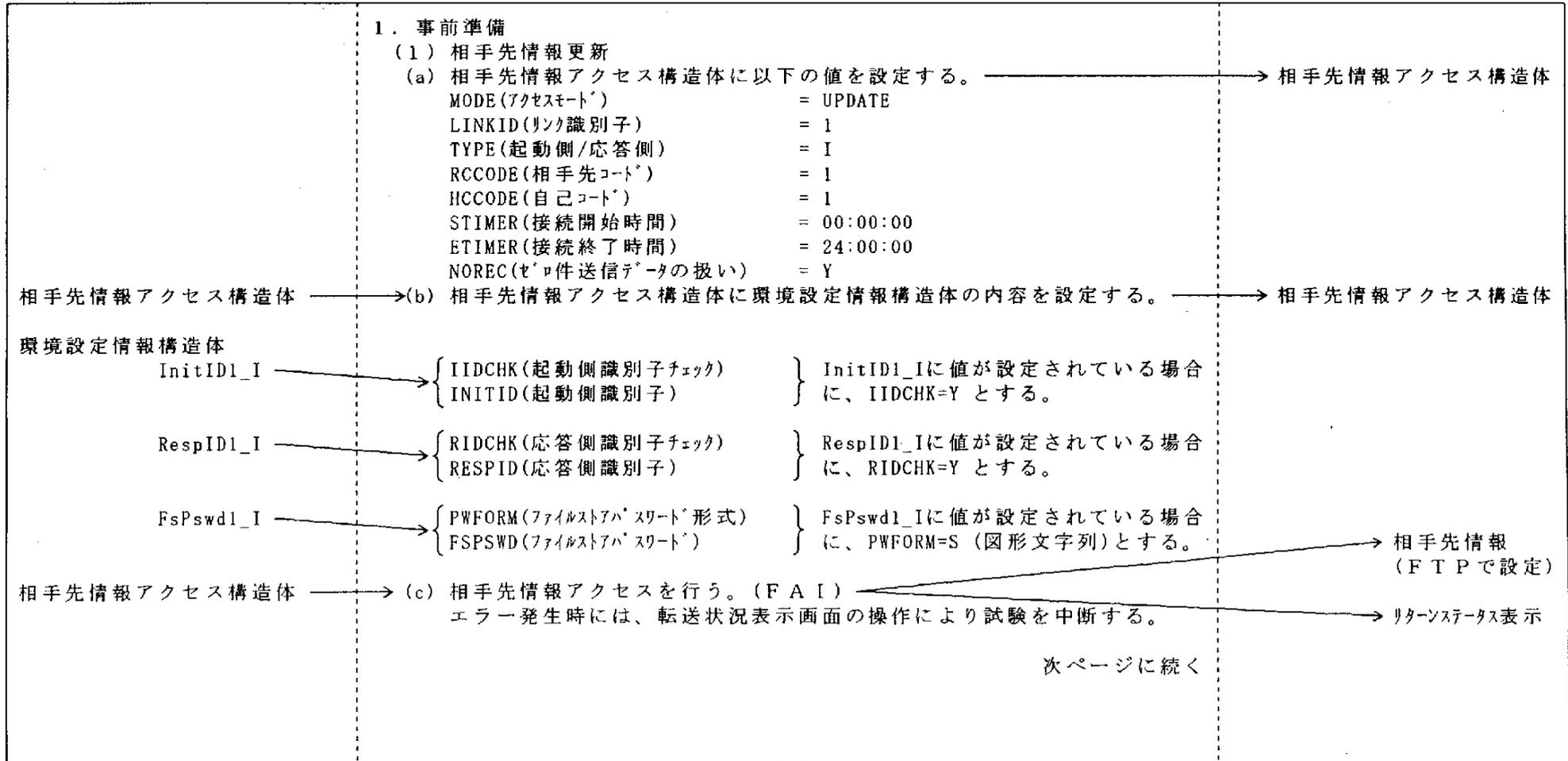
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 受信	モジュール ID	OM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



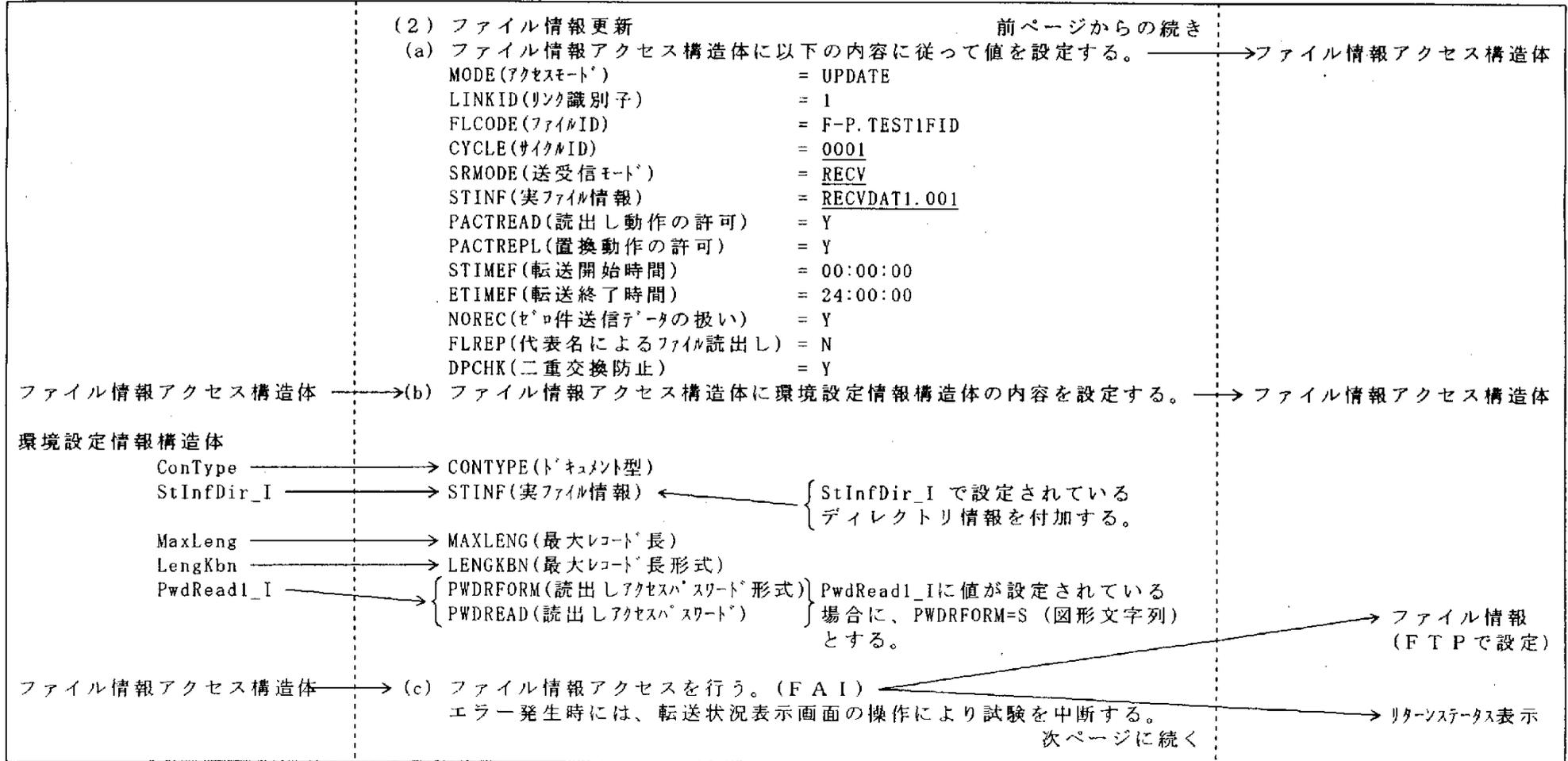
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 受信	モジュール ID	OM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。										

入 力

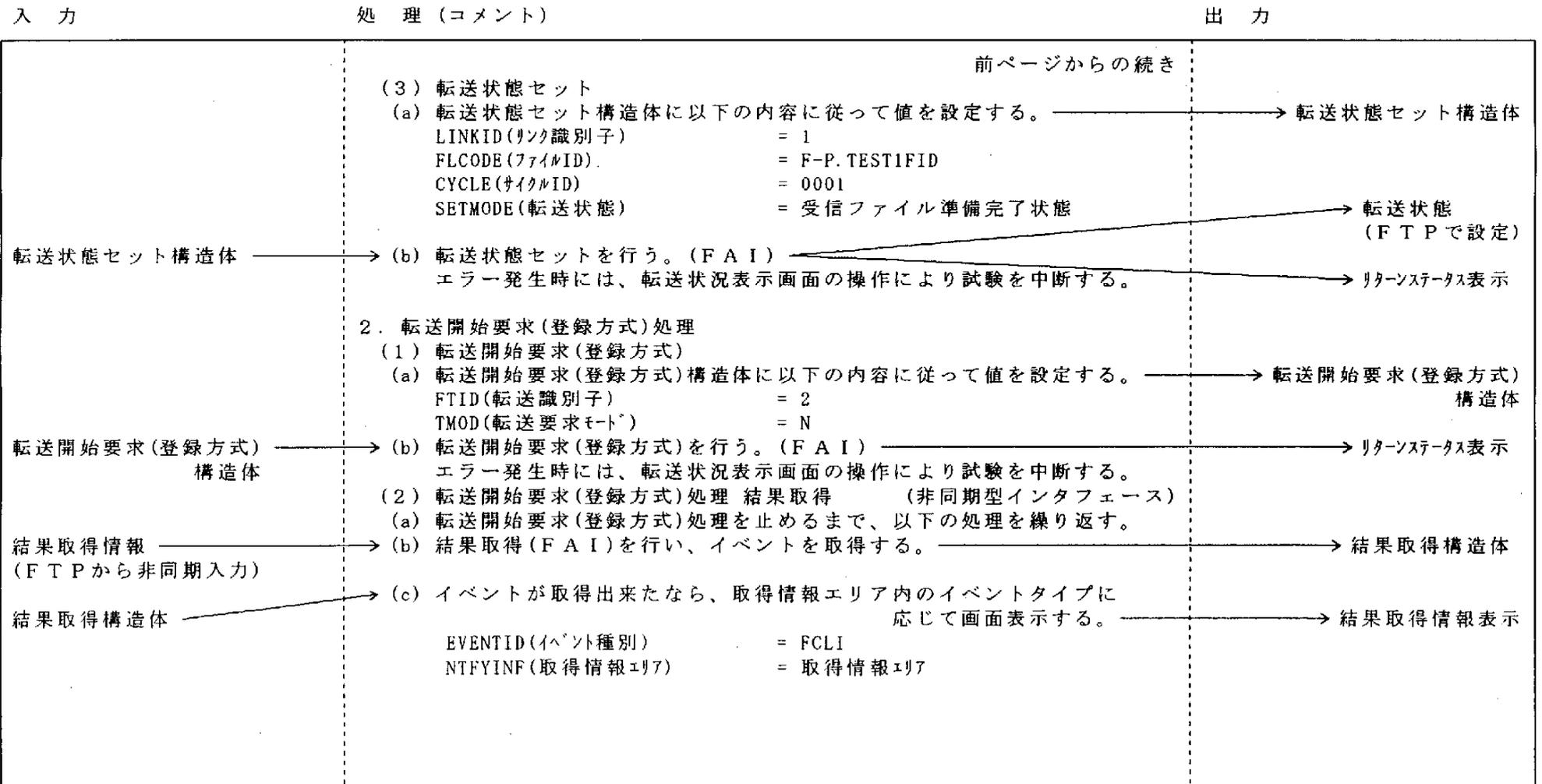
処 理 (コメント)

出 力



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 受信	モジュール ID	OM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。										



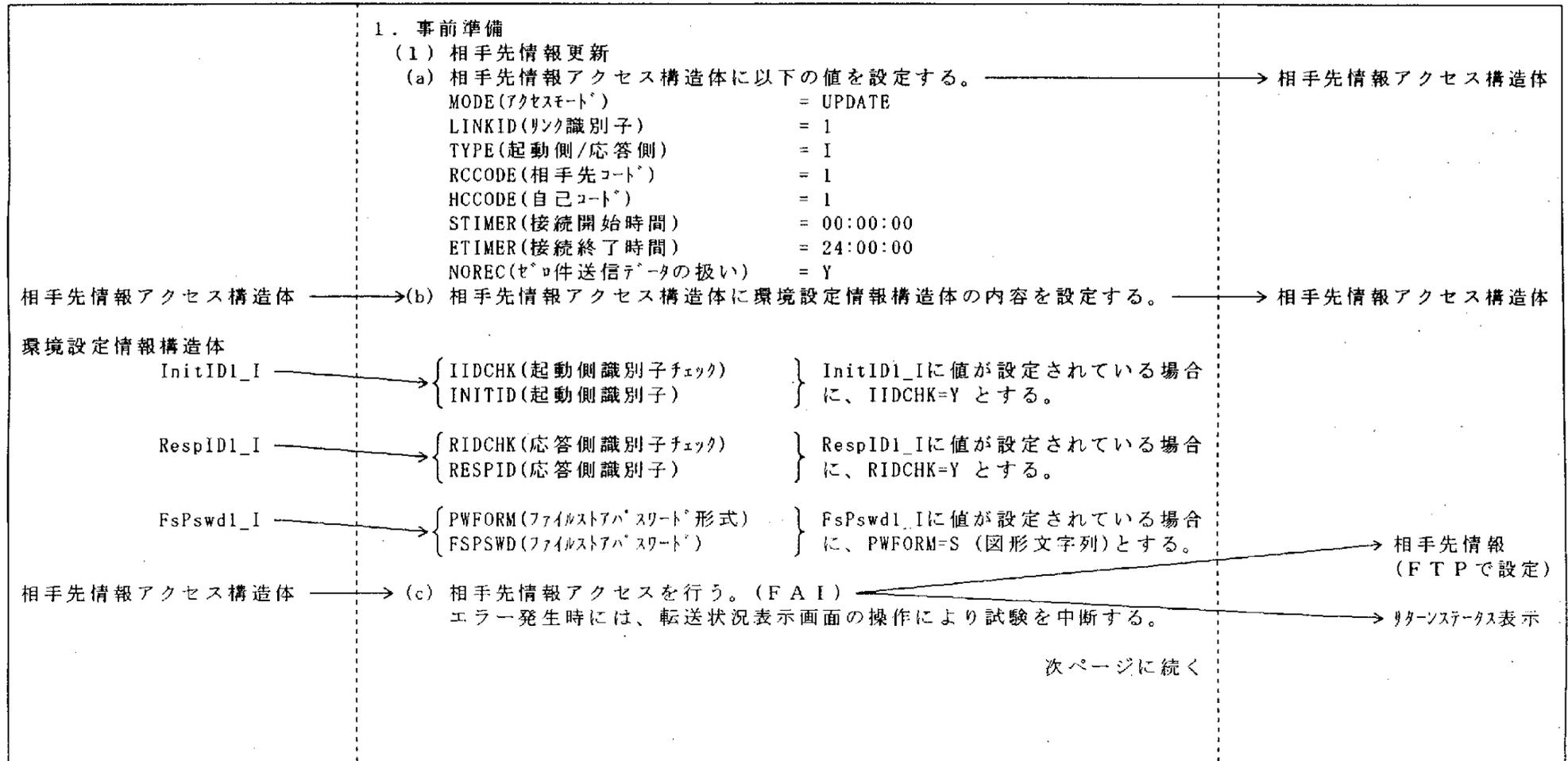
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 送信	モジュールID	OM-002-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



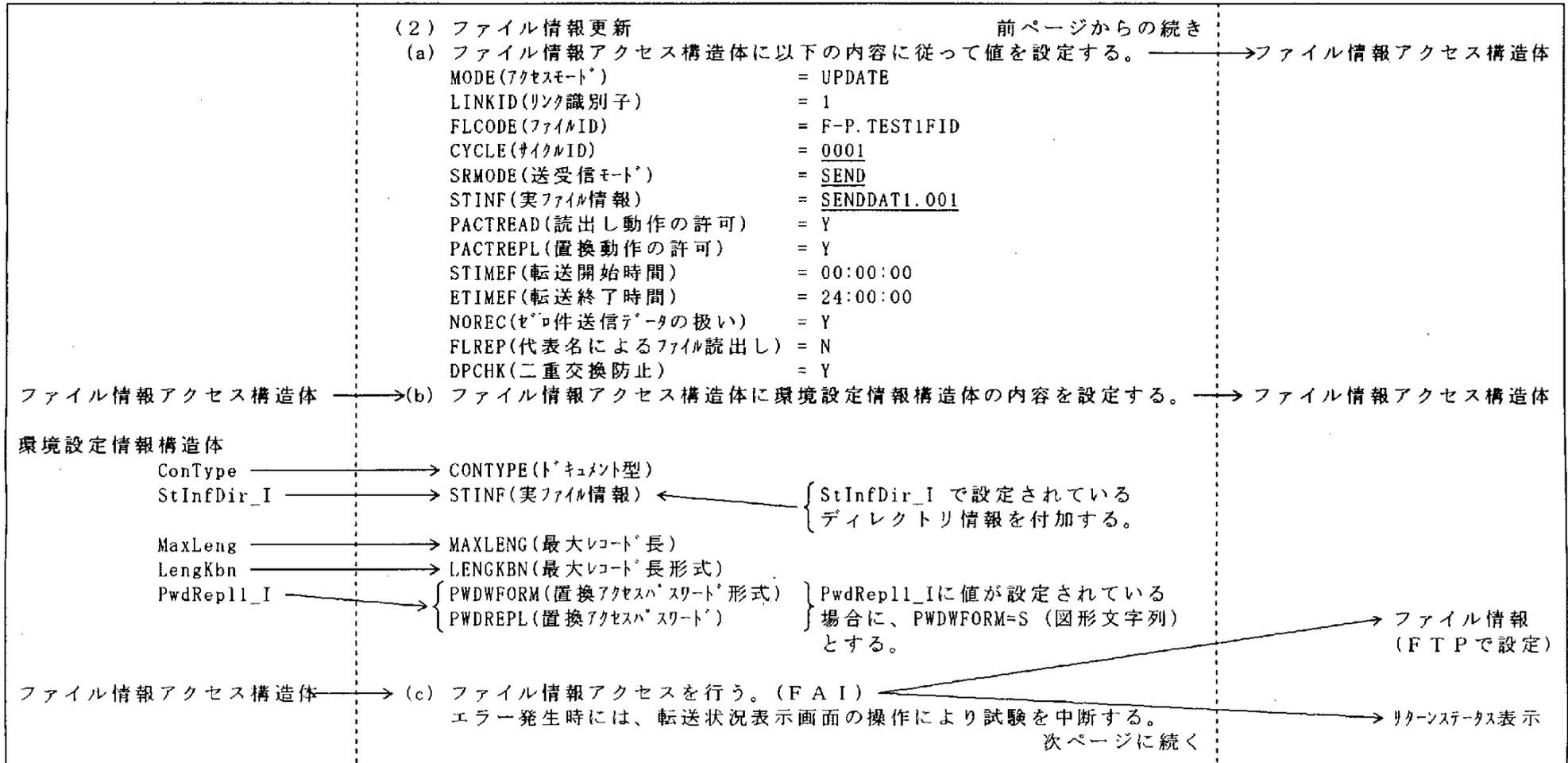
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 送信	モジュール ID	OM-002-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



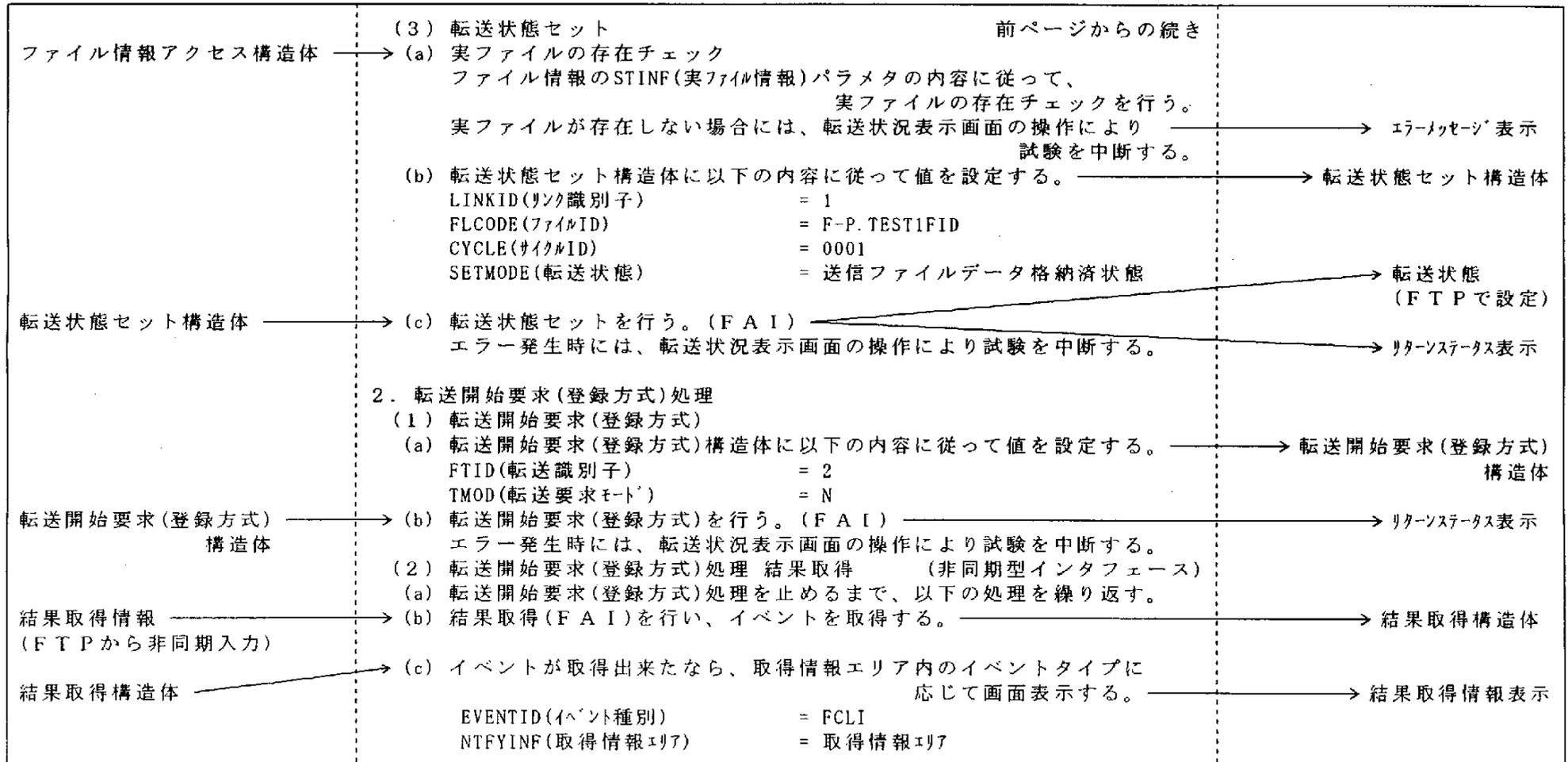
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルID 送信	モジュール ID	OM-002-1	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



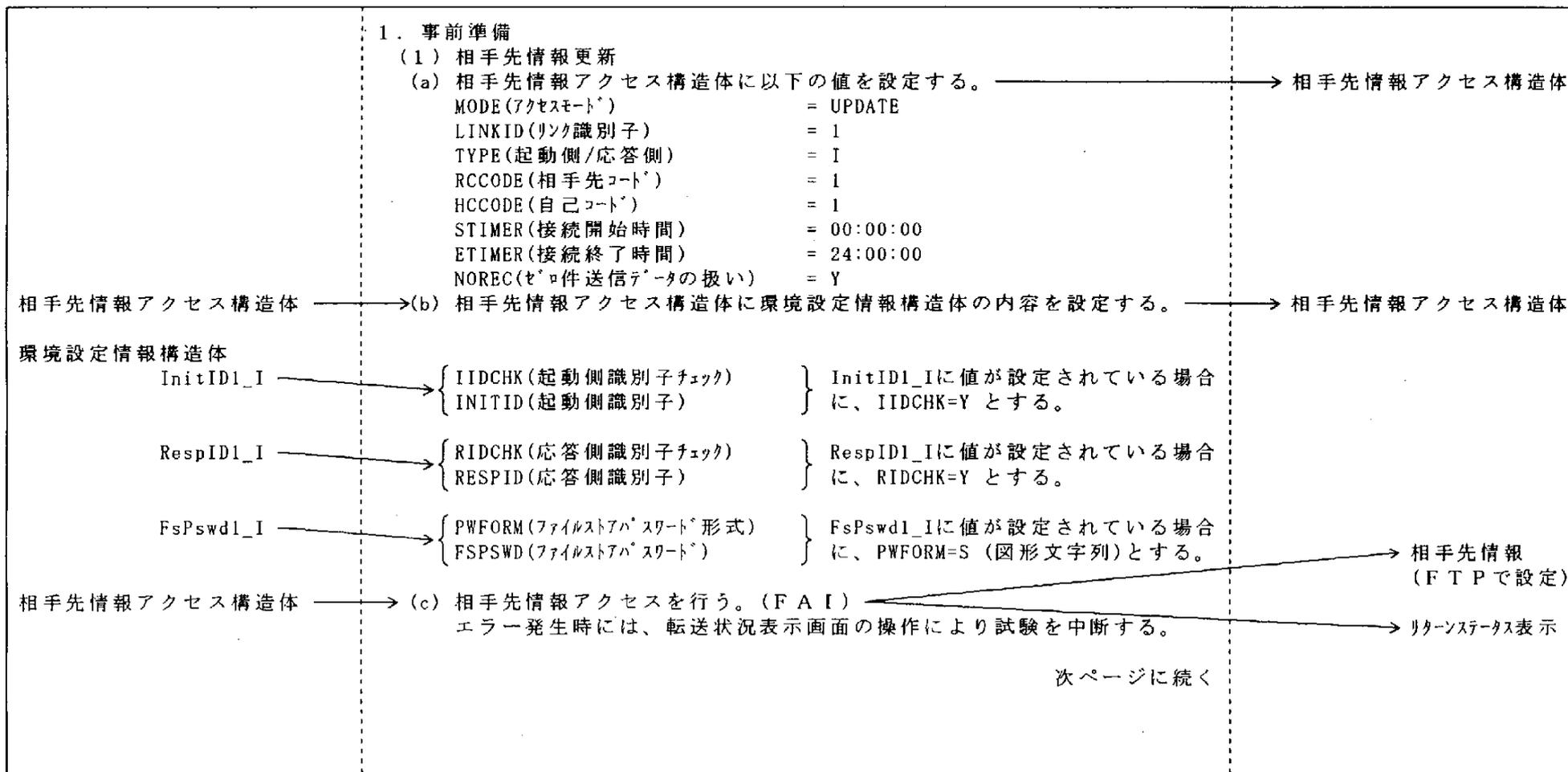
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-003-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



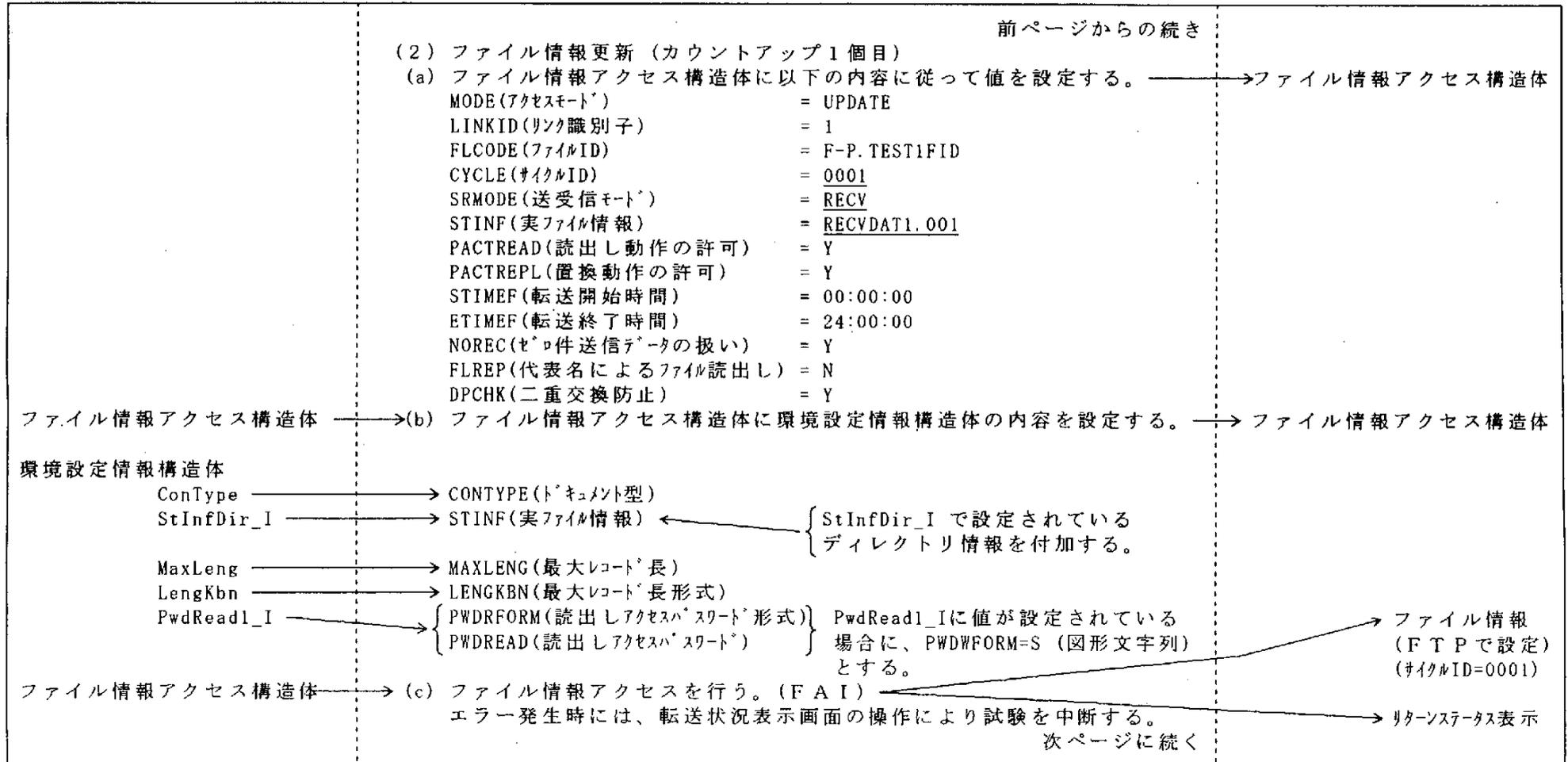
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-003-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



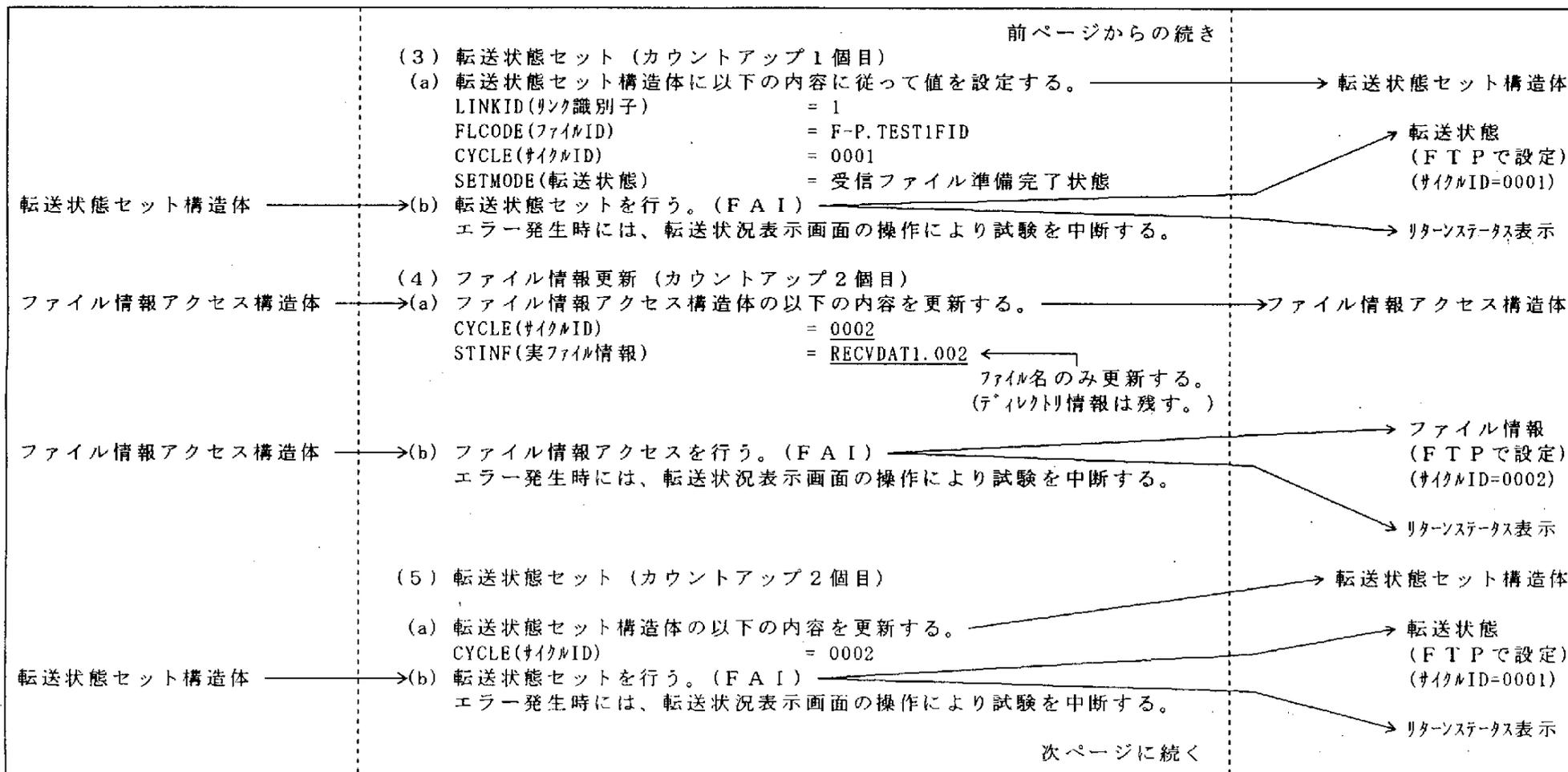
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-003-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



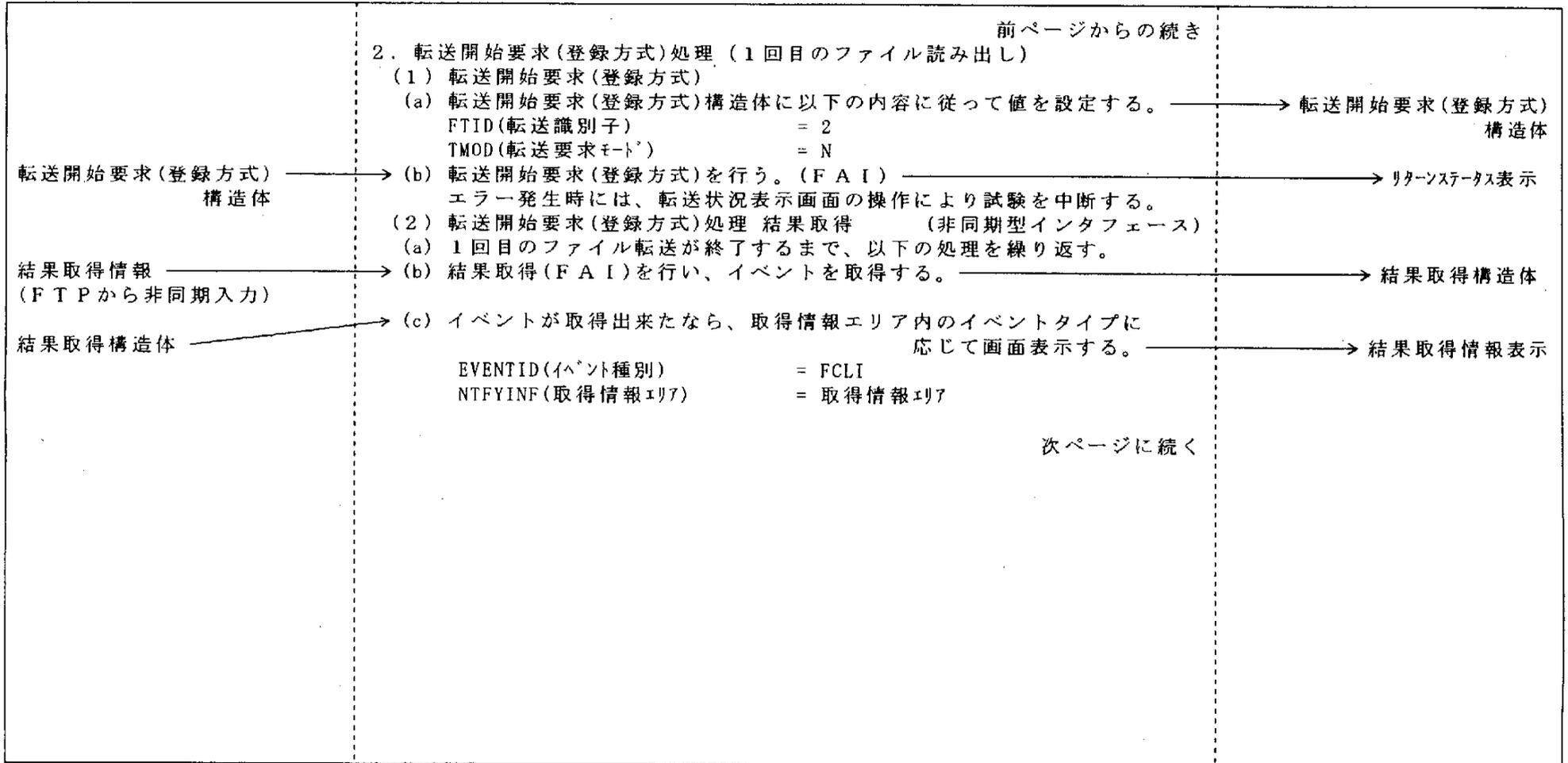
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-003-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



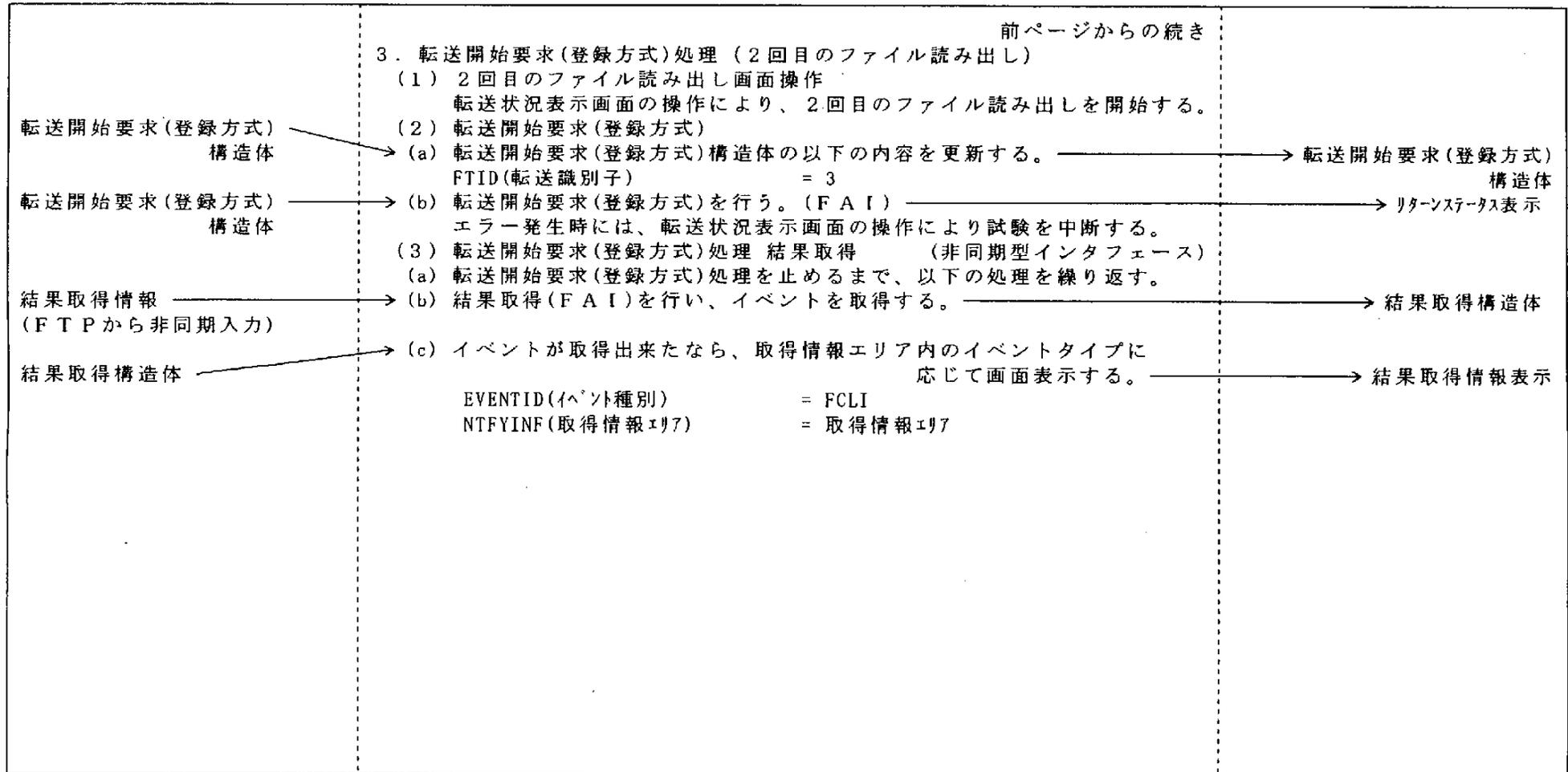
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-003-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	5/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



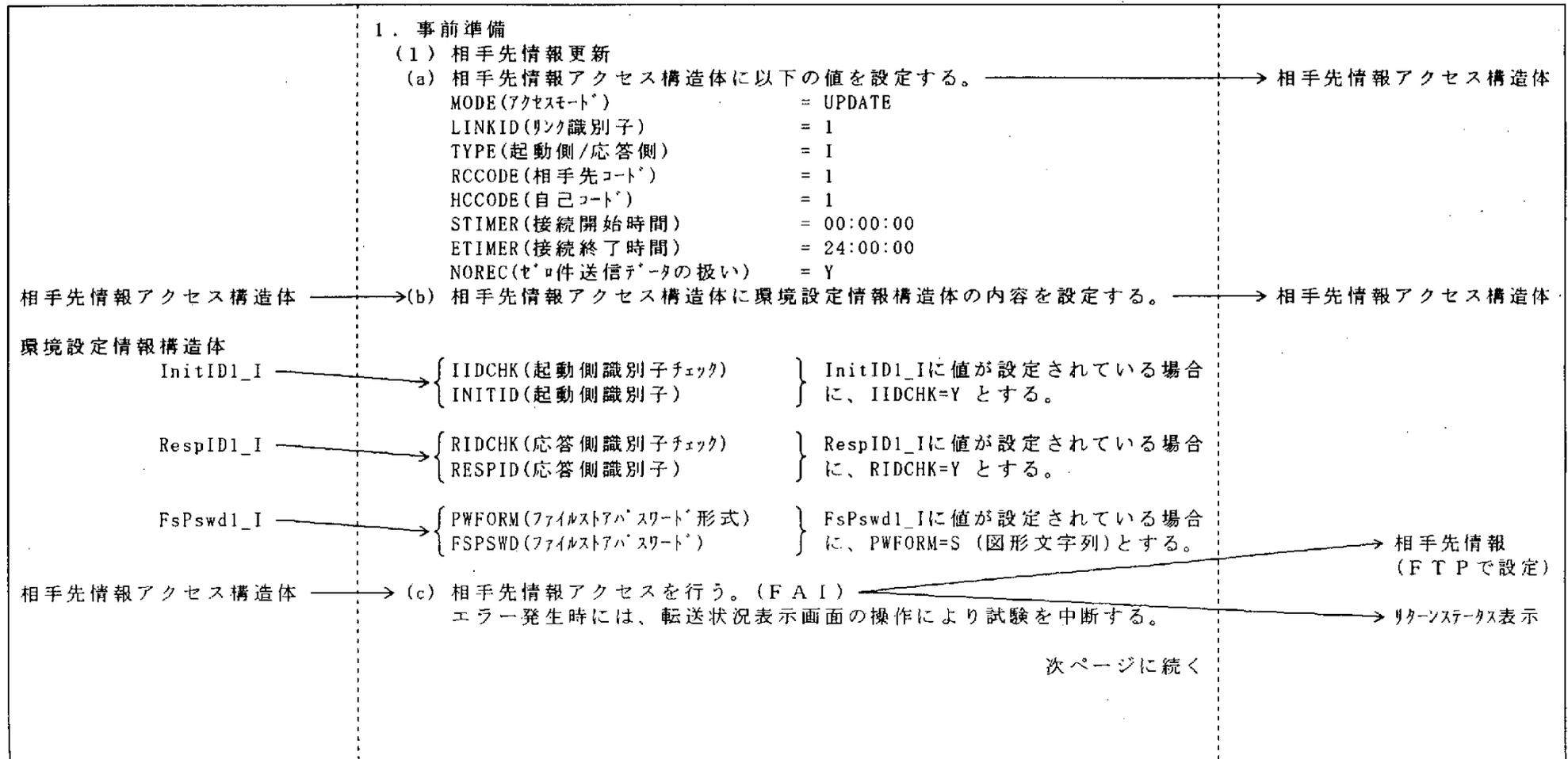
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュール ID	OM-004-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



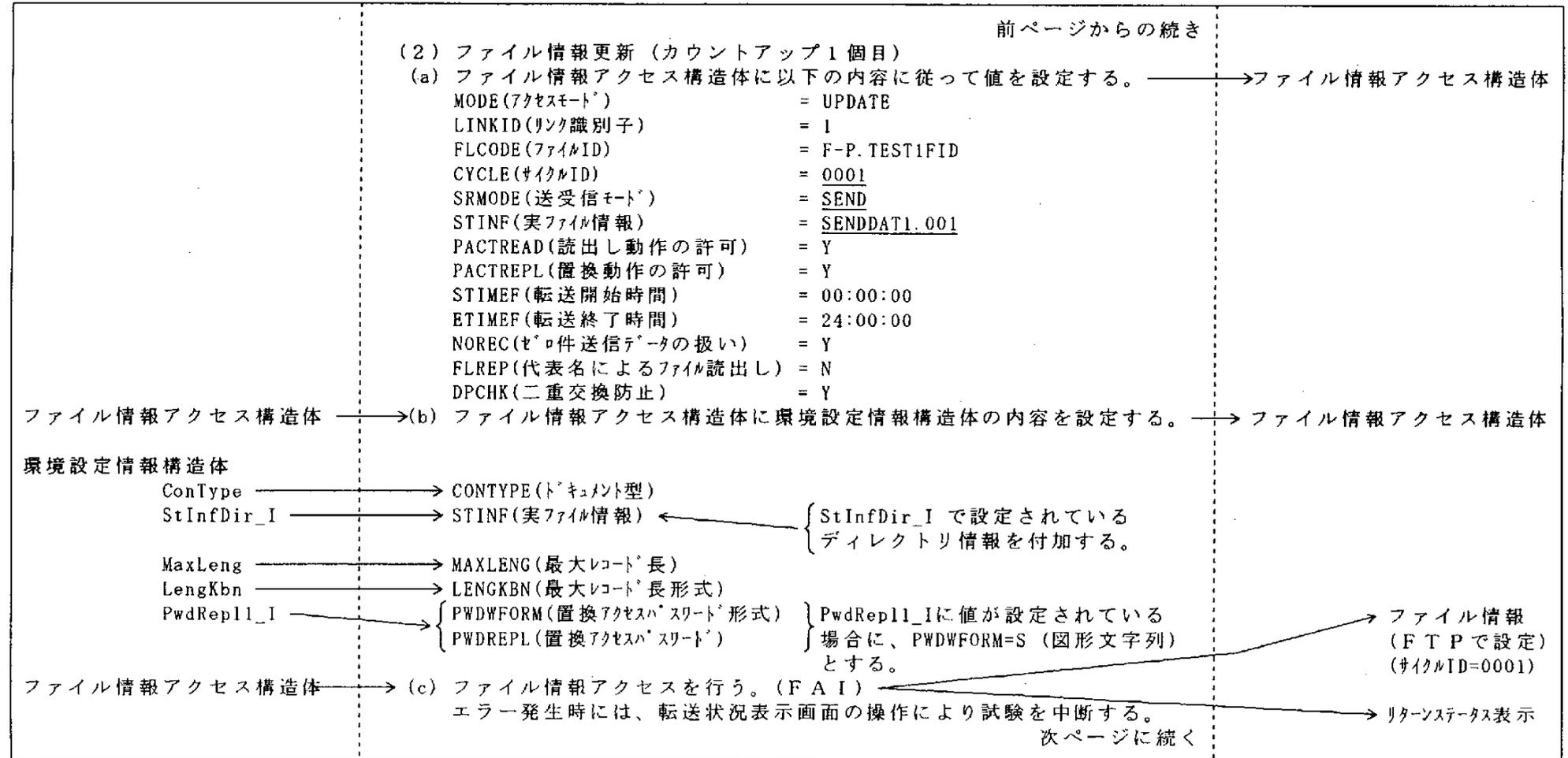
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュールID	OM-004-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



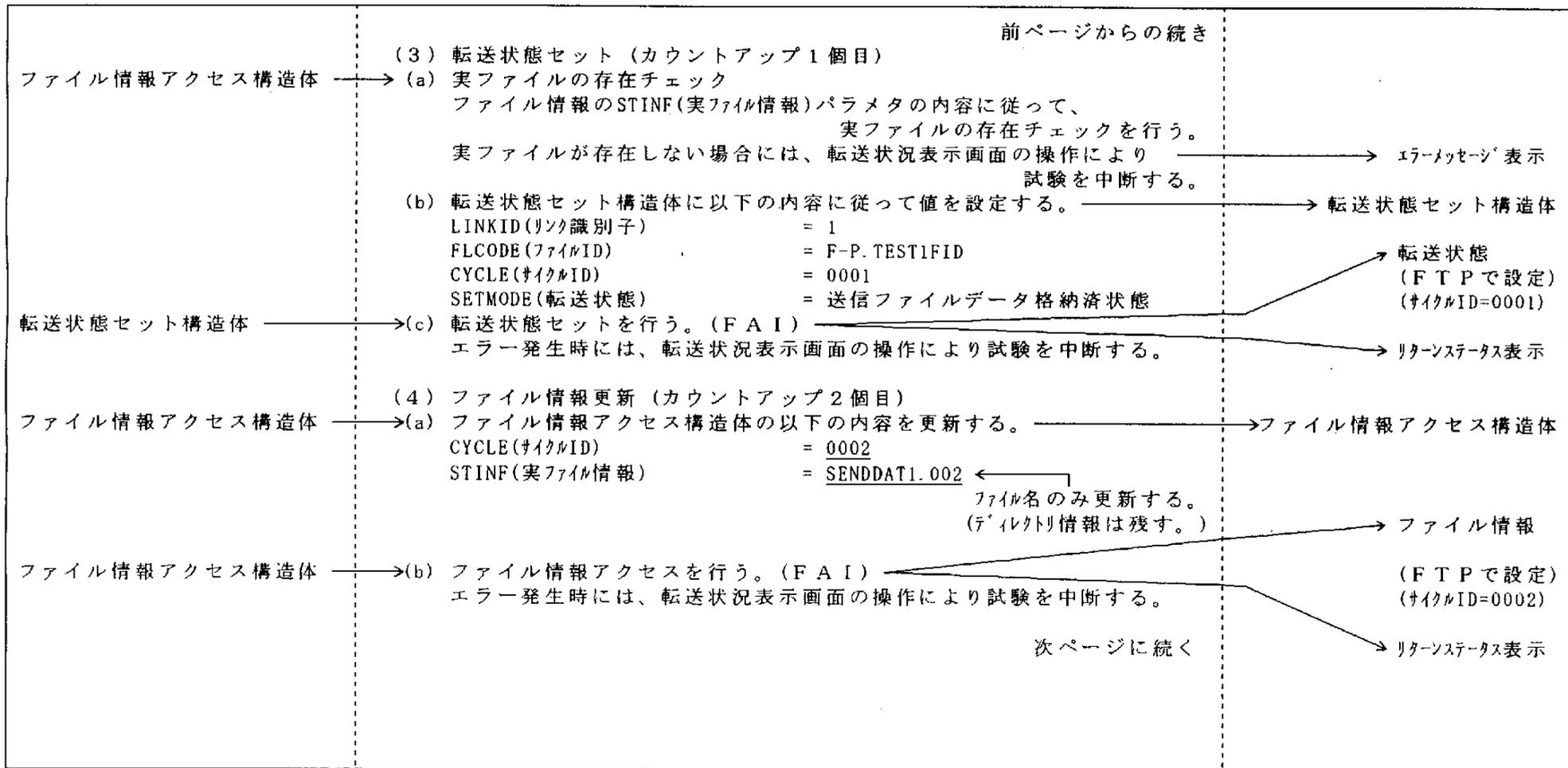
IP Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュールID	OM-004-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



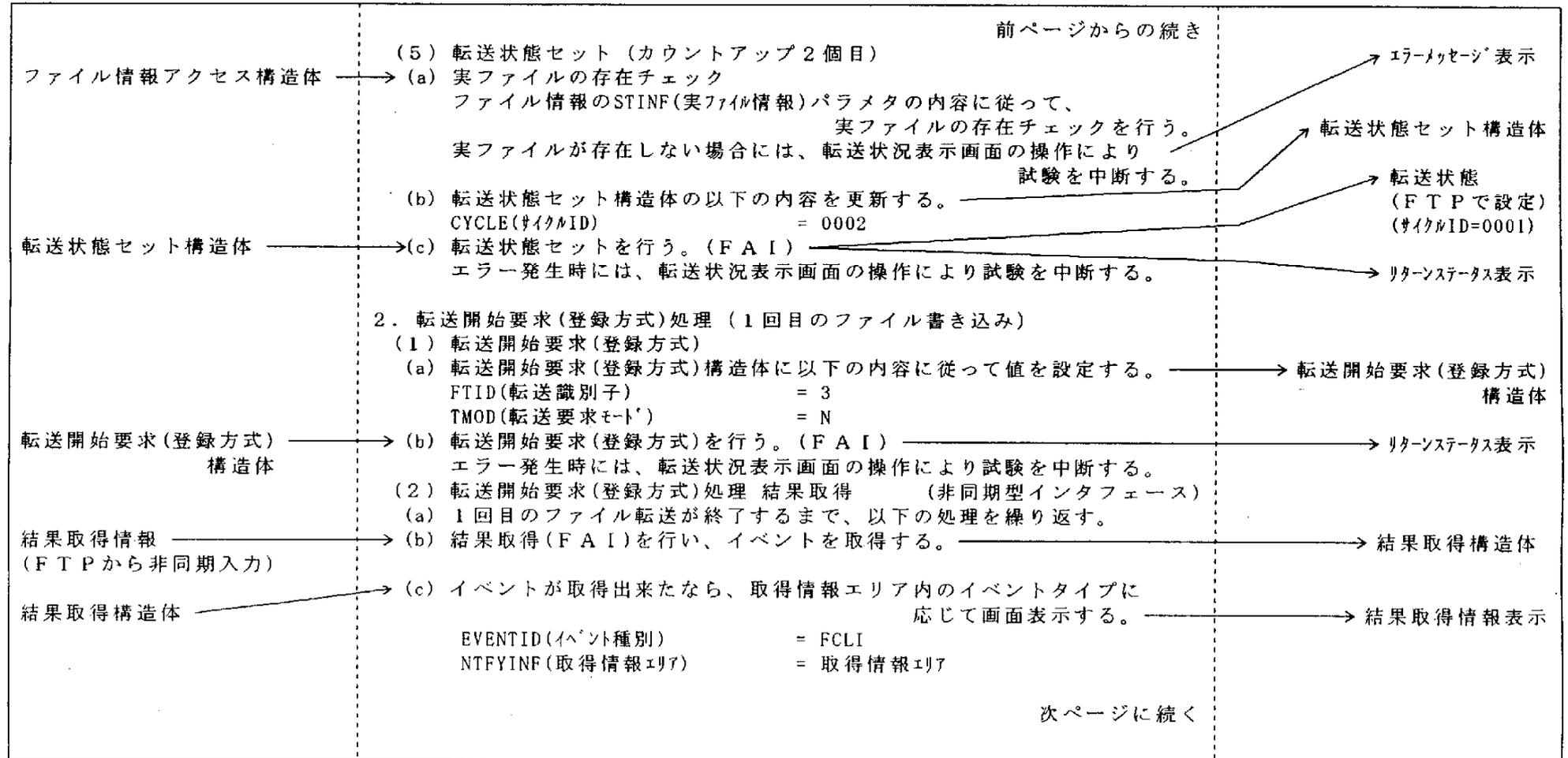
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュール ID	OM-004-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



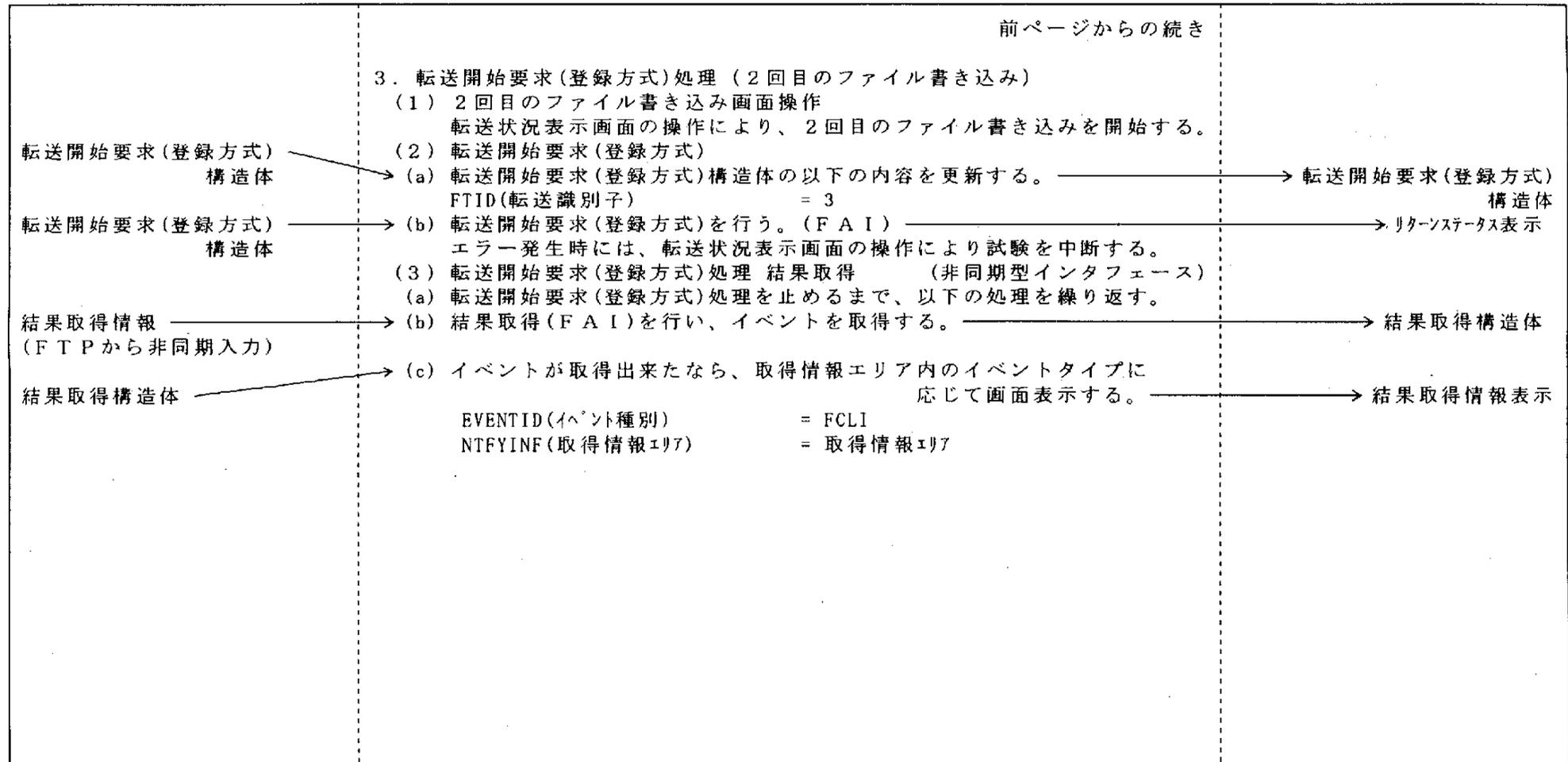
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュール ID	OM-004-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	5/5
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



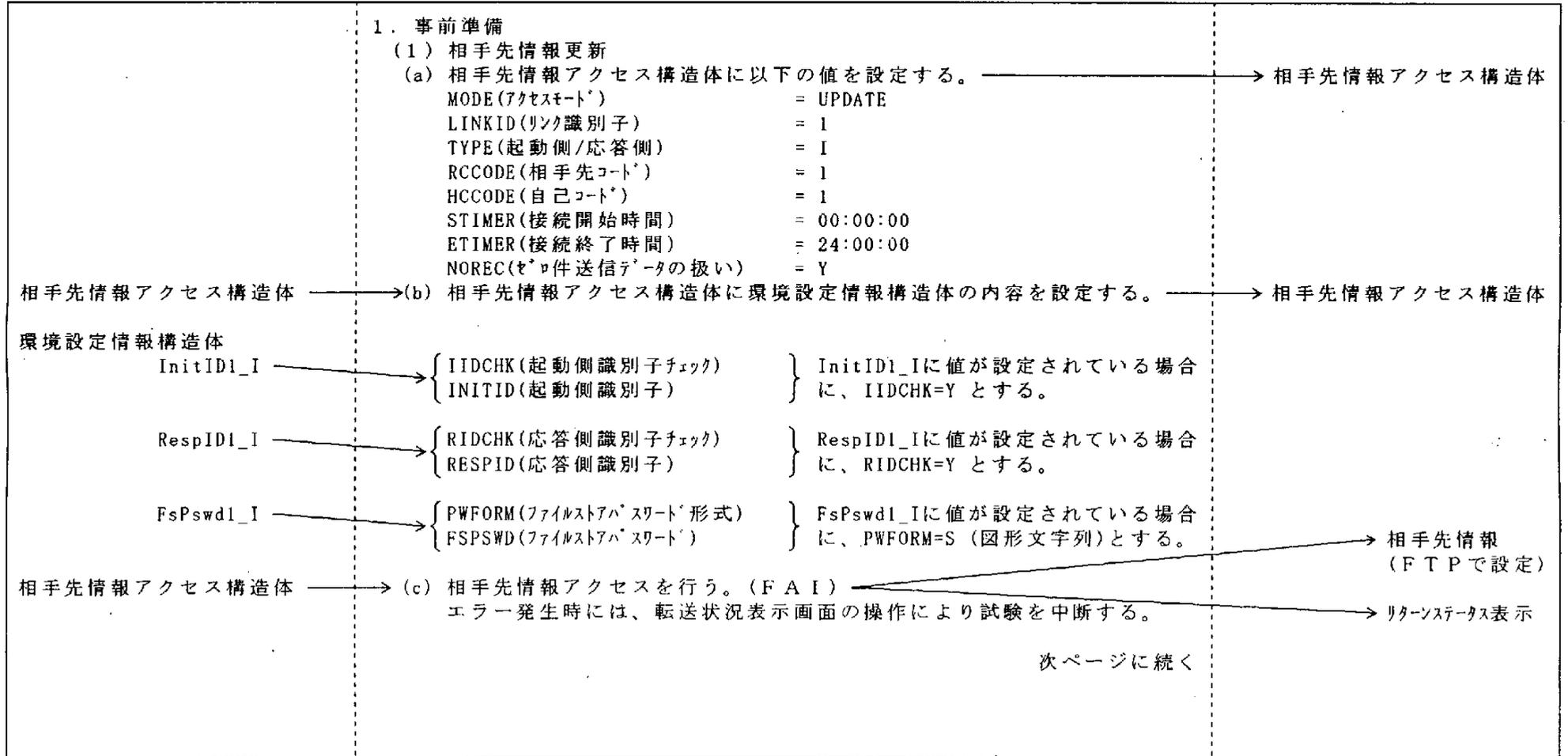
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重読出防止 受信	モジュール ID	OM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



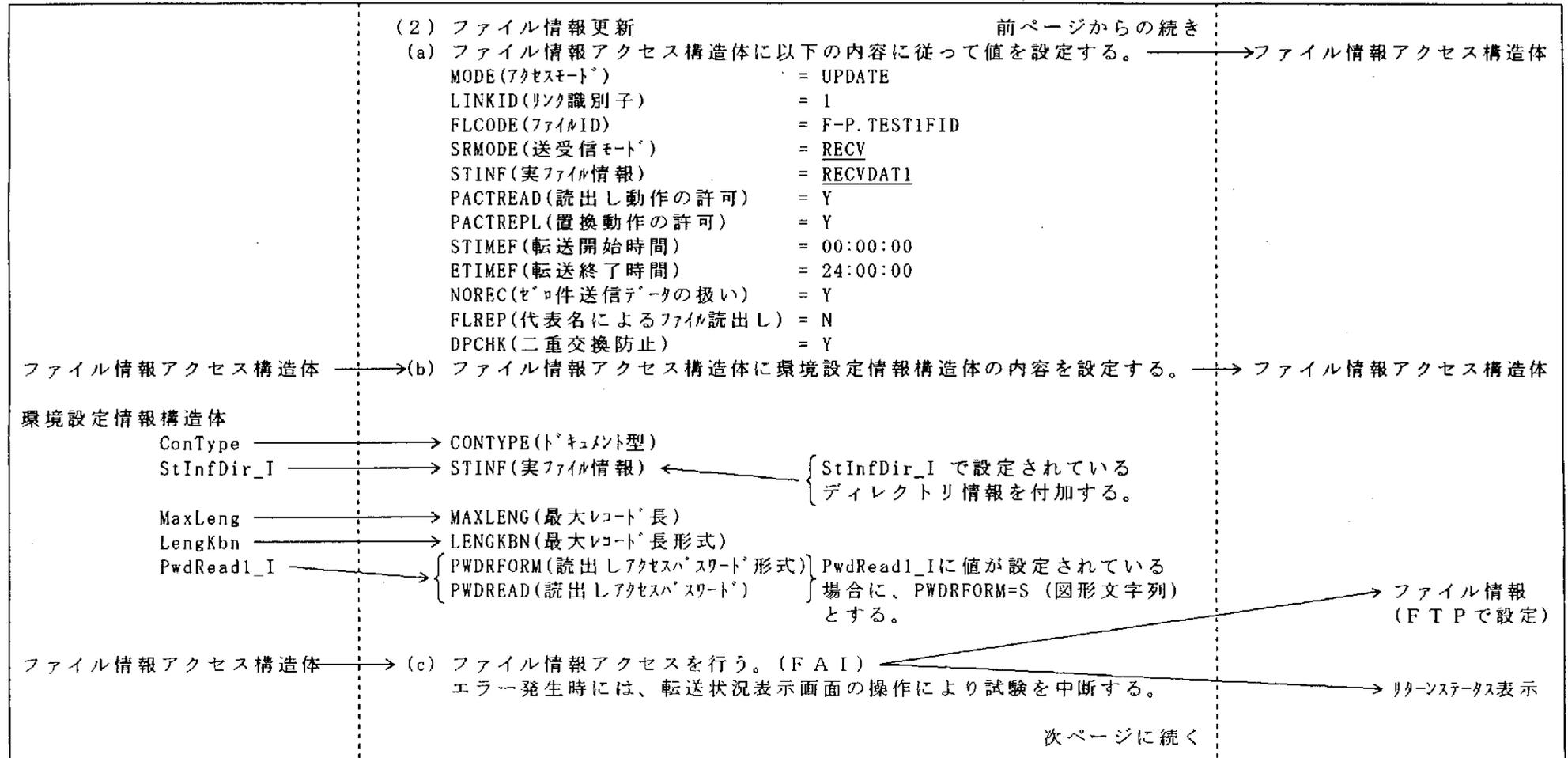
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重読出防止 受信	モジュールID	OM-101-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



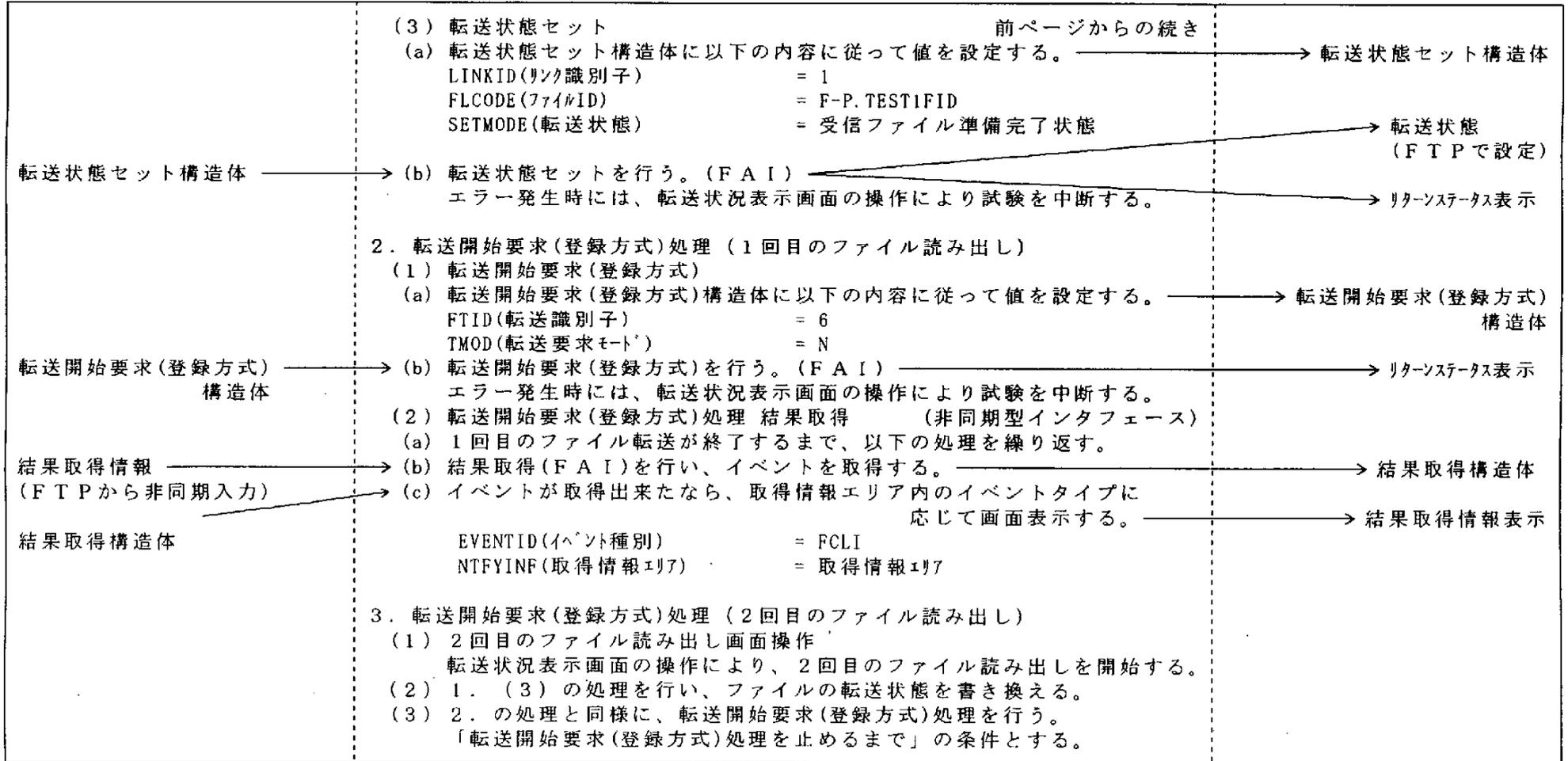
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重読み出し防止 受信	モジュール ID	OM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



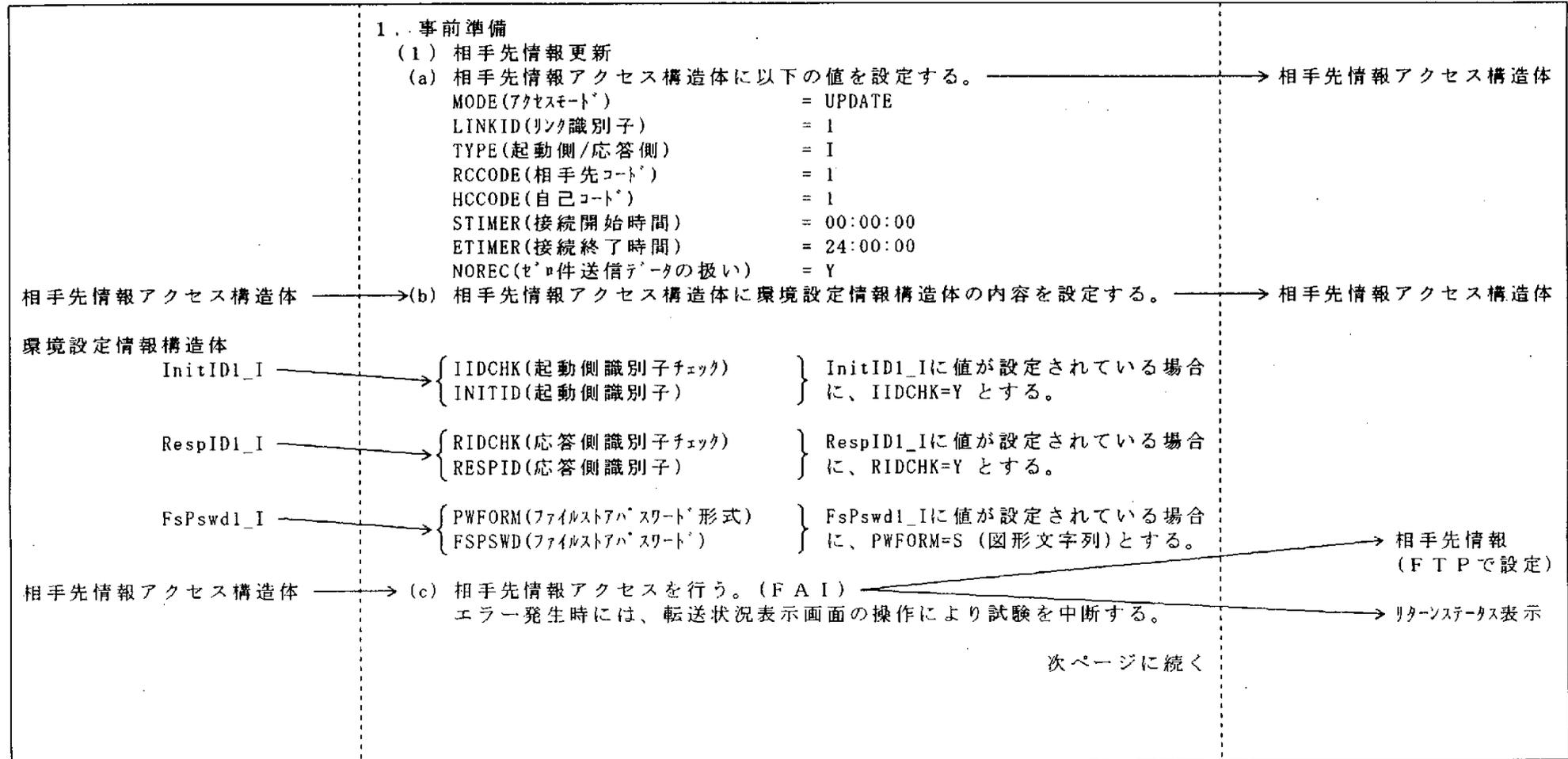
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重書き込み防止 送信	モジュールID	OM-102-I	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



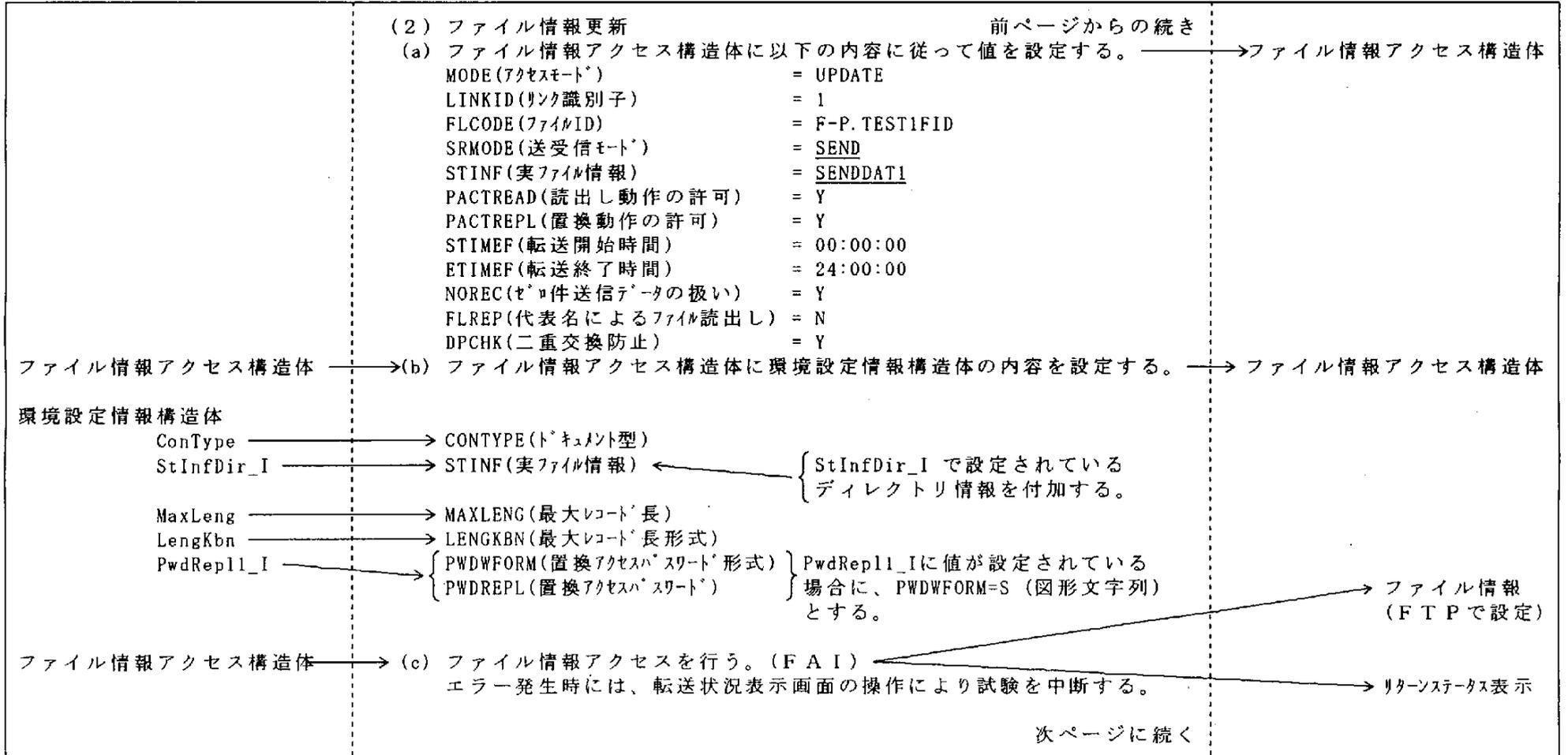
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重書き込み防止 送信	モジュール ID	OM-102-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



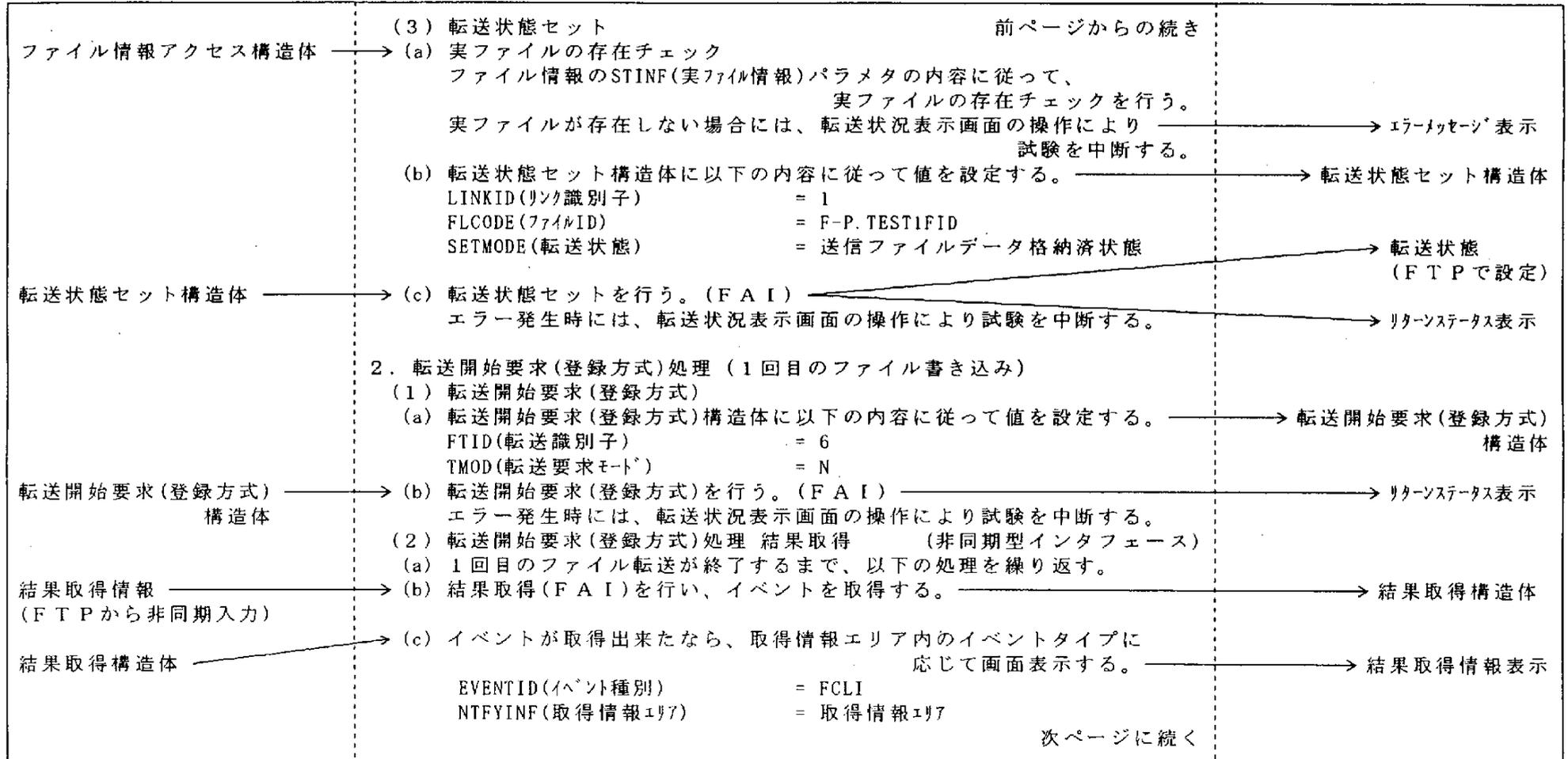
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重書き込み防止 送信	モジュール ID	OM-102-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	運用管理機能 起動側 二重書き込み防止 送信	モジュール ID	OM-102-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力

前ページからの続き

3. 転送開始要求(登録方式)処理 (2回目のファイル書き込み)
 - (1) 2回目のファイル書き込み画面操作
転送状況表示画面の操作により、2回目のファイル書き込みを開始する。
 - (2) 1. (3)の処理を行い、ファイルの転送状態を書き換える。
 - (3) 2. の処理と同様に、転送開始要求(登録方式)処理を行う。
「転送開始要求(登録方式)処理を止めるまで」の条件とする。

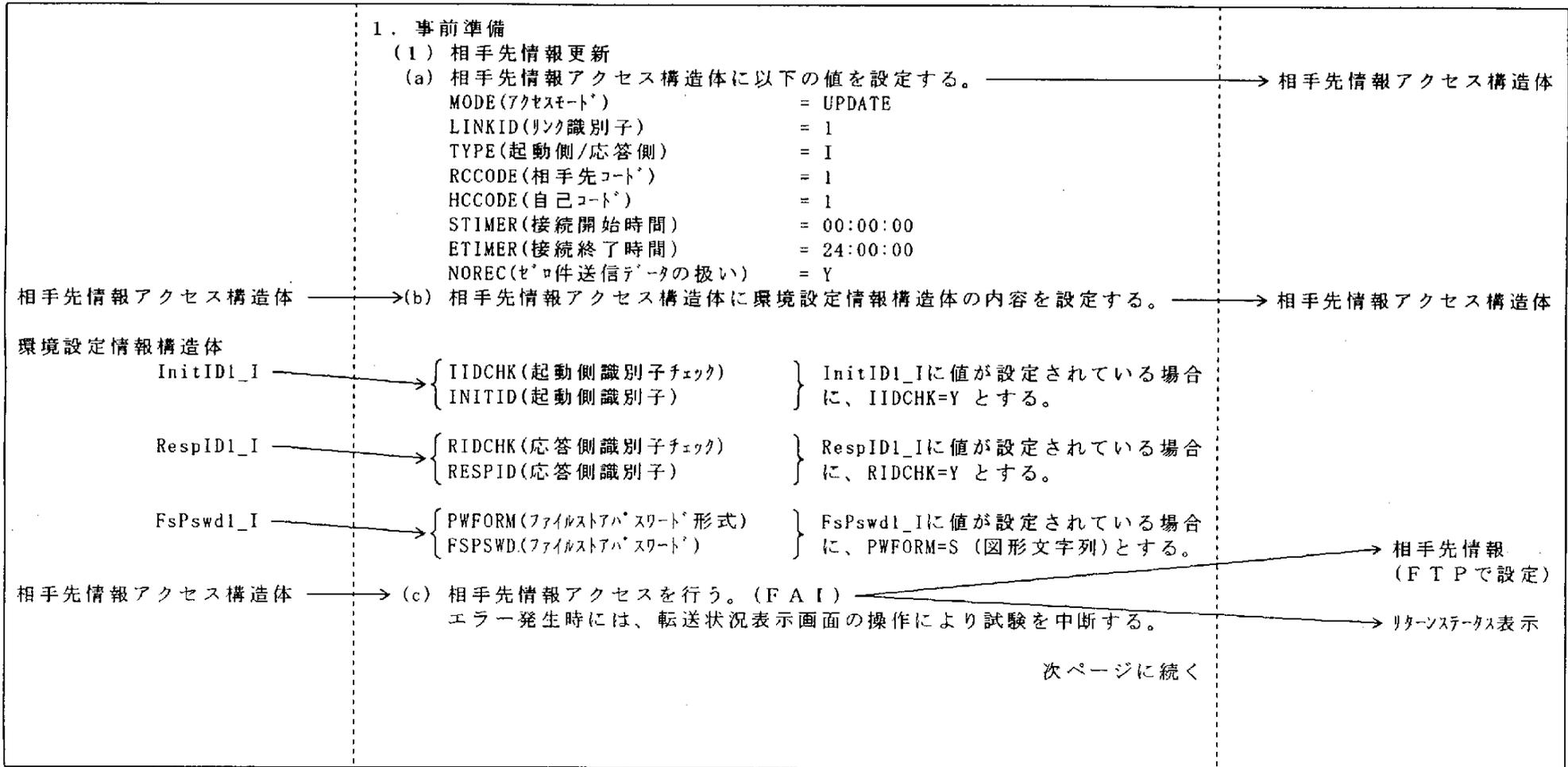
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 接続許可時間 受信	モジュール ID	OM-201-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の相手先単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



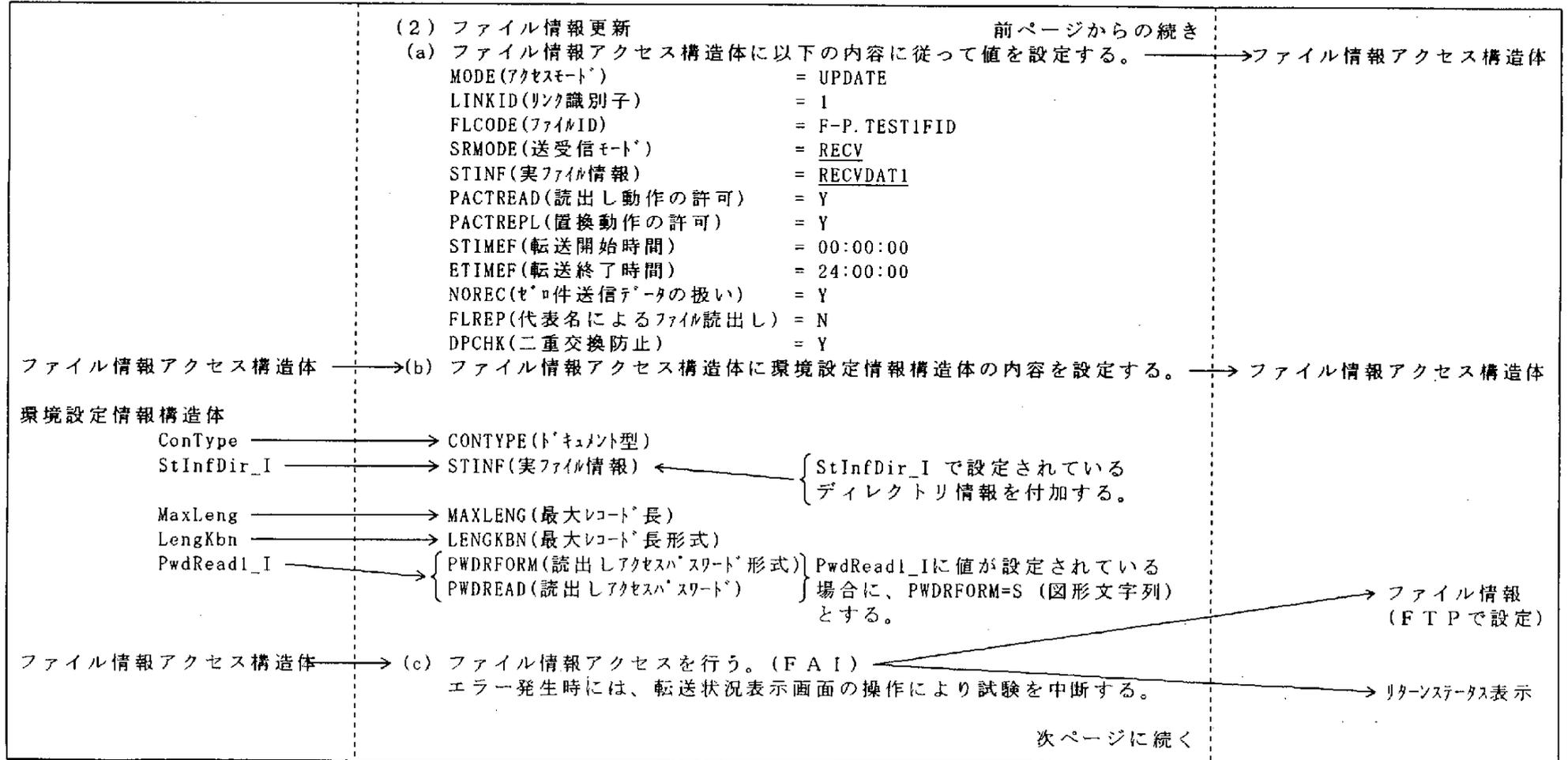
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 接続許可時間 受信	モジュール ID	OM-201-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の相手先単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										

入 力

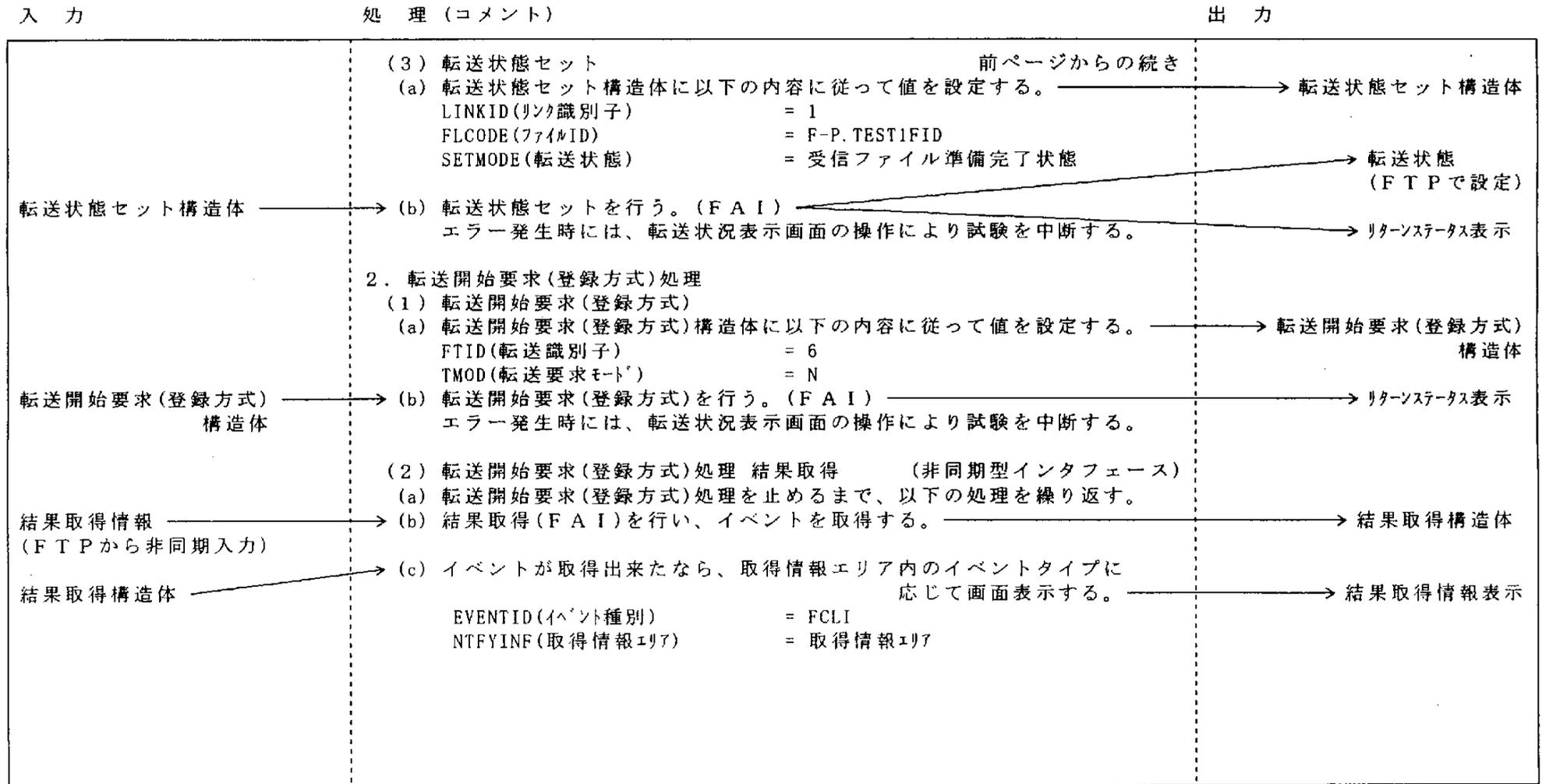
処 理 (コメント)

出 力



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 接続許可時間 受信	モジュール ID	OM-201-1	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の相手先単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										



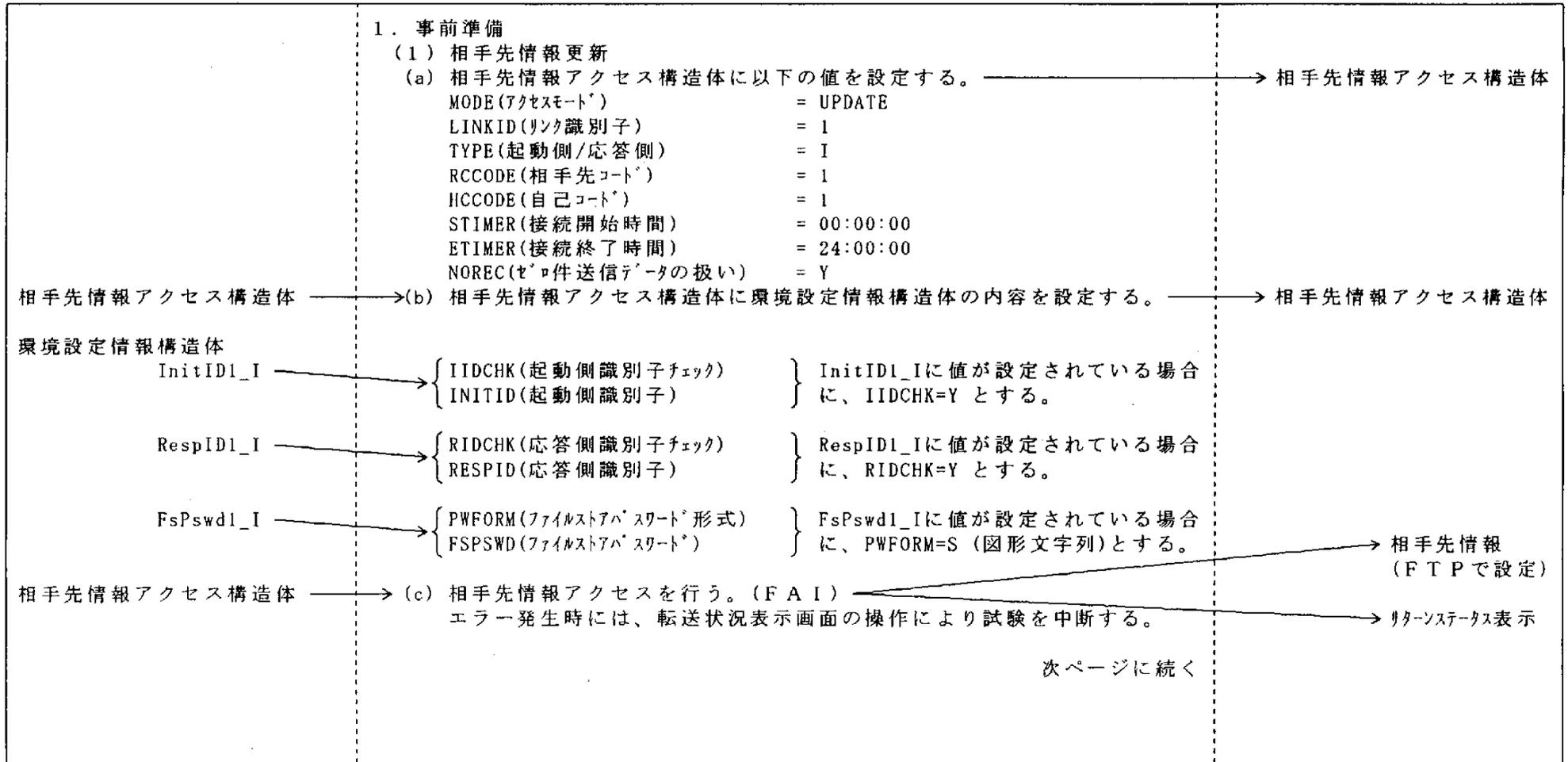
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 転送許可時間 受信	モジュール ID	OM-202-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。									

入 力

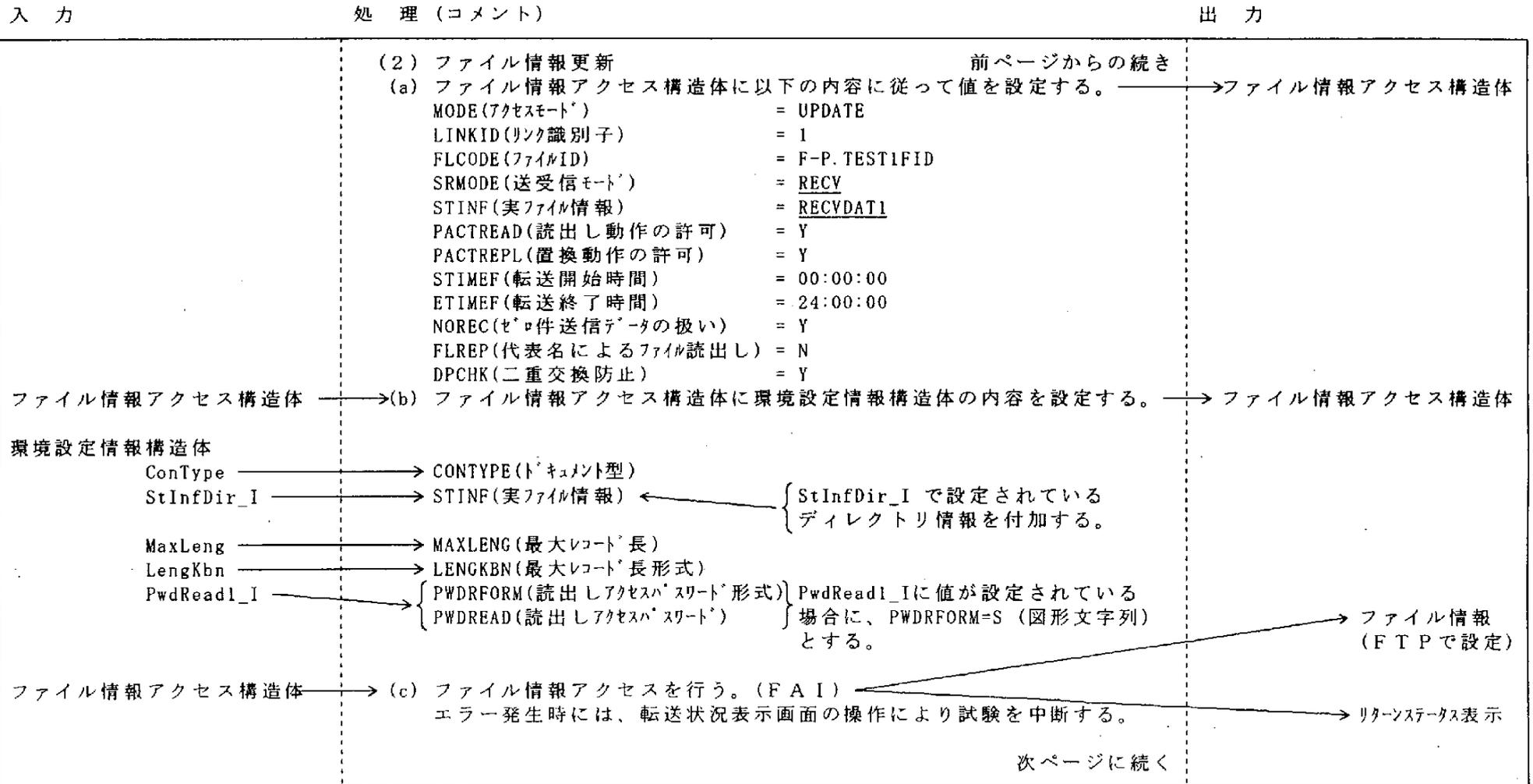
処 理 (コメント)

出 力



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 転送許可時間 受信	モジュール ID	OM-202-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。									



【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 転送許可時間 受信	モジュール ID	OM-202-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力

	(3) 転送状態セット (a) 転送状態セット構造体に以下の内容に従って値を設定する。 LINKID(リンク識別子) = 1 FLCODE(ファイルID) = F-P.TESTIFID SETMODE(転送状態) = 受信ファイル準備完了状態	前ページからの続き → 転送状態セット構造体
転送状態セット構造体	(b) 転送状態セットを行う。(FAI) エラー発生時には、転送状況表示画面の操作により試験を中断する。	→ 転送状態 (FTPで設定) → リターンステータス表示
	2. 転送開始要求(登録方式)処理 (1) 転送開始要求(登録方式) (a) 転送開始要求(登録方式)構造体に以下の内容に従って値を設定する。 FTID(転送識別子) = 7 TMOD(転送要求モード) = N	→ 転送開始要求(登録方式)構造体
転送開始要求(登録方式)構造体	(b) 転送開始要求(登録方式)を行う。(FAI) エラー発生時には、転送状況表示画面の操作により試験を中断する。	→ リターンステータス表示
	(2) 転送開始要求(登録方式)処理 結果取得 (非同期型インタフェース) (a) 転送開始要求(登録方式)処理を止めるまで、以下の処理を繰り返す。	
結果取得情報 (FTPから非同期入力)	(b) 結果取得(FAI)を行い、イベントを取得する。	→ 結果取得構造体
結果取得構造体	(c) イベントが取得出来たなら、取得情報エリア内のイベントタイプに応じて画面表示する。 EVENTID(イベント種別) = FCLI NTFYINF(取得情報エリア) = 取得情報エリア	→ 結果取得情報表示

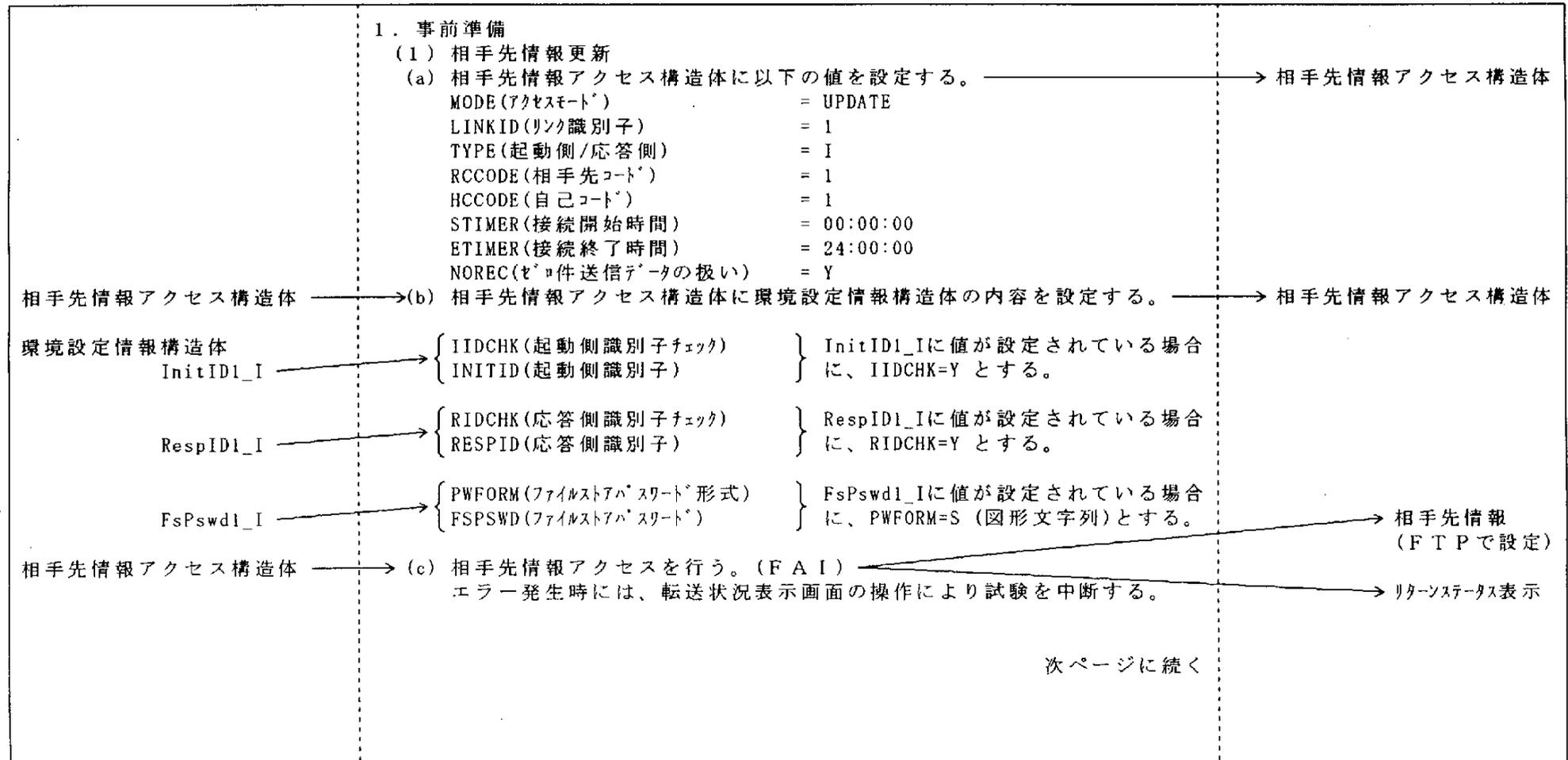
〔POダイアグラム(モジュール詳細)〕

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/5
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



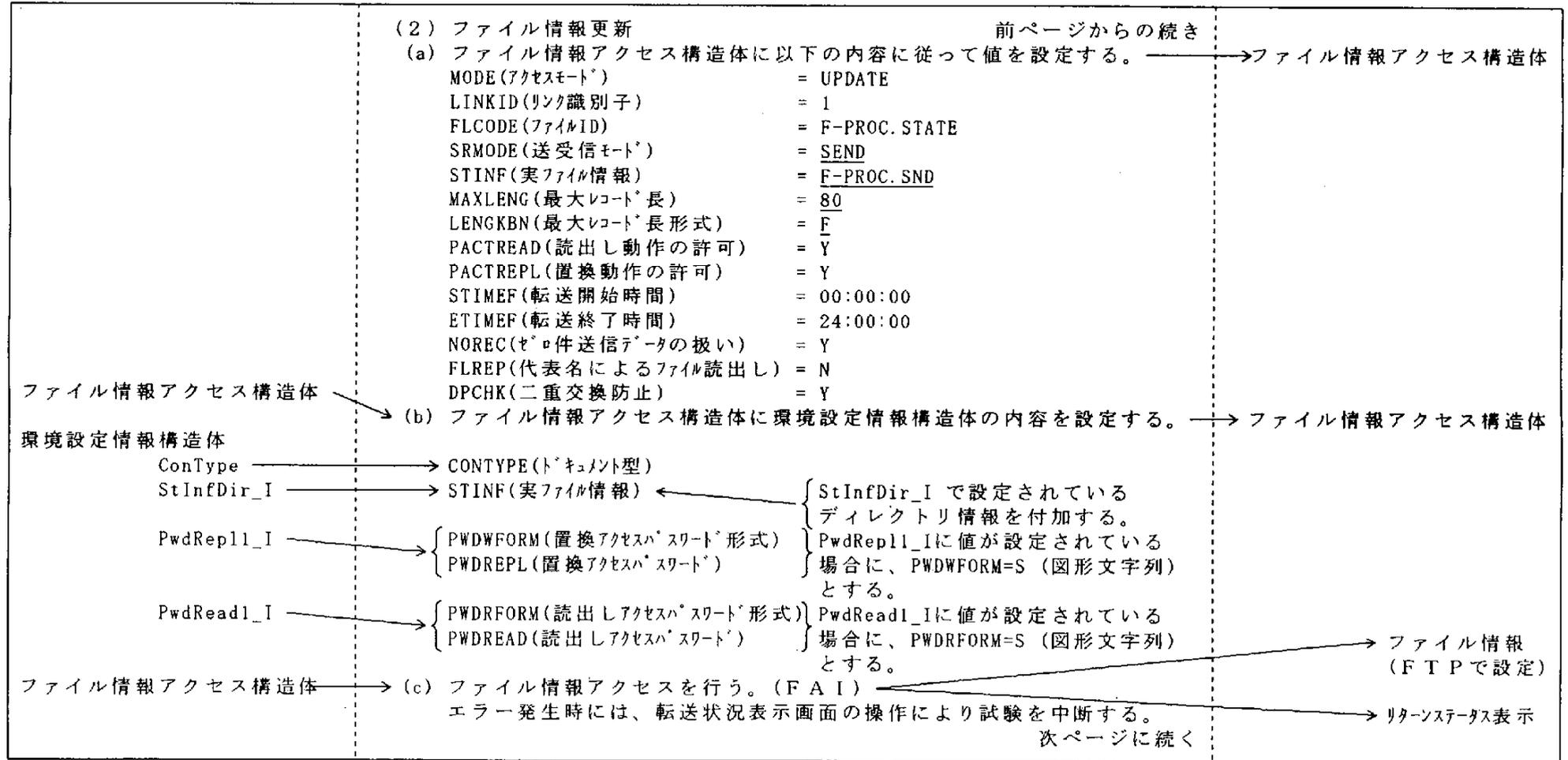
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/5
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



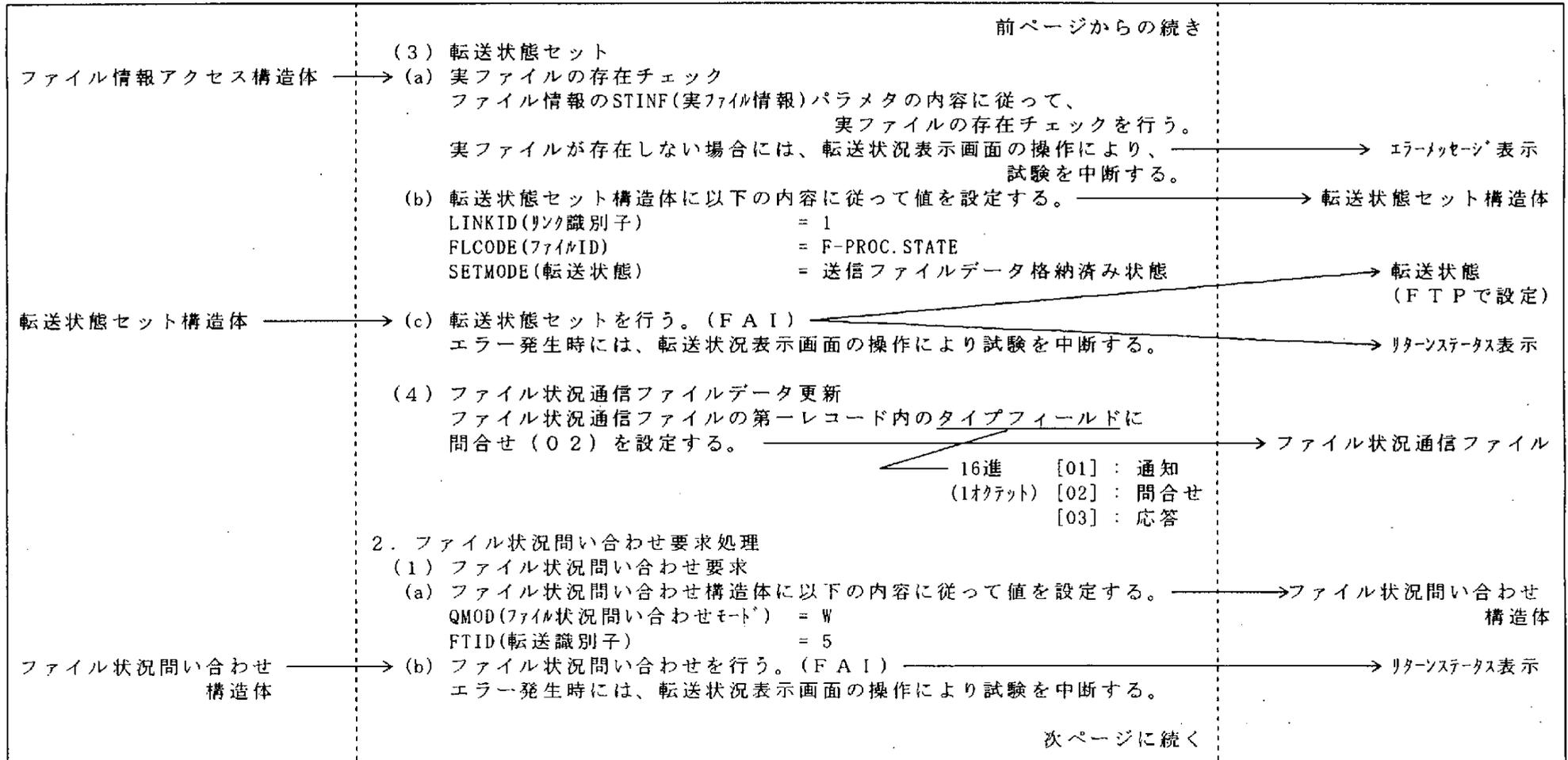
〔POダイアグラム(モジュール詳細)〕

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/5
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



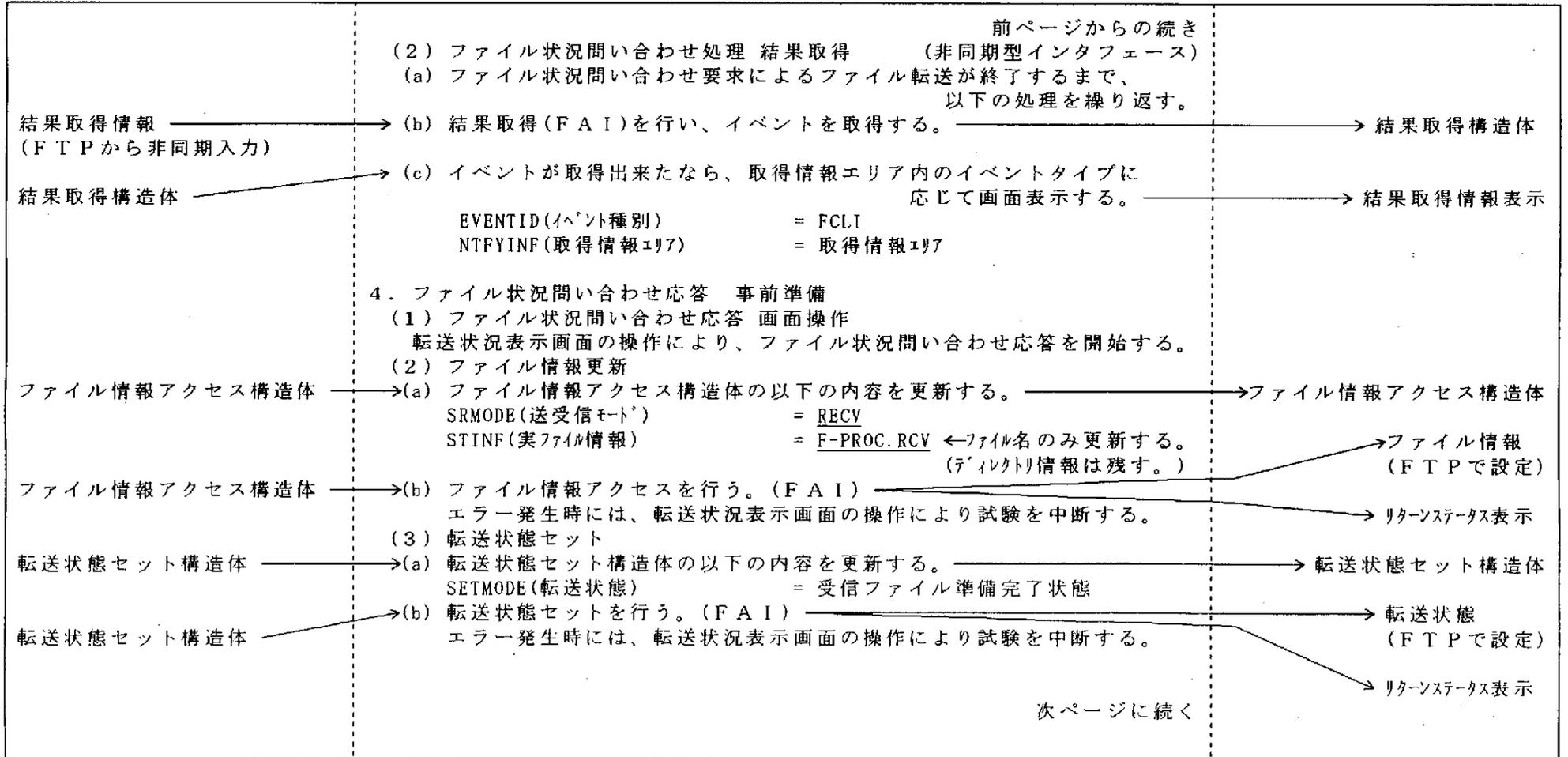
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/5
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



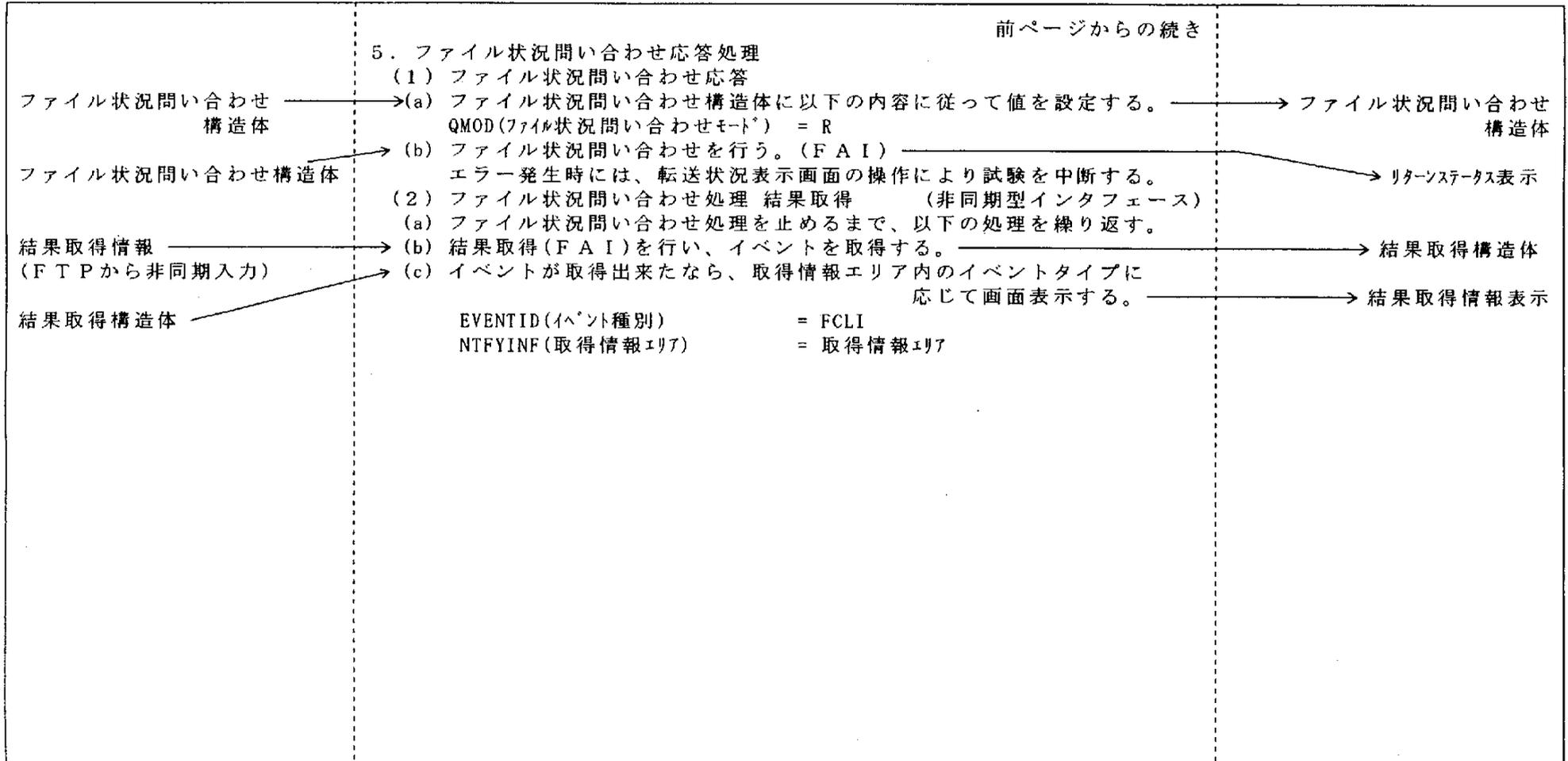
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	5/5
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



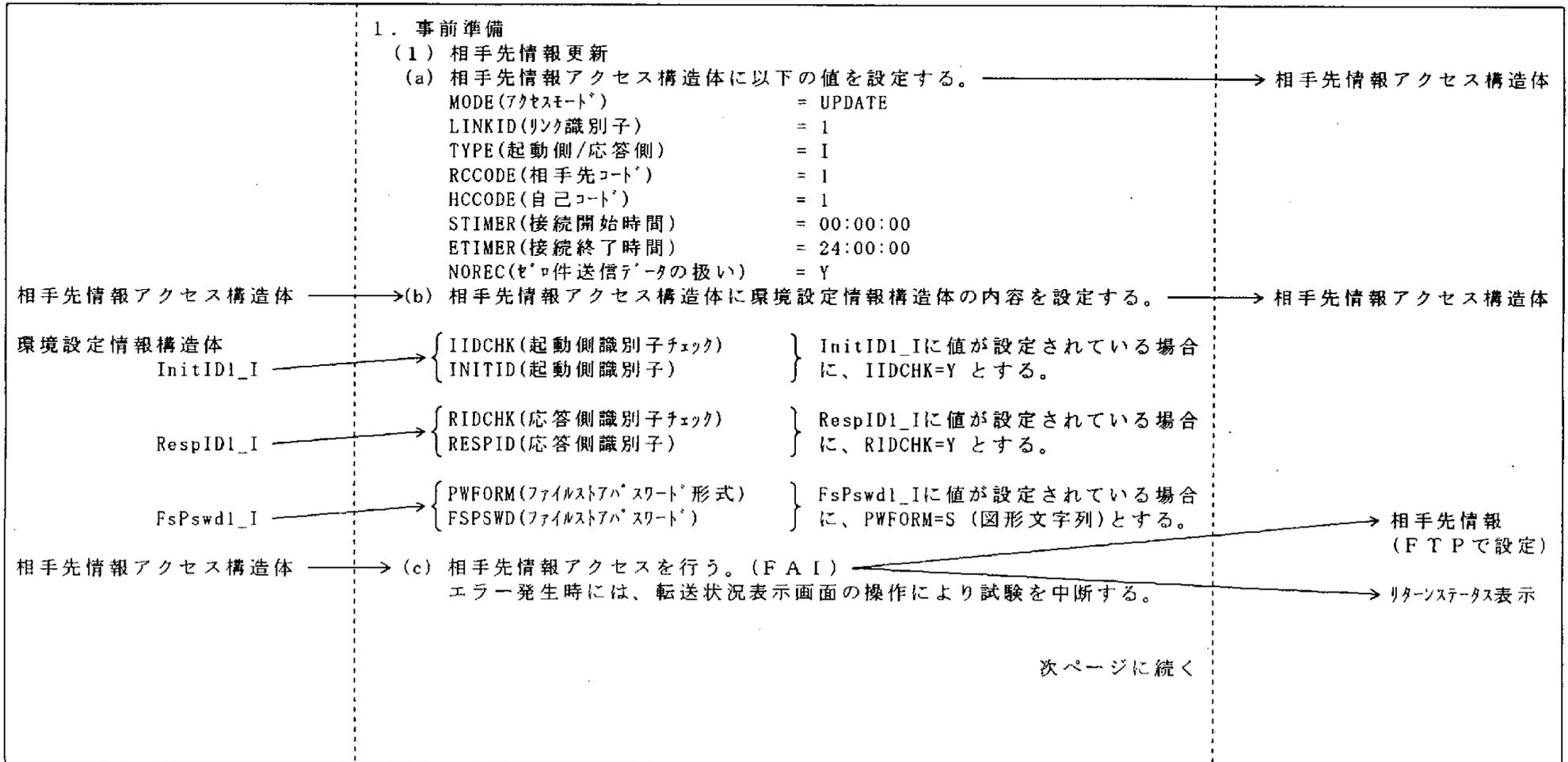
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



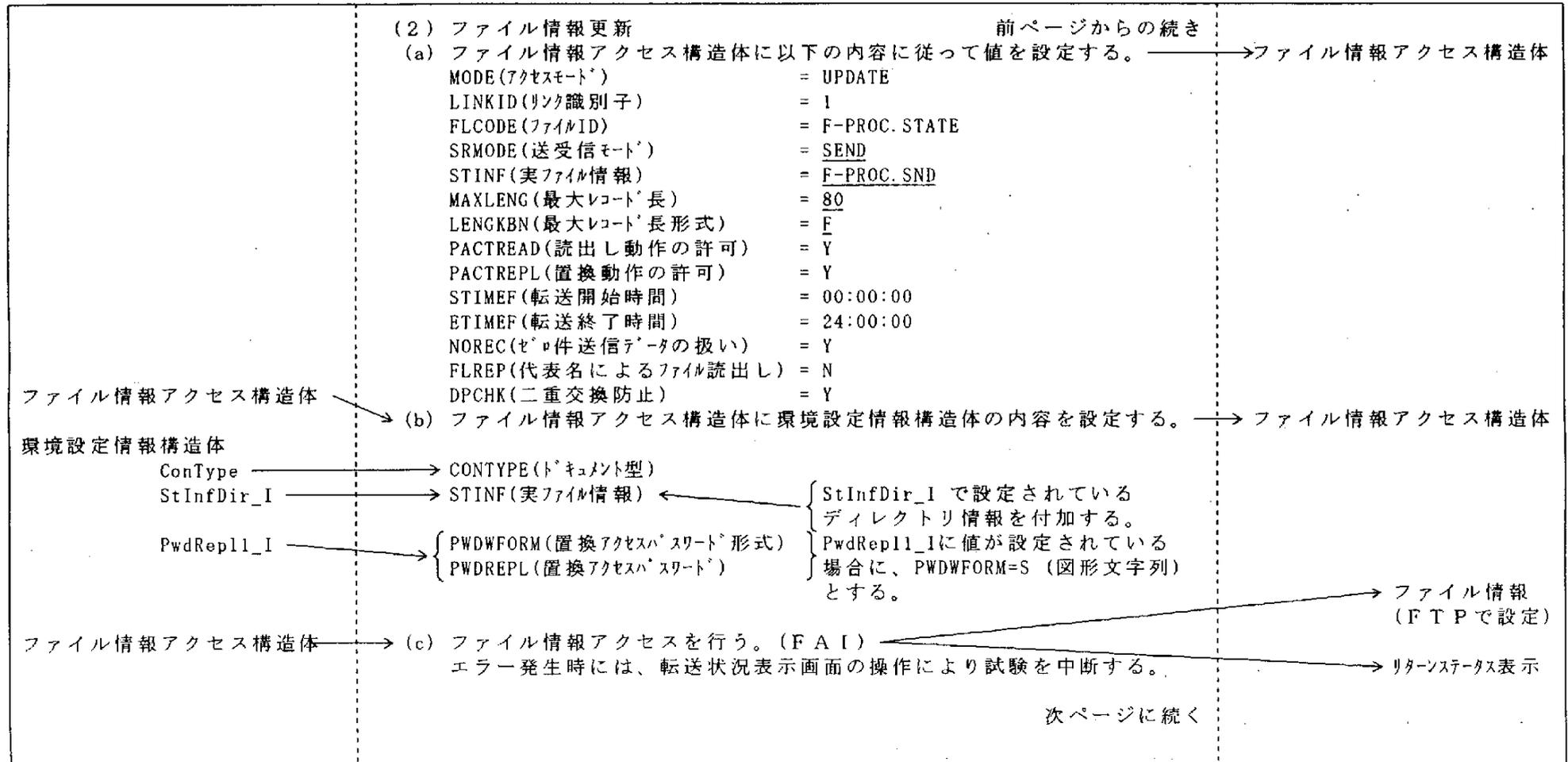
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 起動側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



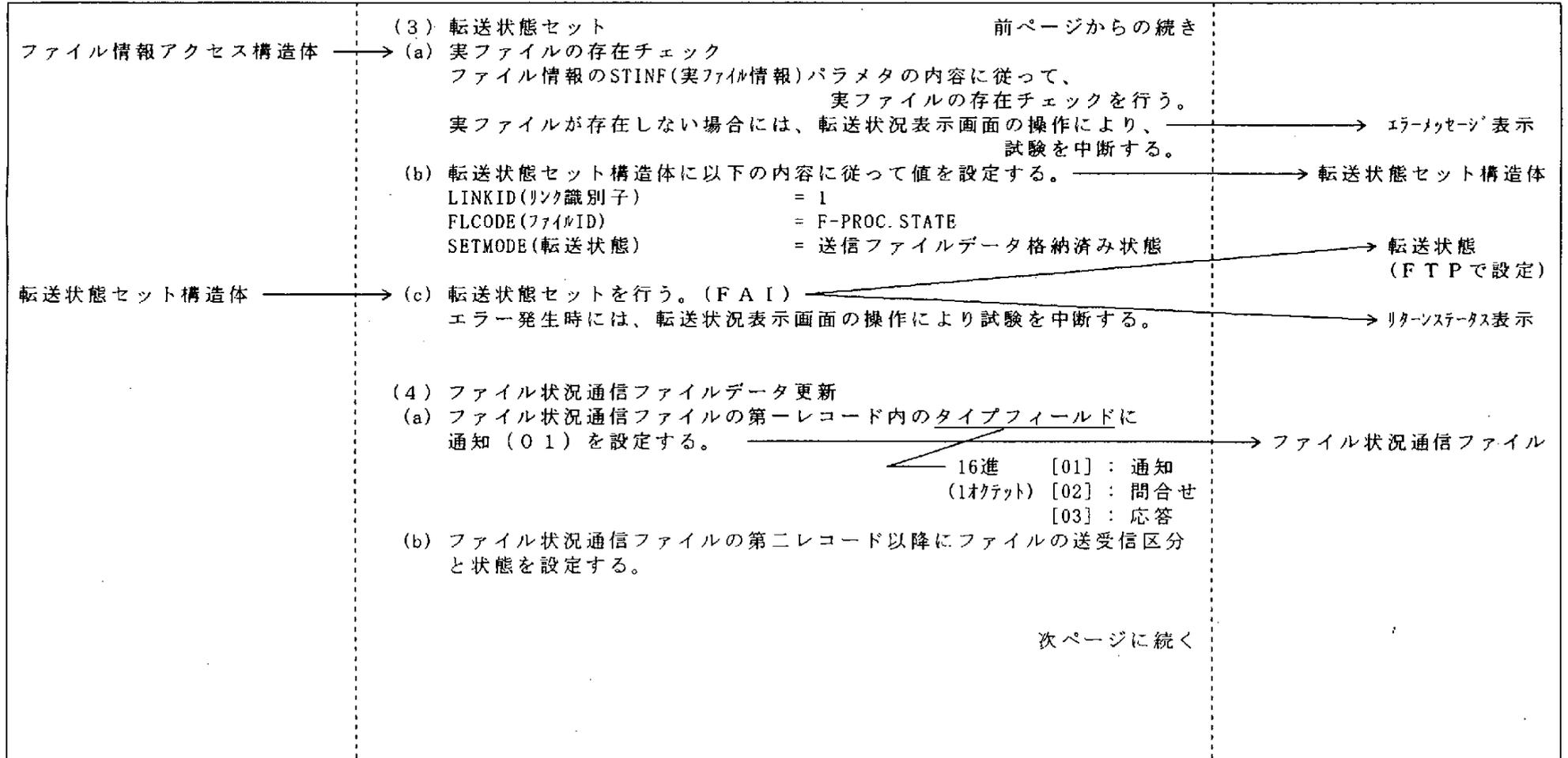
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	ファイル転送基本機能 起動側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



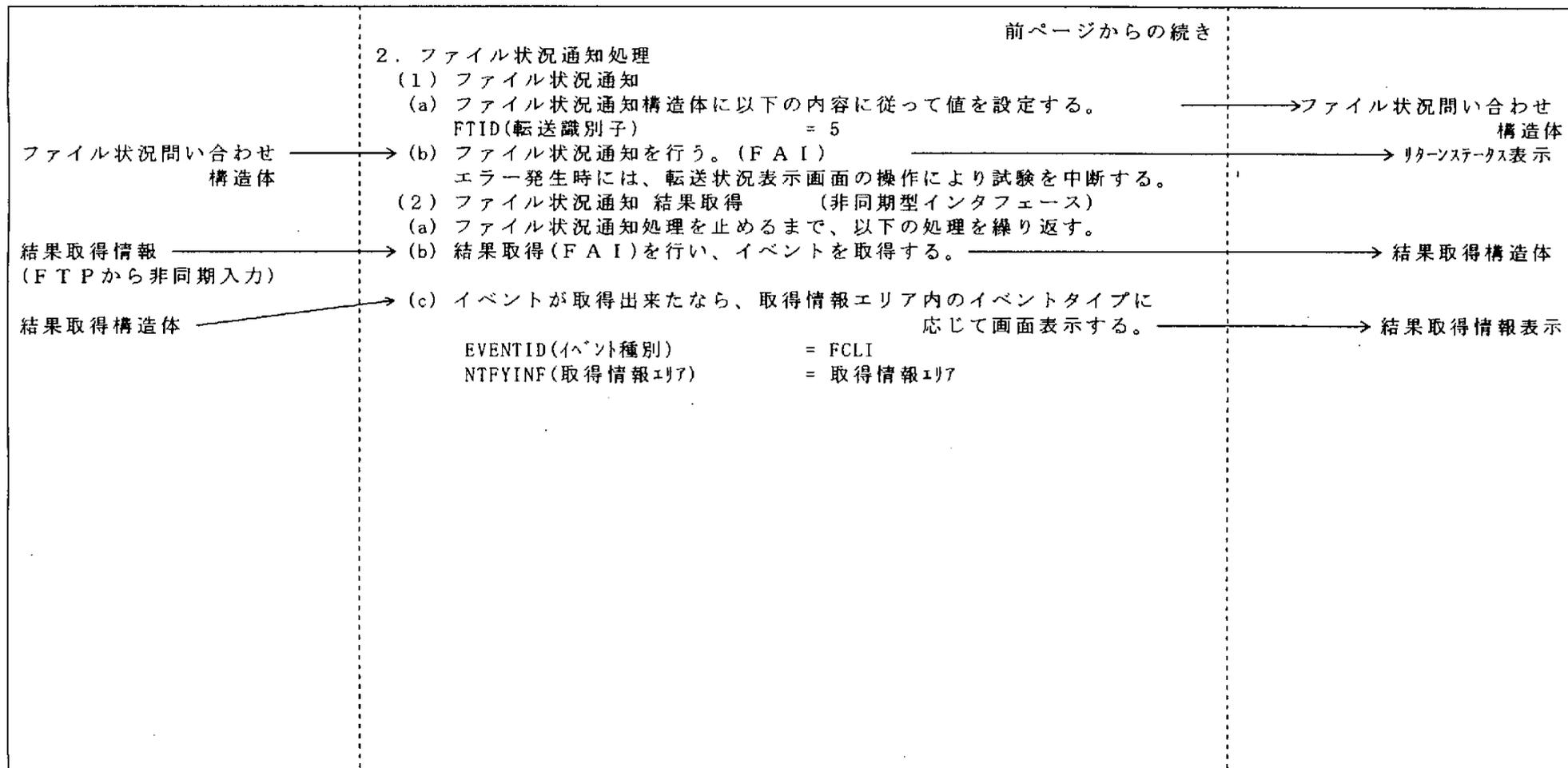
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	ファイル転送基本機能 起動側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



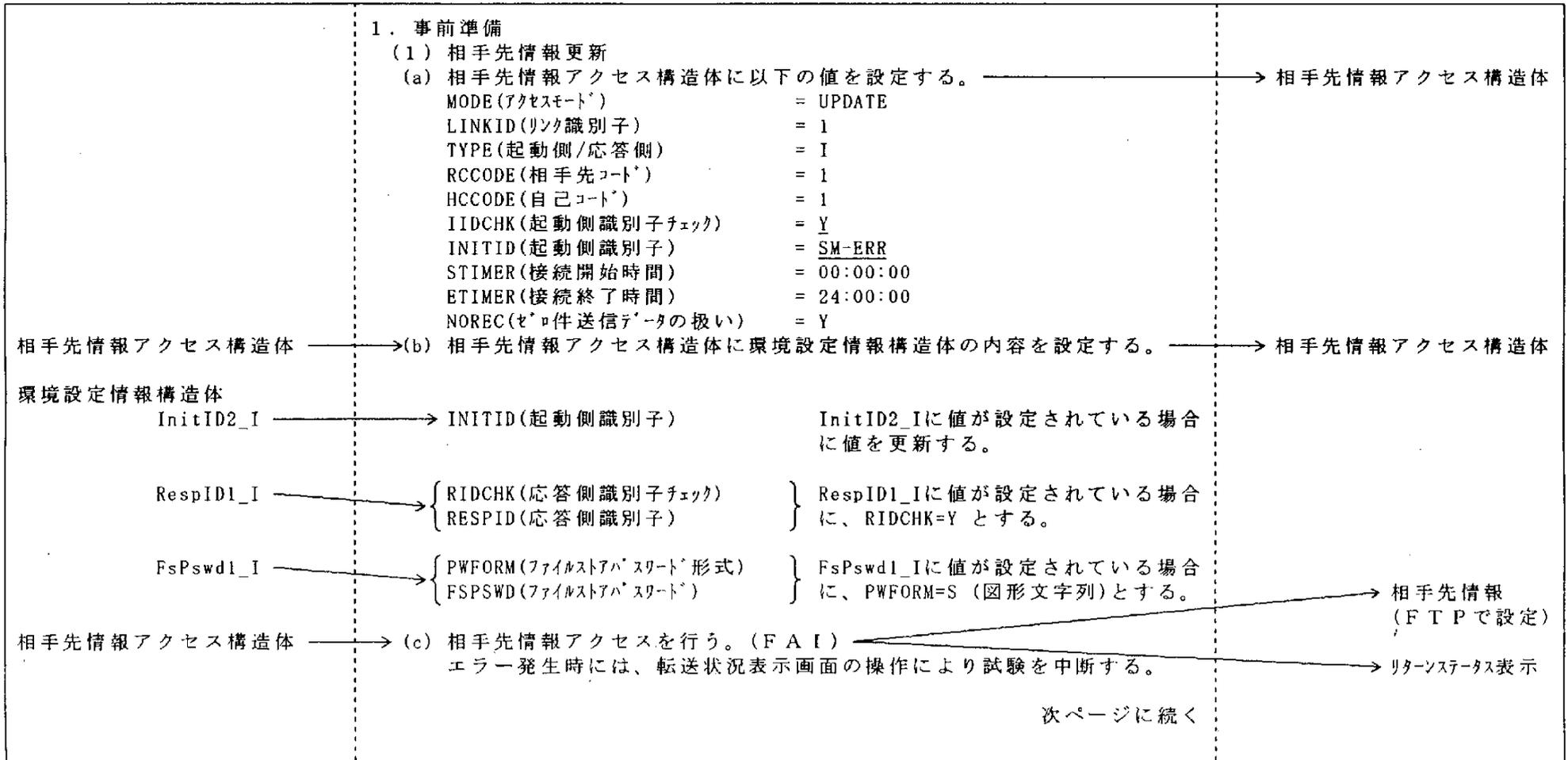
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



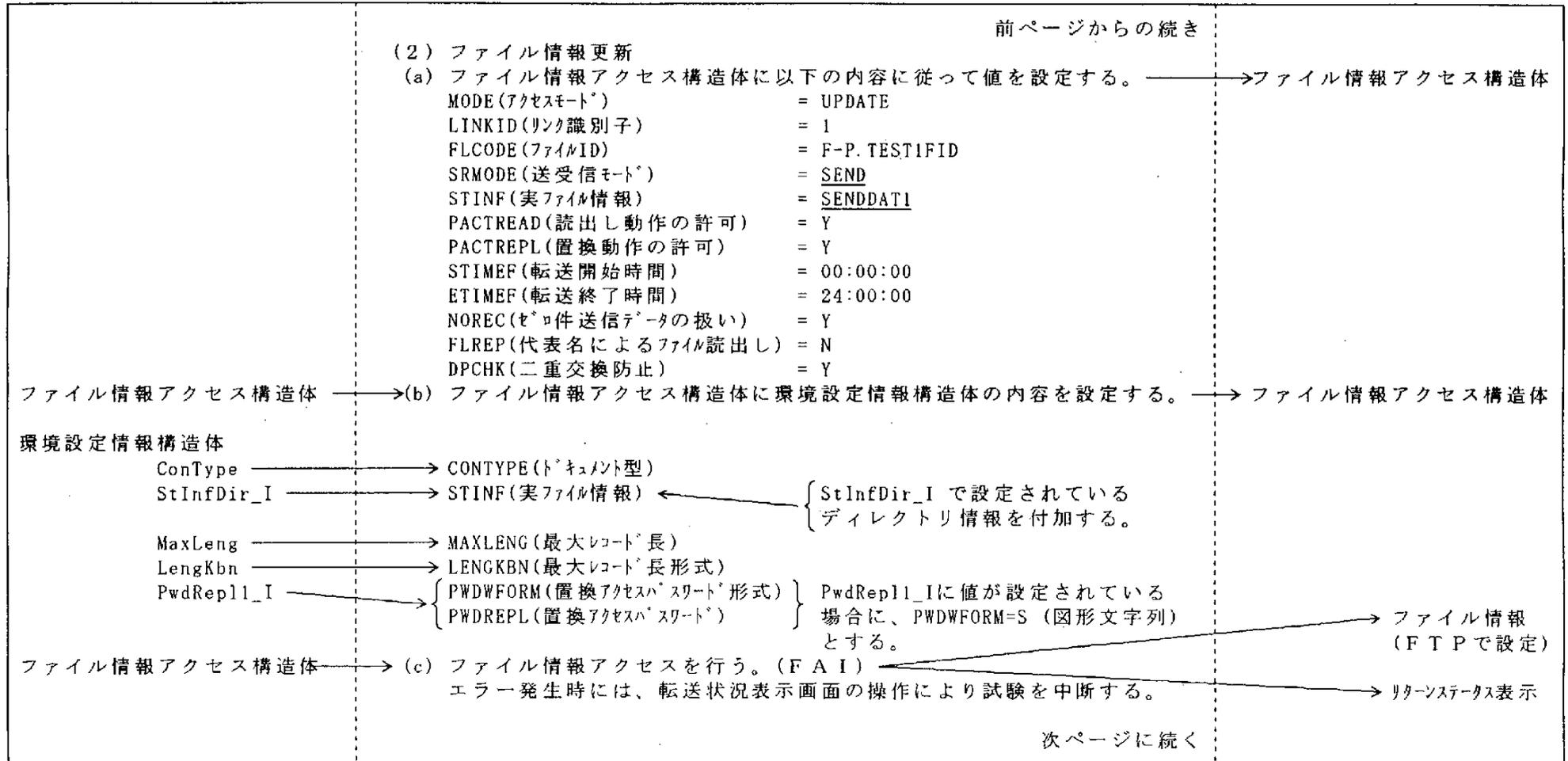
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



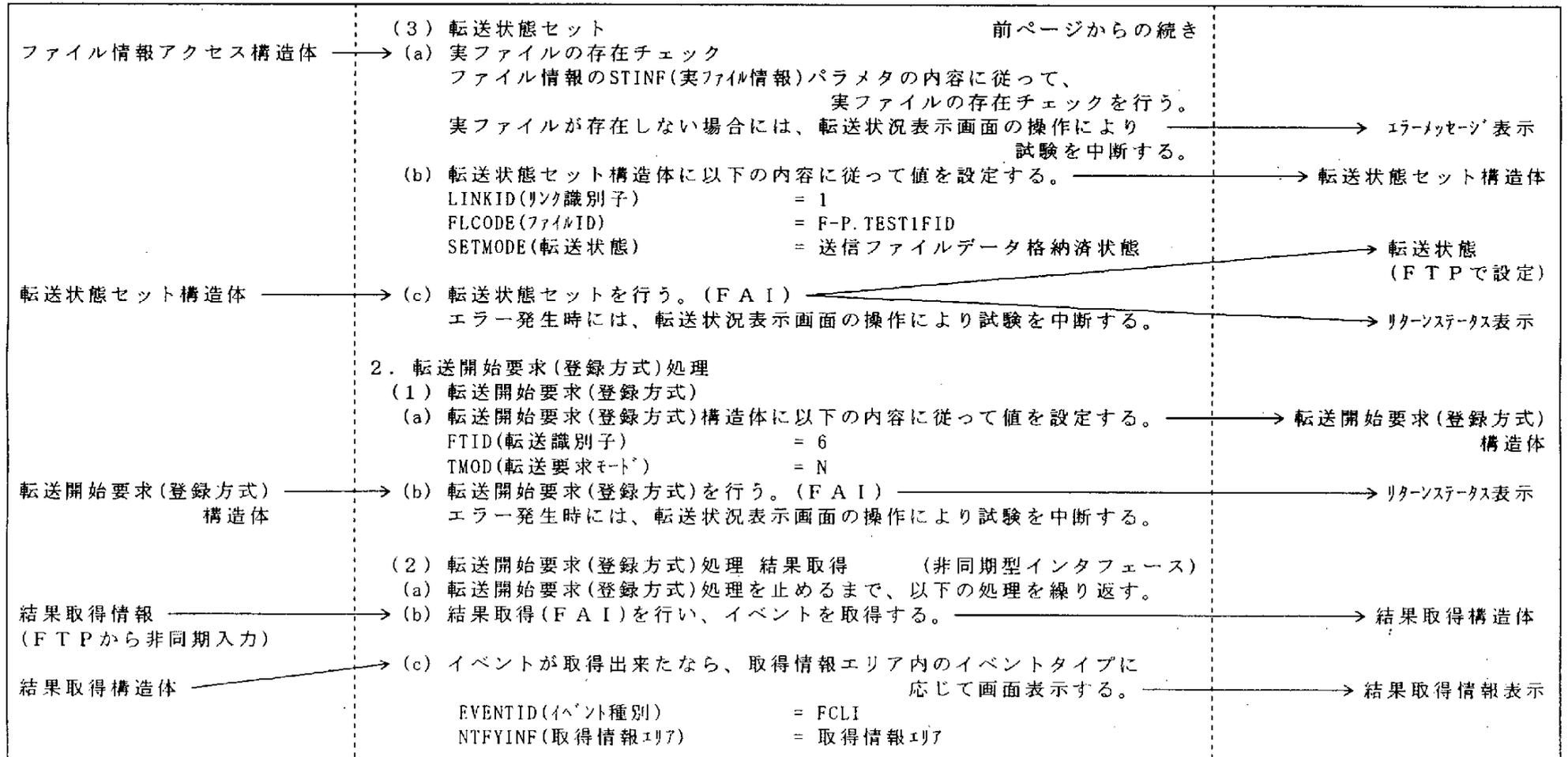
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



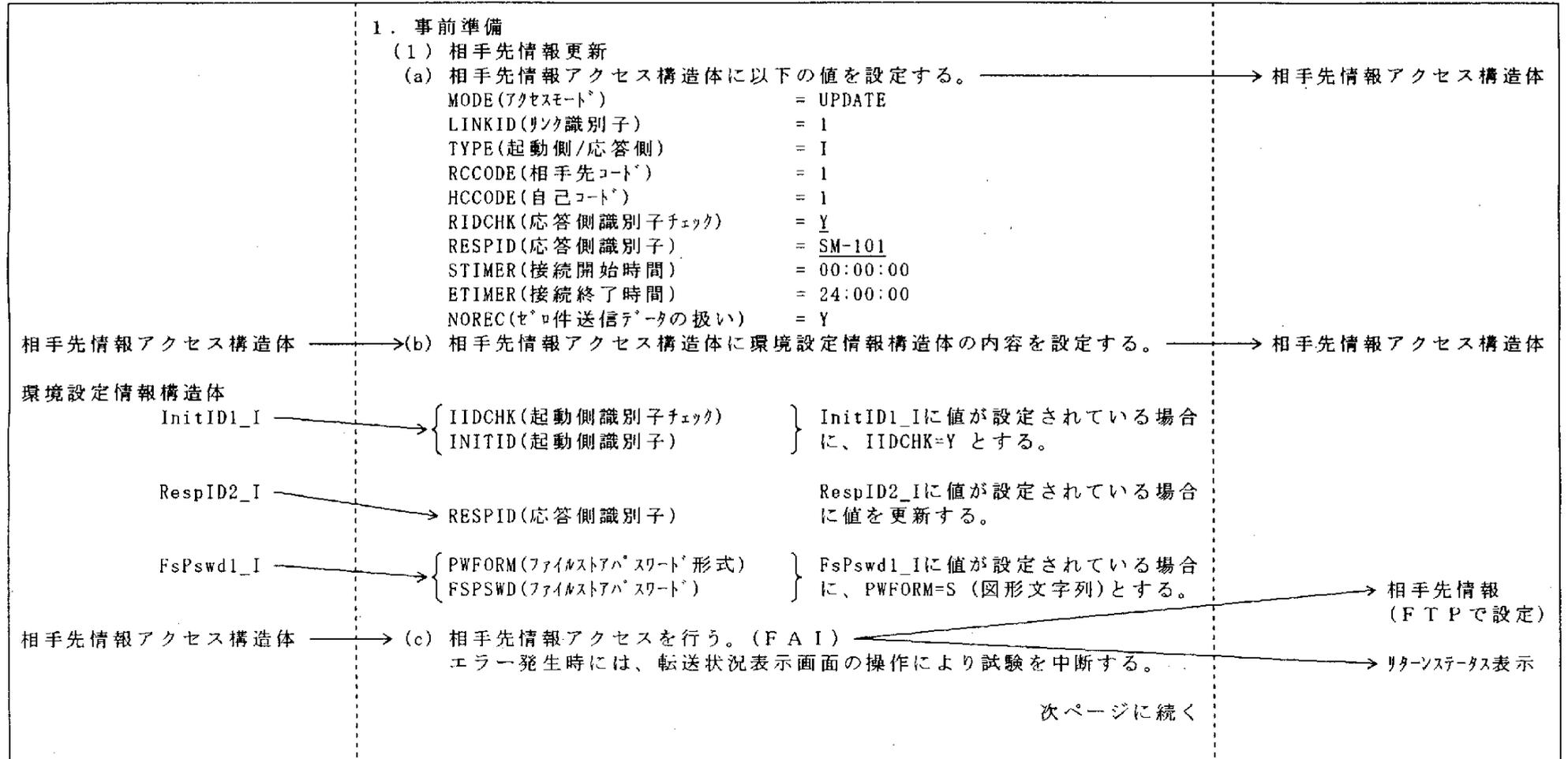
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



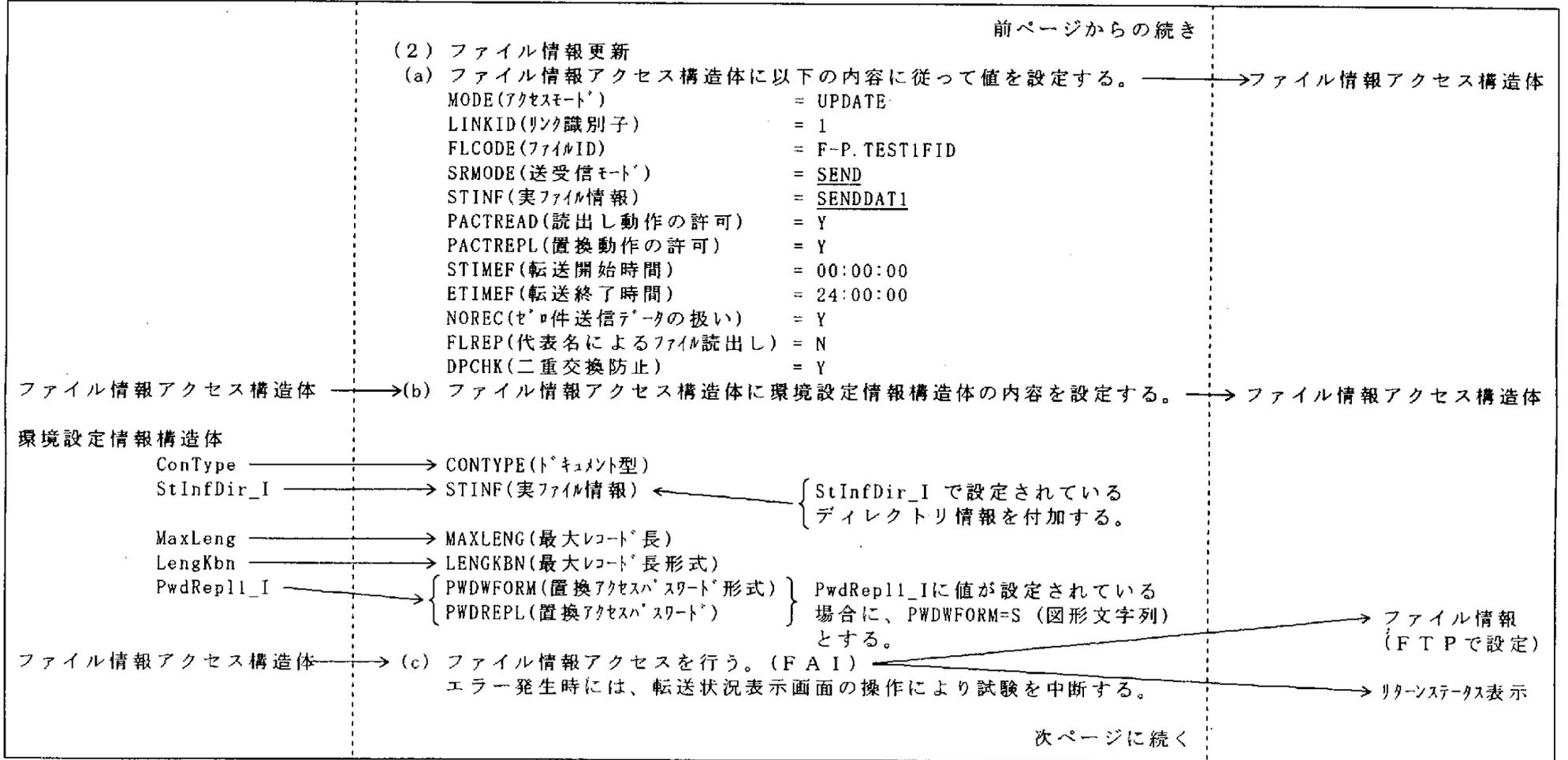
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-I	プログラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



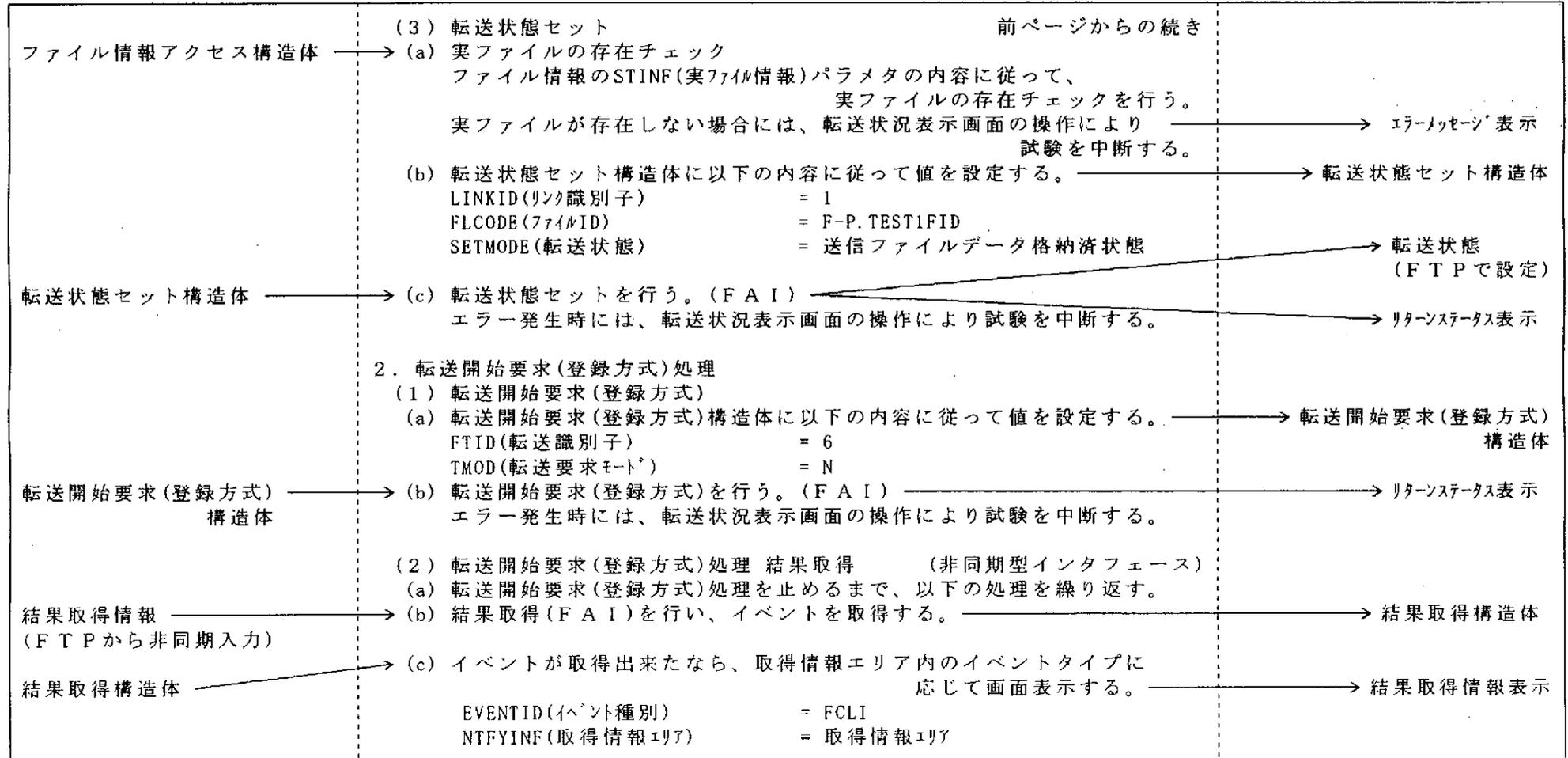
〔POダイアグラム(モジュール詳細)〕

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



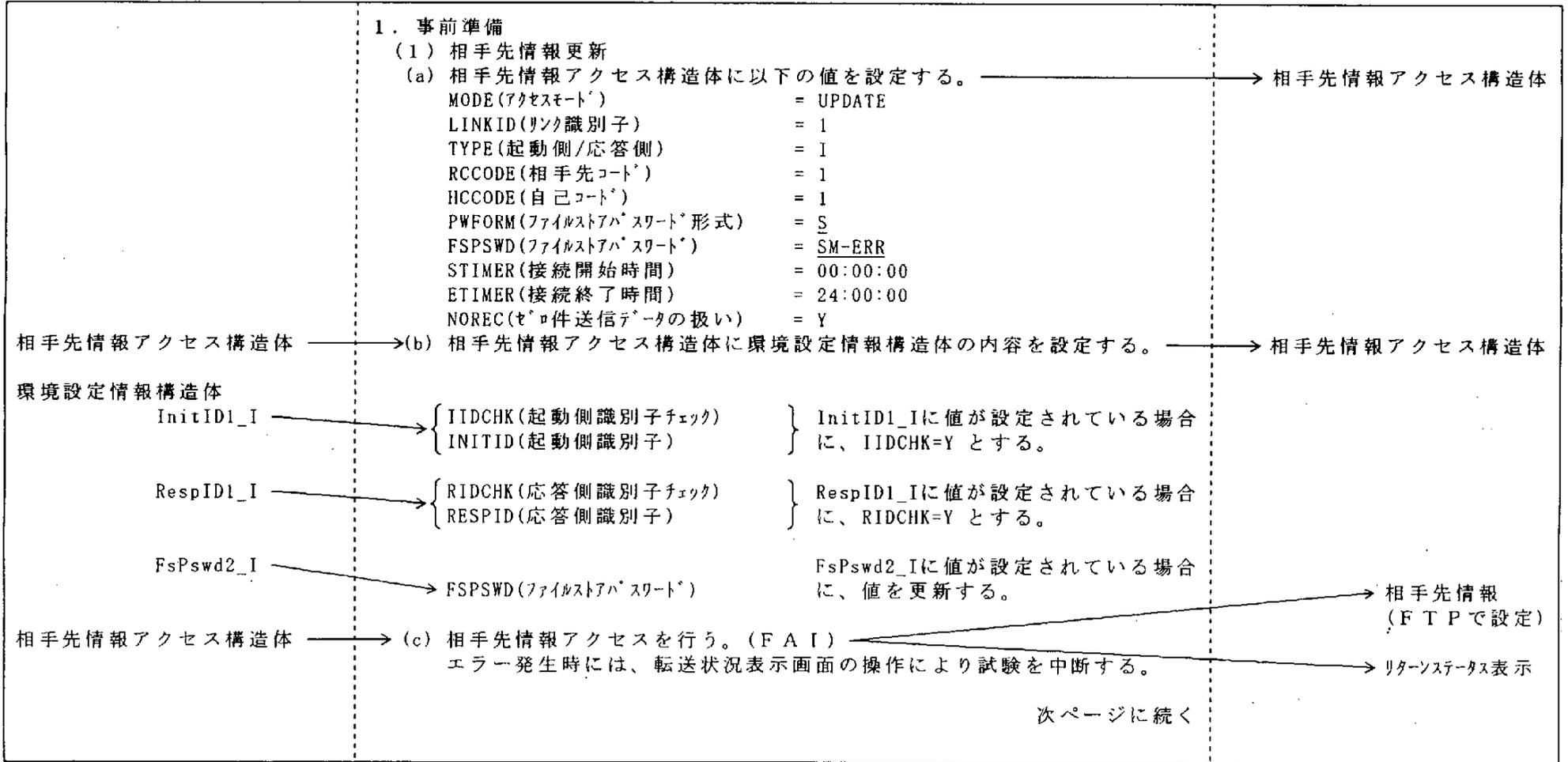
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



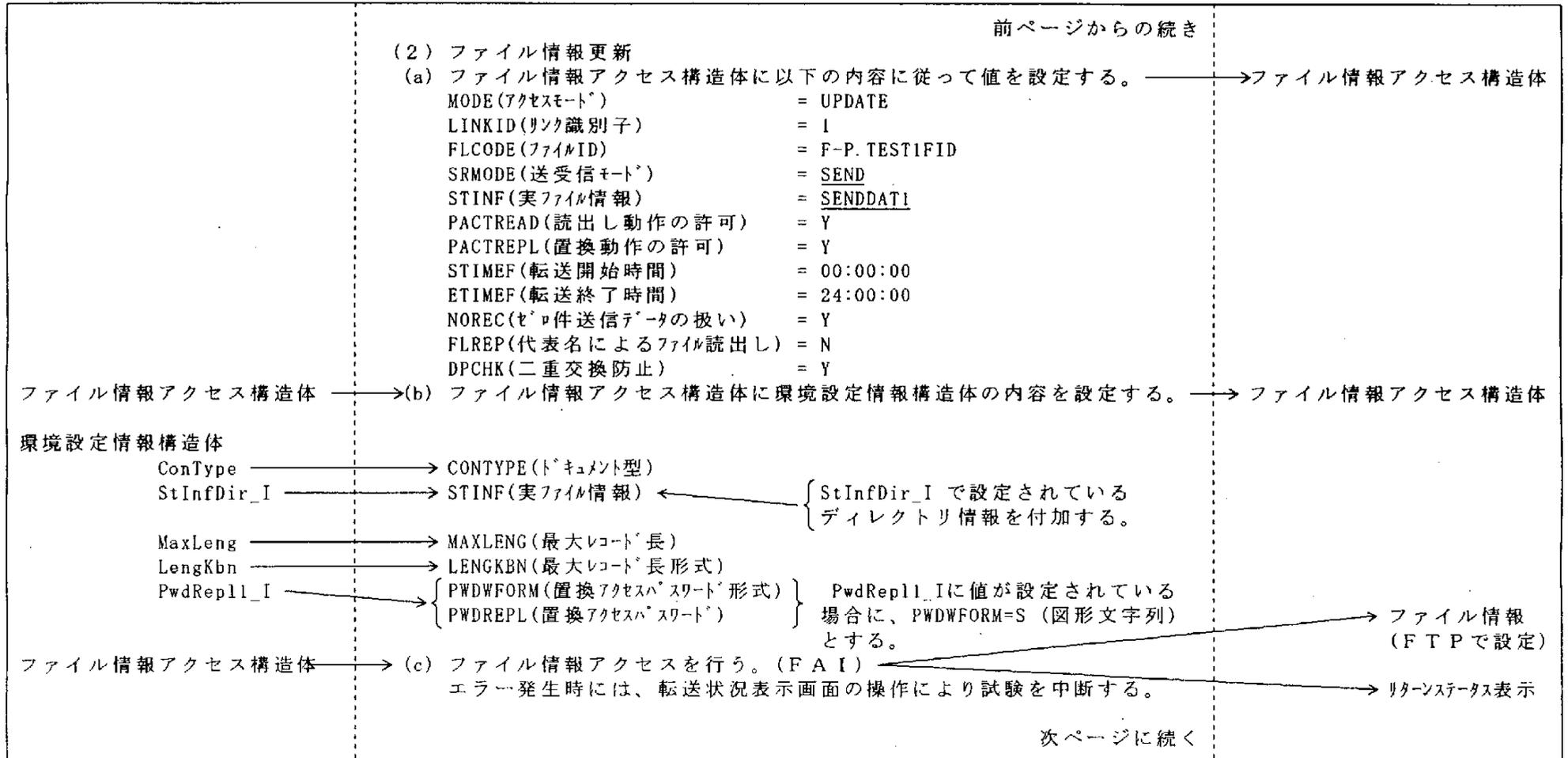
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

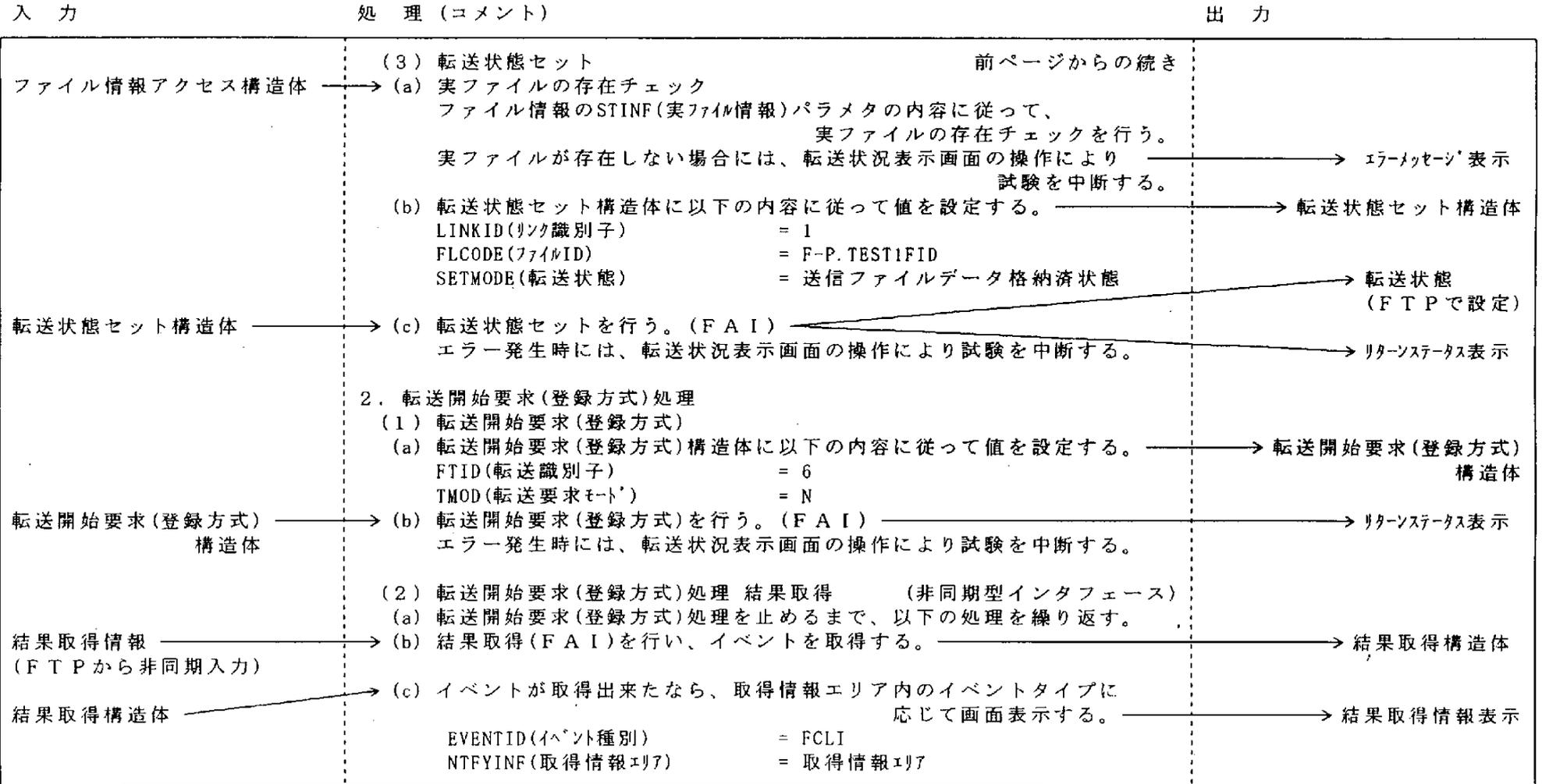
処 理 (コメント)

出 力



POダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-I	プログラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。										



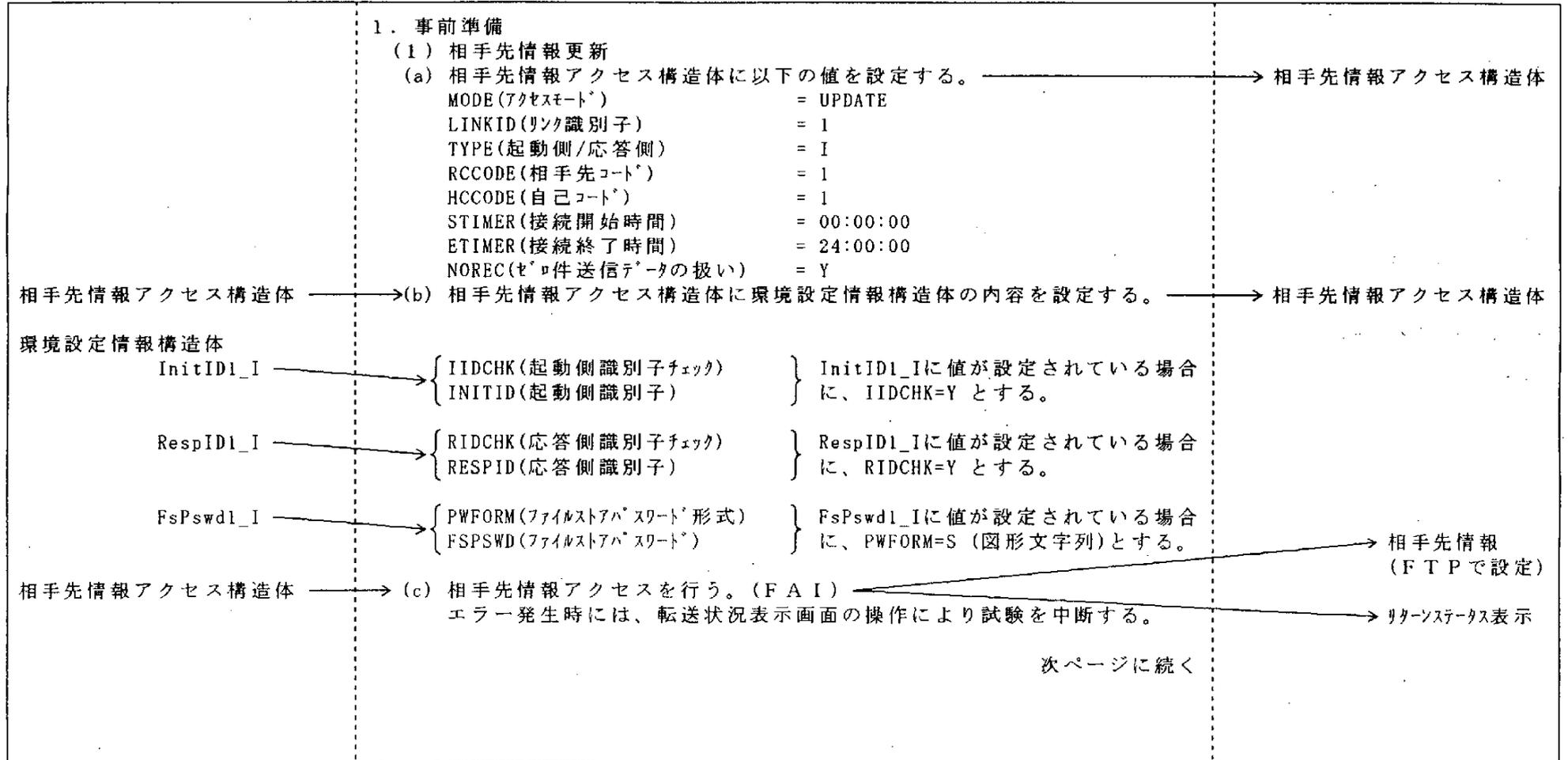
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正なアクセスパスワード	モジュール ID	SM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



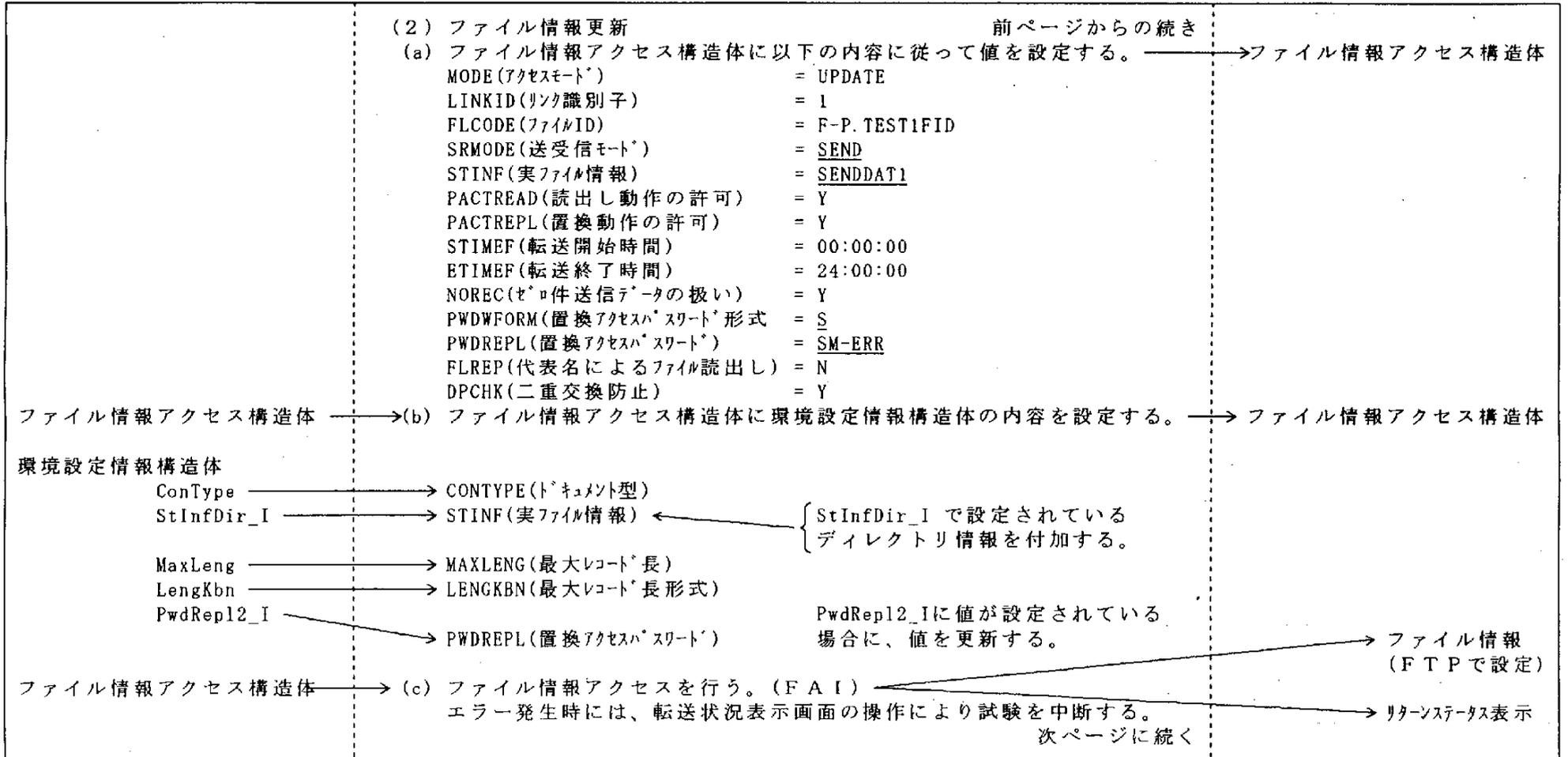
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正なアクセスモード	モジュール ID	SM-301-I	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤幸一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



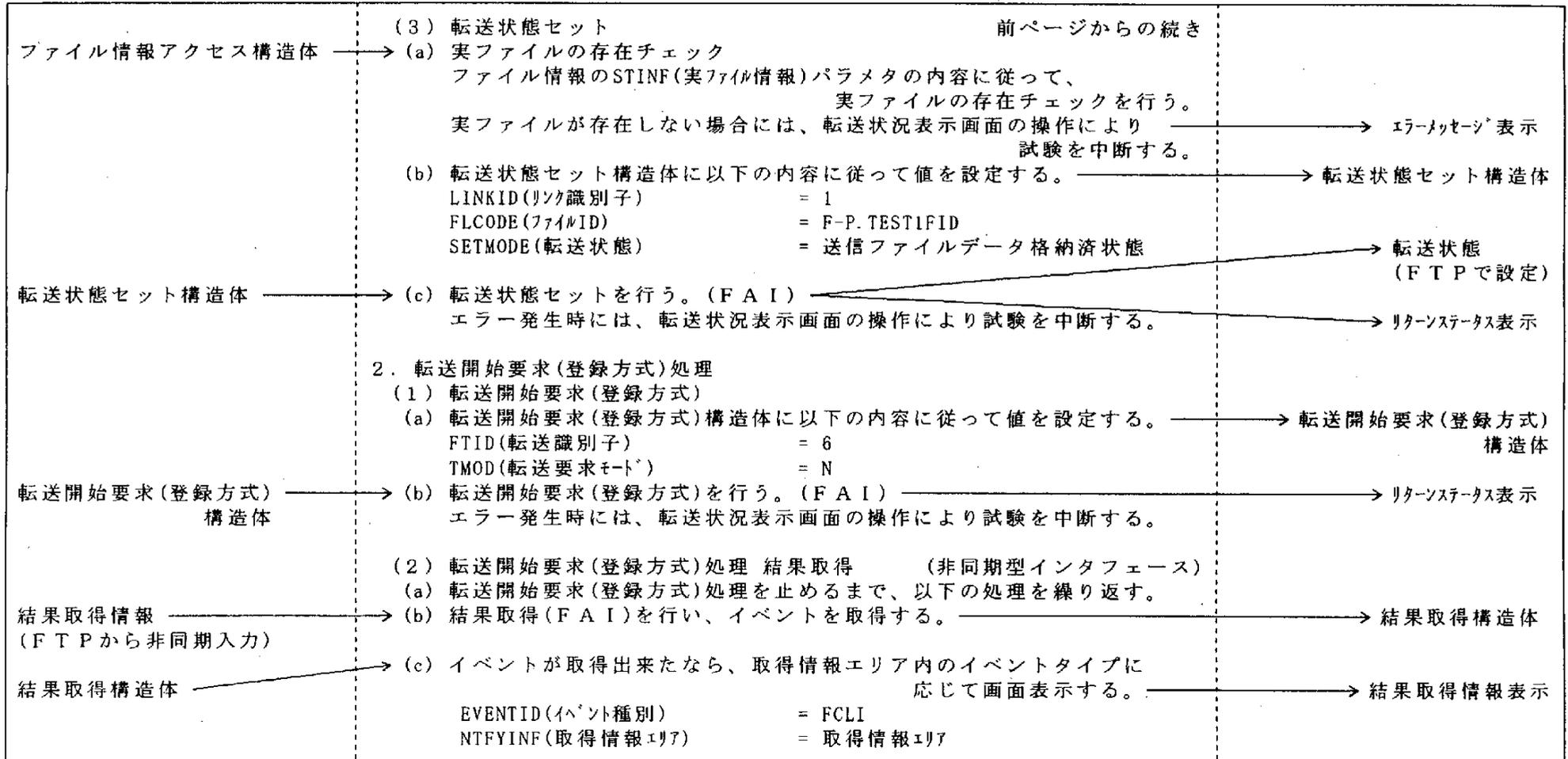
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 起動側 不正なアクセスパスワード	モジュール ID	SM-301-I	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



5. 3. 2 応答側処理

F-UAPにおける応答側処理のIPOダイアグラムを次頁より示す。

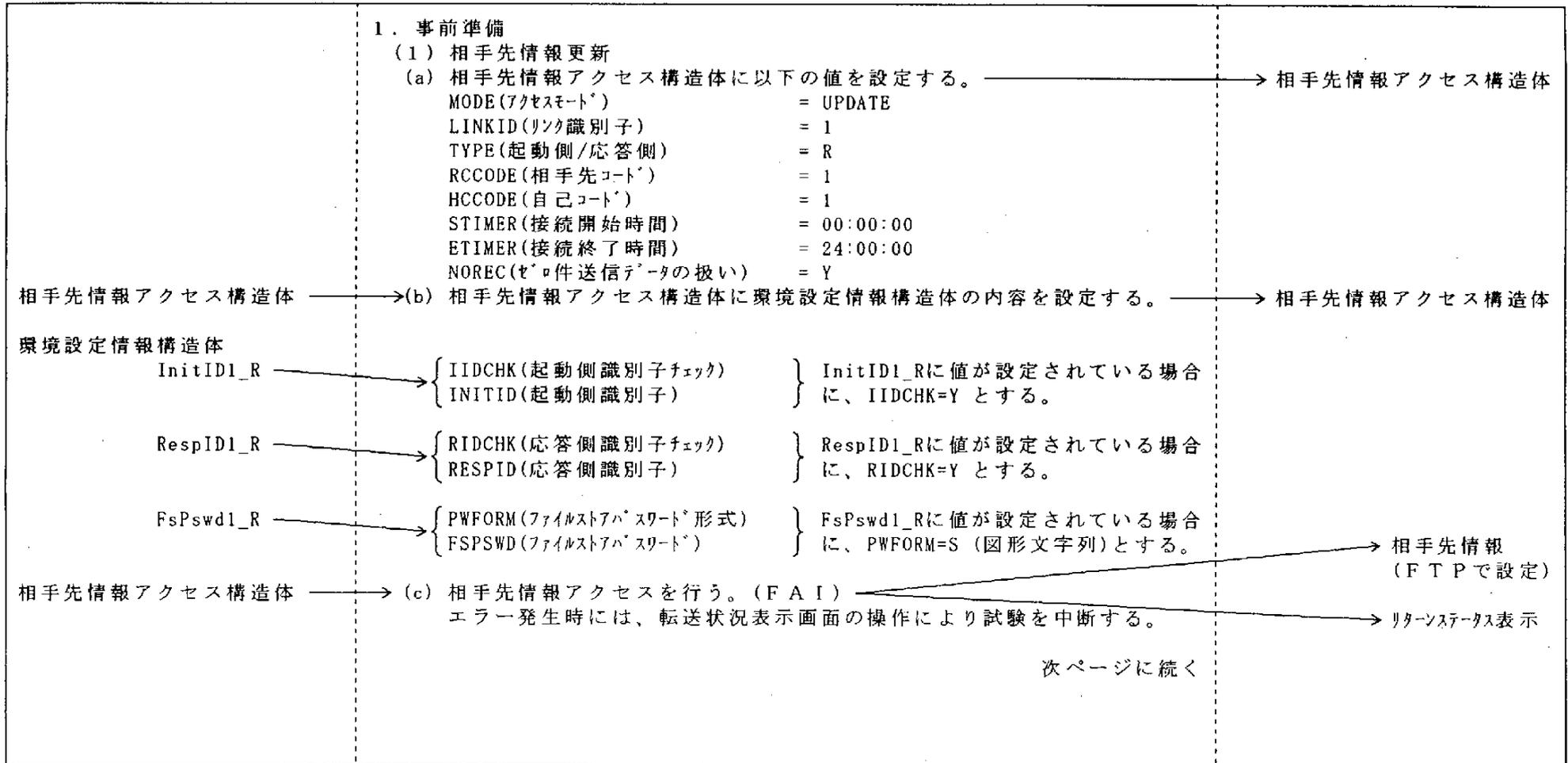
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-001-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



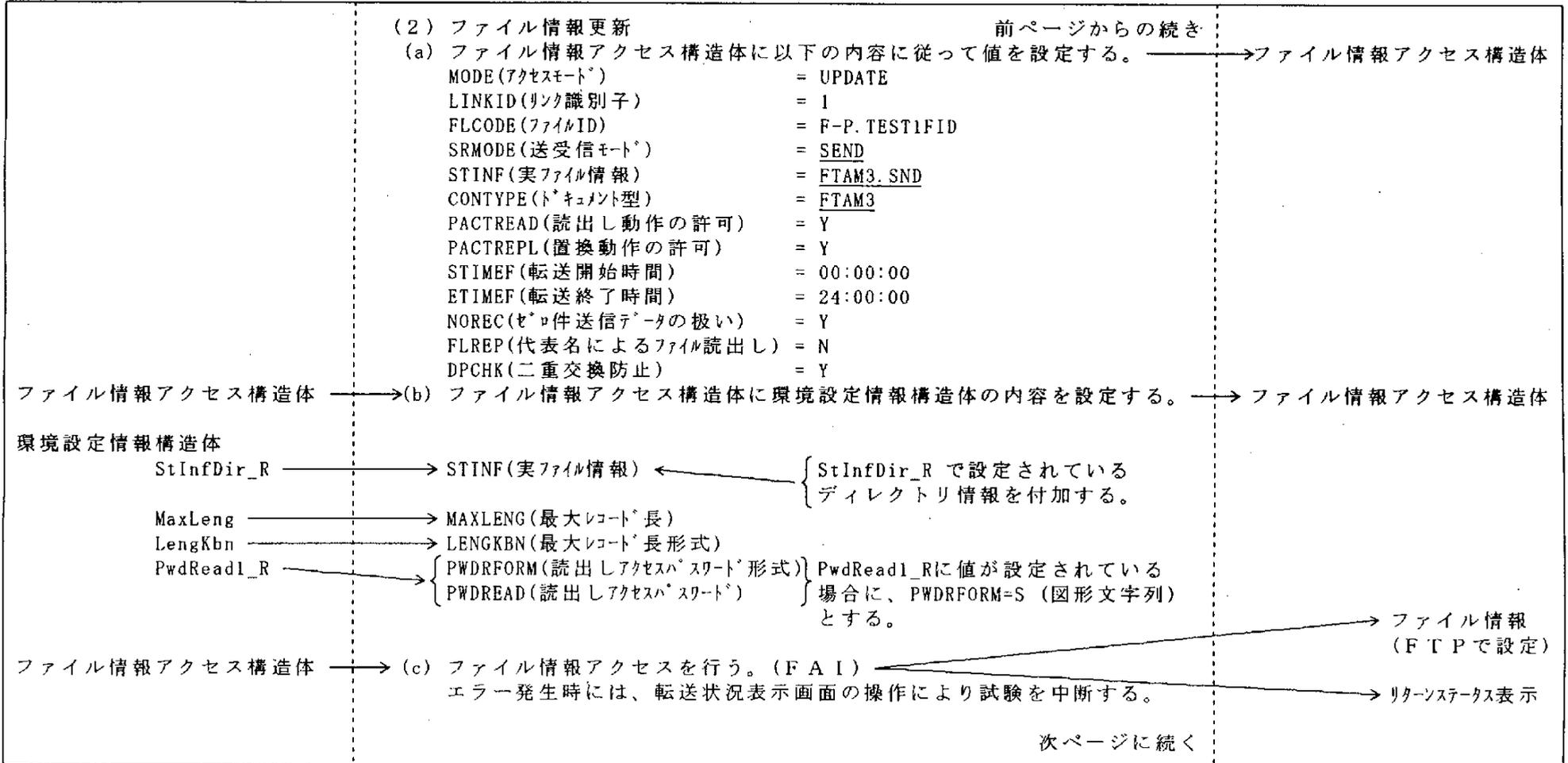
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-001-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

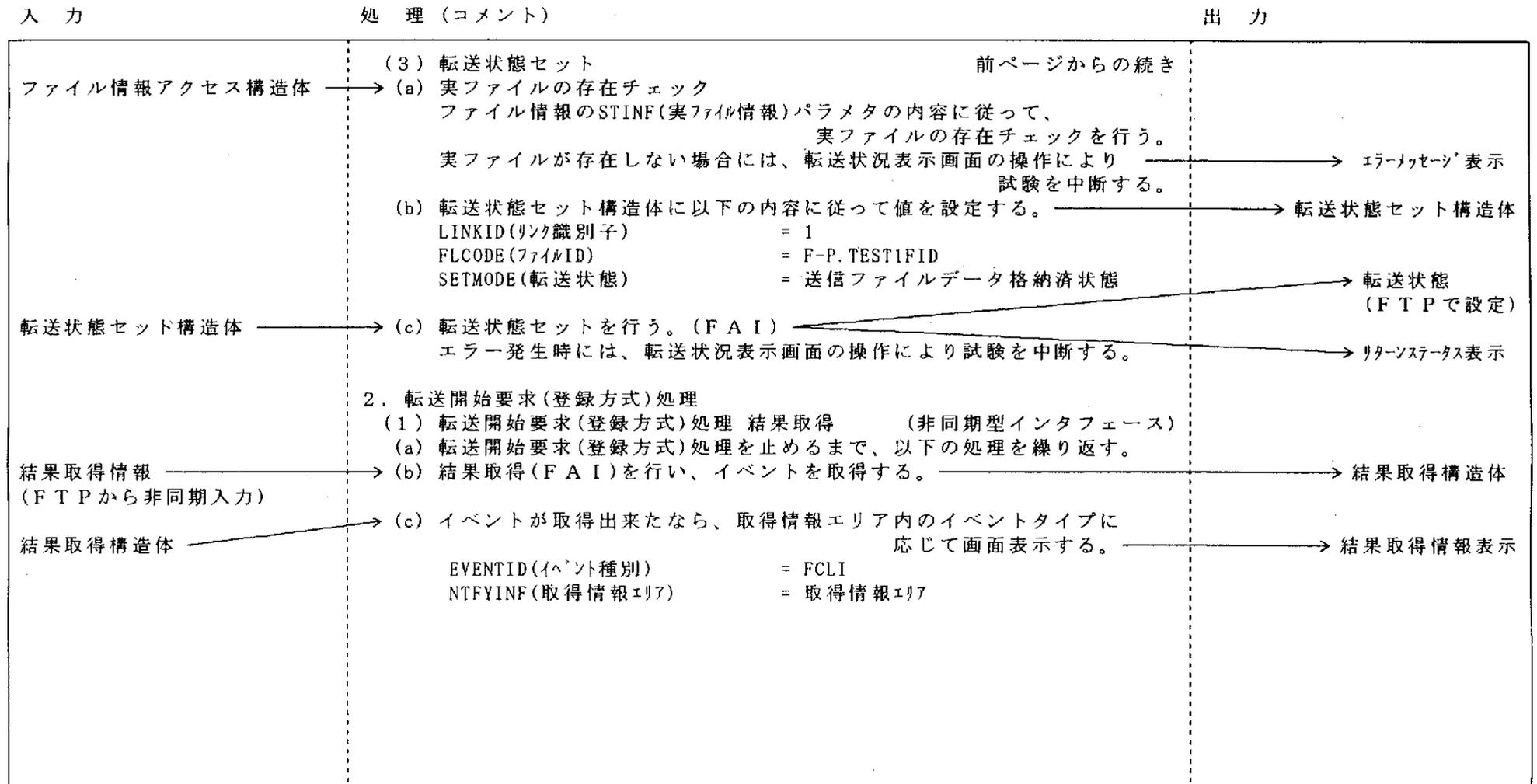
出 力



-151-

I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 送信	モジュール ID	TM-001-R	タイルグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。									(応答側送信)



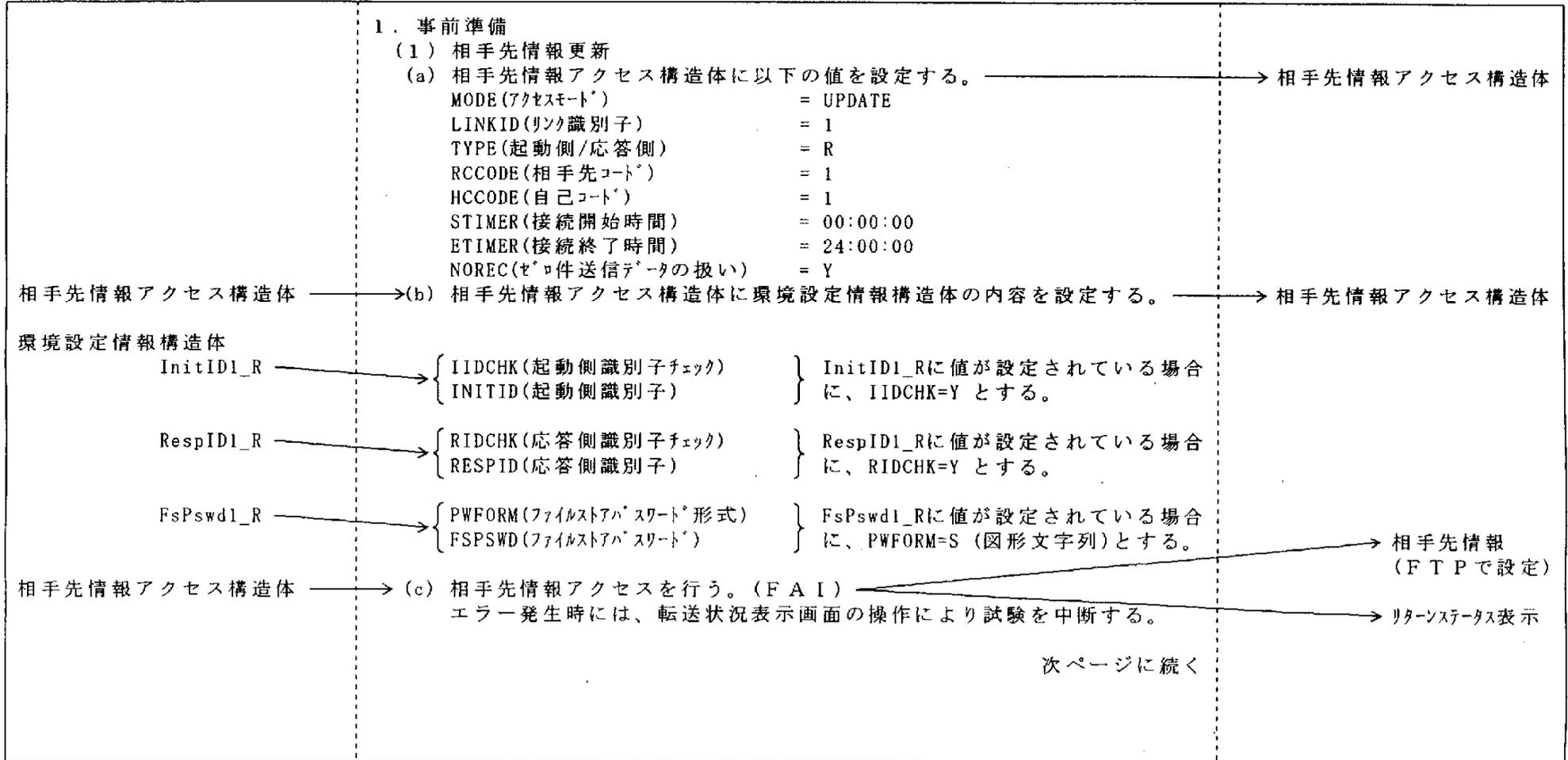
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-002-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	F T A M - 3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



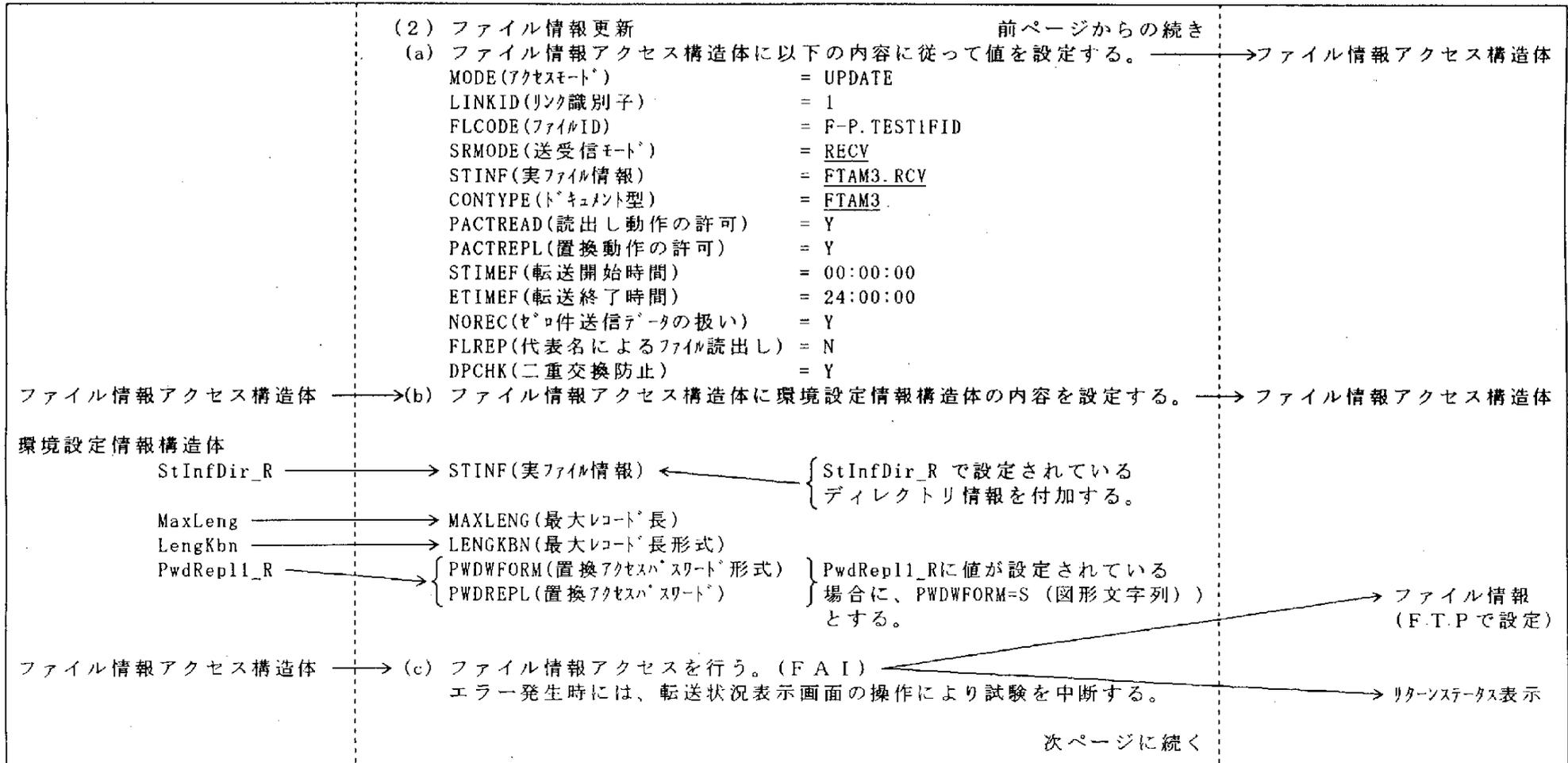
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-002-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



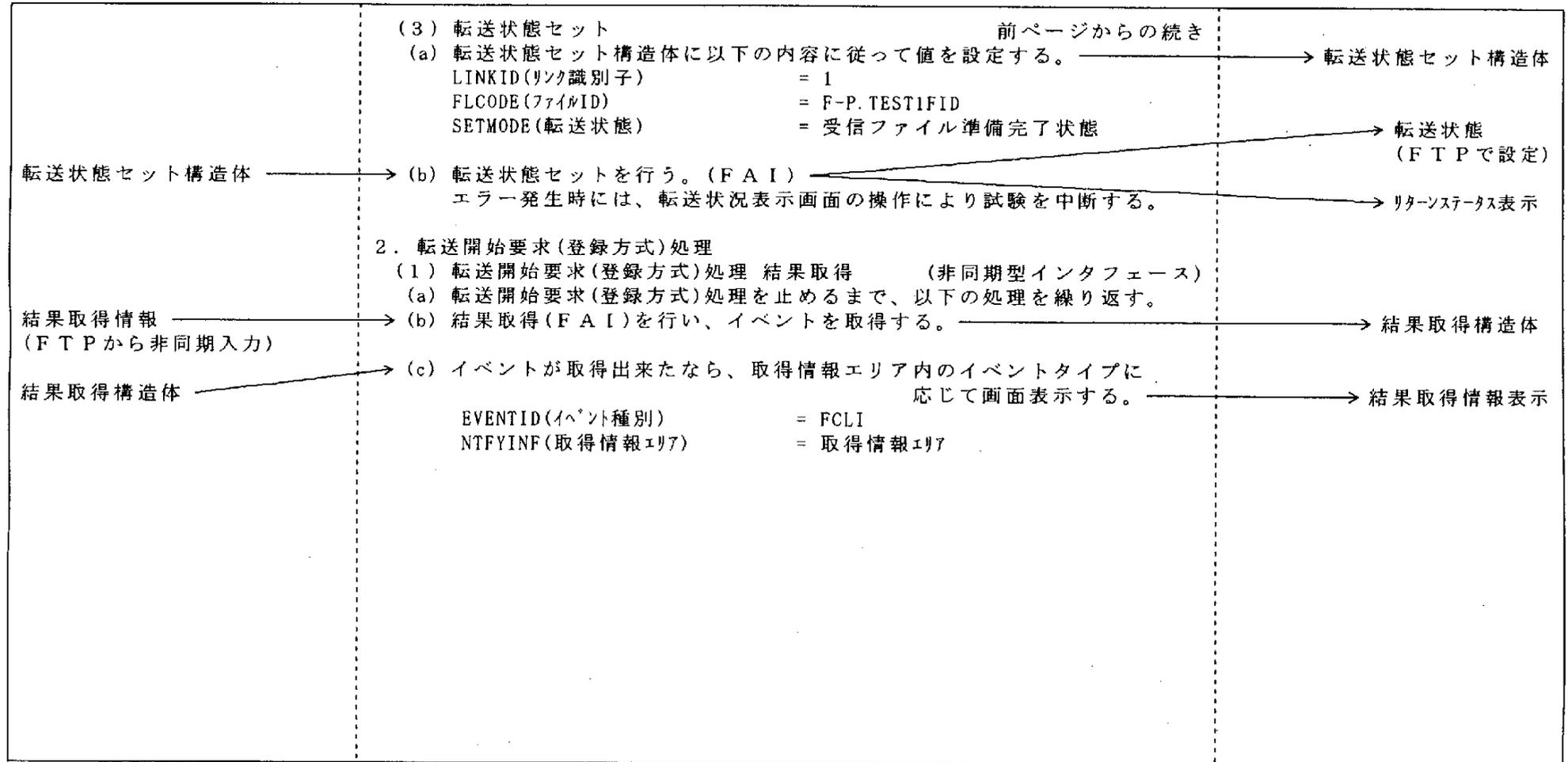
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 FTAM-3 受信	モジュール ID	TM-002-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	FTAM-3、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



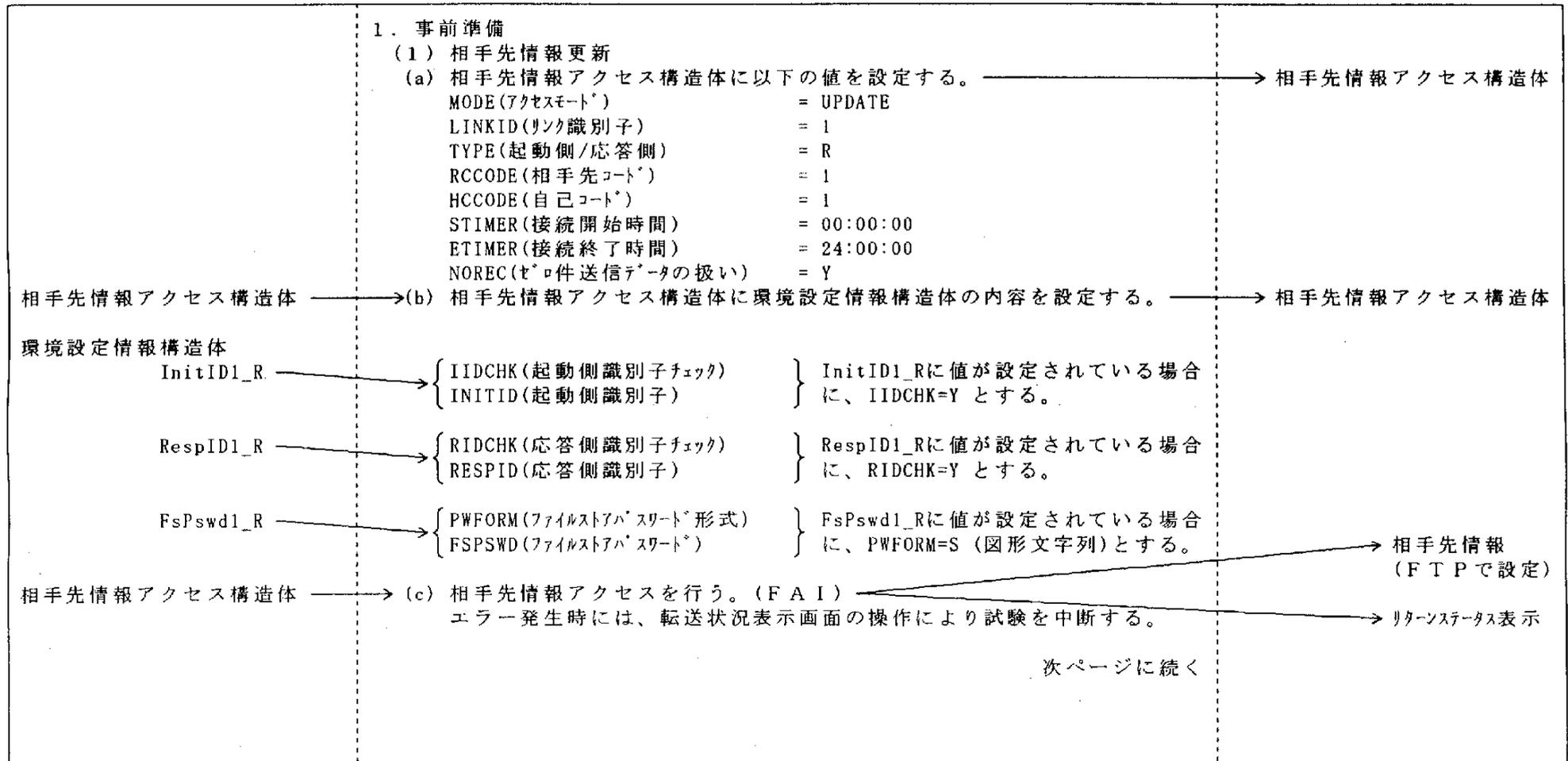
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-003-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	I N T A P - 1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。								(応答側送信)	

入 力

処 理 (コメント)

出 力



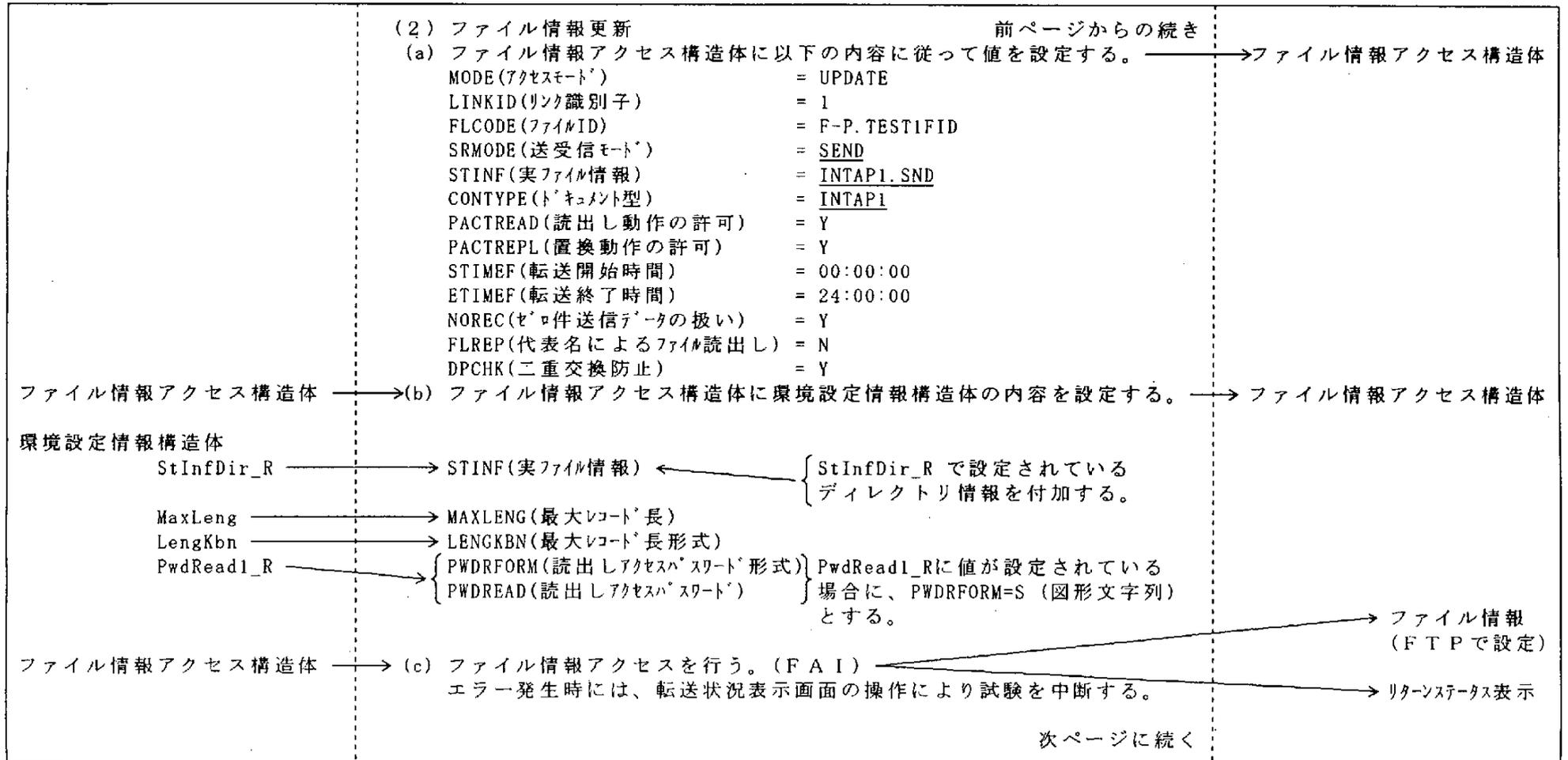
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-003-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。 (応答側送信)										

入 力

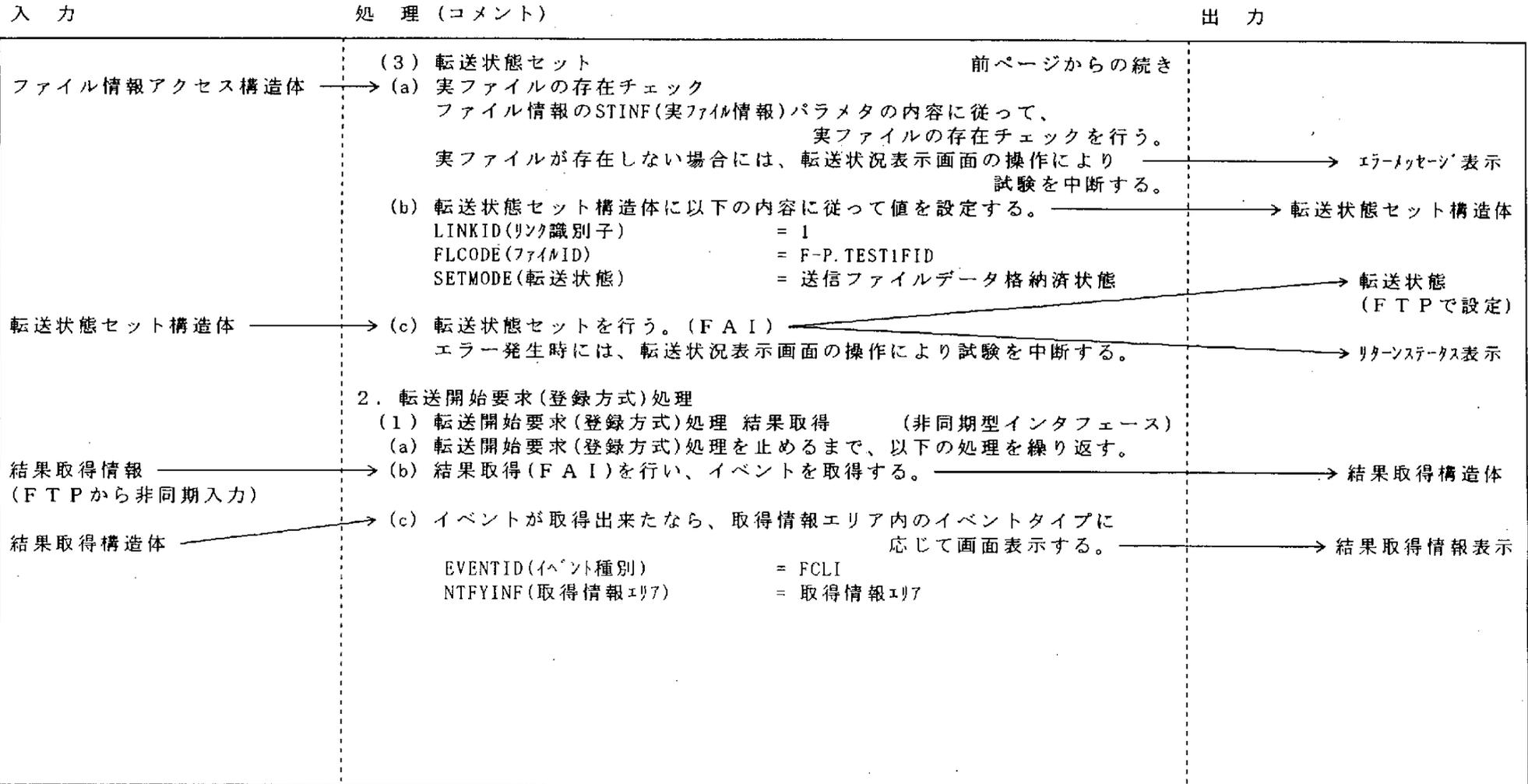
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 INTAP-1 送信	モジュール ID	TM-003-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の受信を試験する。									(応答側送信)



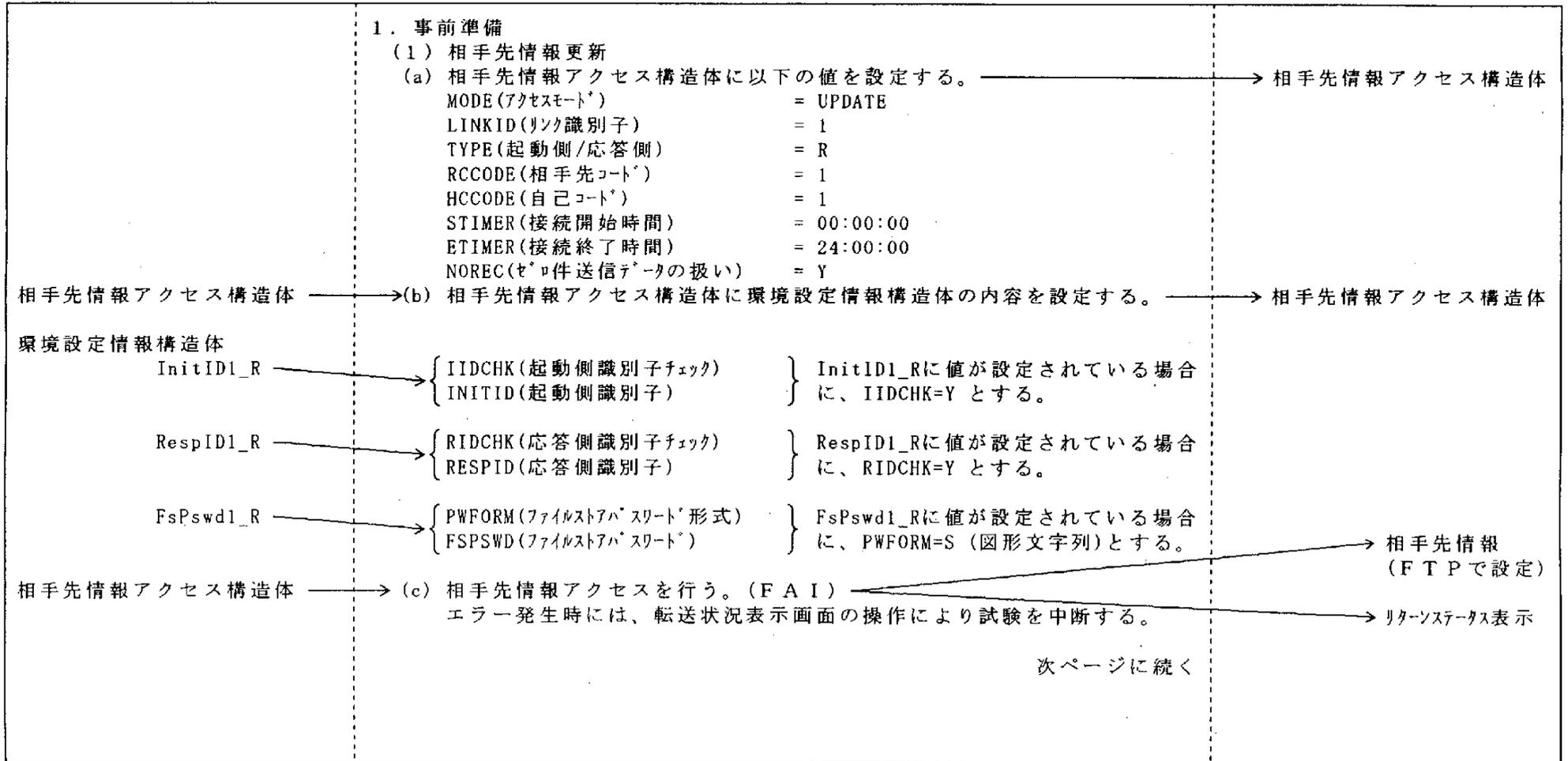
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 INTAP-1 受信	モジュール ID	TM-004-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	I N T A P - 1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



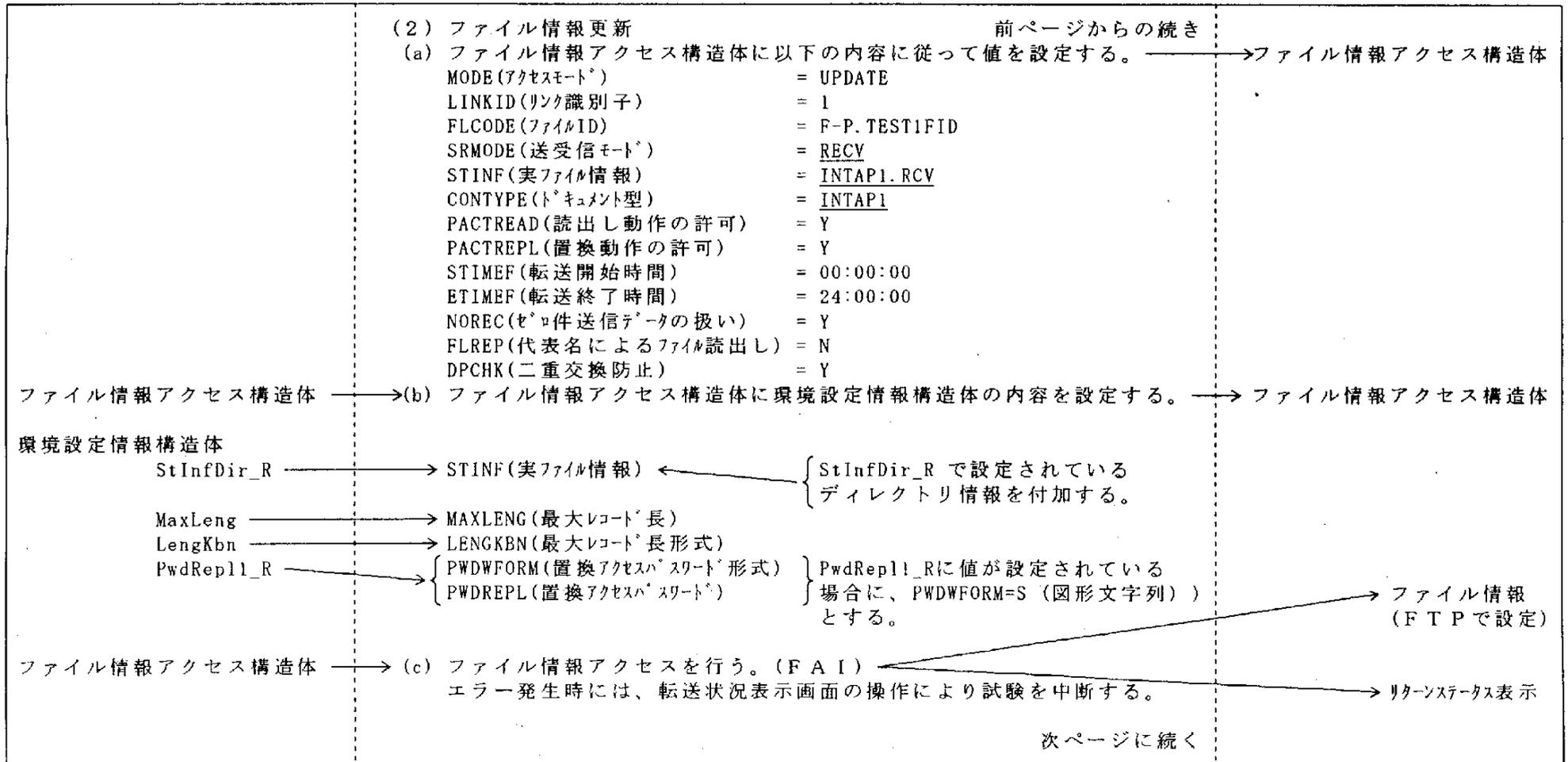
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 INTAP-1 受信	モジュール ID	TM-004-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	INTAP-1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。 (応答側受信)									

入 力

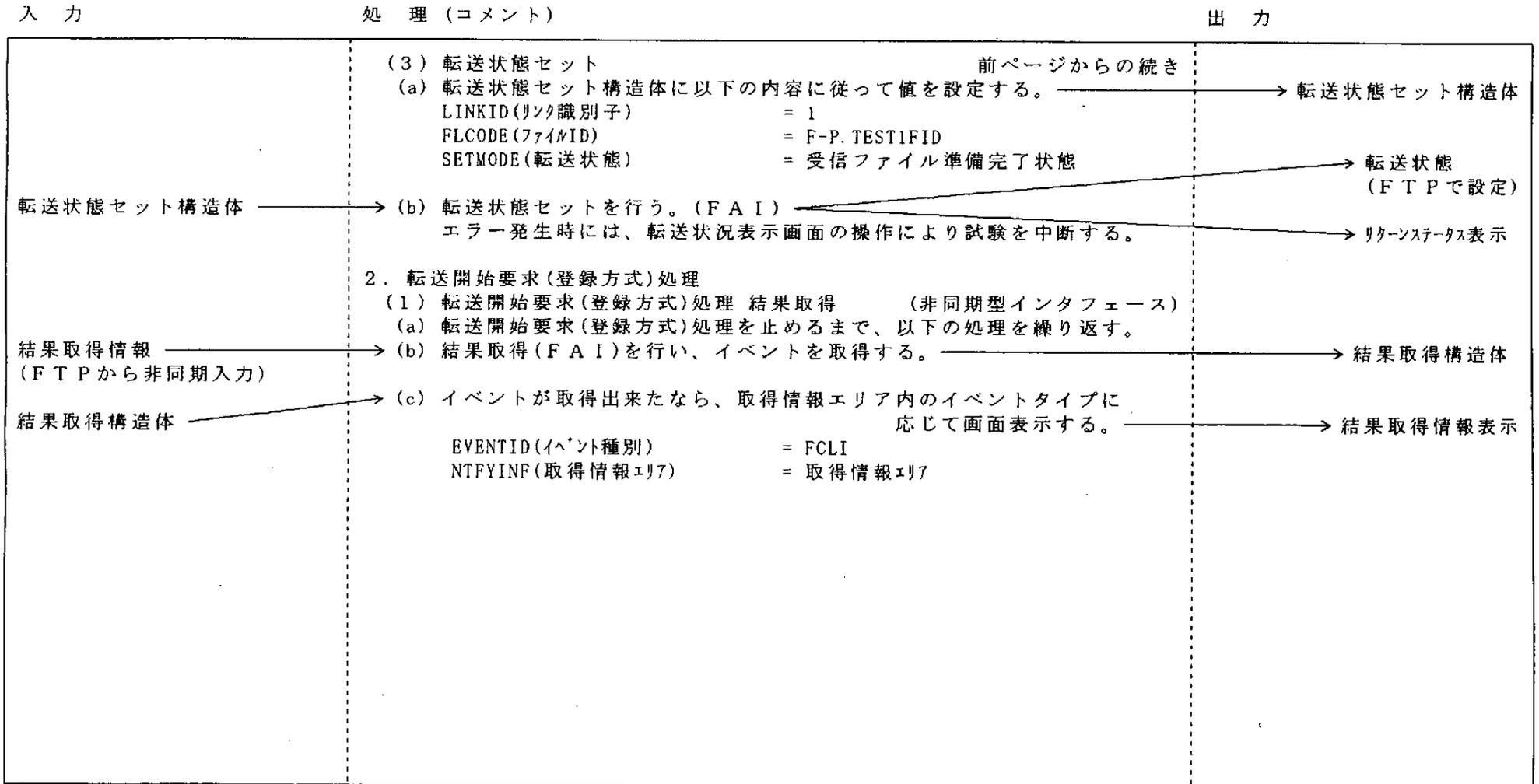
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名 転送管理機能 応答側 INTAP-1 受信	モジュール ID TM-004-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付) 濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付) 佐藤孝一 '95/10/16	ページ 3/3
処理概要	I N T A P - 1、固定長ファイル(あるいは可変長)の送信を試験する。				(応答側受信)



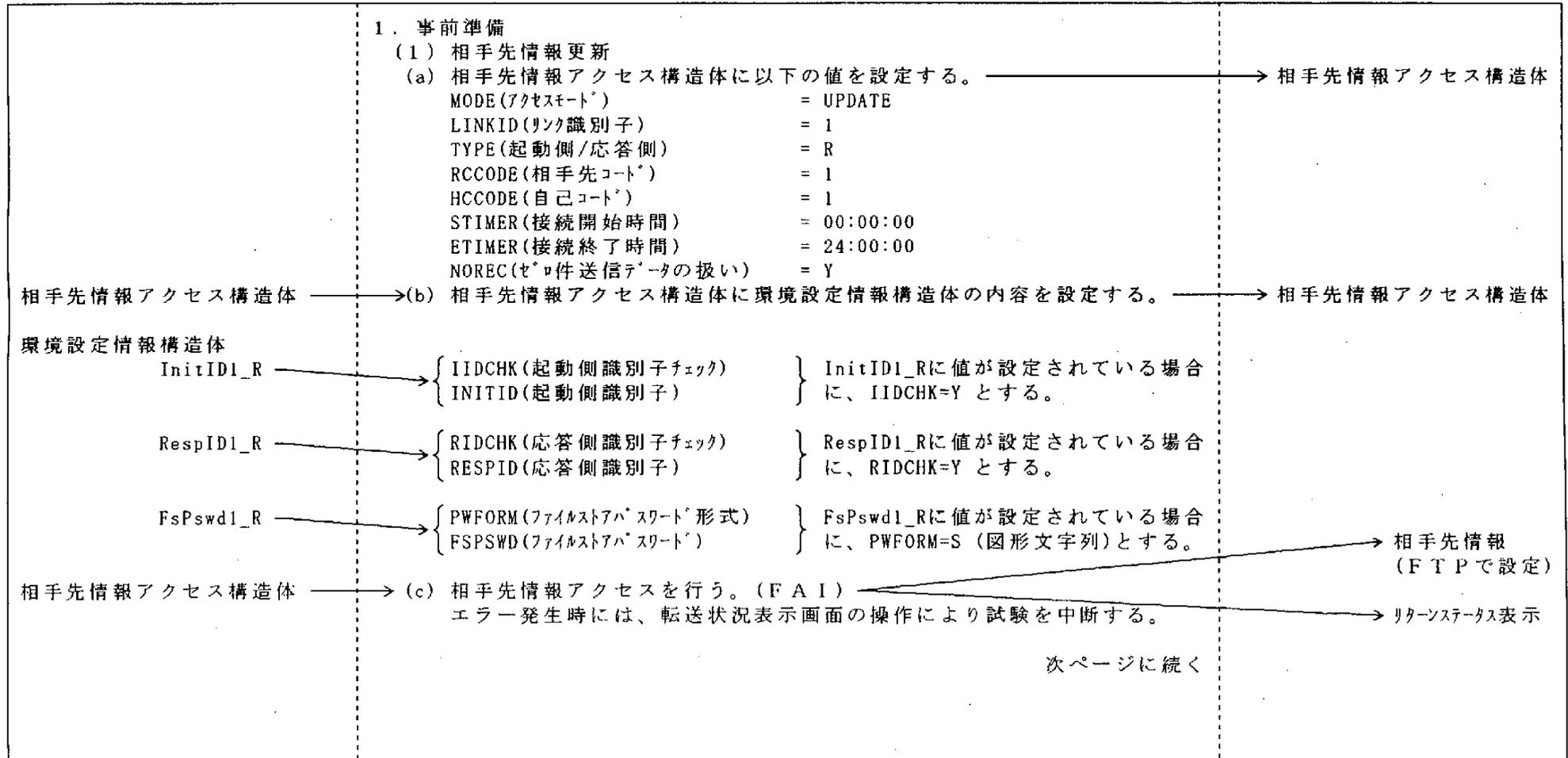
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。(応答側受信)									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



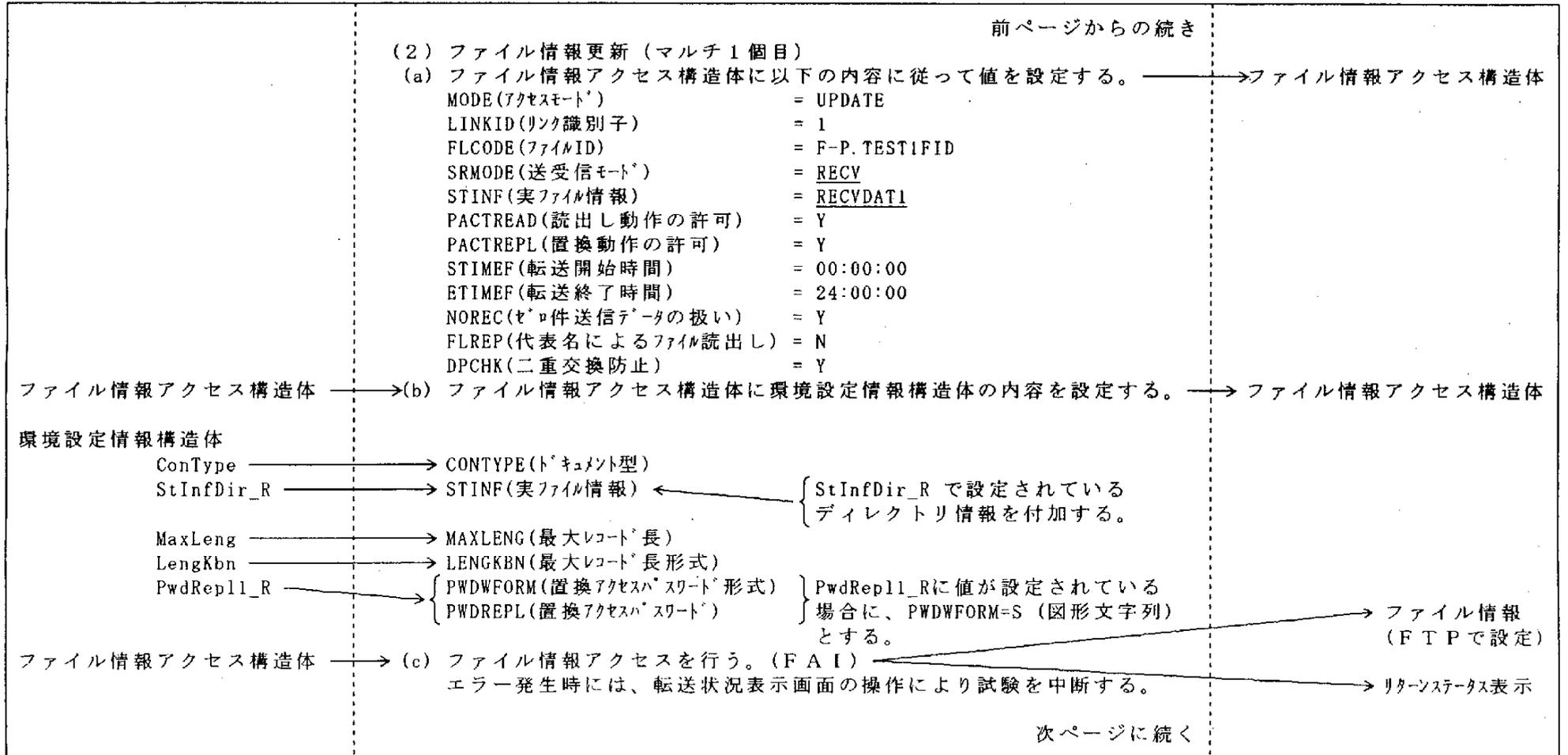
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



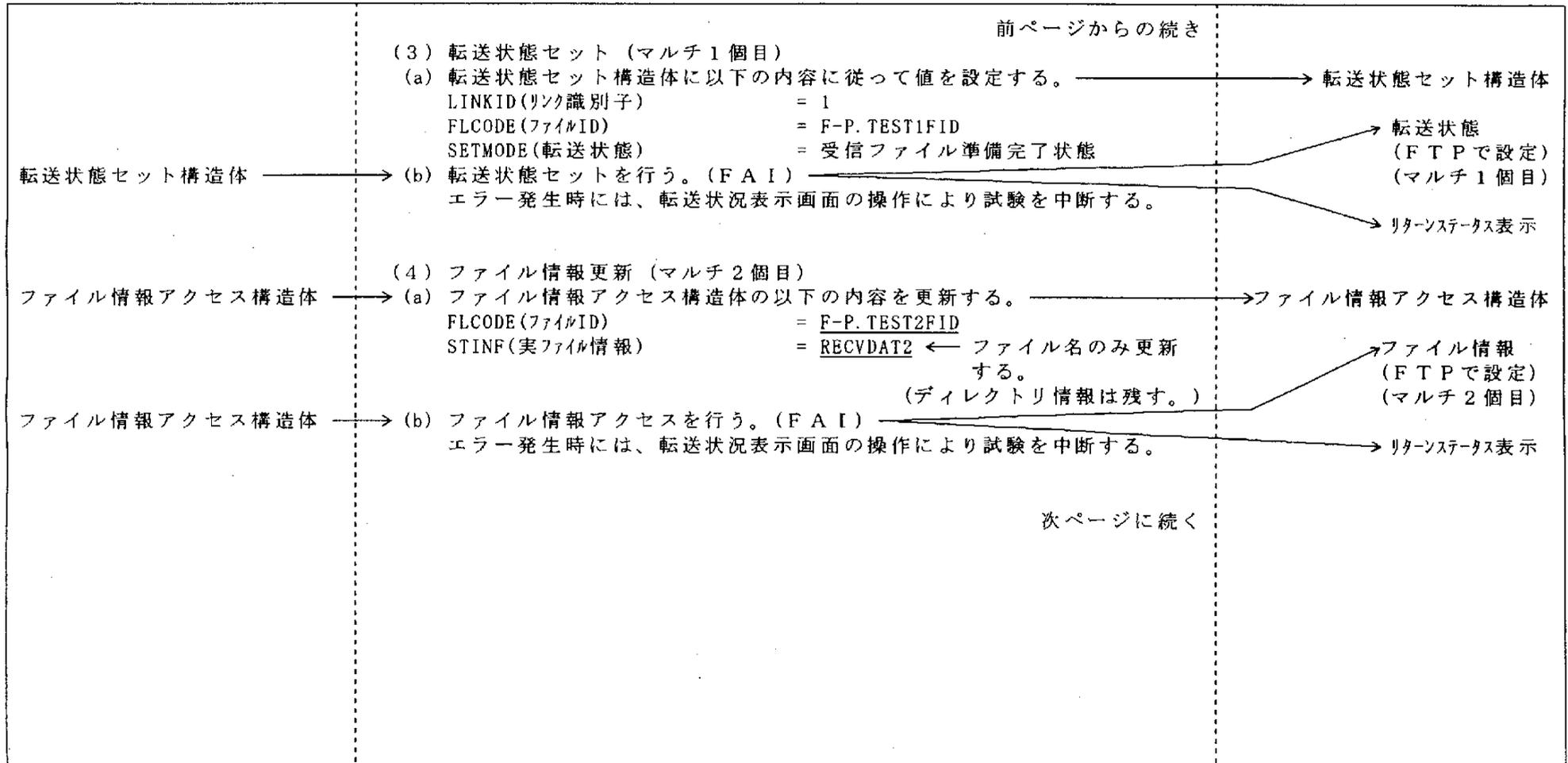
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

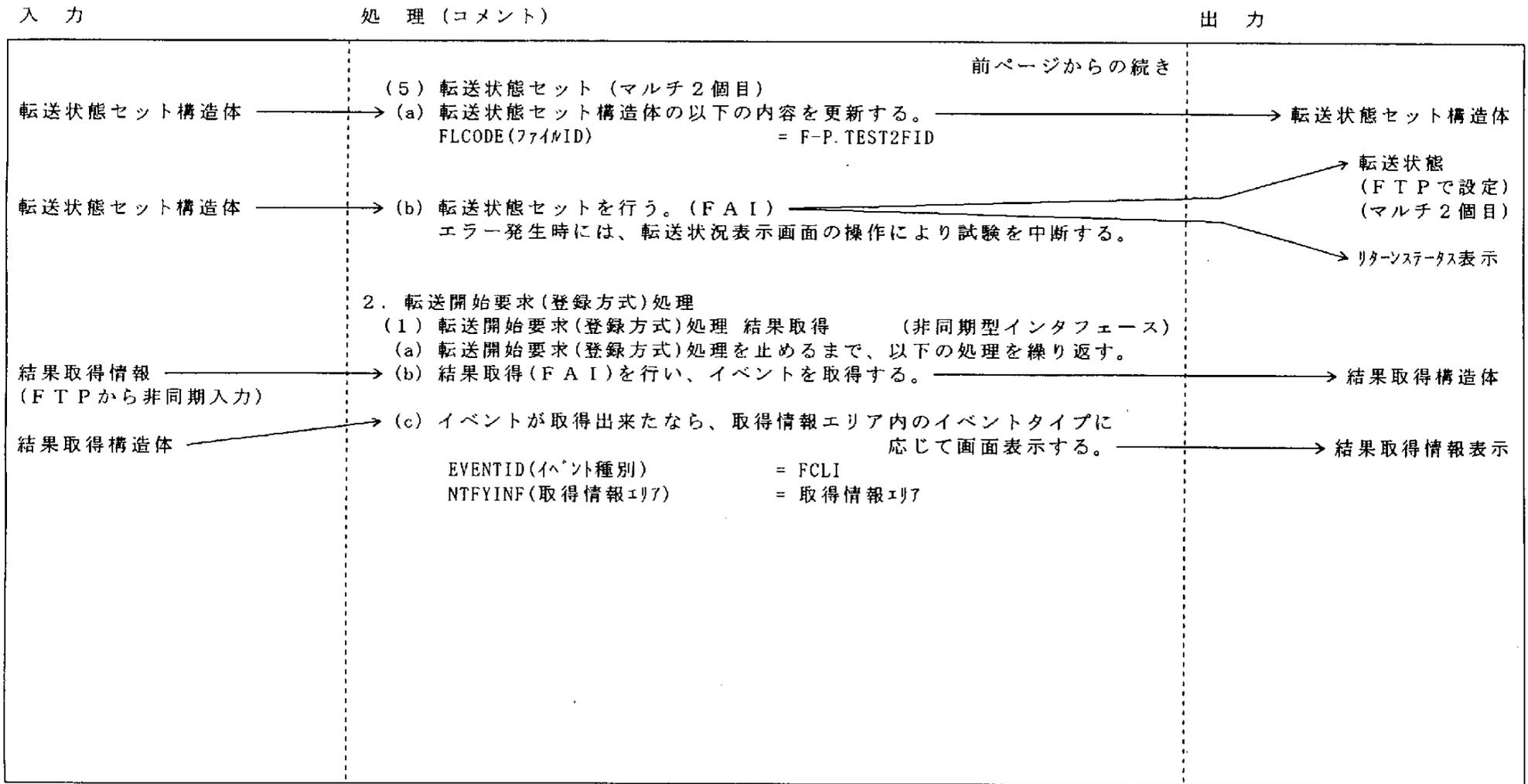
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 マルチファイル転送	モジュール ID	TM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	マルチファイル転送(2個以上)の送信を試験する。 (応答側受信)										



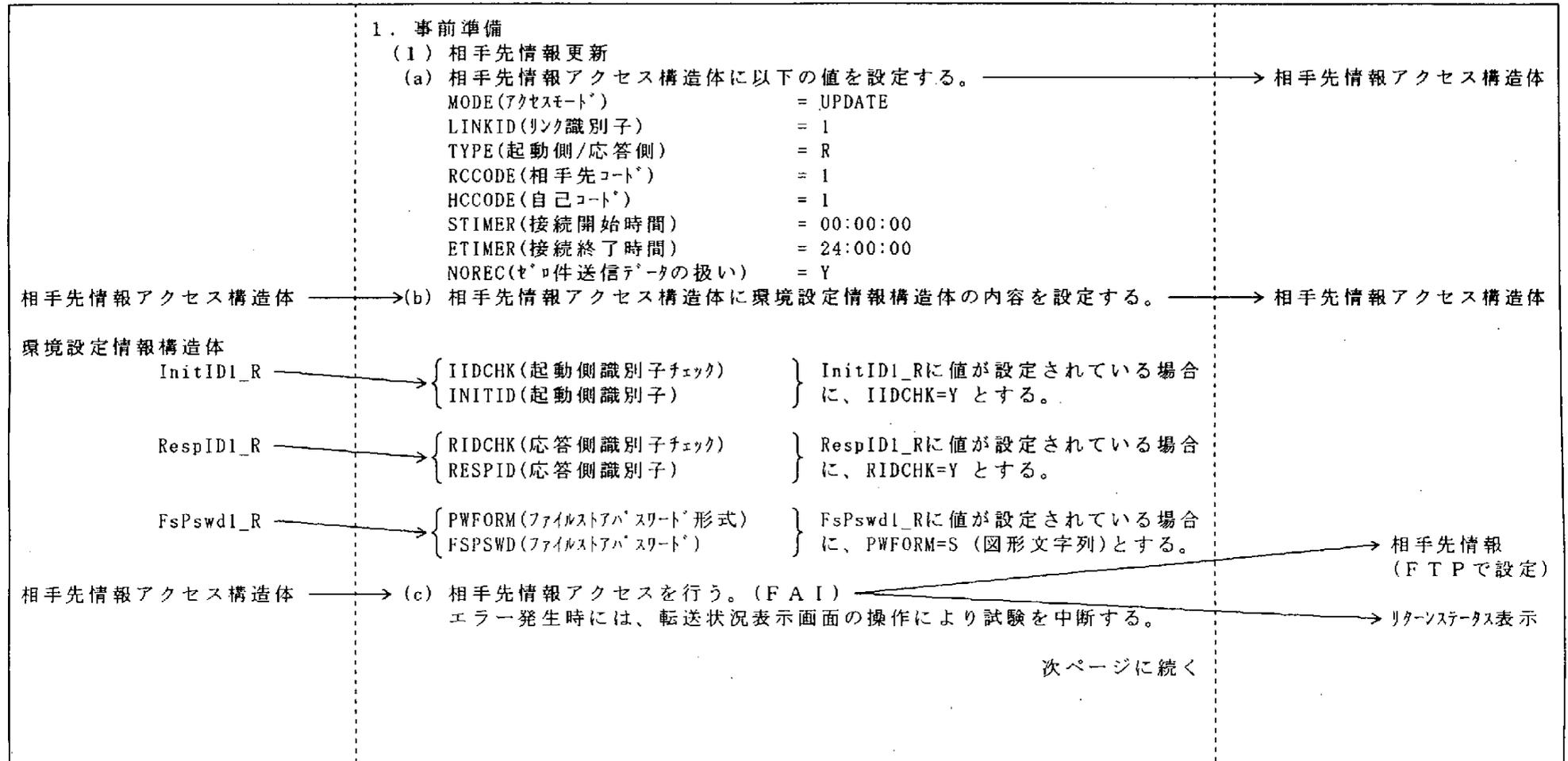
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤幸一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。(応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



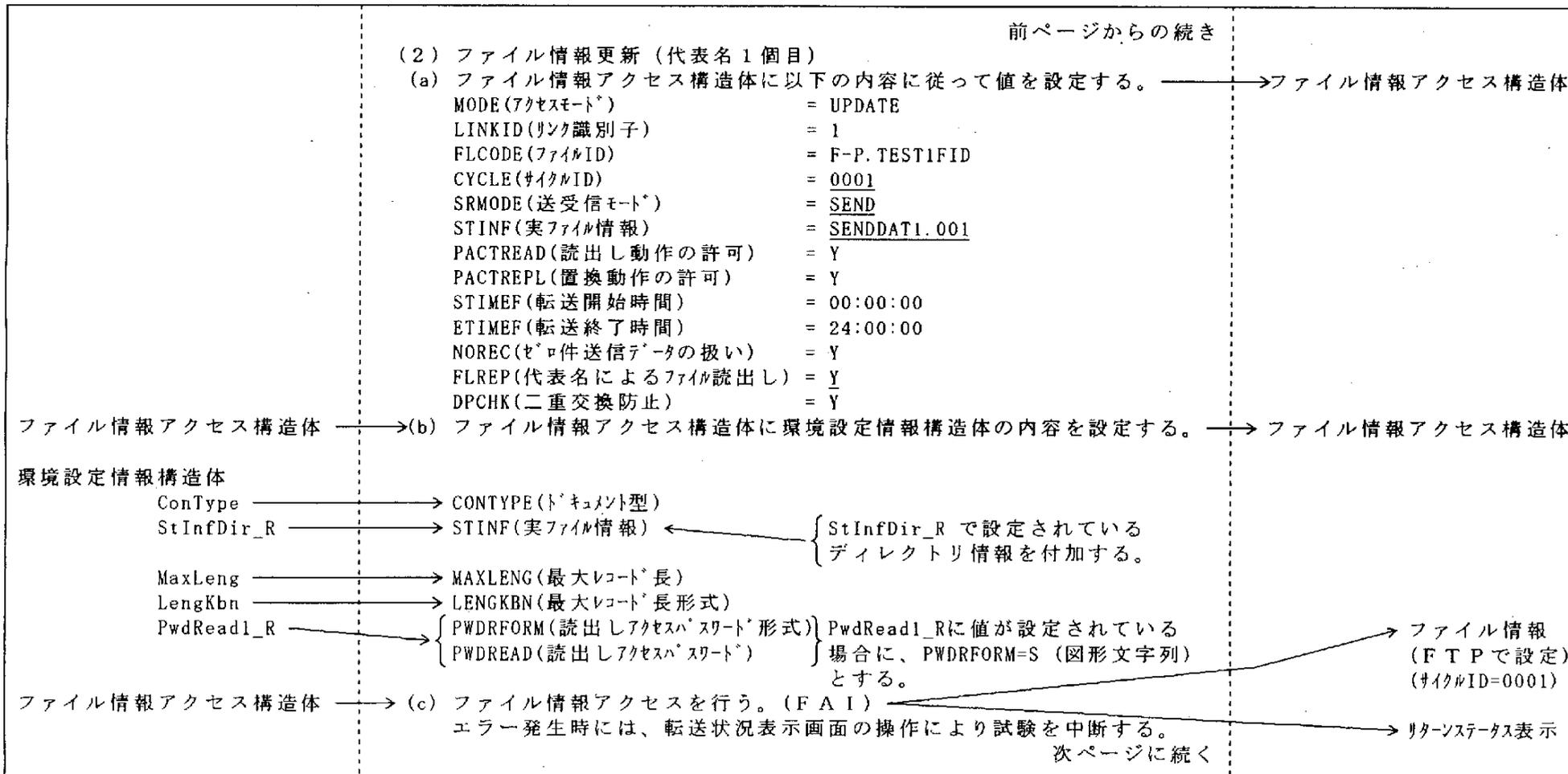
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名正常終了	モジュールID	TM-201-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



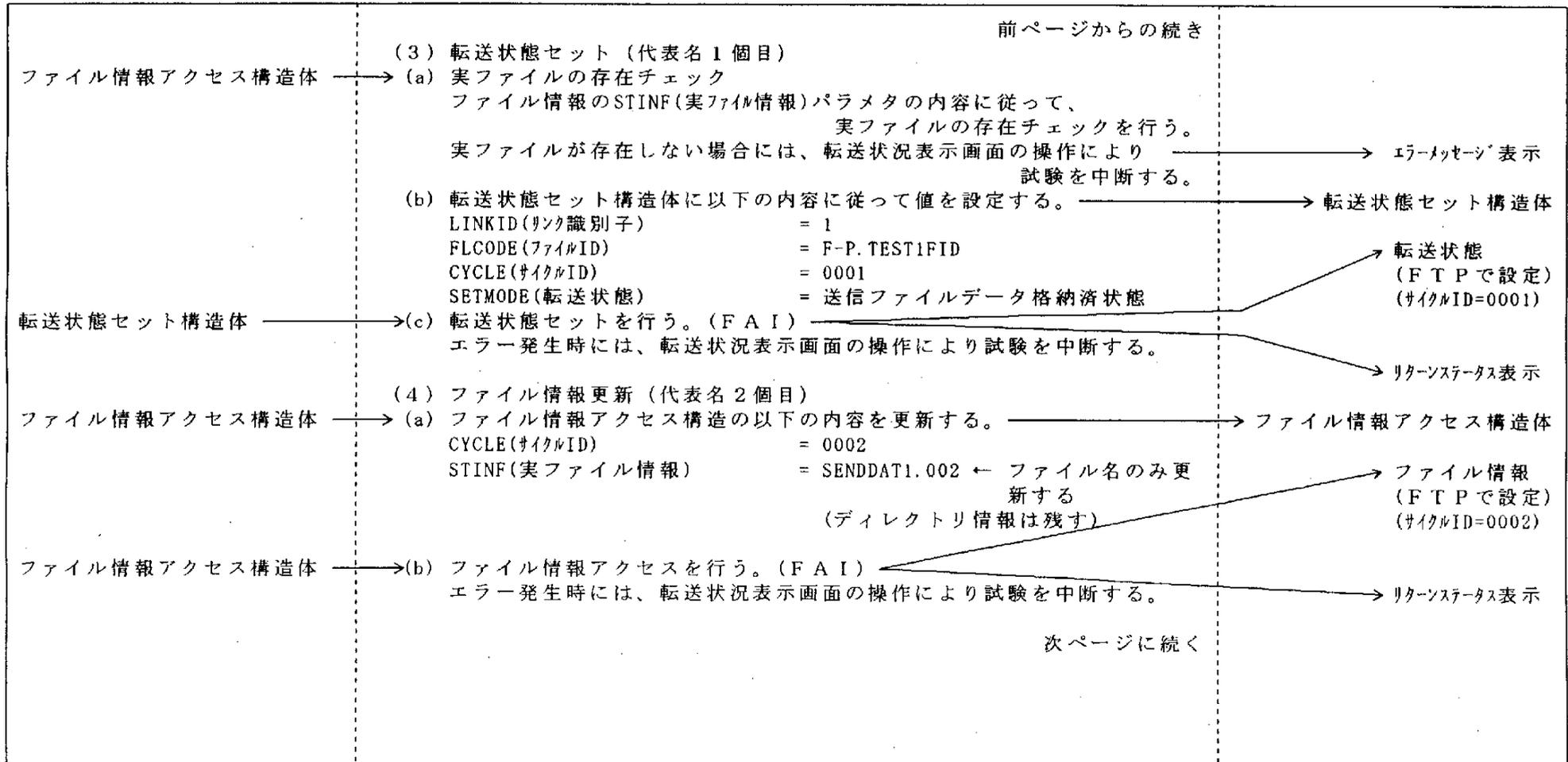
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



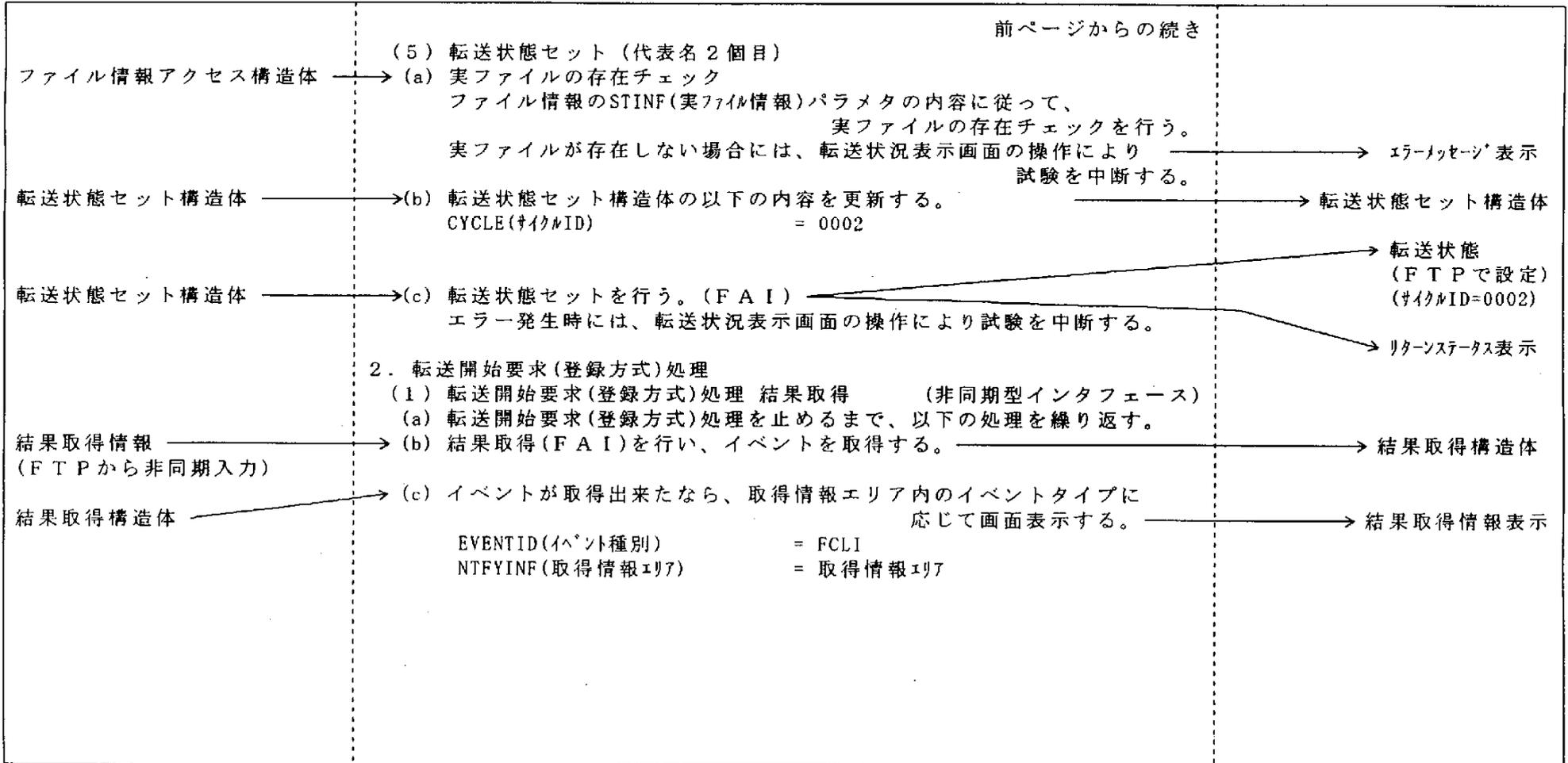
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名正常終了	モジュール ID	TM-201-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



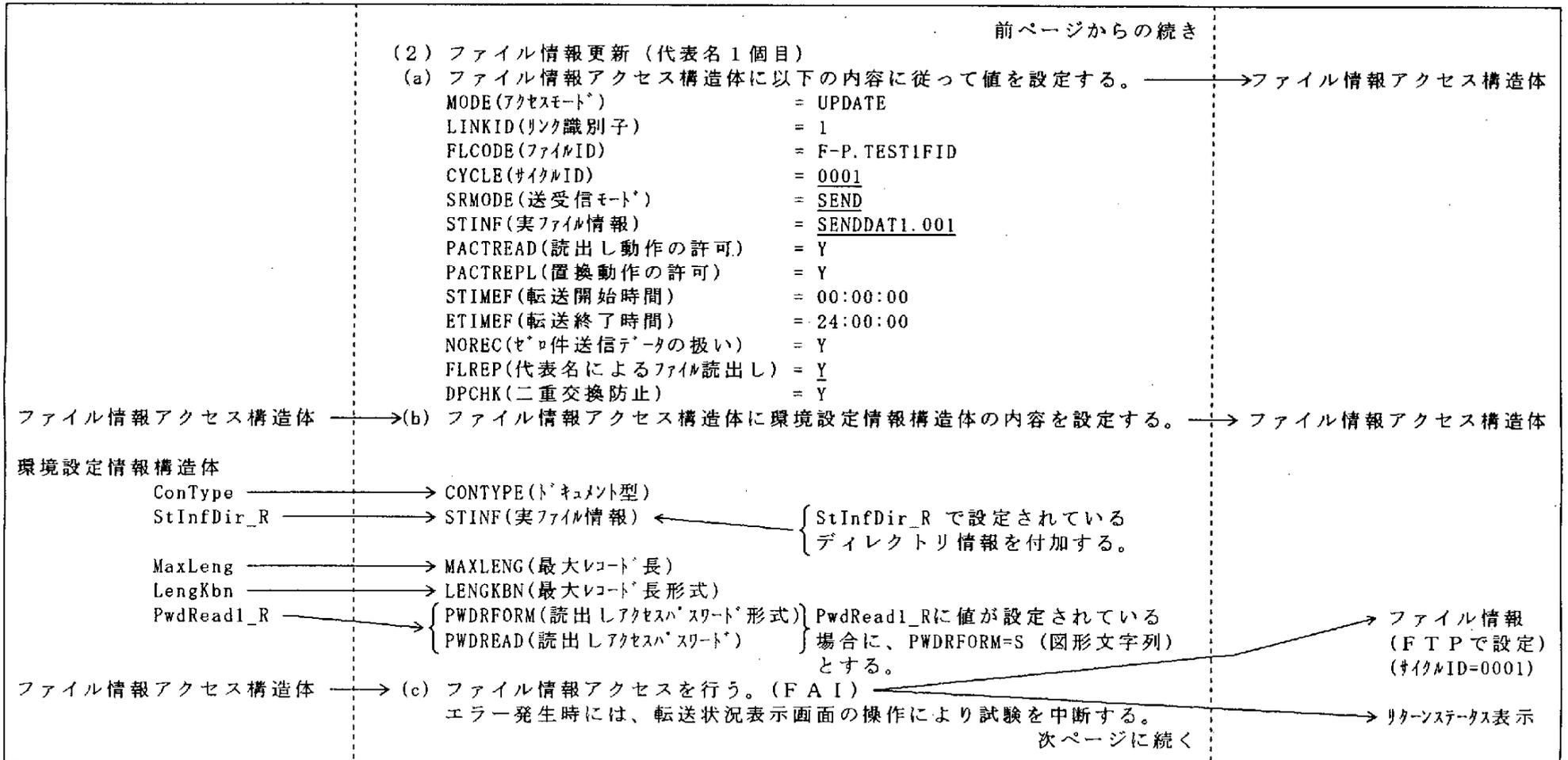
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



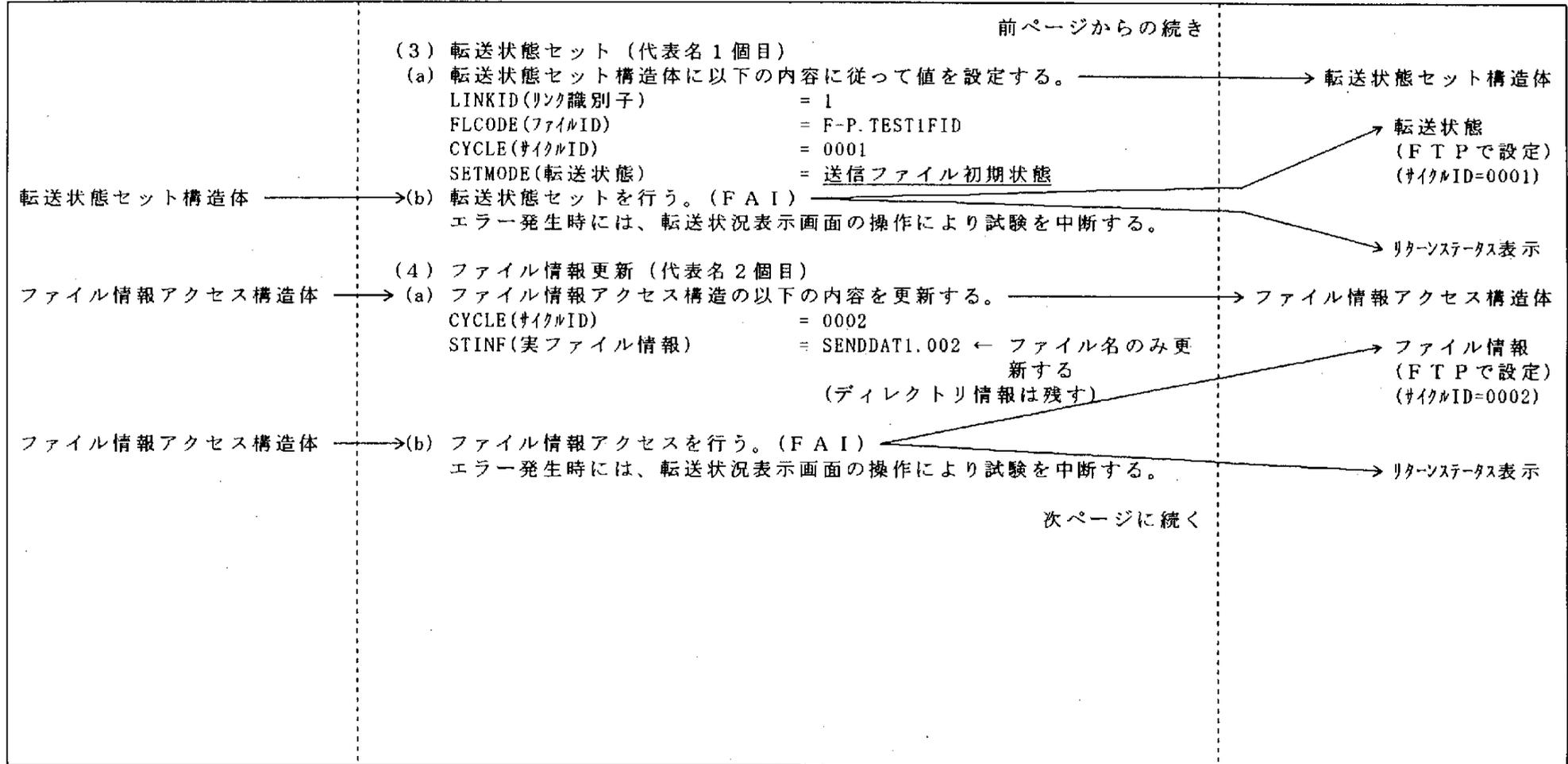
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイル無し	モジュール ID	TM-202-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。(応答側送信)									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



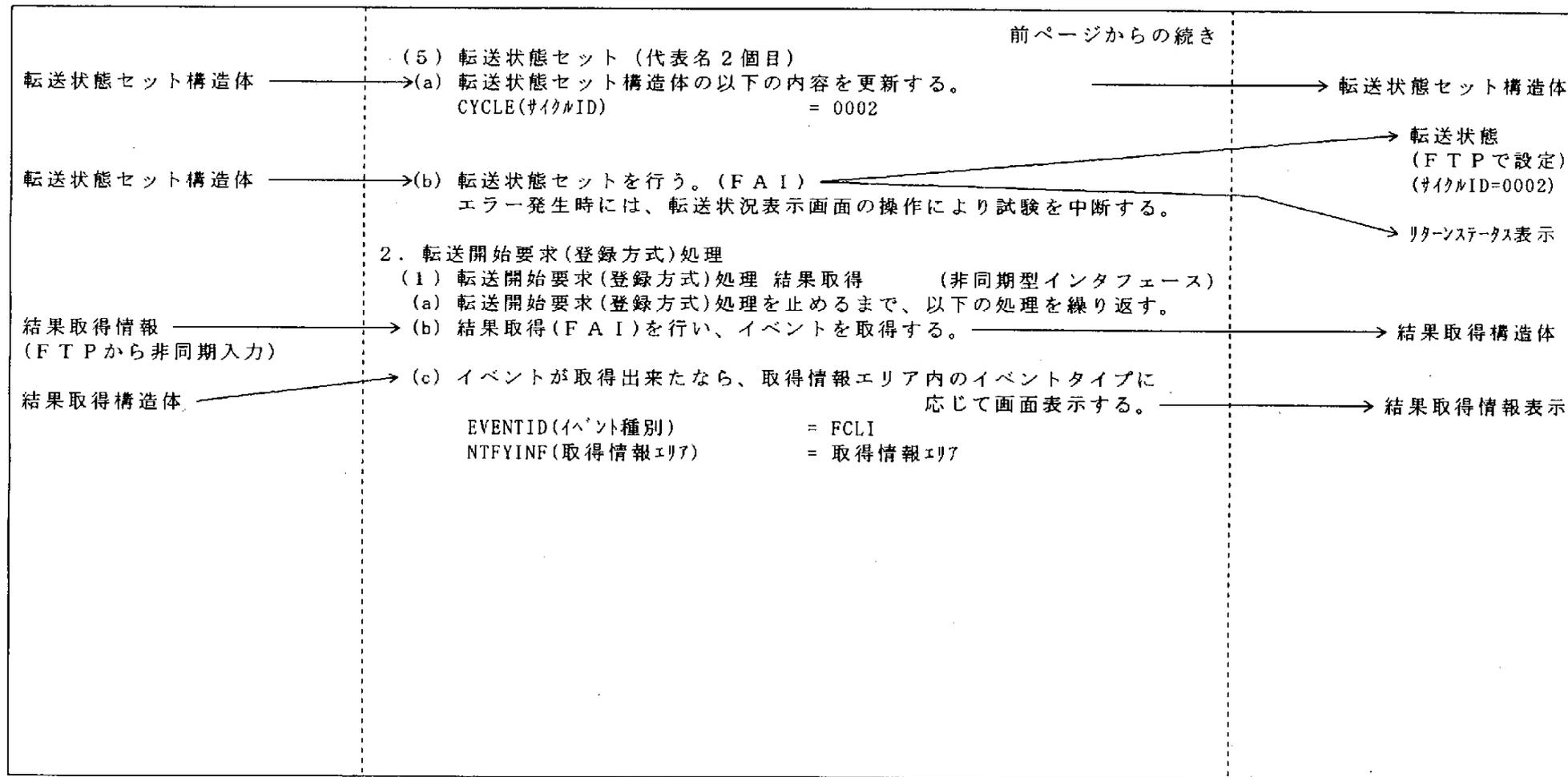
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイル無し	モジュールID	TM-202-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出しに該当するファイルが無い場合の、代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



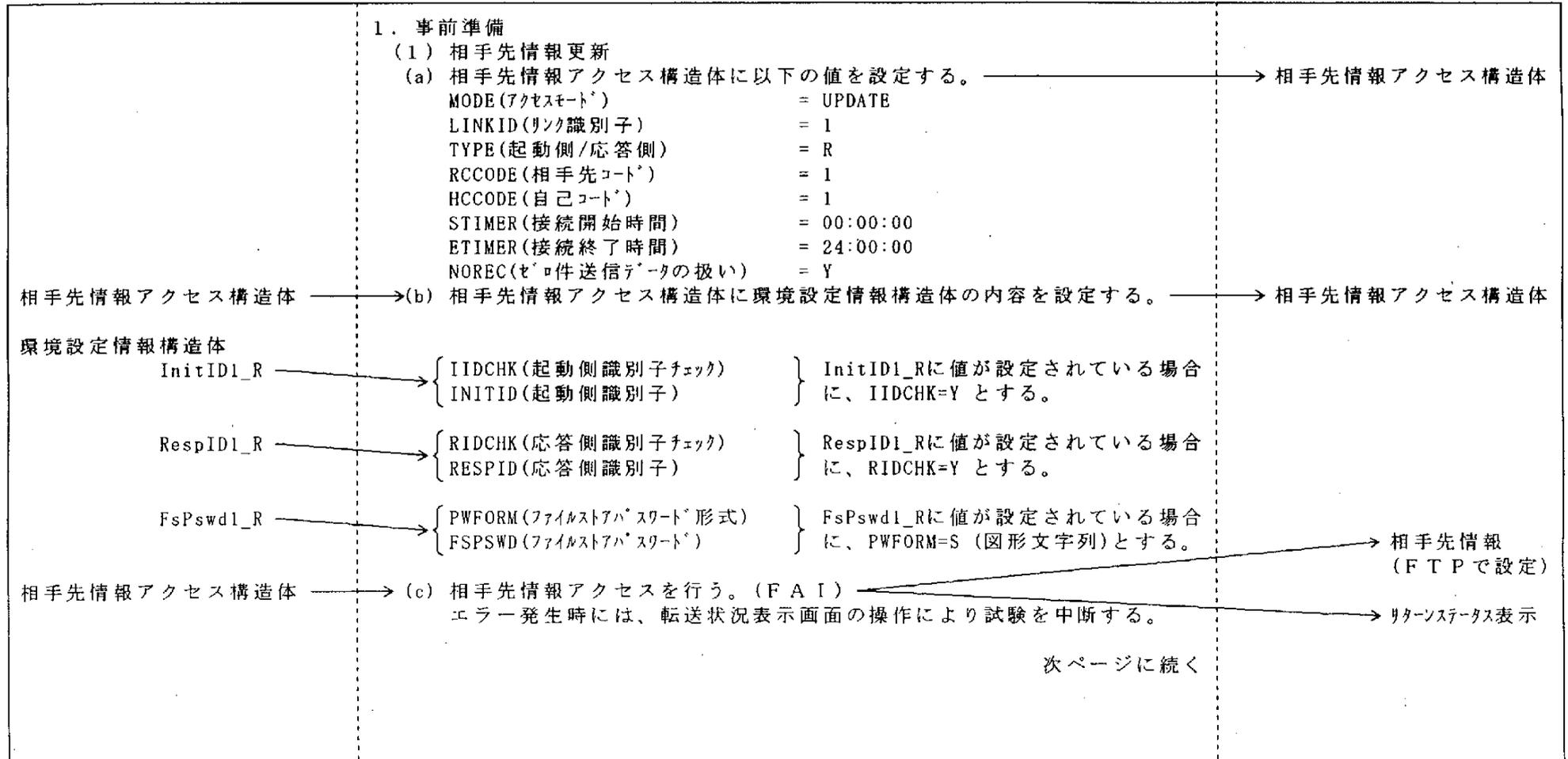
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。(応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



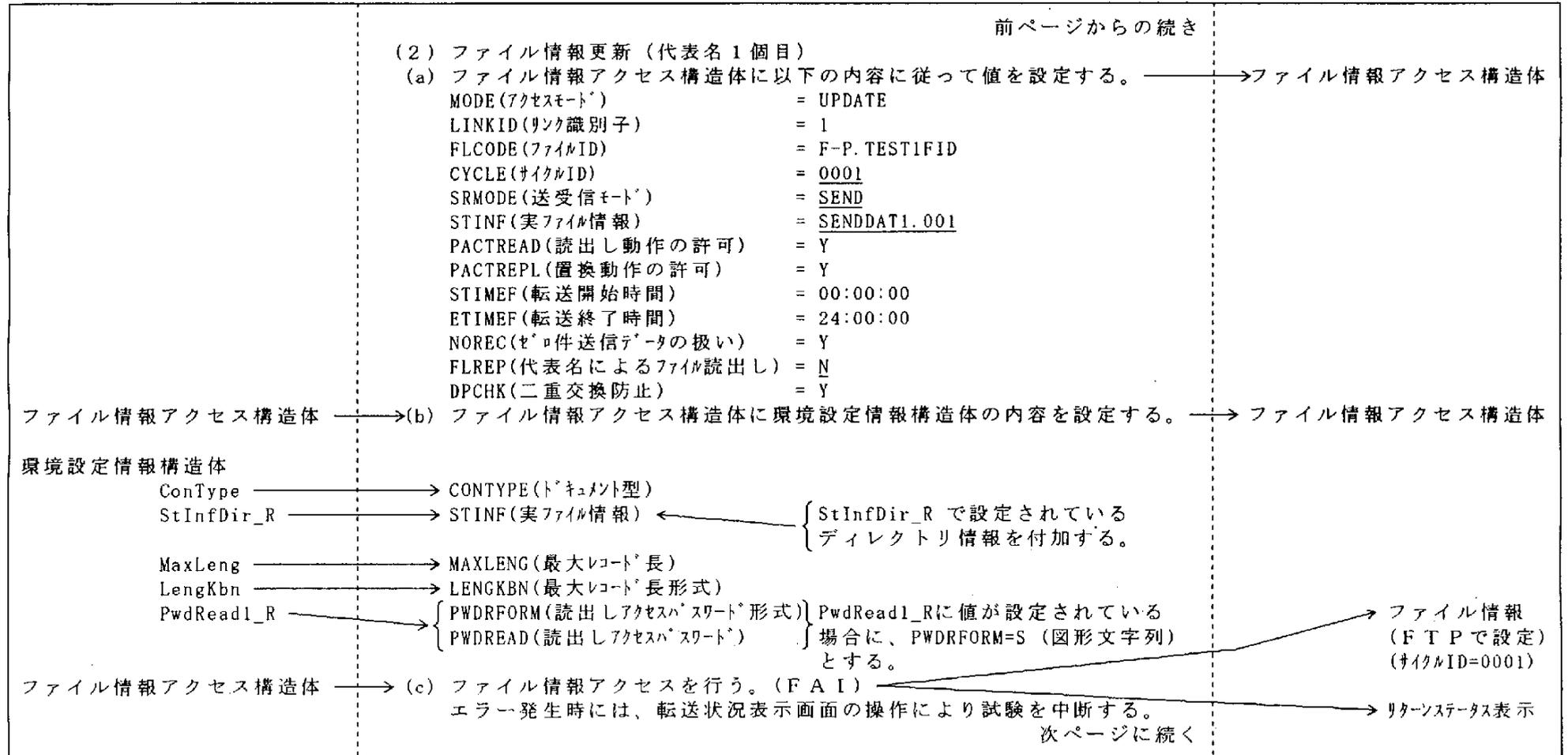
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイルではない	モジュールID	TM-203-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



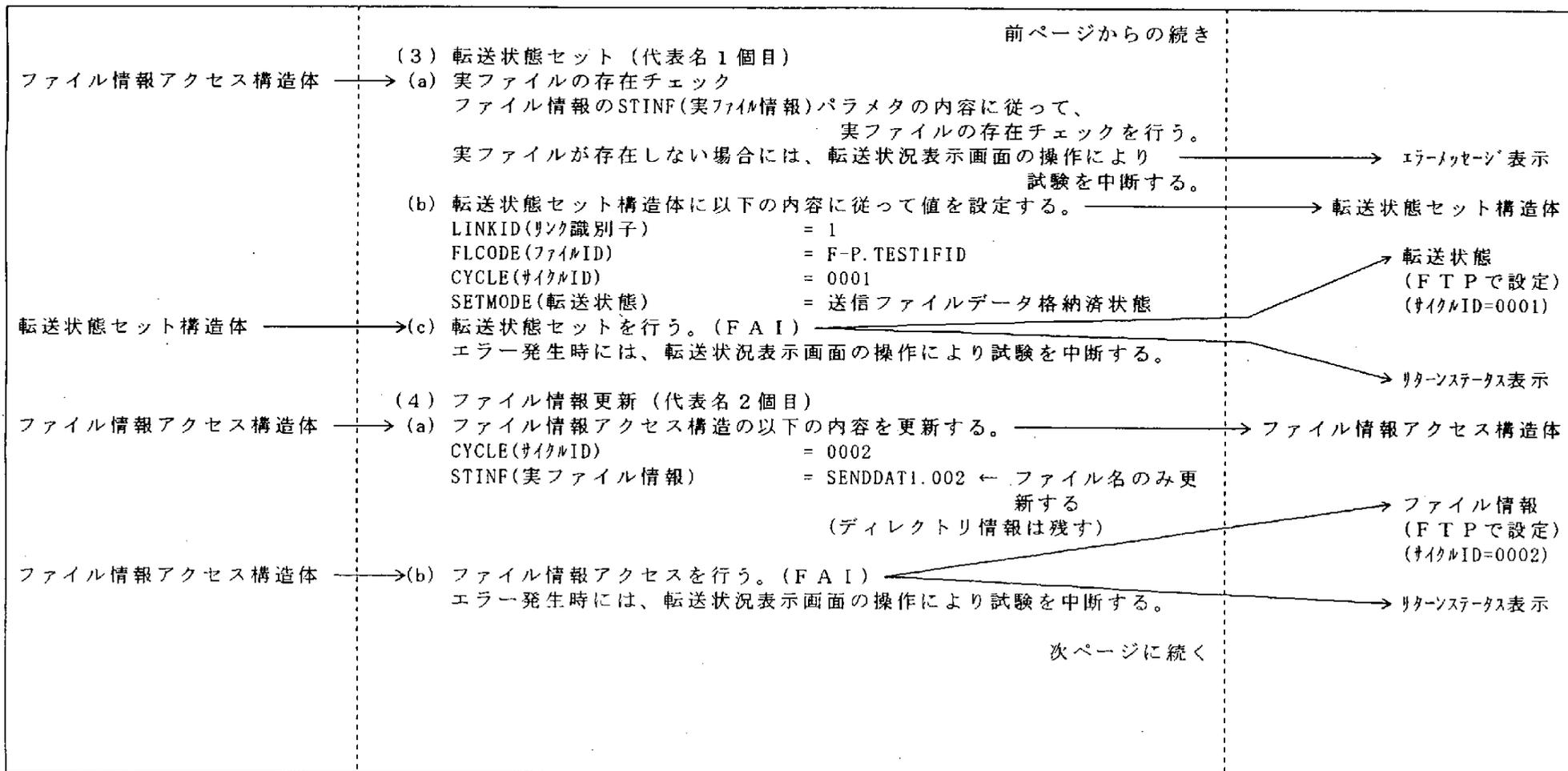
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイルではない	モジュール ID	TM-203-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



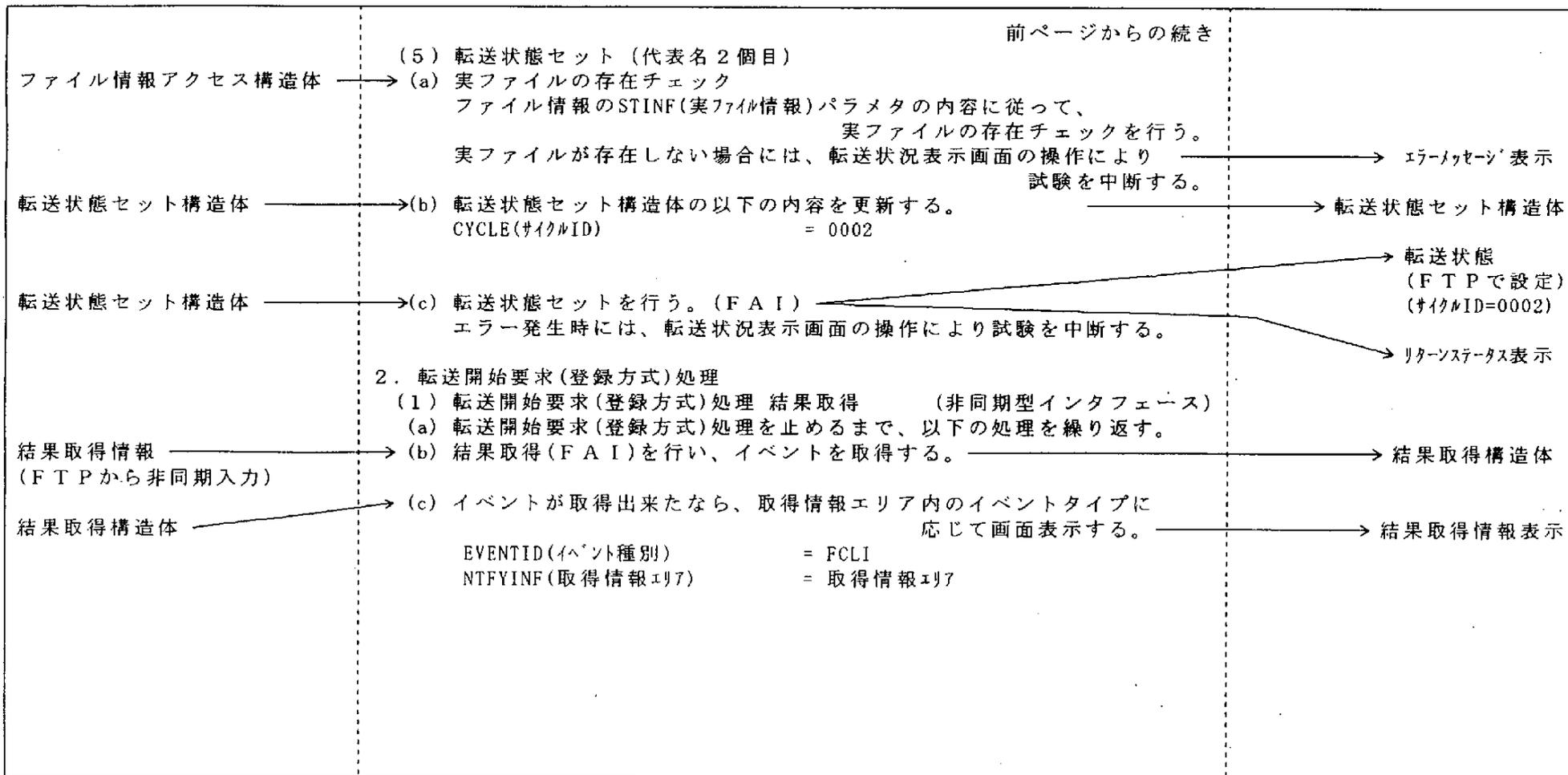
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 代表名ファイルではない	モジュールID	TM-203-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	代表名によるファイル読み出し用ではないファイルに対する、代表名によるファイル読み出しを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



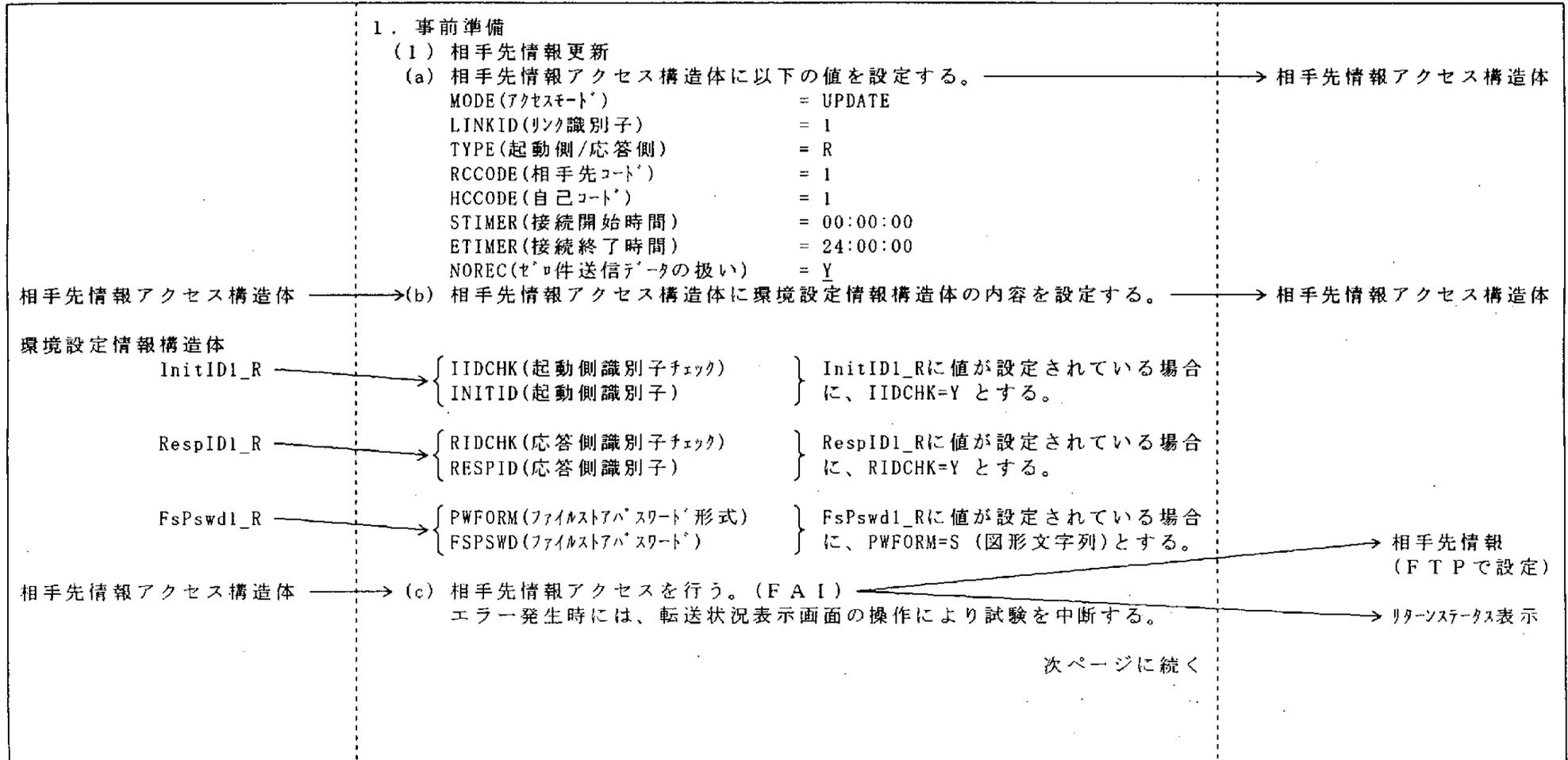
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件正常送信	モジュール ID	TM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



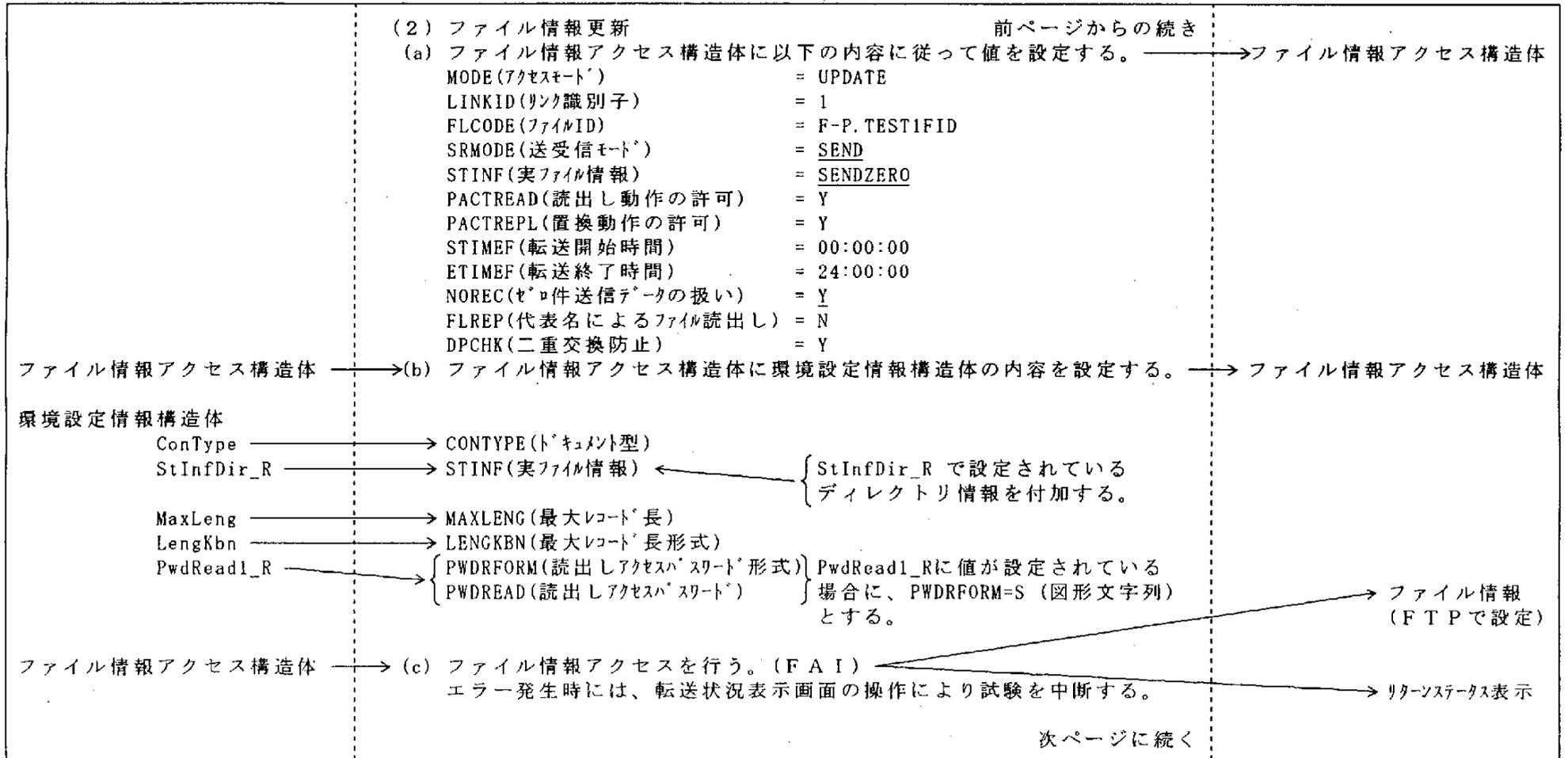
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件正常送信	モジュール ID	TM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



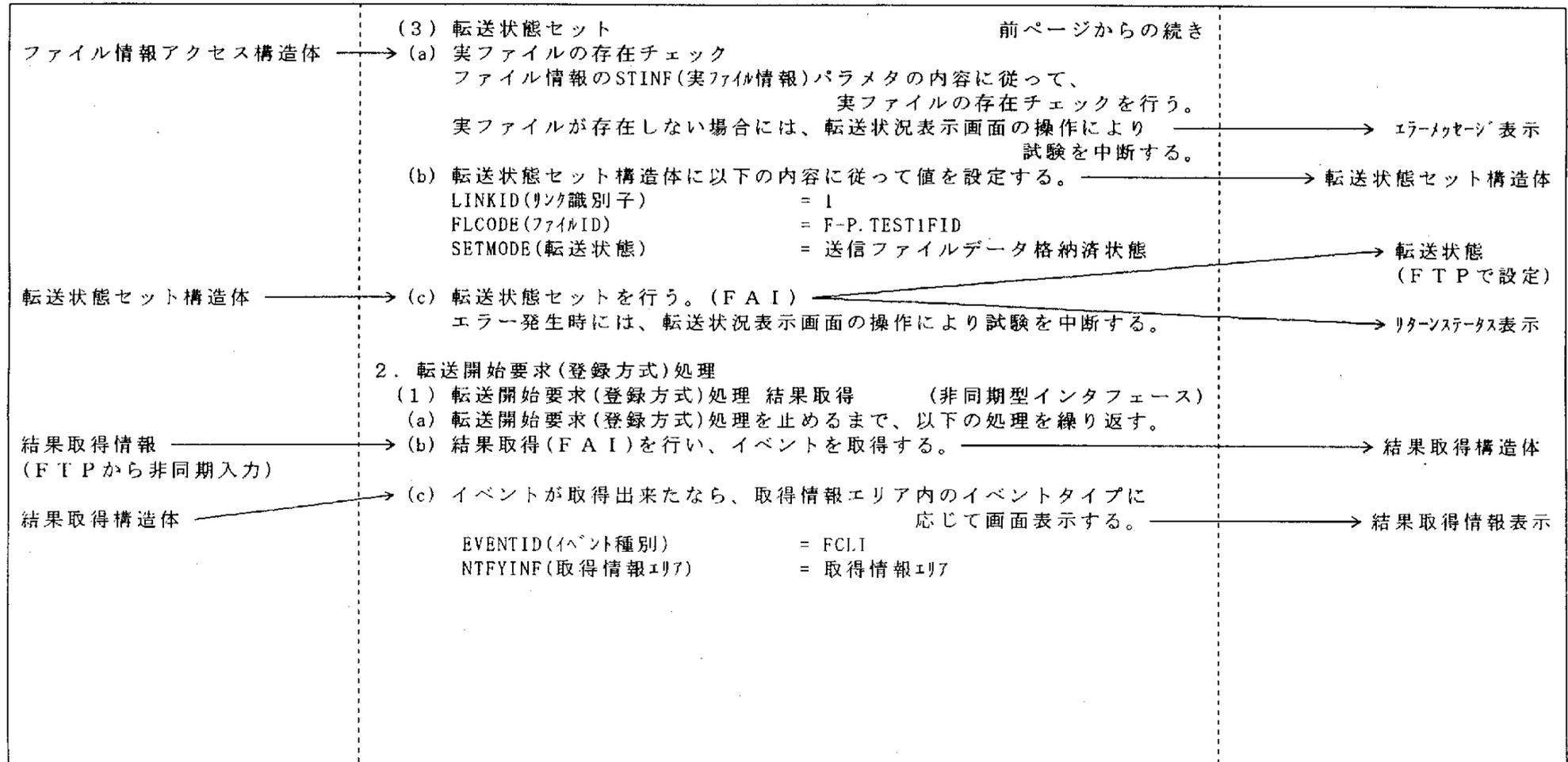
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件正常送信	モジュール ID	TM-301-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の正常扱いを試験する。 (応答側送信)									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



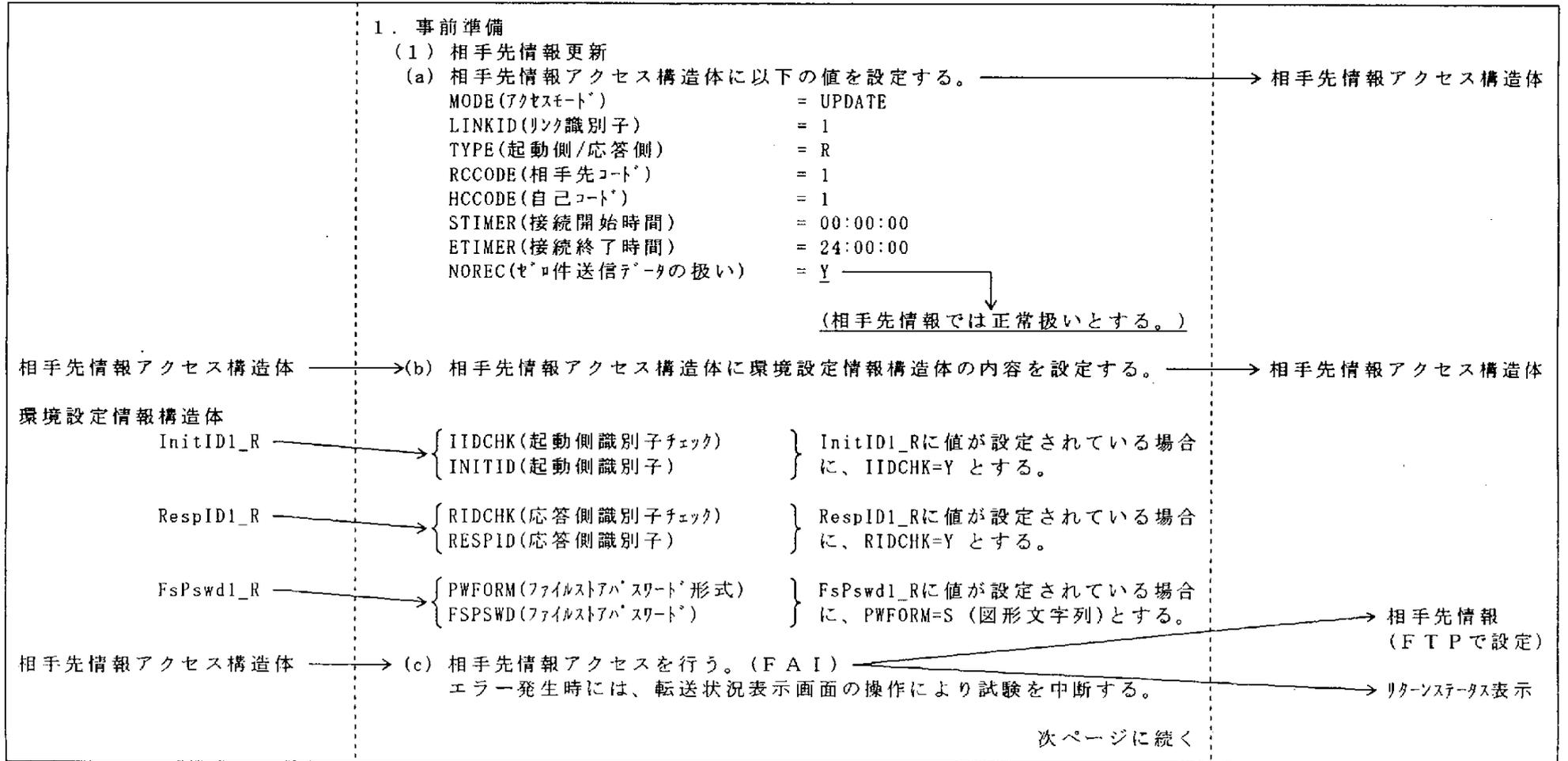
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常送信	モジュールID	TM-302-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



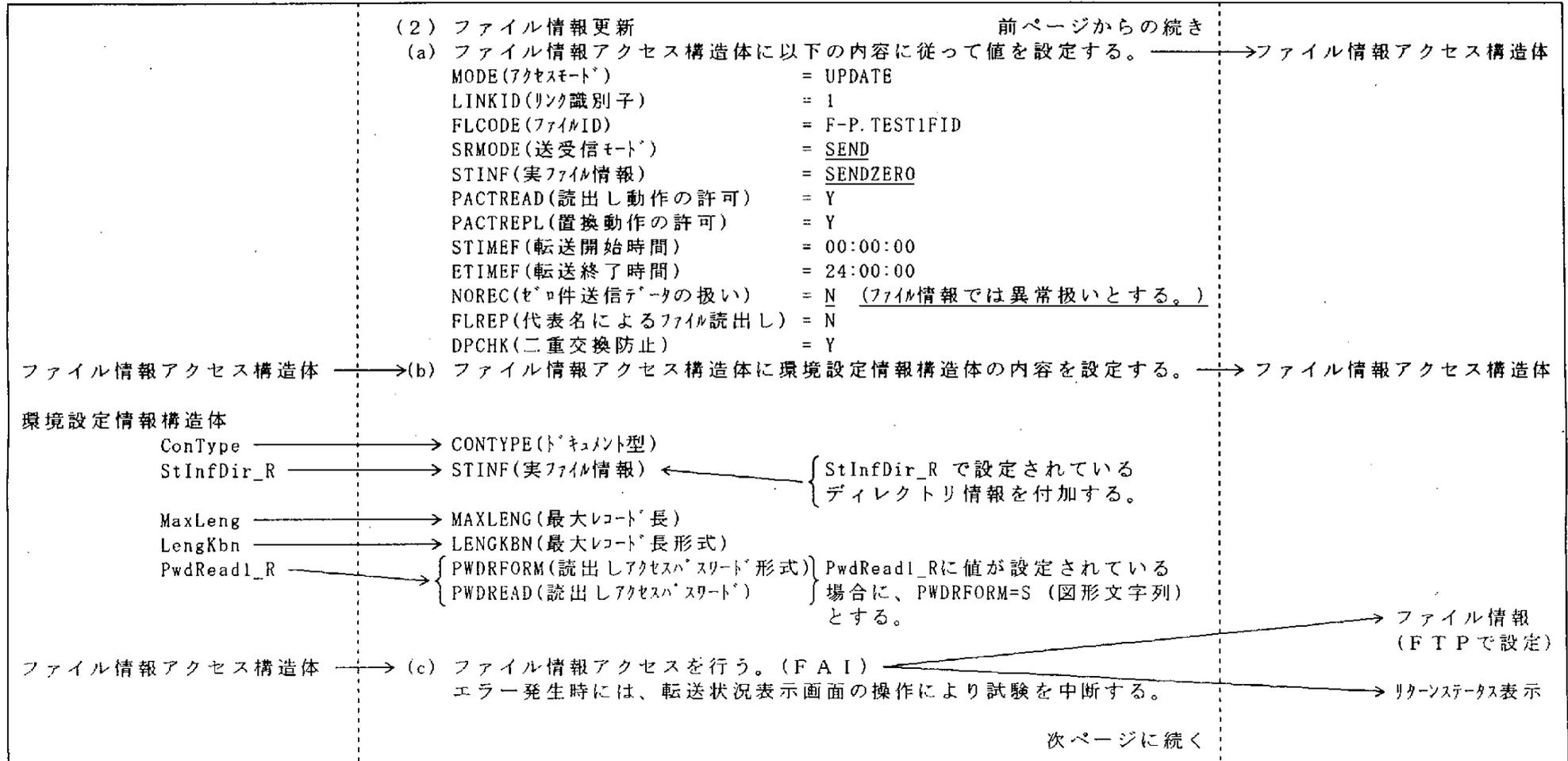
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常送信	モジュール ID	TM-302-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



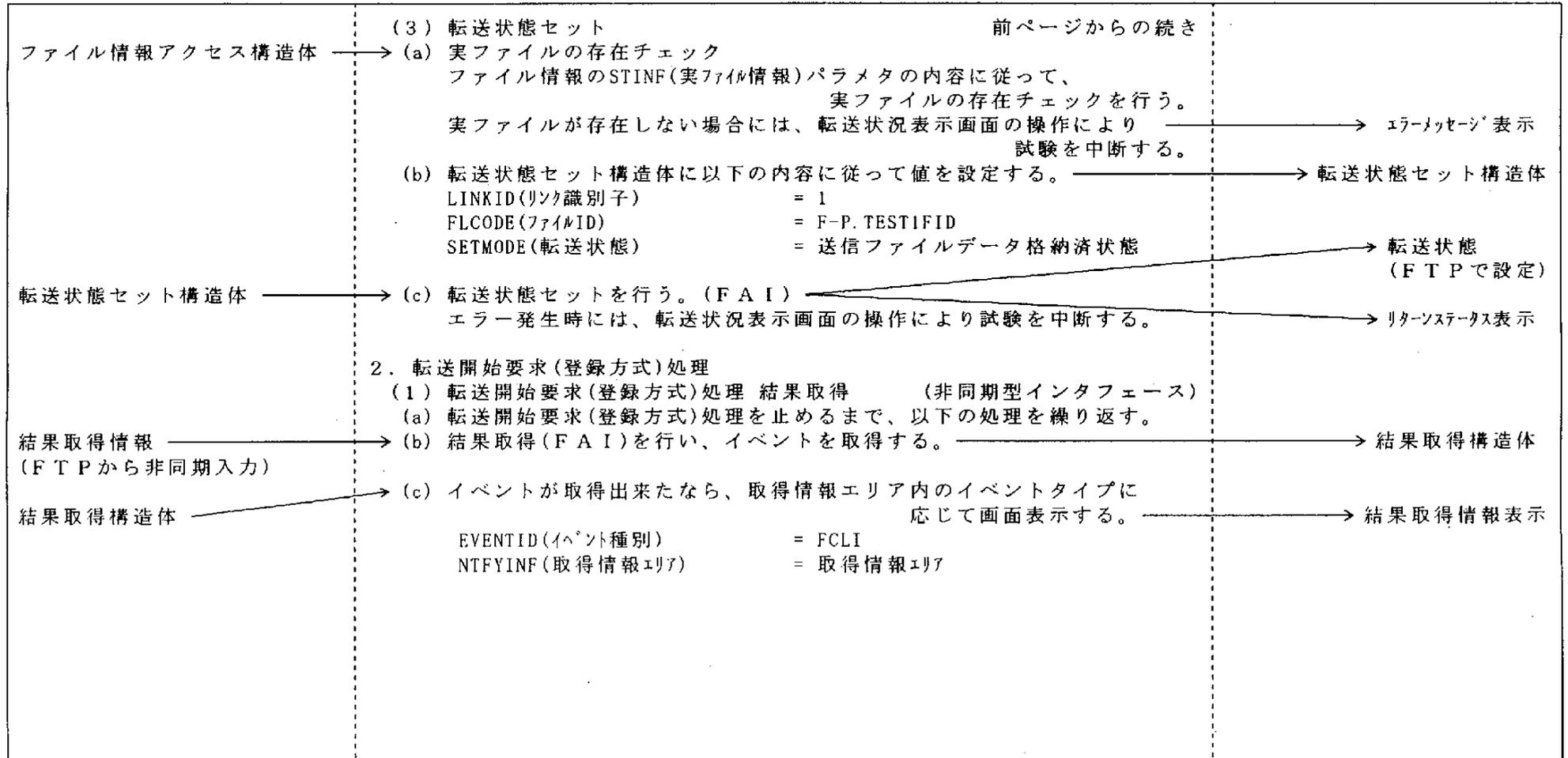
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常送信	モジュール ID	TM-302-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル受信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



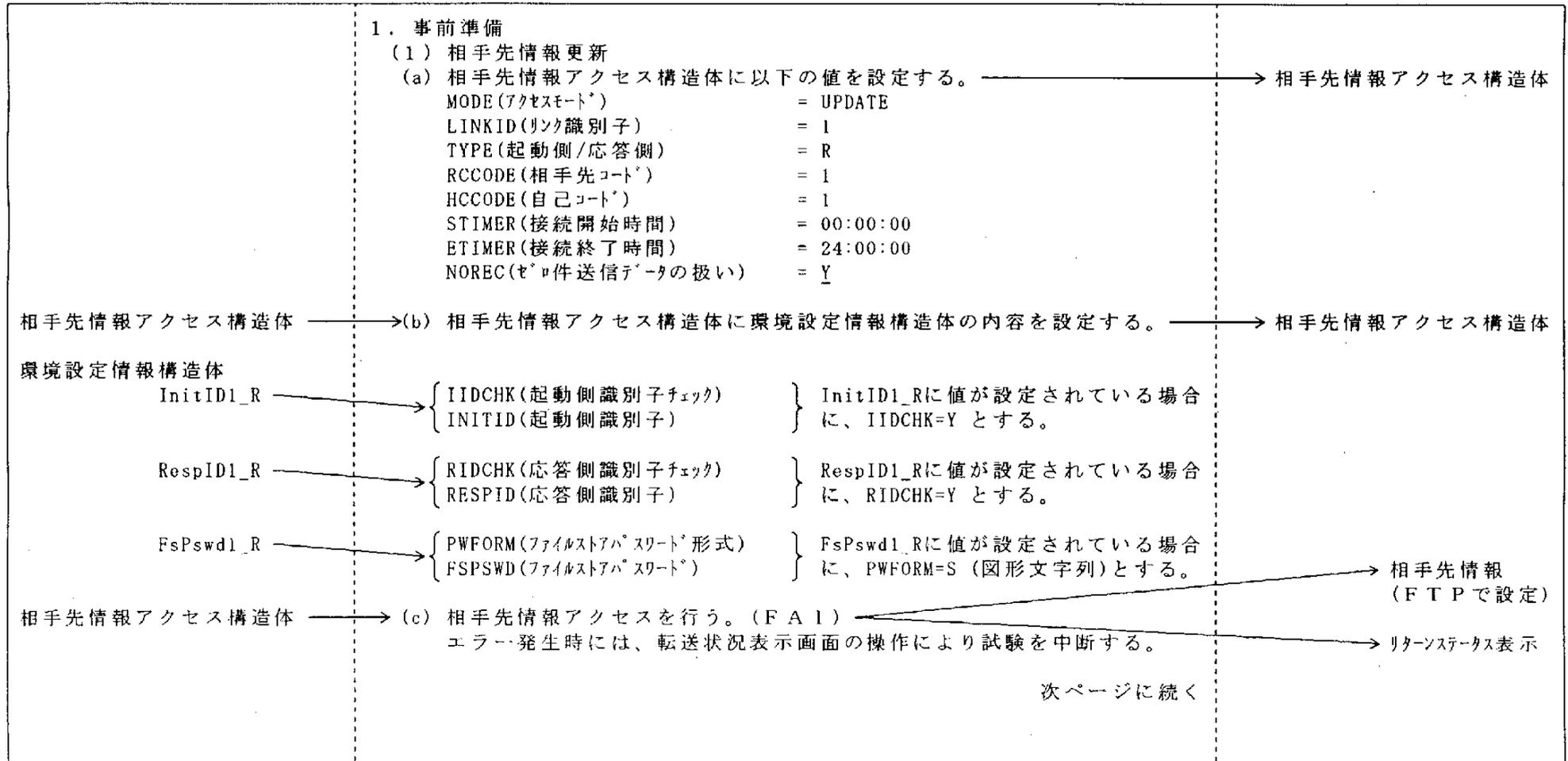
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-303-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



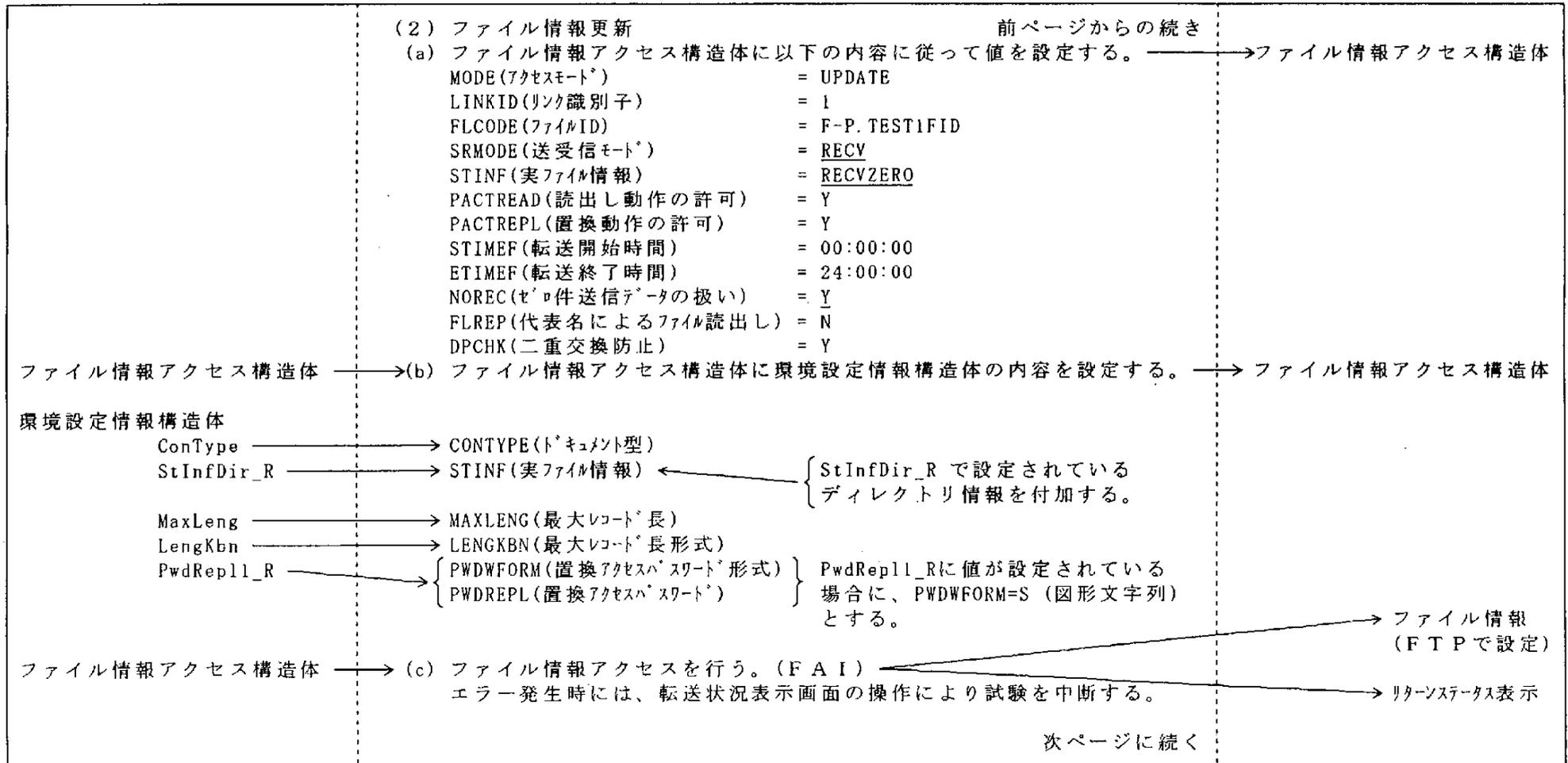
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-303-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側受信)										

入 力

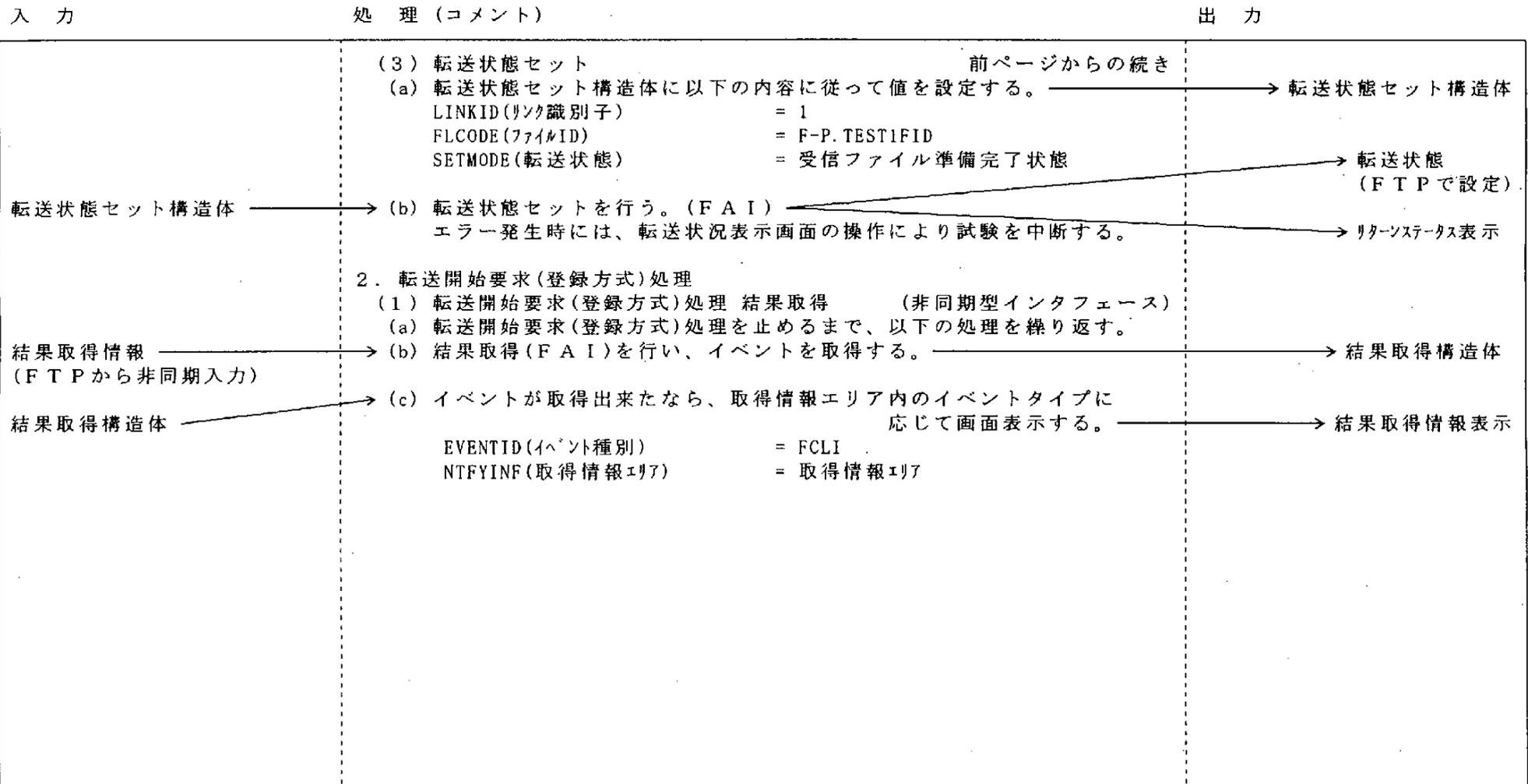
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	転送管理機能 応答側 ゼロ件異常受信	モジュール ID	TM-303-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	起動側ファイル送信で、ゼロ件データ転送の異常扱いを試験する。 (応答側受信)										



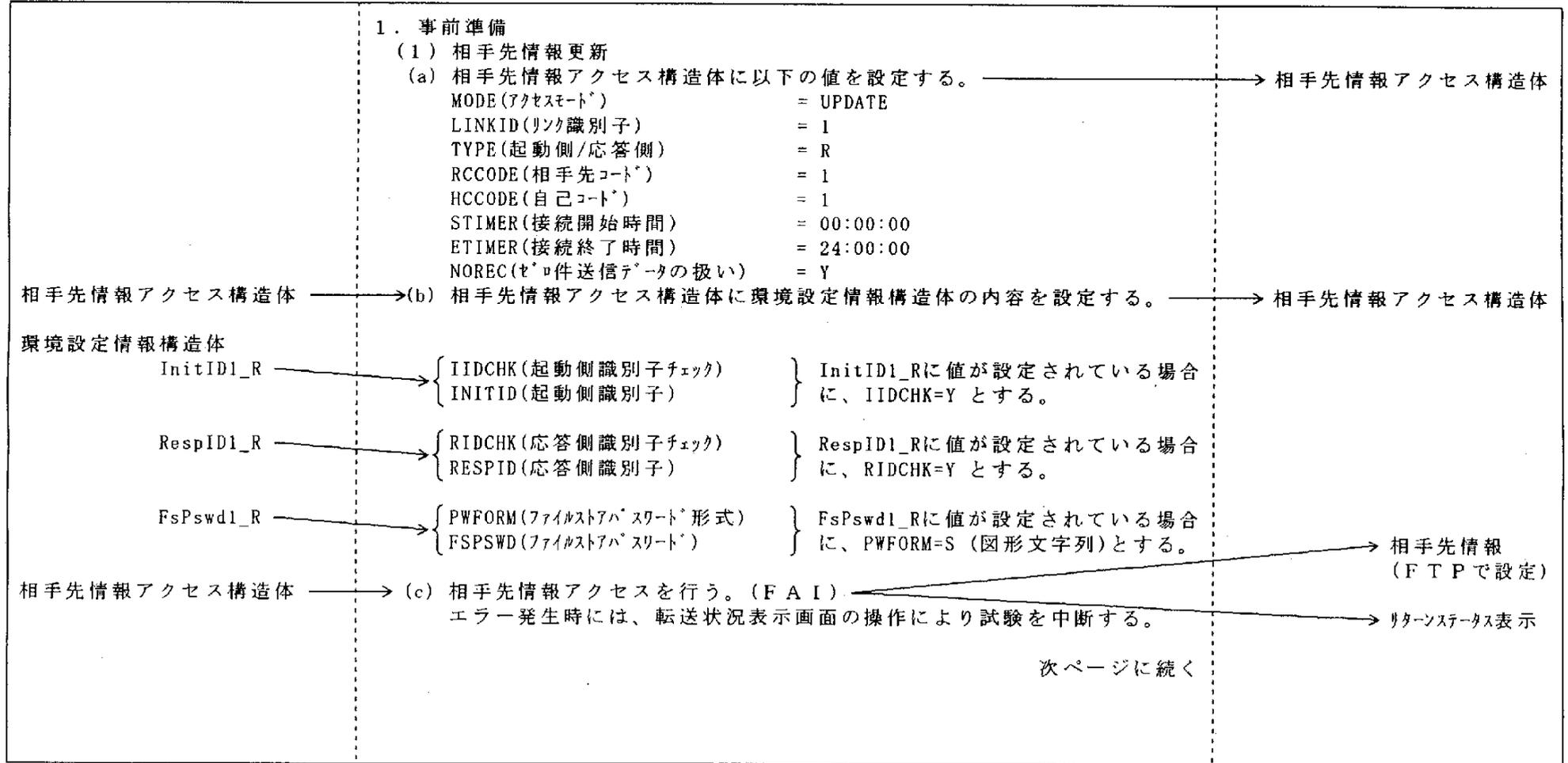
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 送信	モジュール ID	OM-001-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。 (応答側送信)									

入 力

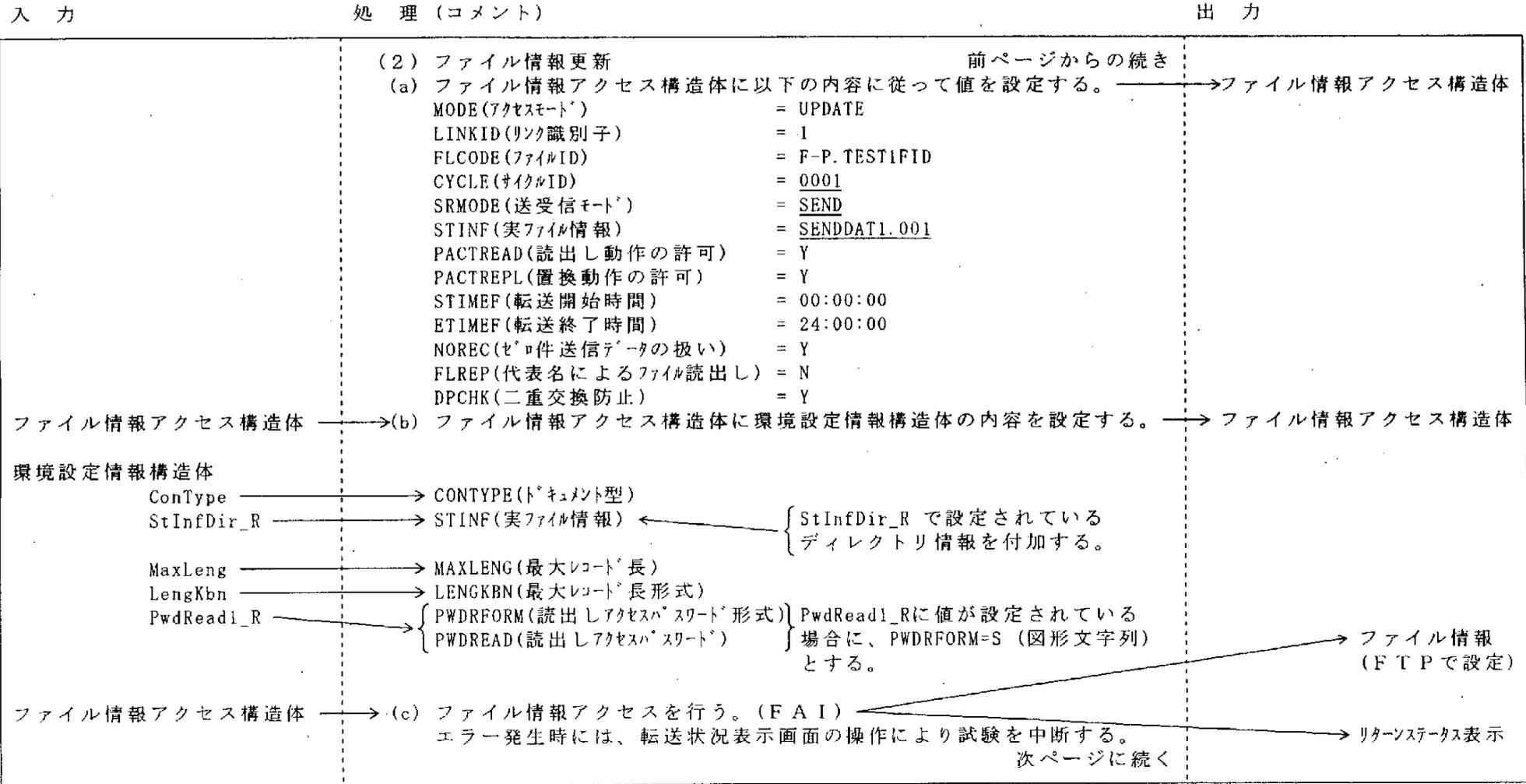
処 理 (コメント)

出 力



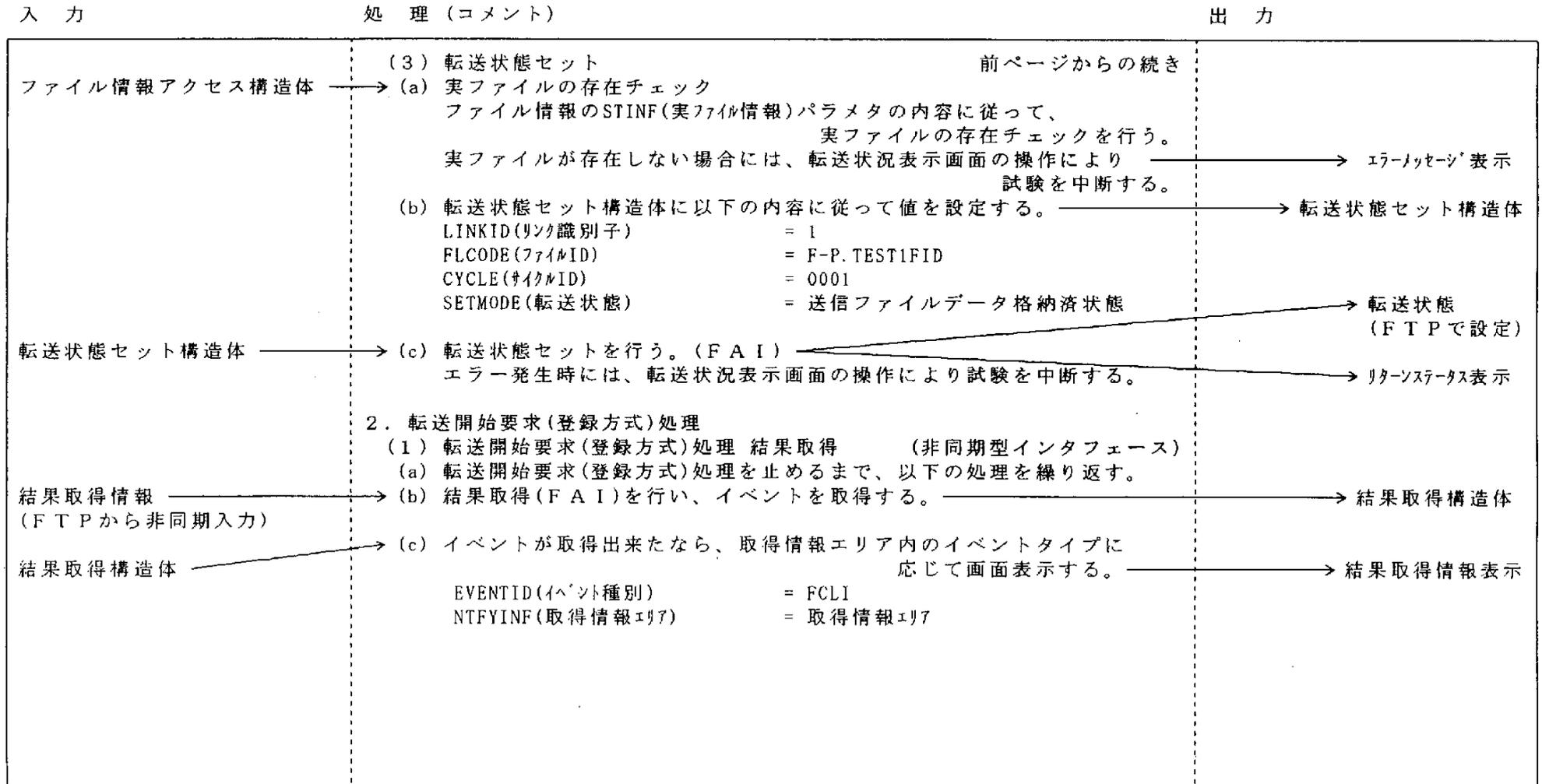
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 送信	モジュール ID	OM-001-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。(応答側送信)									



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 送信	モジュールID	OM-001-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信を試験する。 (応答側送信)										



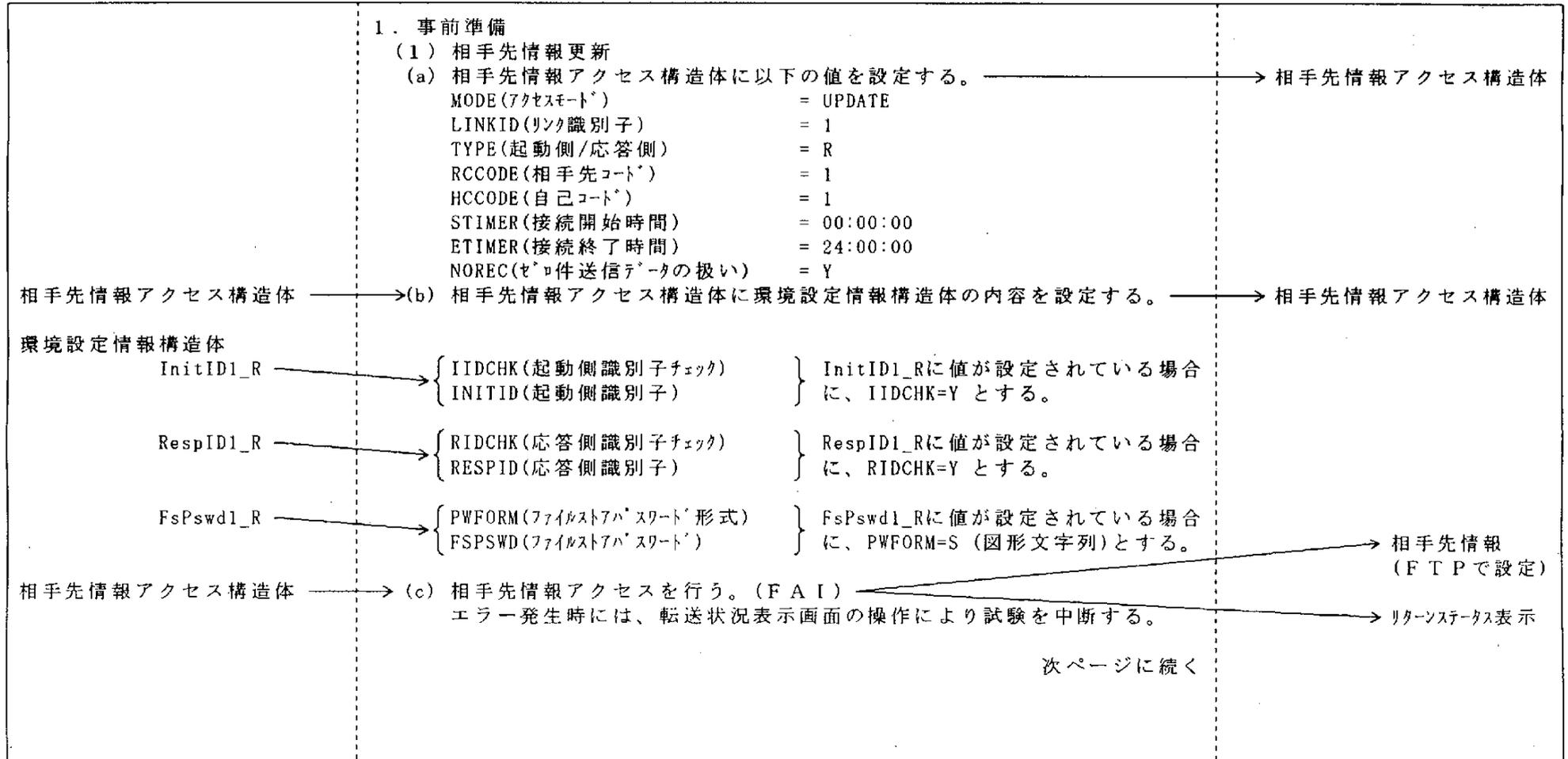
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 受信	モジュールID	OM-002-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



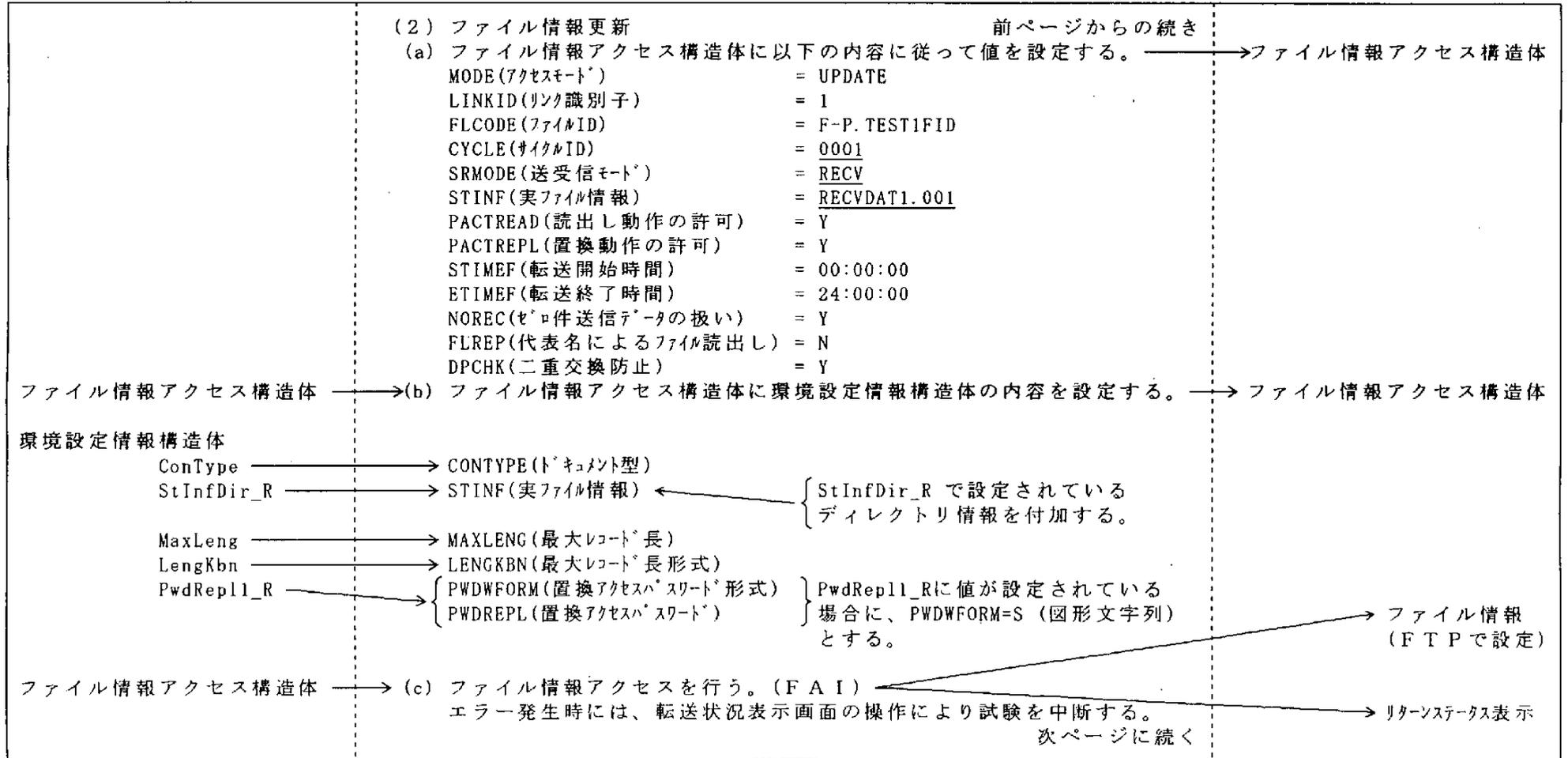
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 受信	モジュール ID	OM-002-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



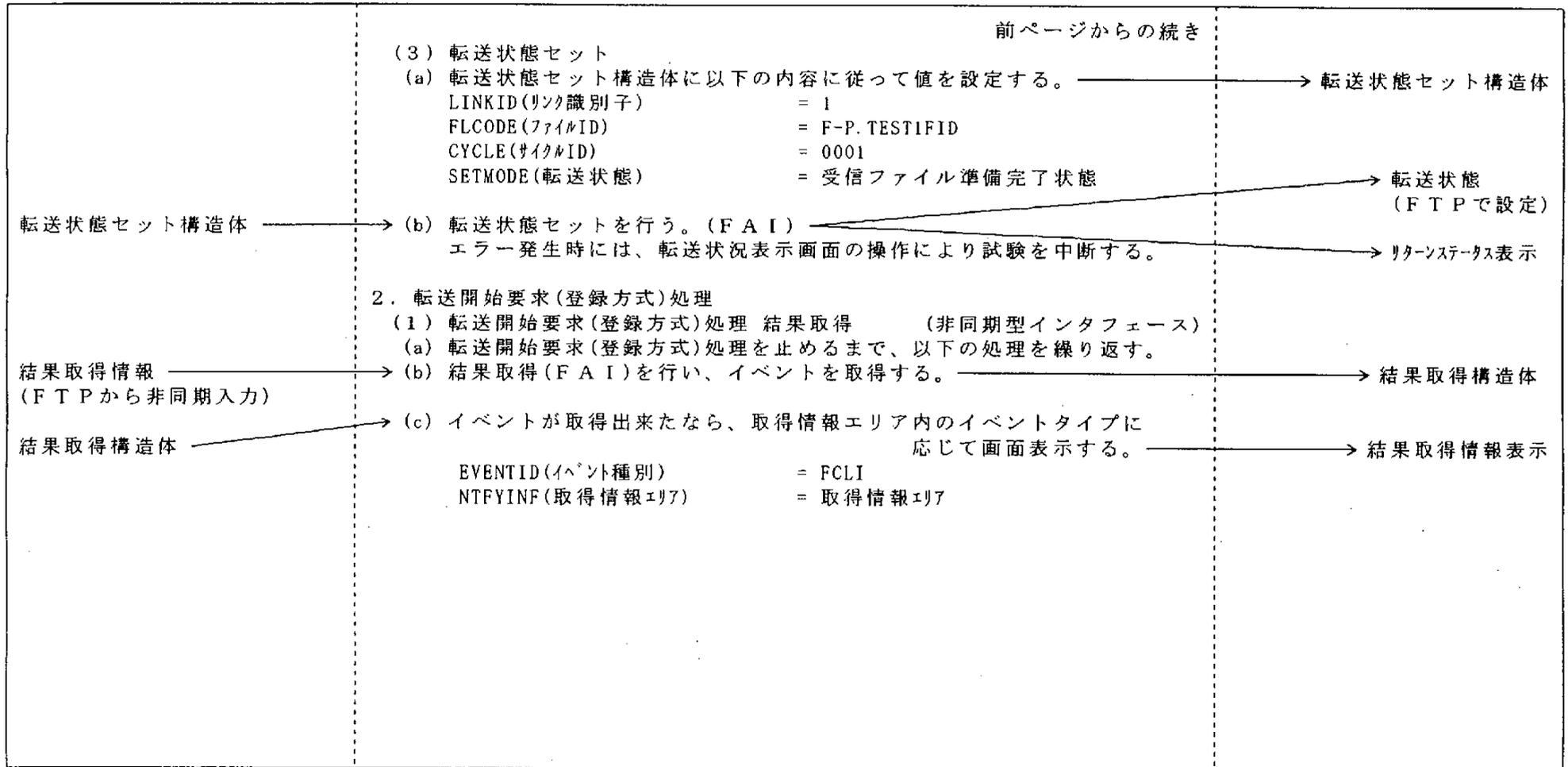
I-P-Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルID 受信	モジュール ID	OM-002-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤幸一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



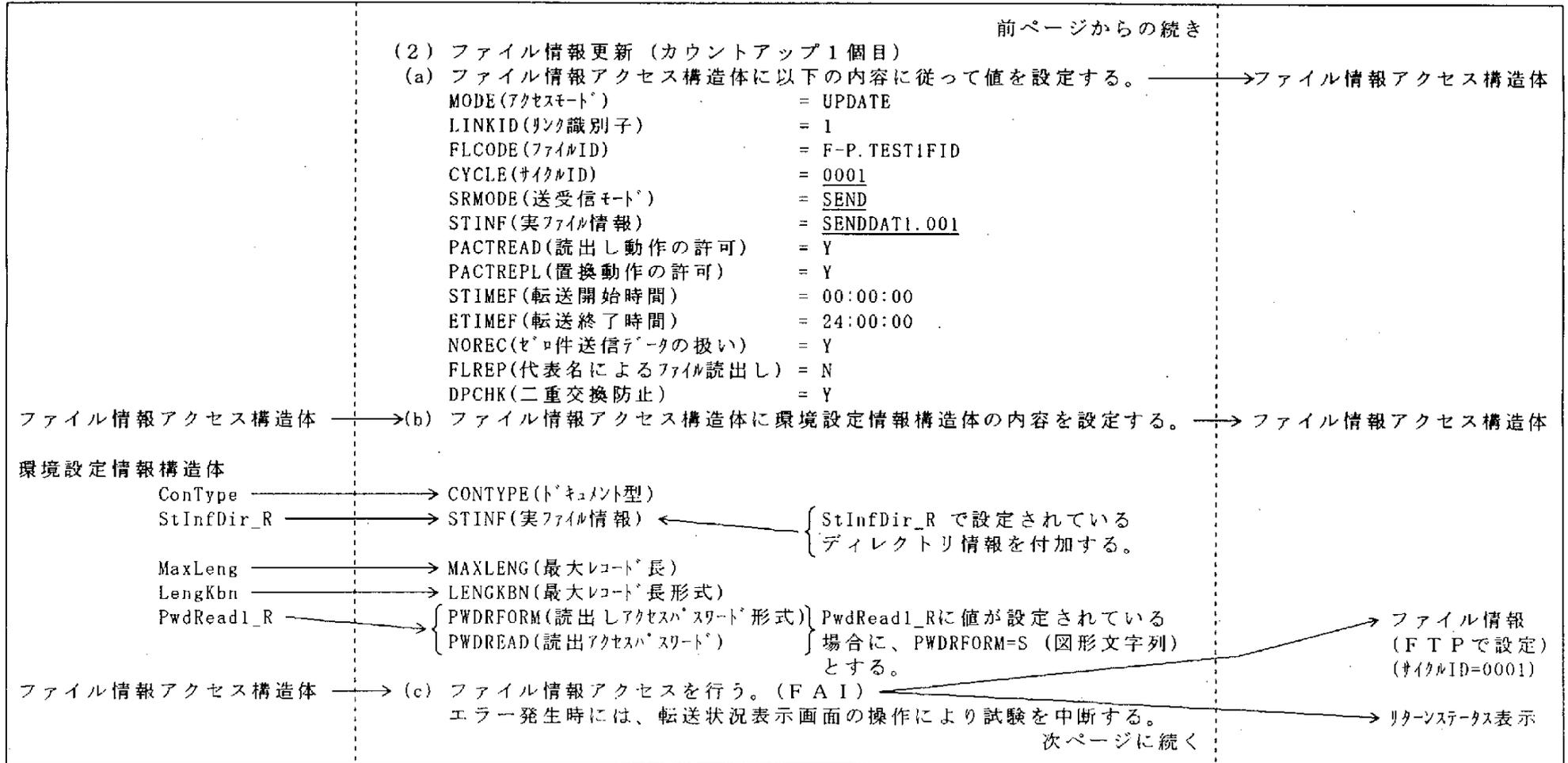
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュール ID	OM-003-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



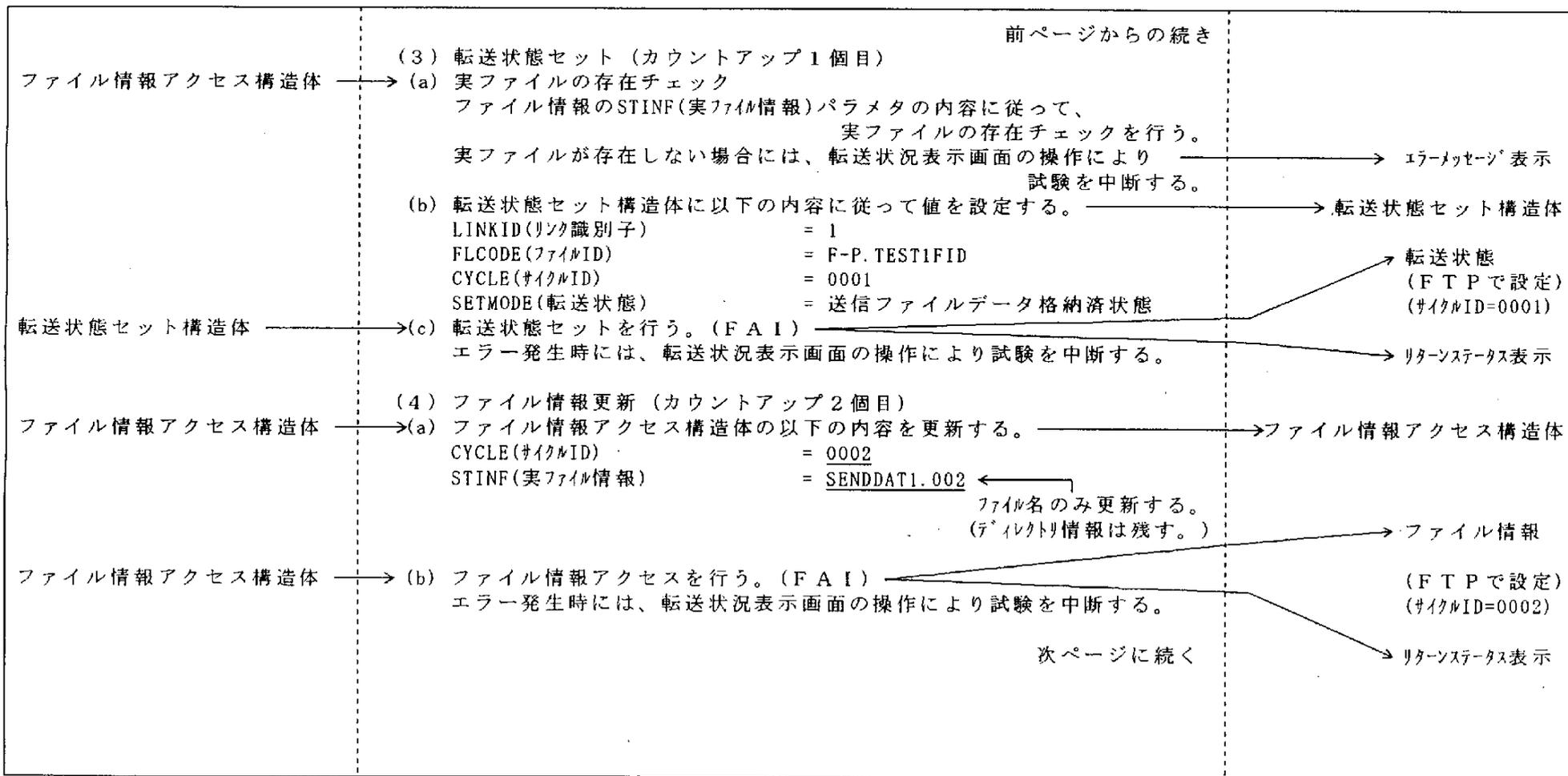
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルIDカウントアップ送信	モジュールID	OM-003-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの受信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。 (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



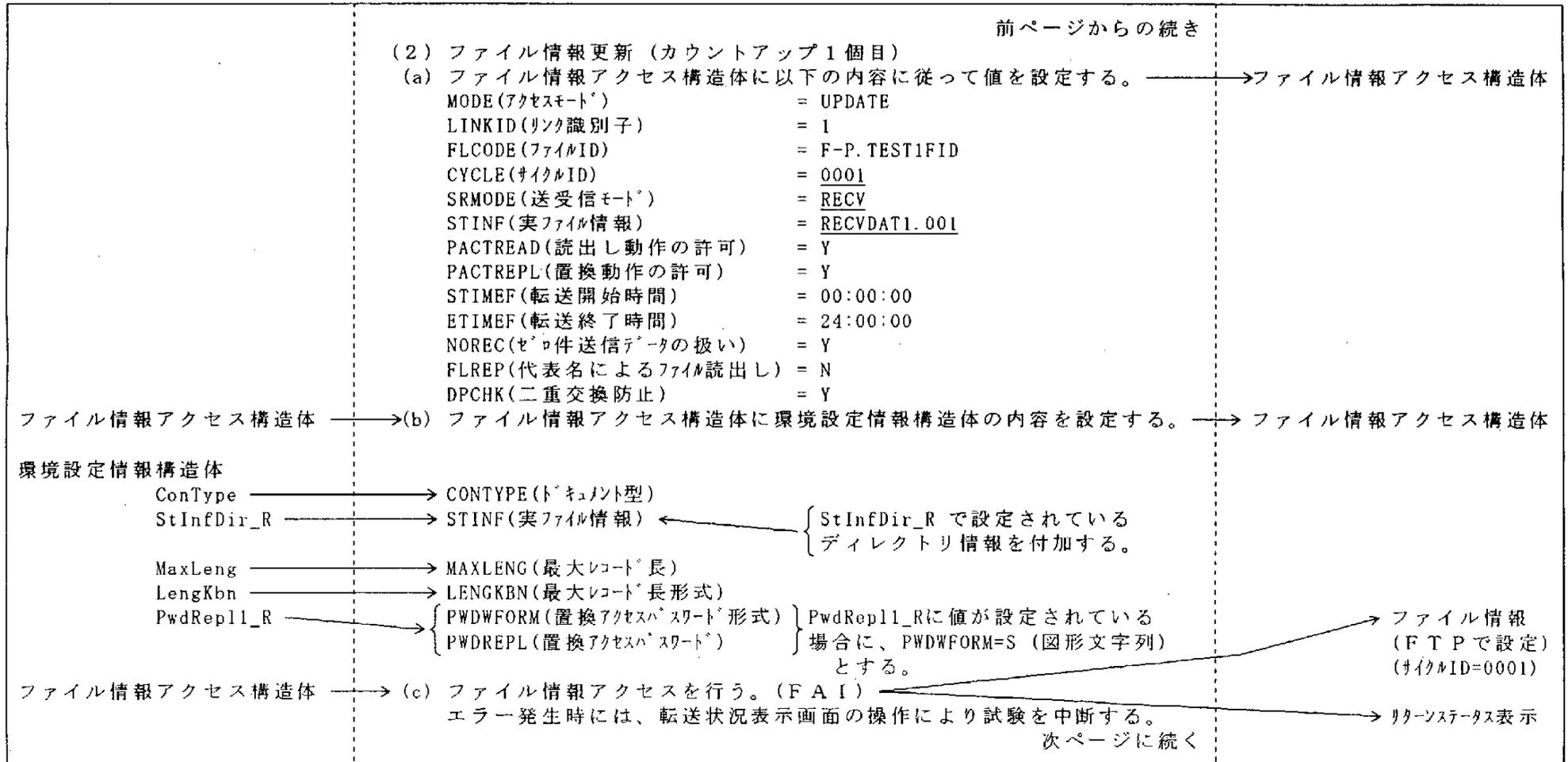
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュールID	OM-004-R	ダイアグラムID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。								(応答側受信)	

入 力

処 理 (コメント)

出 力



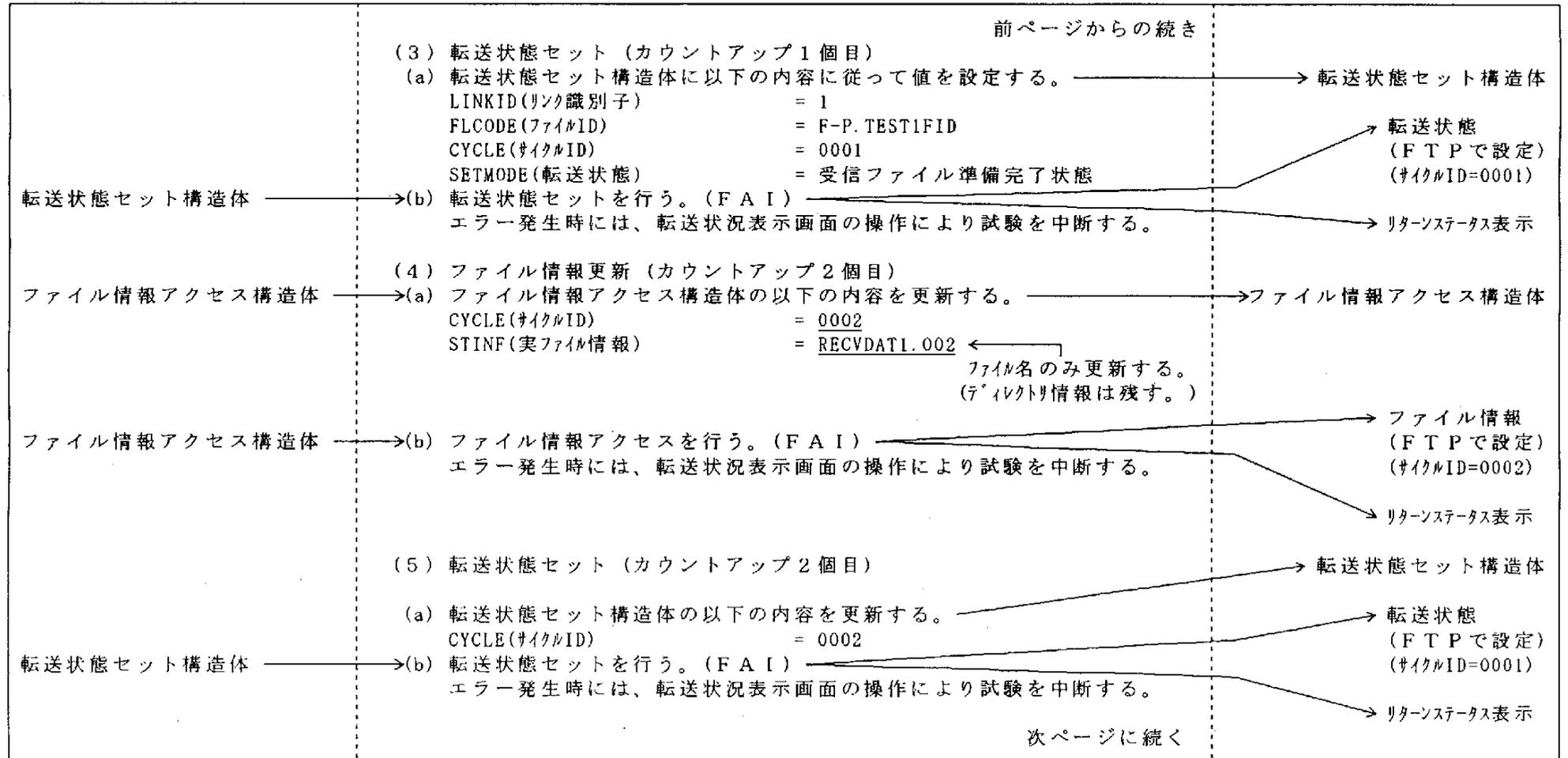
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュールID	OM-004-R	ダイアグラムID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



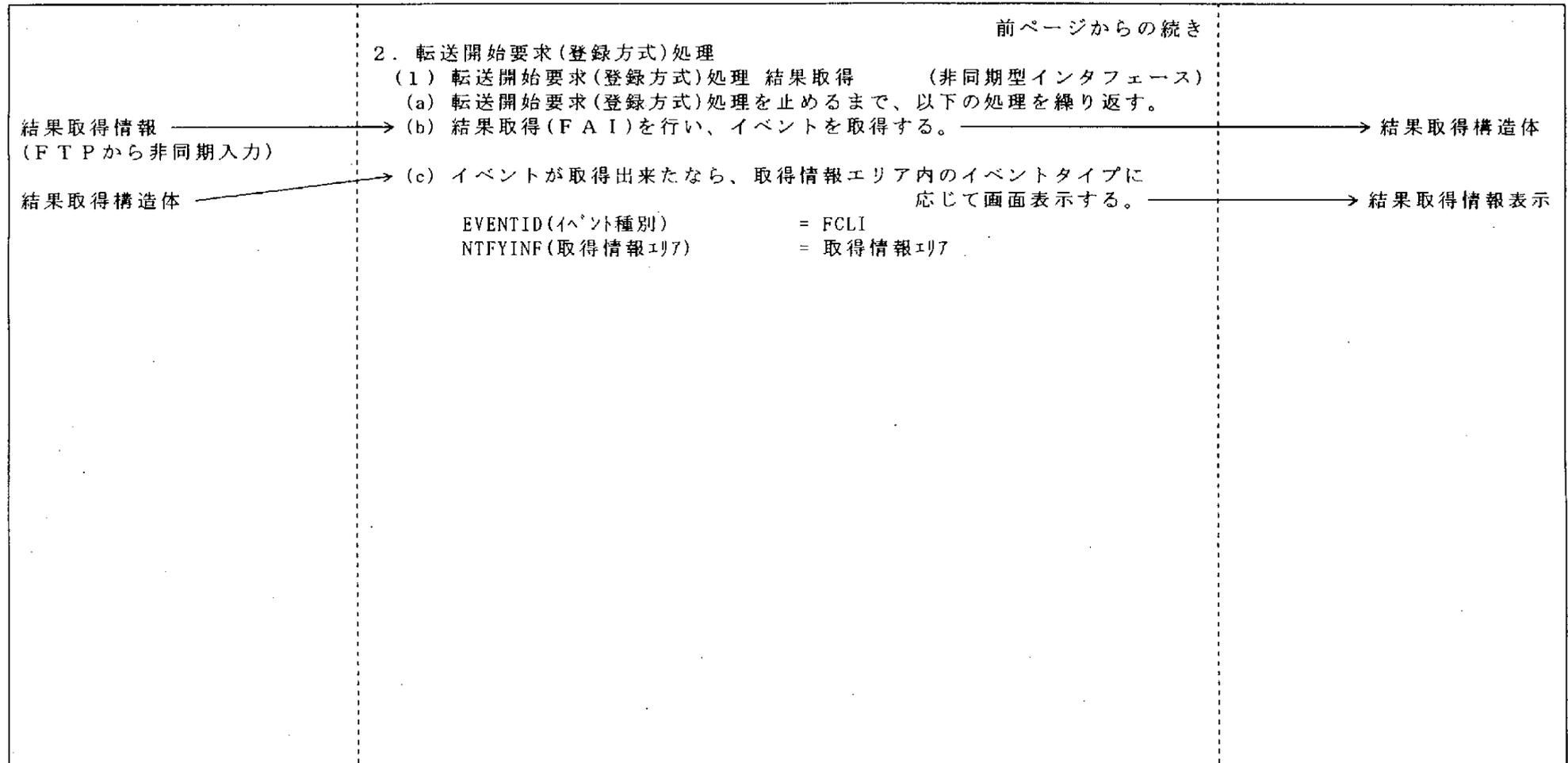
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 サイクルIDカウントアップ受信	モジュール ID	OM-004-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	サイクルIDを設定したファイルの送信における、サイクルIDのカウントアップ機能を試験する。(応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



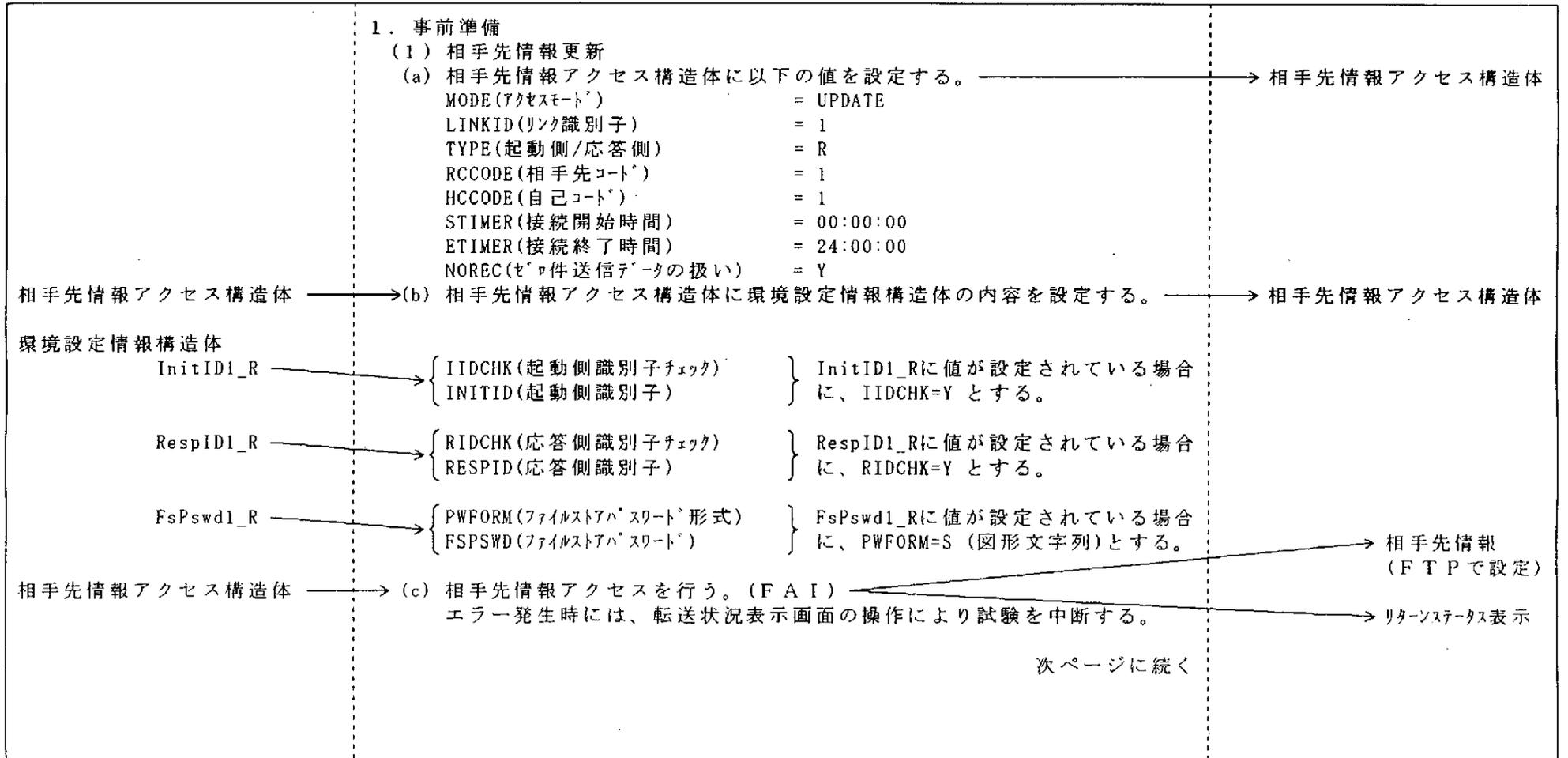
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重読出防止 送信	モジュール ID	OM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信) (応答側送信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



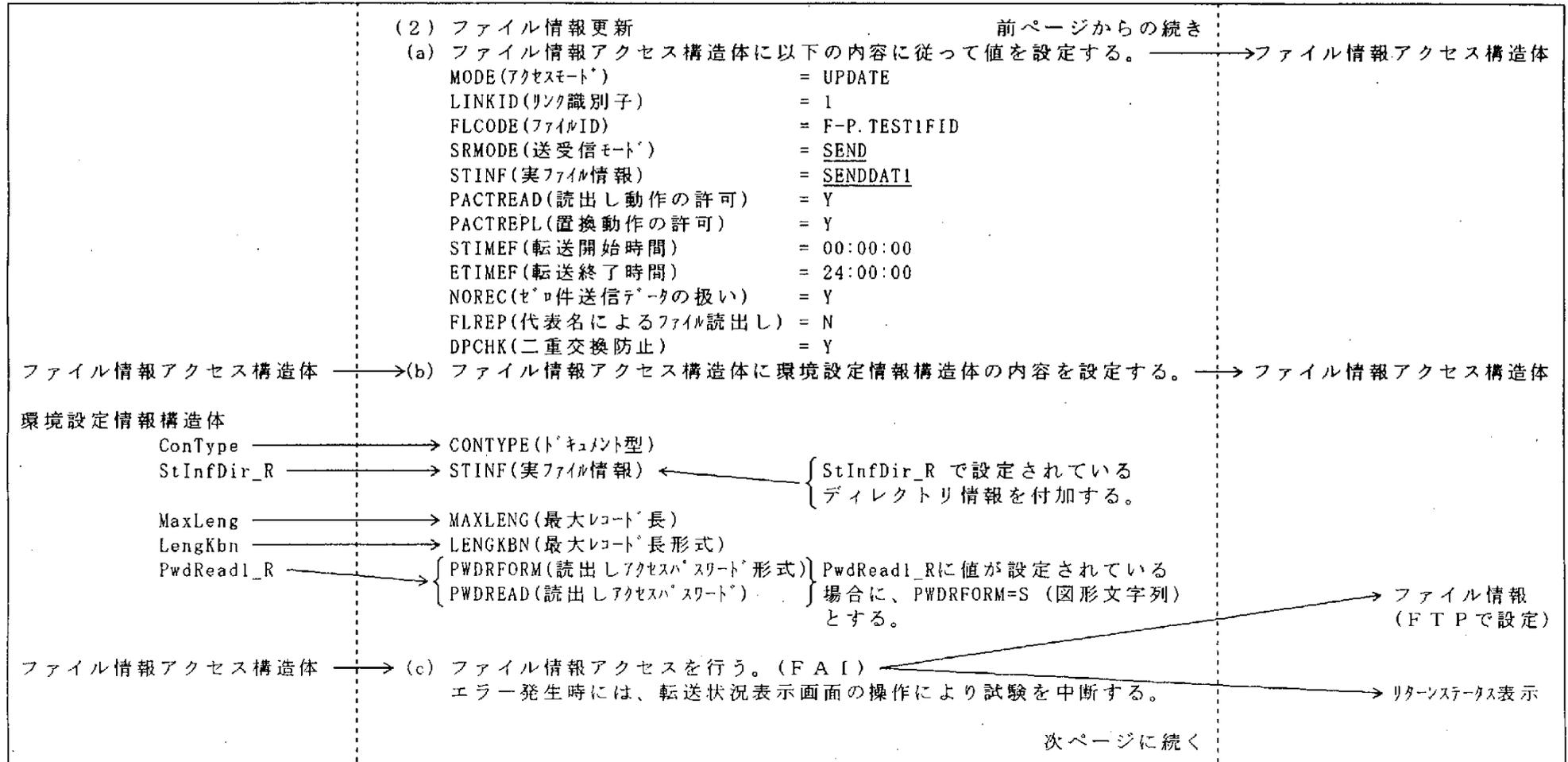
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重読み出し防止 送信	モジュール ID	OM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信)										(応答側送信)

入 力

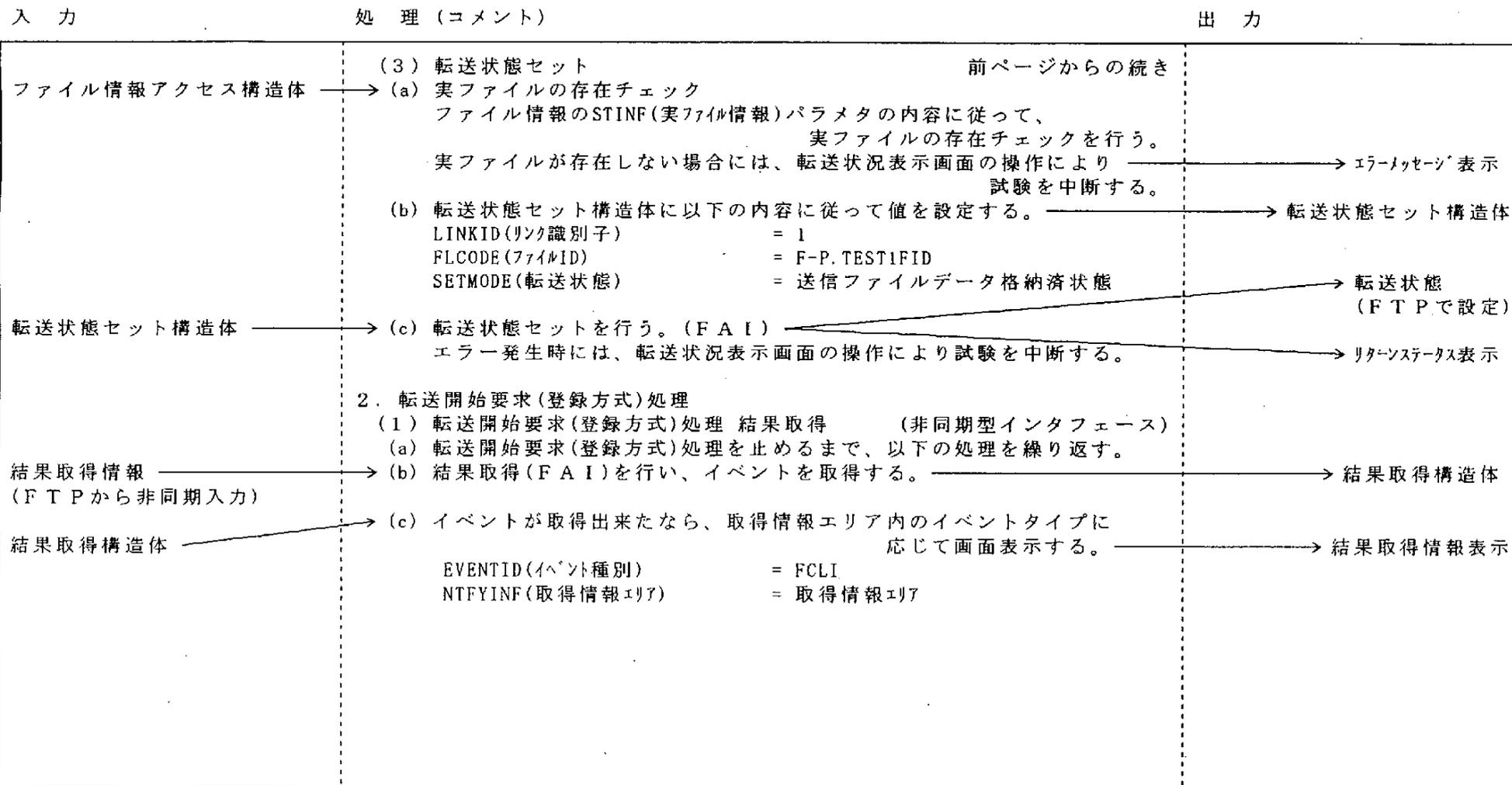
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重読出防止 送信	モジュール ID	OM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の二重読み出し防止の機能を試験する。(起動側受信) (応答側送信)										



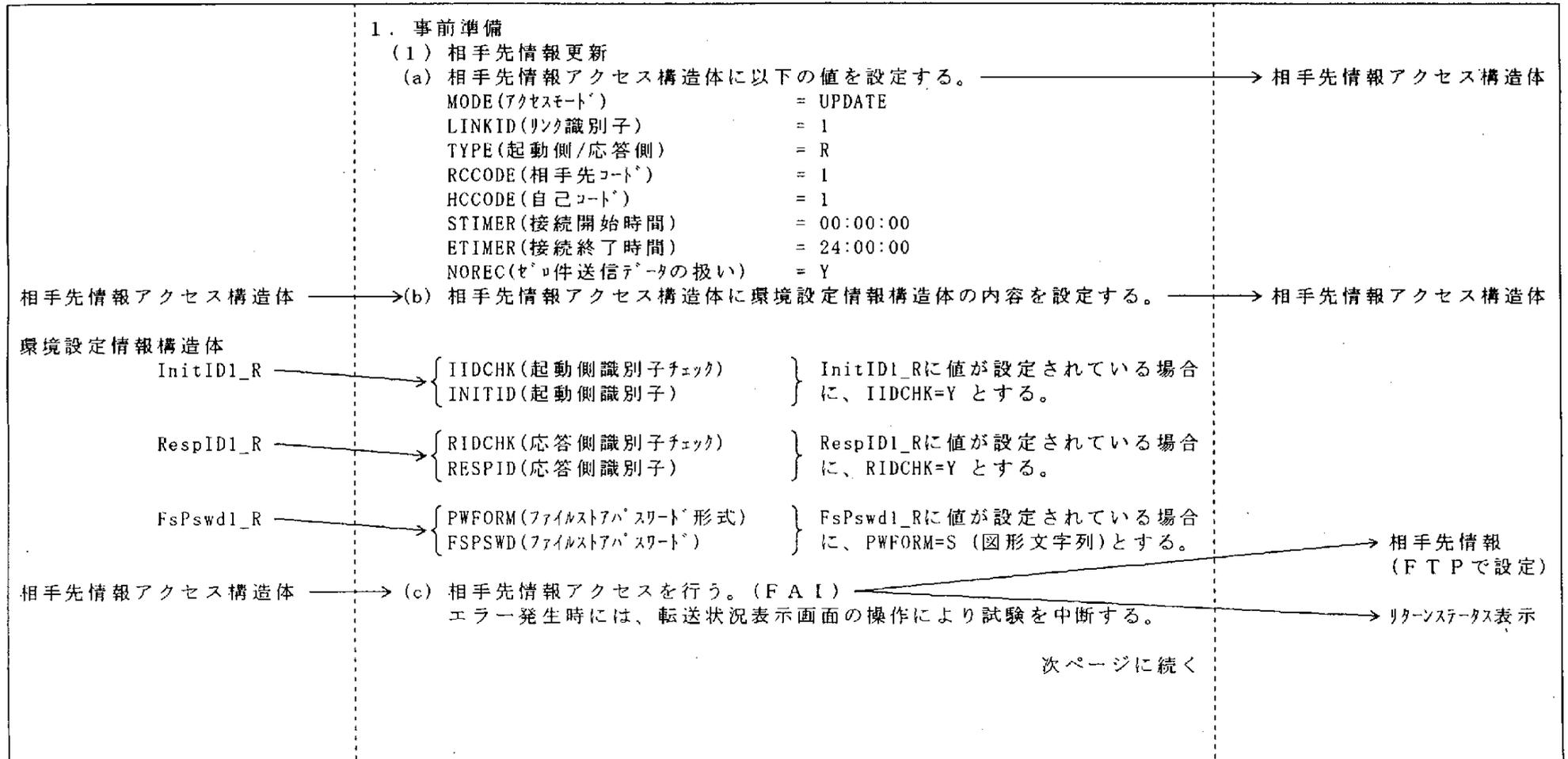
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重書き込み防止 受信	モジュール ID	OM-102-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信) (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



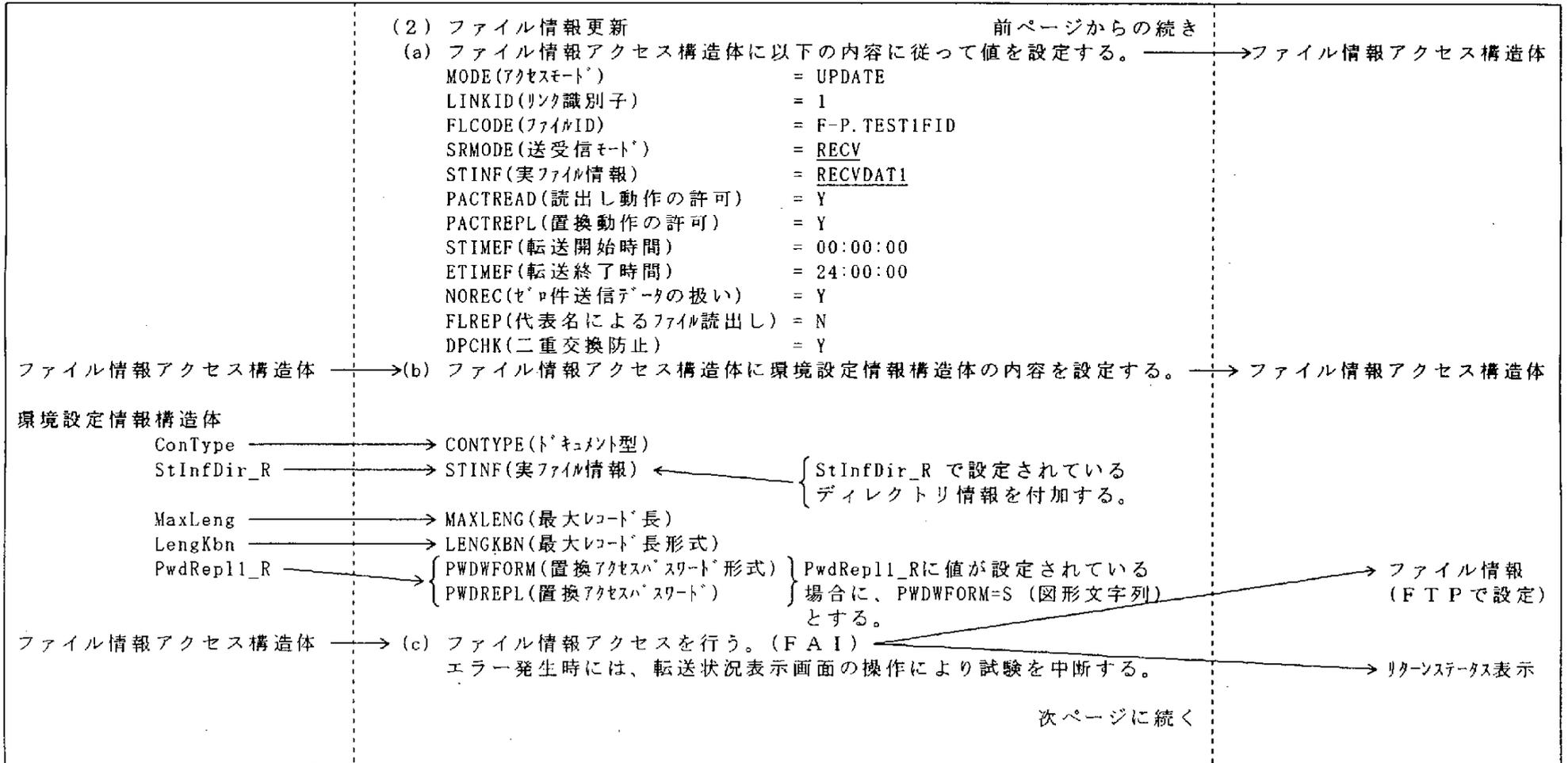
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重書き込み防止 受信	モジュール ID	OM-102-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信) (応答側受信)										

入 力

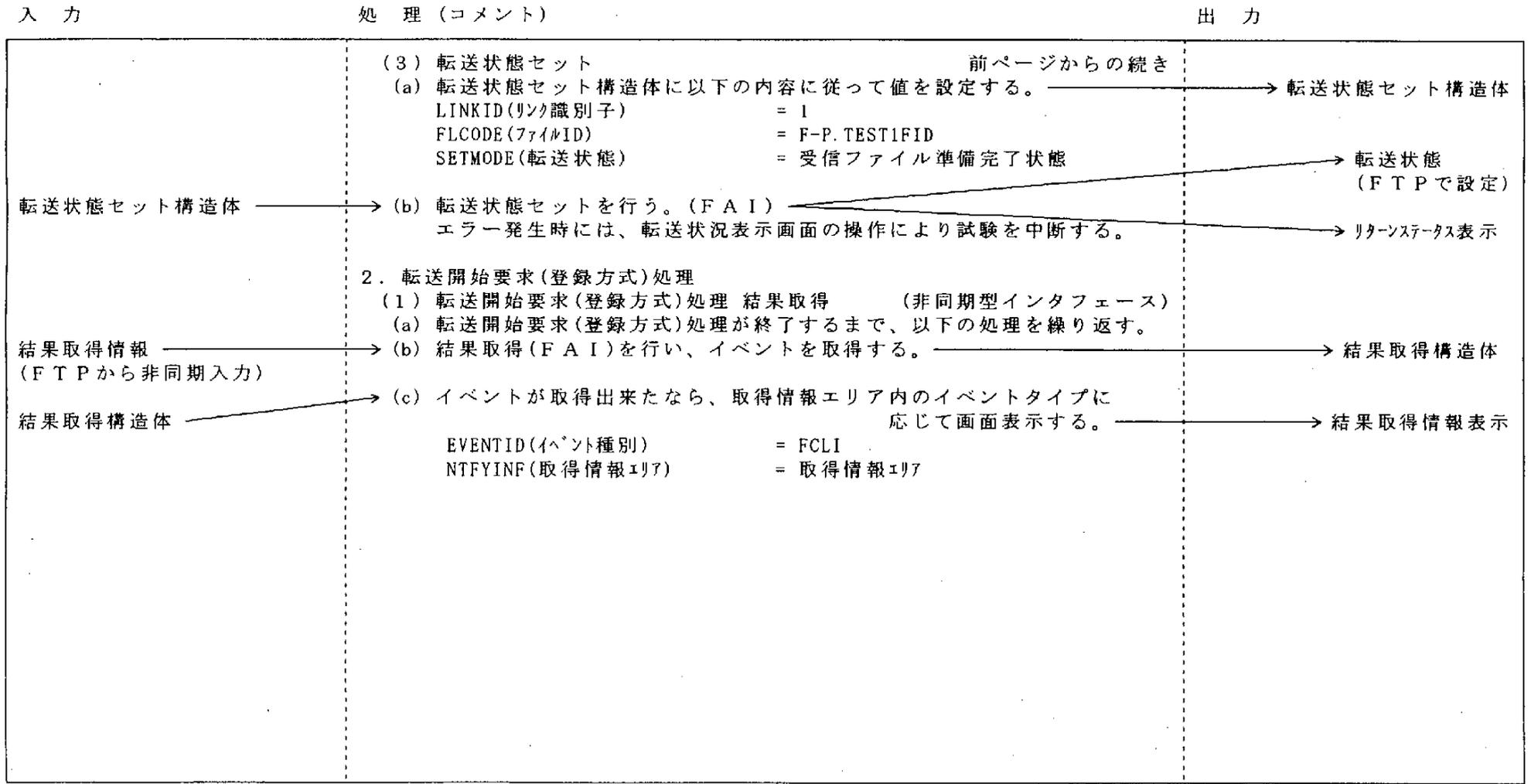
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 二重書き込み防止 受信	モジュール ID	OM-102-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の二重書き込み防止の機能を試験する。(起動側送信) (応答側受信)										



IP Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 接続許可時間 送信	モジュール ID	OM-201-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤幸一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の相手先単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										(応答側送信)

入 力

処 理 (コメント)

出 力

<p>相手先情報アクセス構造体</p> <p>環境設定情報構造体</p> <p>InitID1_R</p> <p>RespID1_R</p> <p>FsPswd1_R</p> <p>STimer_R</p> <p>ETimer_R</p> <p>相手先情報アクセス構造体</p>	<p>1. 事前準備</p> <p>(1) 相手先情報更新</p> <p>(a) 相手先情報アクセス構造体に以下の値を設定する。</p> <p>MODE(アクセスモード) = UPDATE</p> <p>LINKID(リンク識別子) = 1</p> <p>TYPE(起動側/応答側) = R</p> <p>RCCODE(相手先コード) = 1</p> <p>HCCODE(自己コード) = 1</p> <p>STIMER(接続開始時間) = 01:00:00</p> <p>ETIMER(接続終了時間) = 02:00:00</p> <p>NOREC(セッ件送信データの扱い) = Y</p> <p>(b) 相手先情報アクセス構造体に環境設定情報構造体の内容を設定する。</p> <p>{ IIDCHK(起動側識別子チェック) INITID(起動側識別子) } InitID1_Rに値が設定されている場合に、IIDCHK=Y とする。</p> <p>{ RIDCHK(応答側識別子チェック) RESPID(応答側識別子) } RespID1_Rに値が設定されている場合に、RIDCHK=Y とする。</p> <p>{ PWFORM(ファイナストアパスワード形式) FSPSWD(ファイナストアパスワード) } FsPswd1_Rに値が設定されている場合に、PWFORM=S (図形文字列)とする。</p> <p>STIMER(接続開始時間) STimer_Rに値が設定されている場合に、値を更新する。</p> <p>ETIMER(接続終了時間) ETimer_Rに値が設定されている場合に、値を更新する。</p> <p>(c) 相手先情報アクセスを行う。(F A I)</p> <p>エラー発生時には、転送状況表示画面の操作により試験を中断する。</p>	<p>相手先情報アクセス構造体</p> <p>相手先情報アクセス構造体</p> <p>相手先情報 (FTPで設定)</p> <p>リターンステータス表示</p> <p>次ページに続く</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------

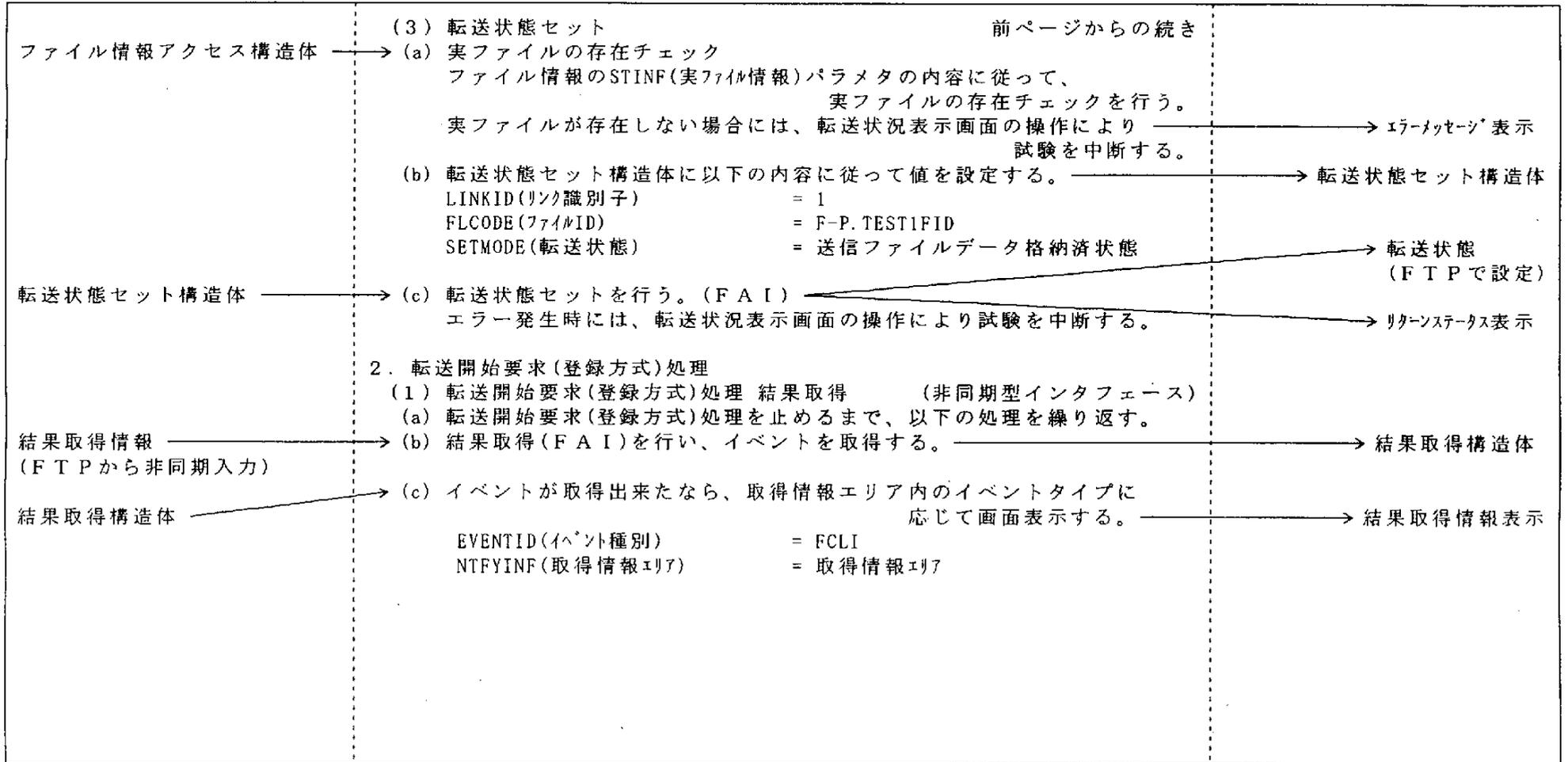
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 接続許可時間 送信	モジュール ID	OM-201-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の相手先単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。									(応答側送信)

入 力

処 理 (コメント)

出 力



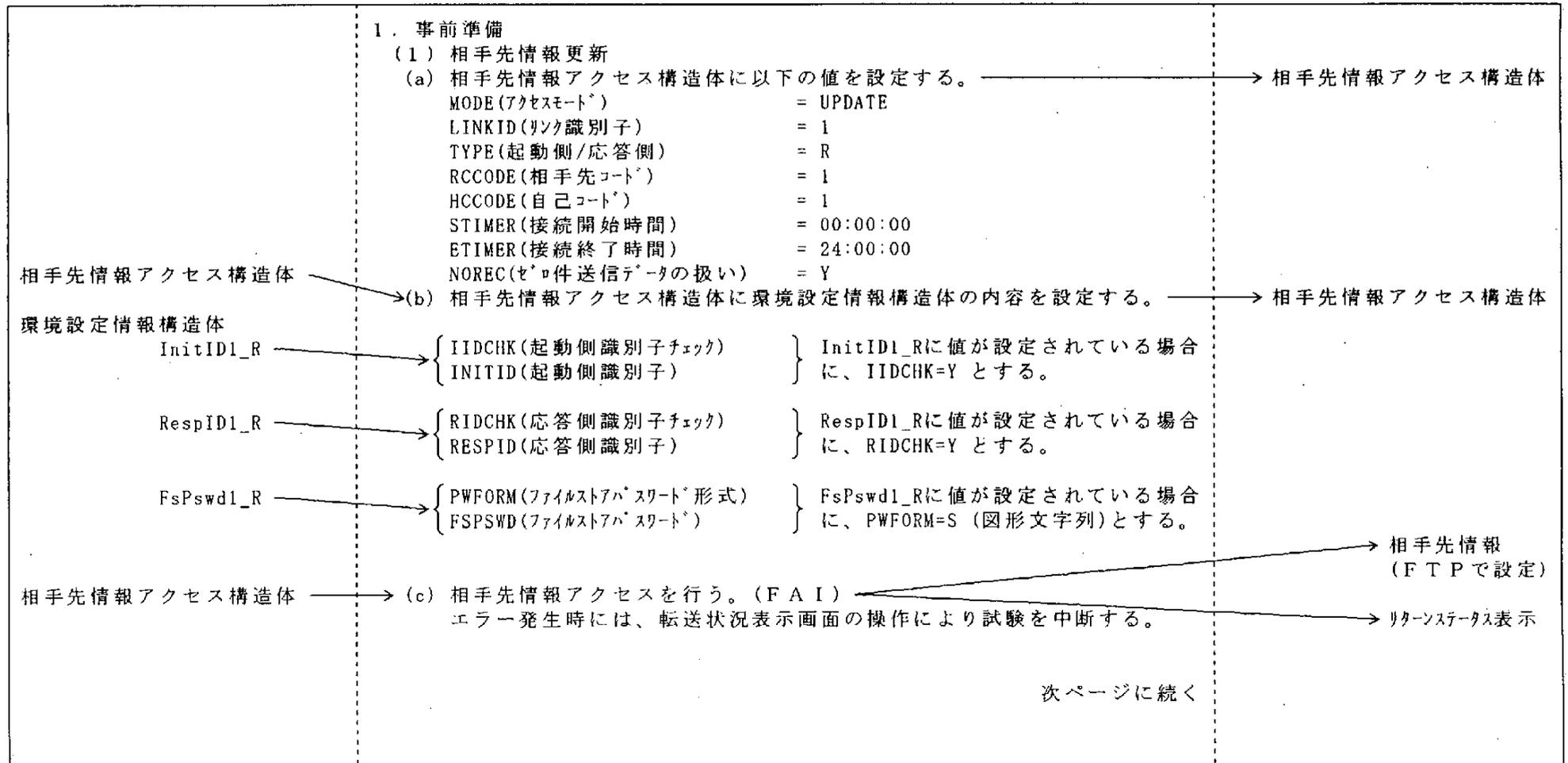
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 転送許可時間 送信	モジュール ID	OM-202-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										(応答側送信)

入 力

処 理 (コメント)

出 力



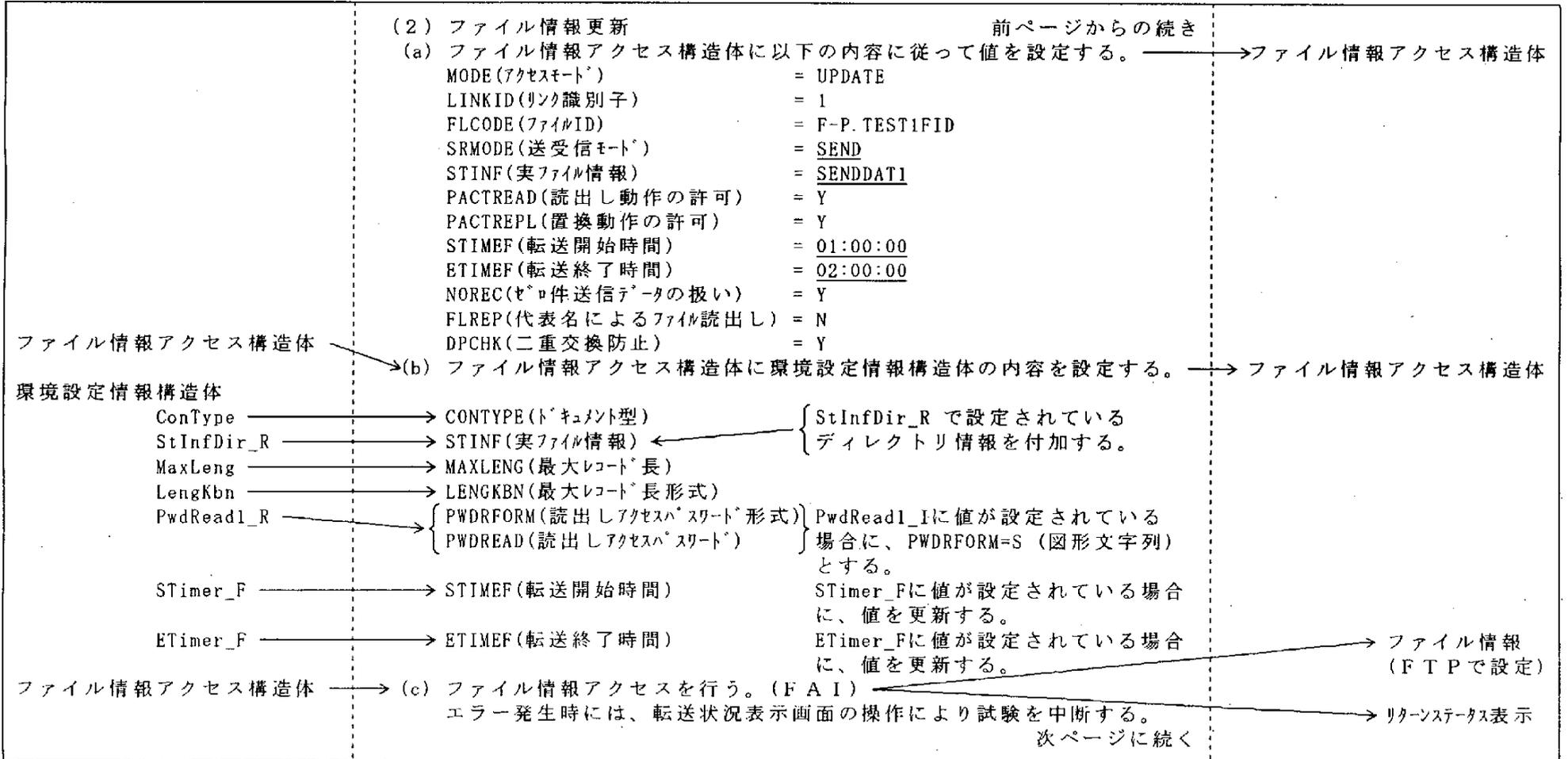
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 転送許可時間 送信	モジュール ID	OM-202-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。										(応答側送信)

入 力

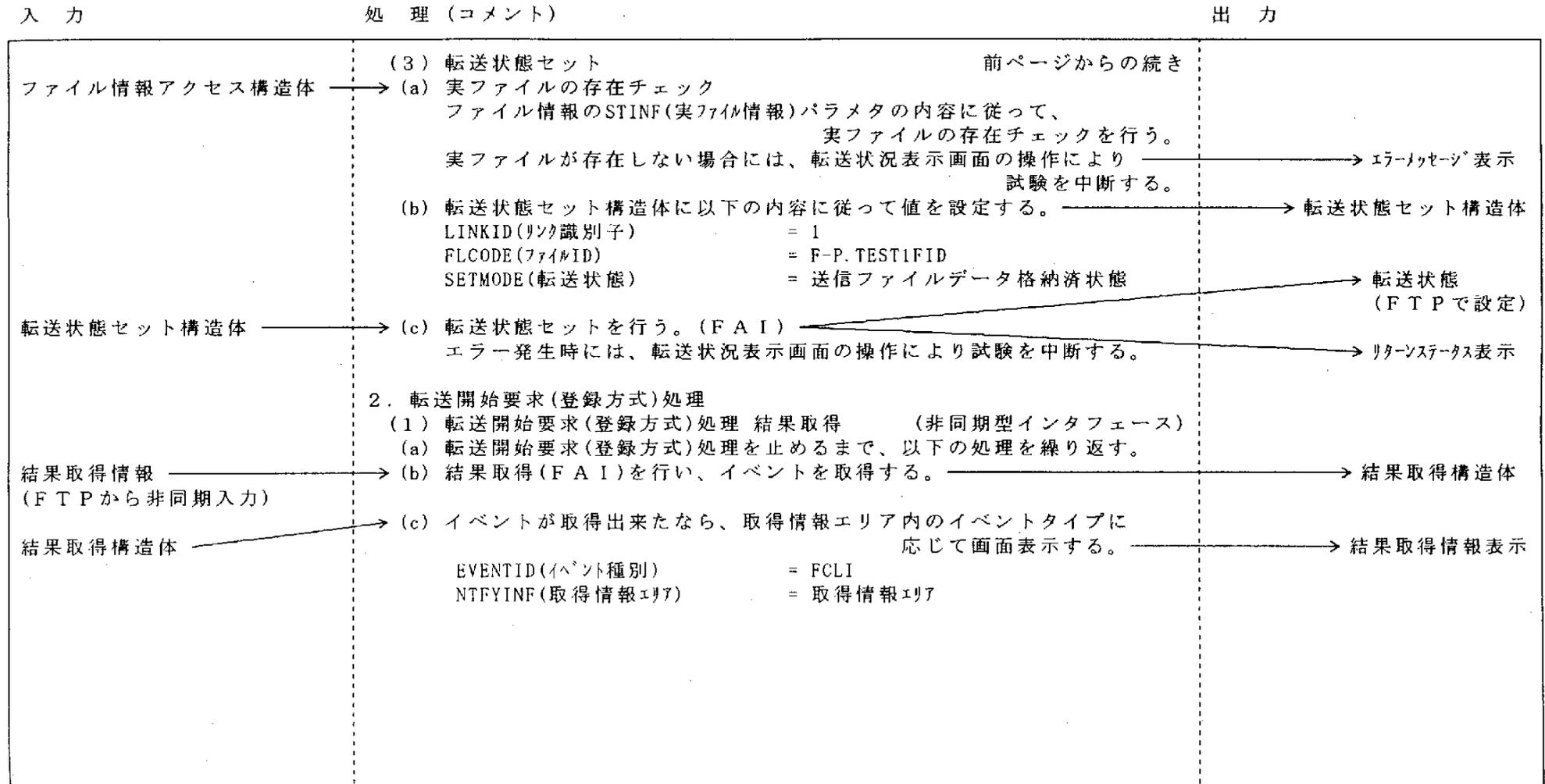
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 転送許可時間 送信	モジュール ID	OM-202-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側のファイル単位の転送許可時間の不正転送防止を試験する。(応答側送信)										



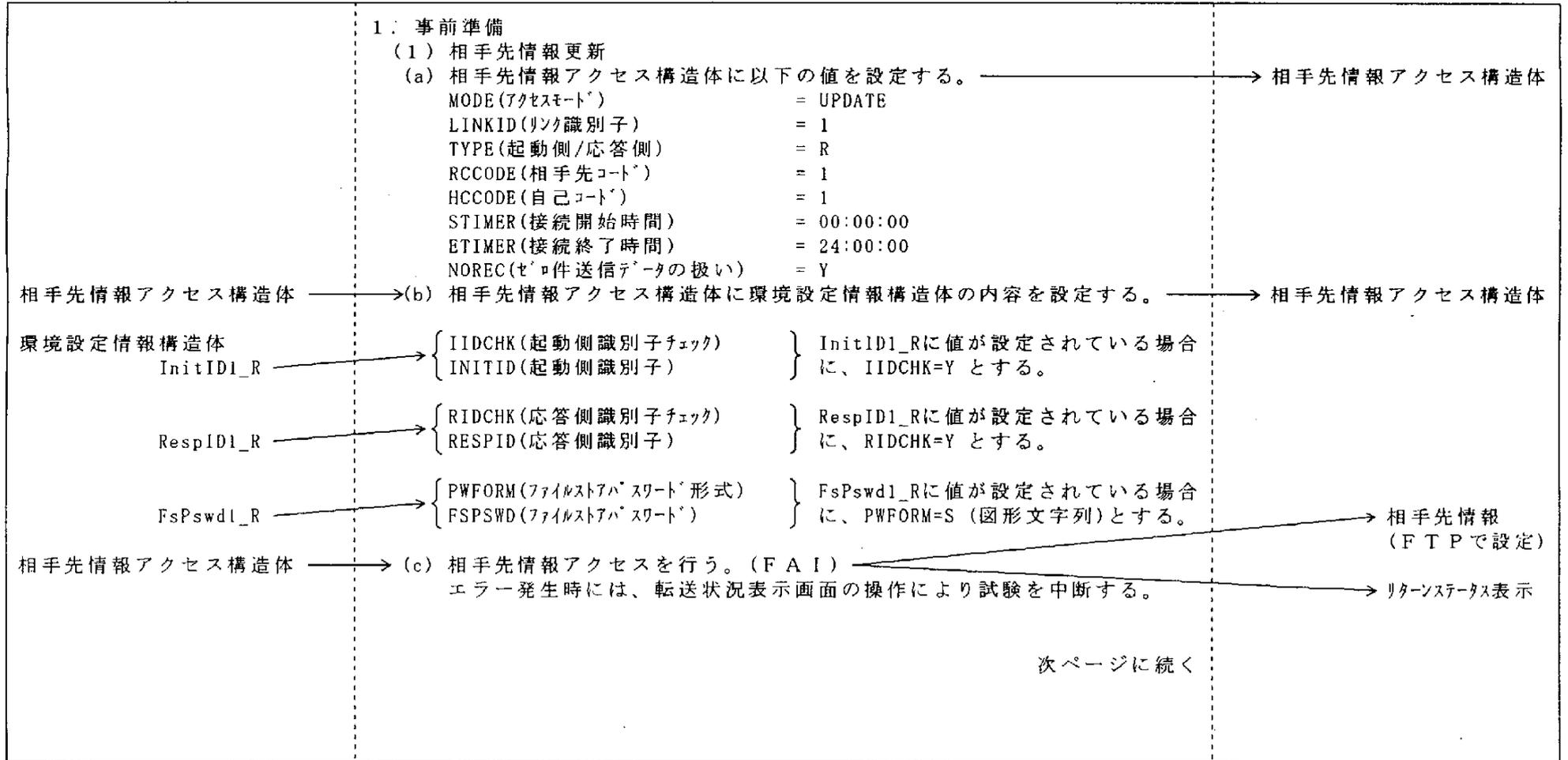
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。									(応答側受信) (応答側送信)	

入 力

処 理 (コメント)

出 力



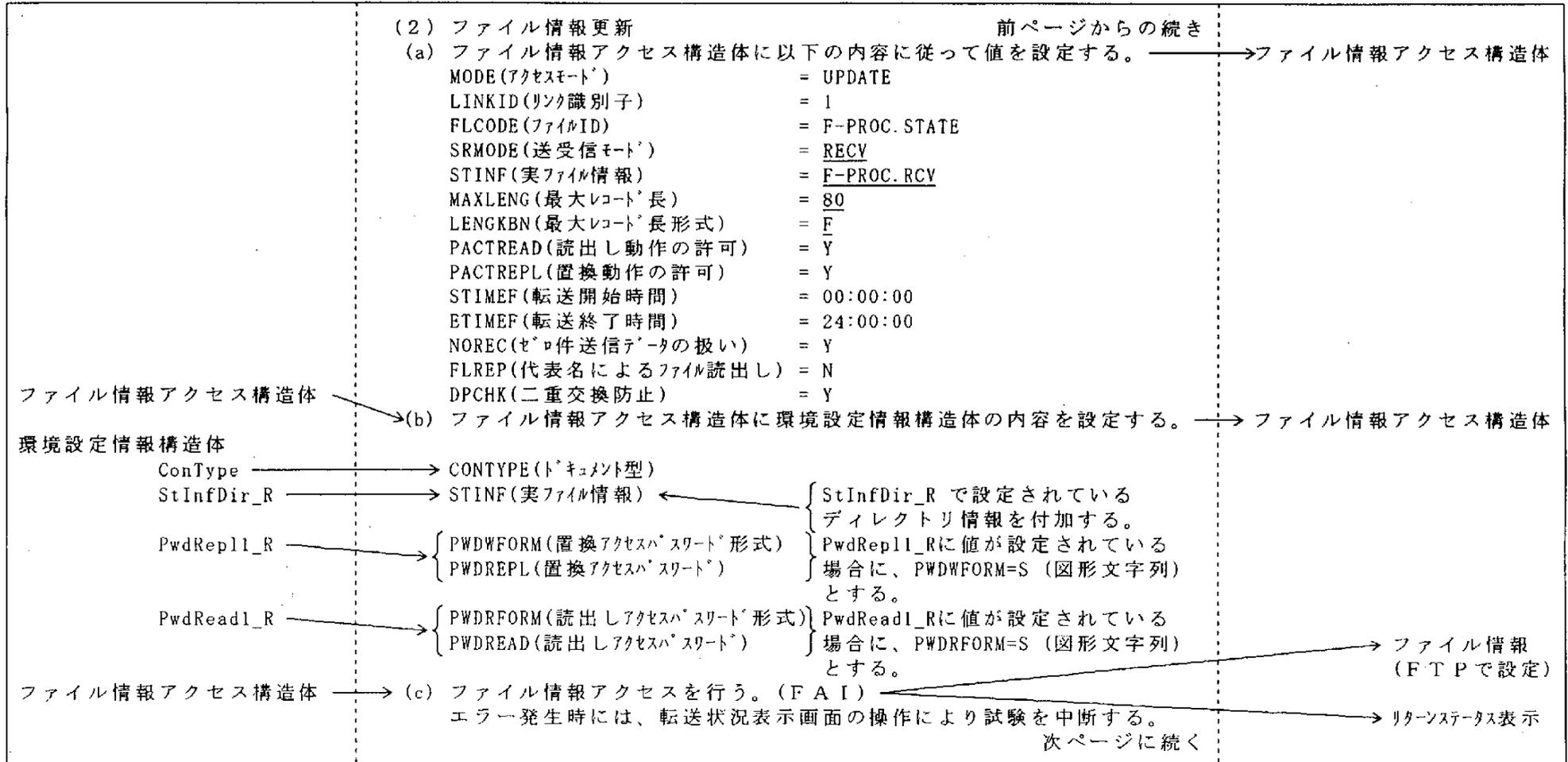
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。									(応答側受信) (応答側送信)	

入 力

処 理 (コメント)

出 力



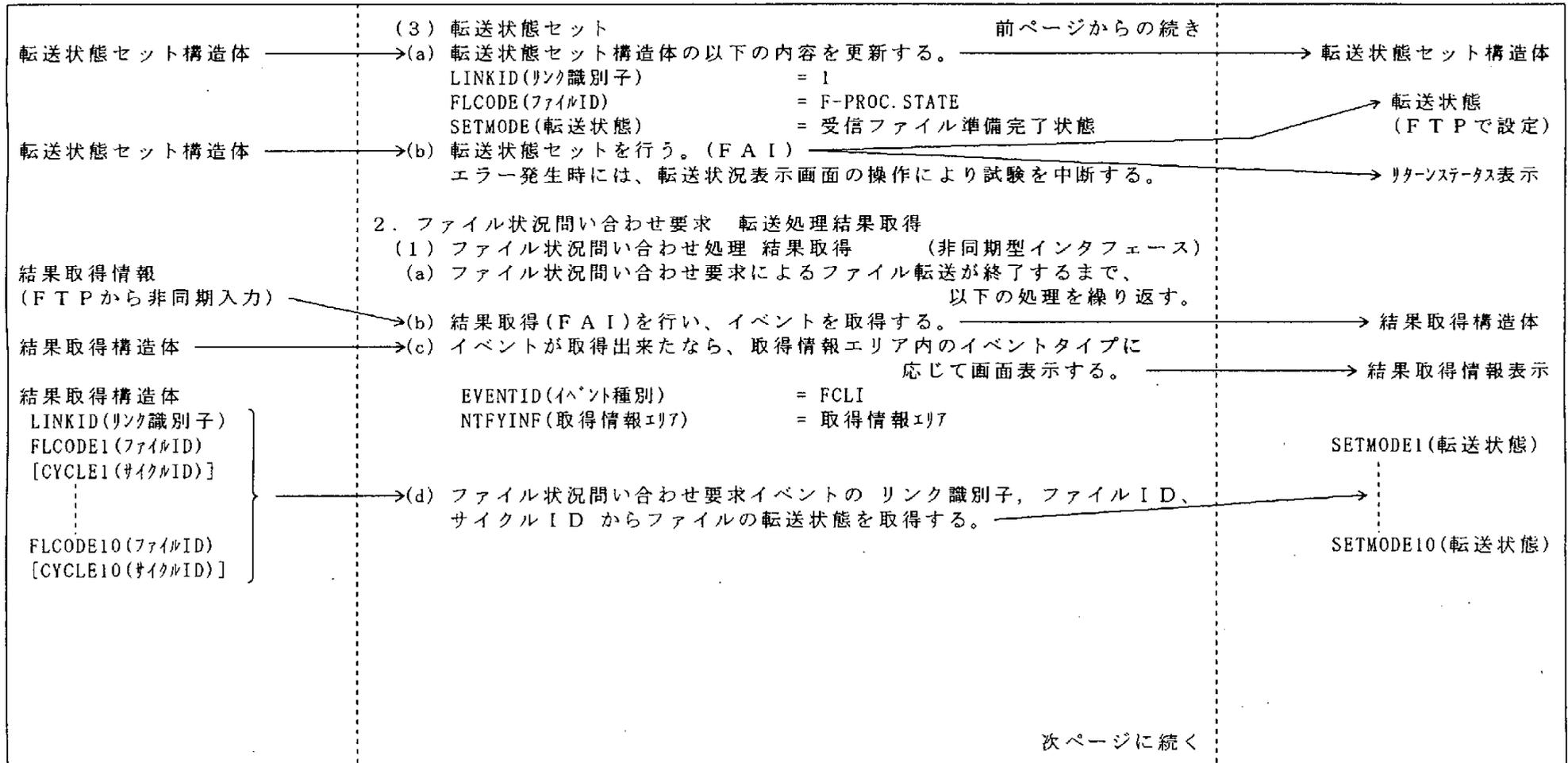
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。									(応答側受信) (応答側送信)	

入 力

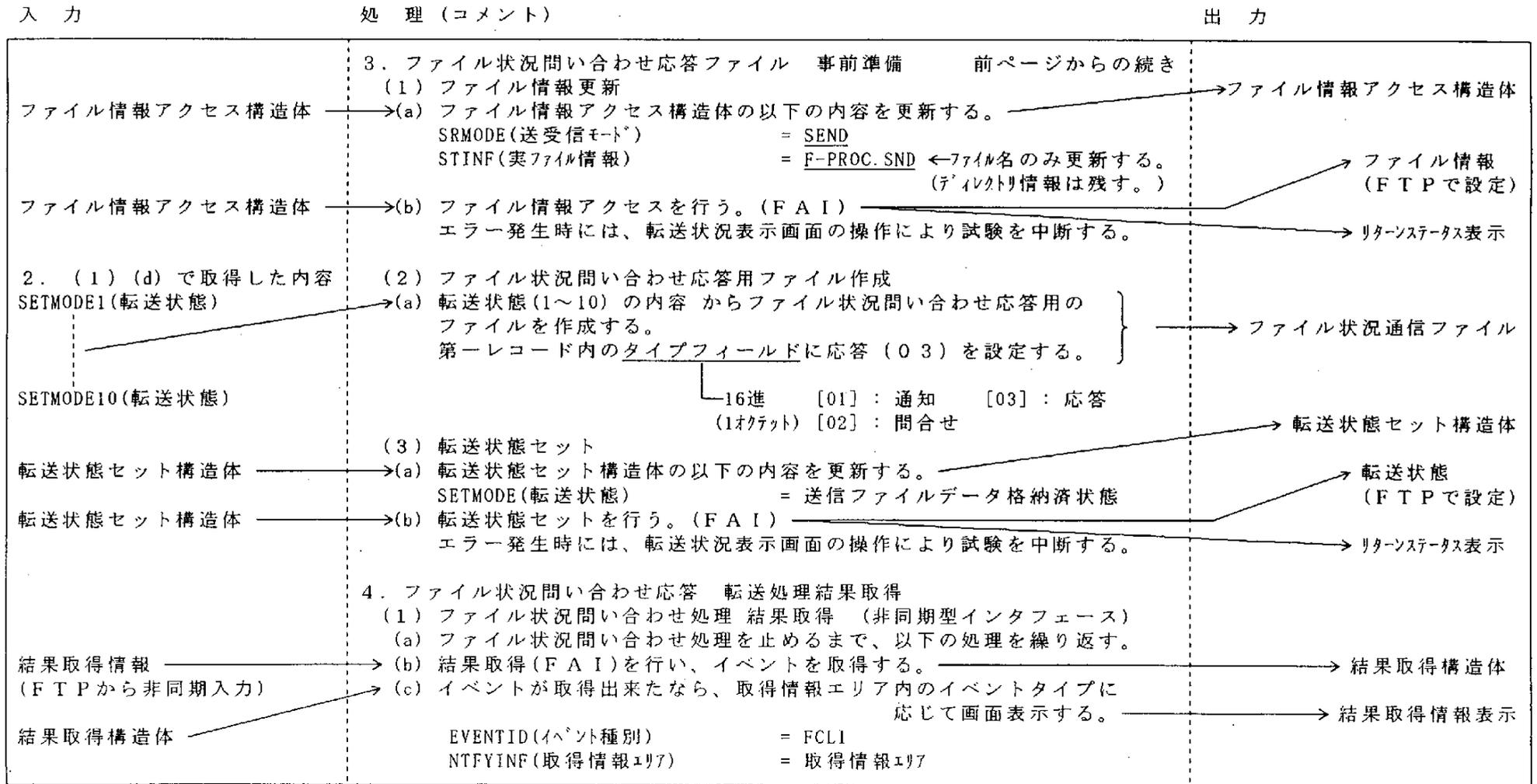
処 理 (コメント)

出 力



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況問い合わせ	モジュール ID	OM-301-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	4/4
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の問い合わせ機能を試験する。								(応答側受信) (応答側送信)	



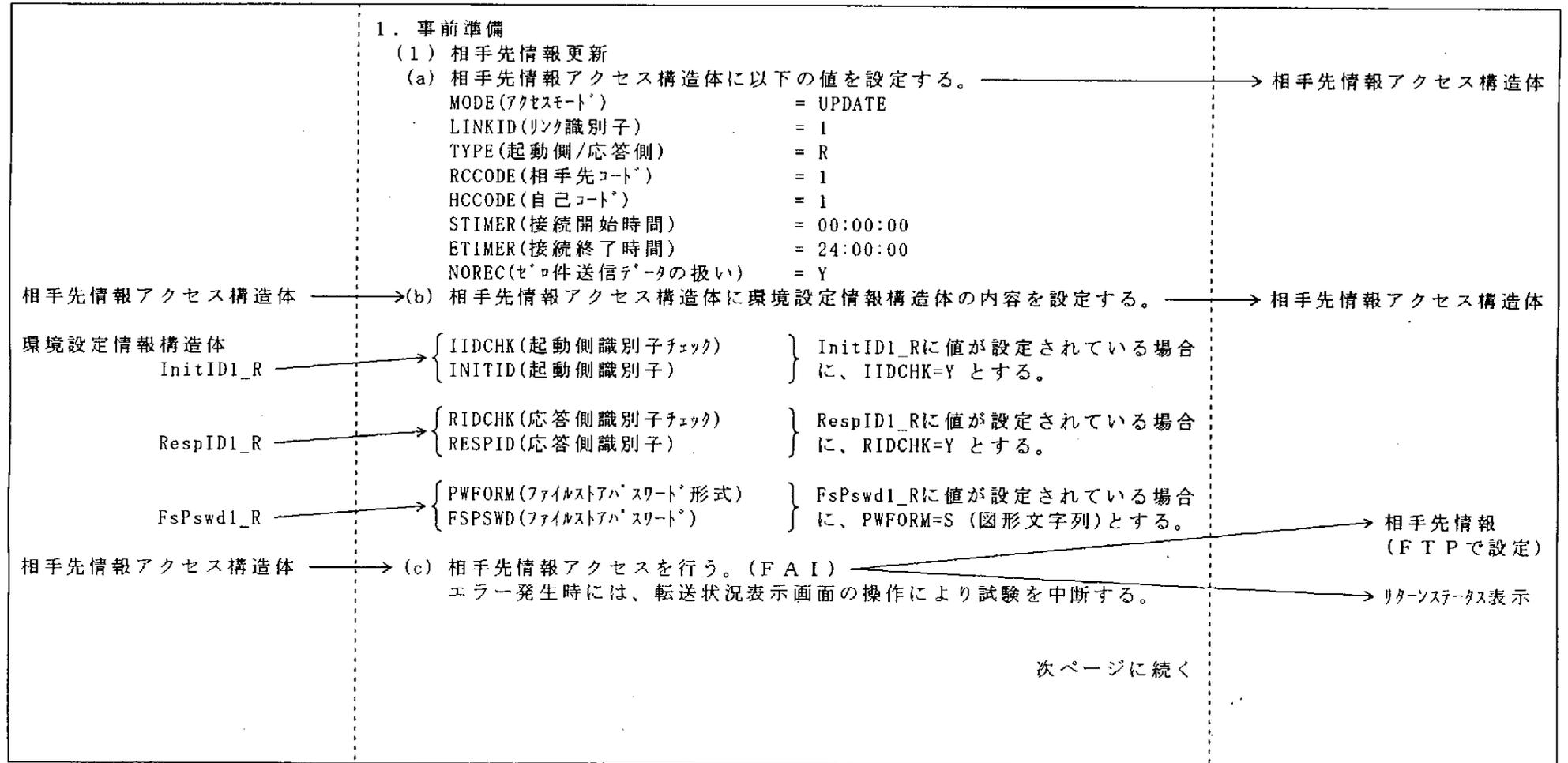
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



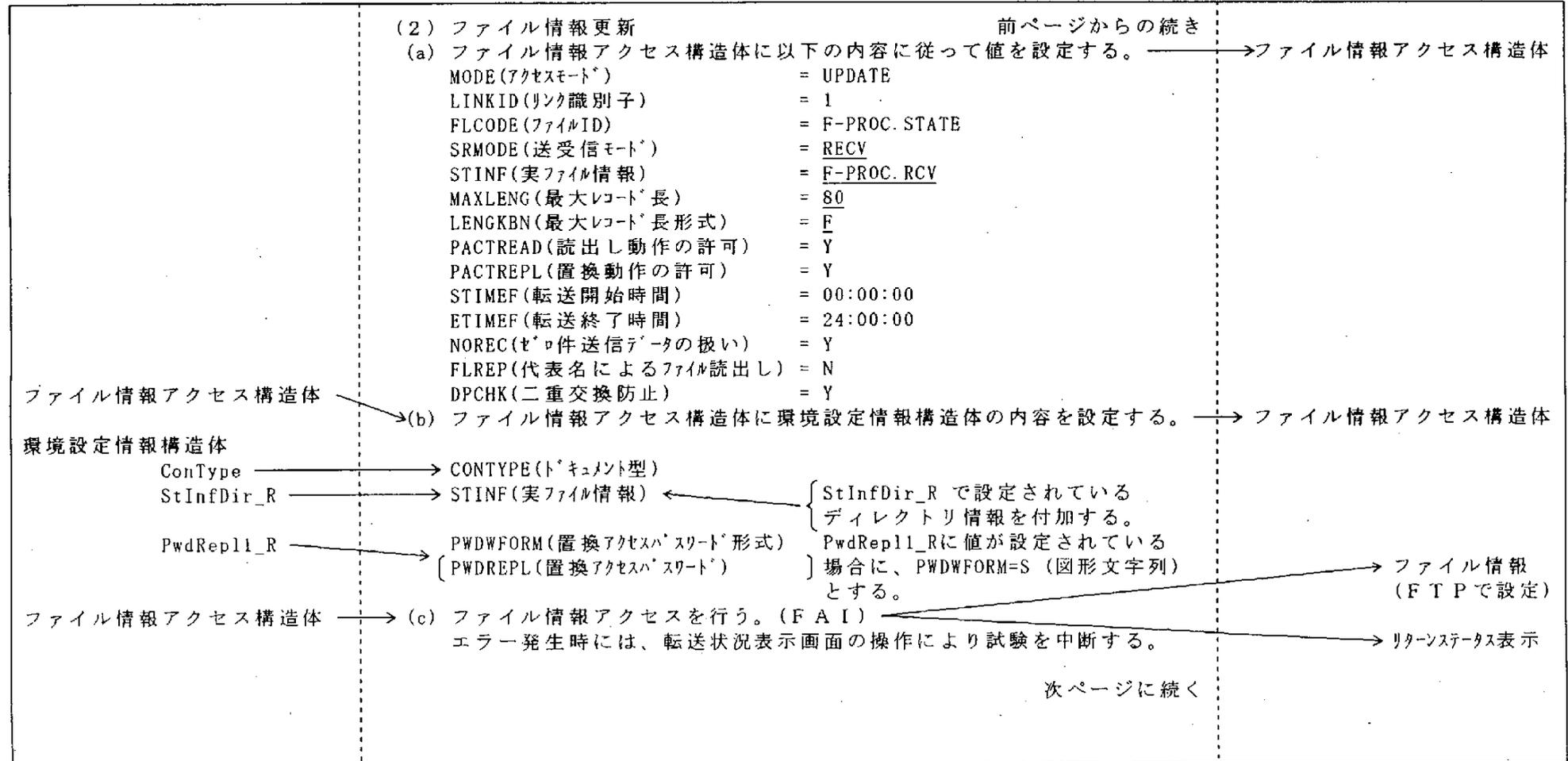
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。 (応答側受信)										

入 力

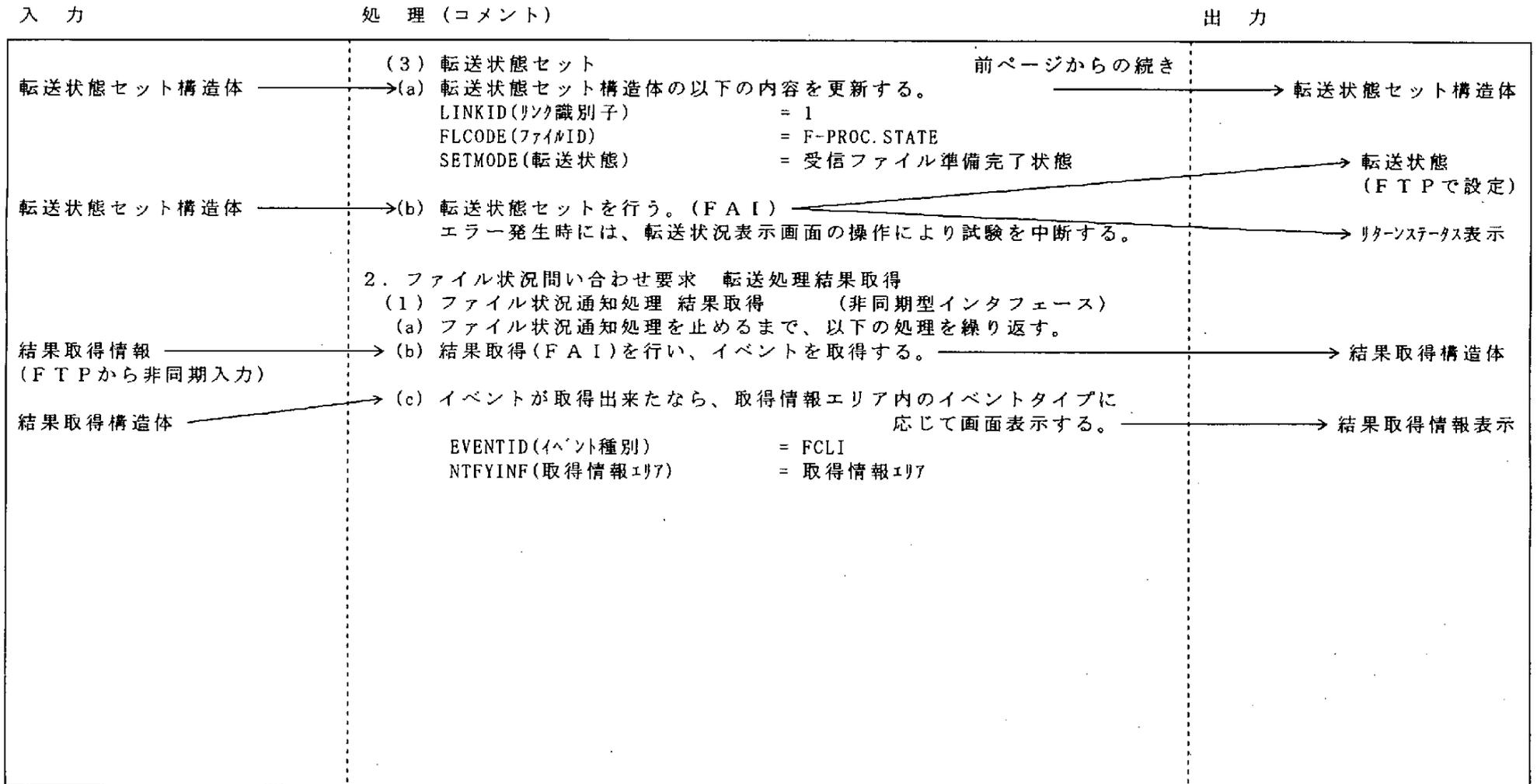
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	運用管理機能 応答側 ファイル状況通知	モジュール ID	OM-302-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	送信ファイル蓄積状況および受信ファイル準備状況の通知機能を試験する。 (応答側受信)										



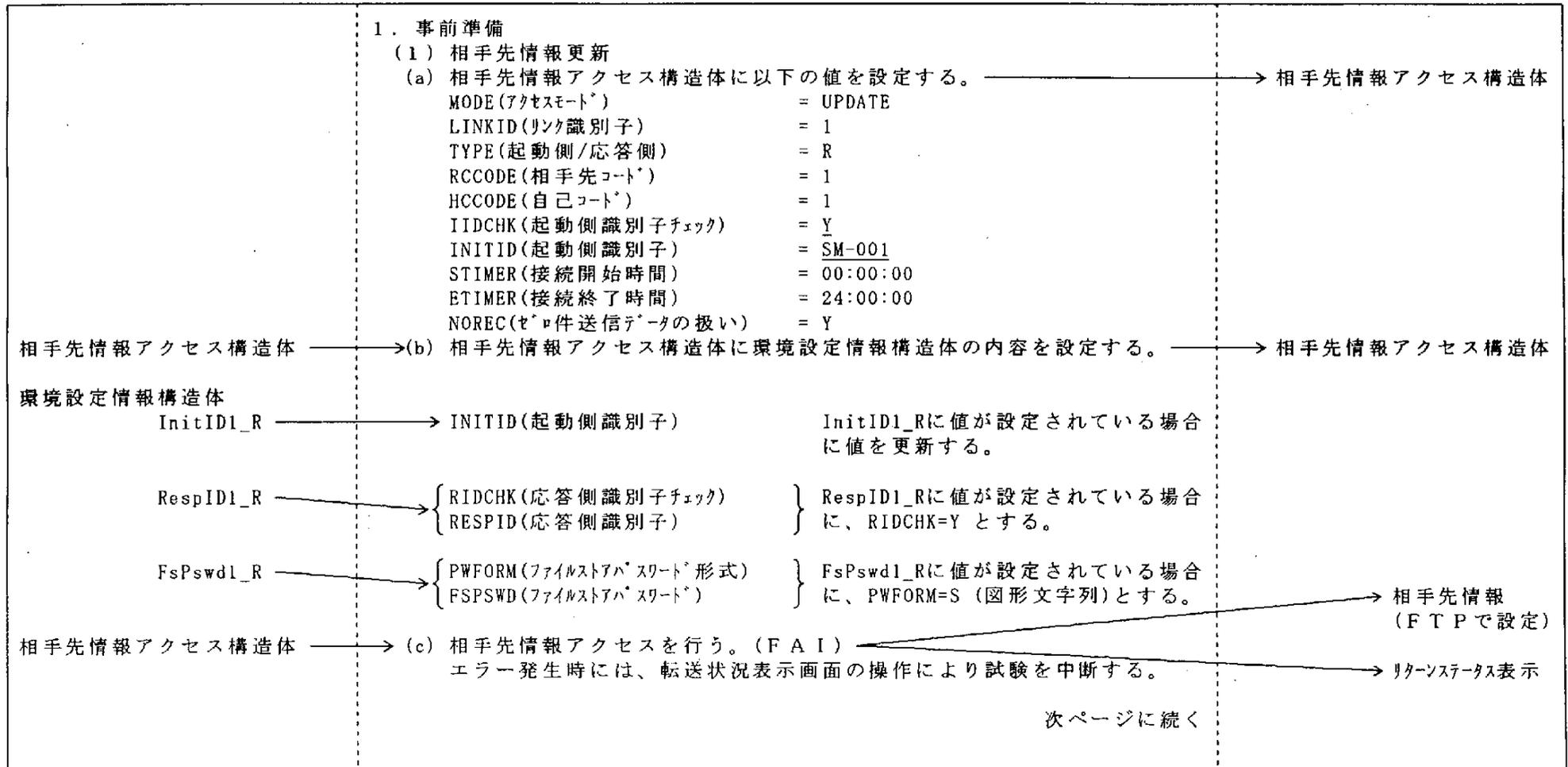
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。(応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。(応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力

前ページからの続き

(2) ファイル情報更新

(a) ファイル情報アクセス構造体に以下の内容に従って値を設定する。 → ファイル情報アクセス構造体

- MODE(アクセスモード) = UPDATE
- LINKID(リンク識別子) = 1
- FLCODE(ファイルID) = F-P. TESTIFID
- SRMODE(送受信モード) = RECV
- STINF(実ファイル情報) = RECVDAT1
- PACTREAD(読出し動作の許可) = Y
- PACTREPL(置換動作の許可) = Y
- STIMEF(転送開始時間) = 00:00:00
- ETIMEF(転送終了時間) = 24:00:00
- NOREC(セクション送信データの扱い) = Y
- FLREP(代表名によるファイル読出し) = N
- DPCHK(二重交換防止) = Y

ファイル情報アクセス構造体 → (b) ファイル情報アクセス構造体に環境設定情報構造体の内容を設定する。 → ファイル情報アクセス構造体

環境設定情報構造体

- ConType → CONTYPE(ドキュメント型)
- StInfDir_R → STINF(実ファイル情報) ← { StInfDir_R で設定されている
ディレクトリ情報を付加する。
- MaxLeng → MAXLENG(最大レコード長)
- LengKbn → LENGKBN(最大レコード長形式)
- PwdRepl1_R → { PWDWFORM(置換アクセスパスワード形式) } PwdRepl1_Rに値が設定されている
{ PWDREPL(置換アクセスパスワード) } 場合に、PWDWFORM=S(図形文字列)
とする。

ファイル情報アクセス構造体 → (c) ファイル情報アクセスを行う。(FAI) → ファイル情報 (FTPで設定)
エラー発生時には、転送状況表示画面の操作により試験を中断する。 → リターンステータス表示

次ページに続く

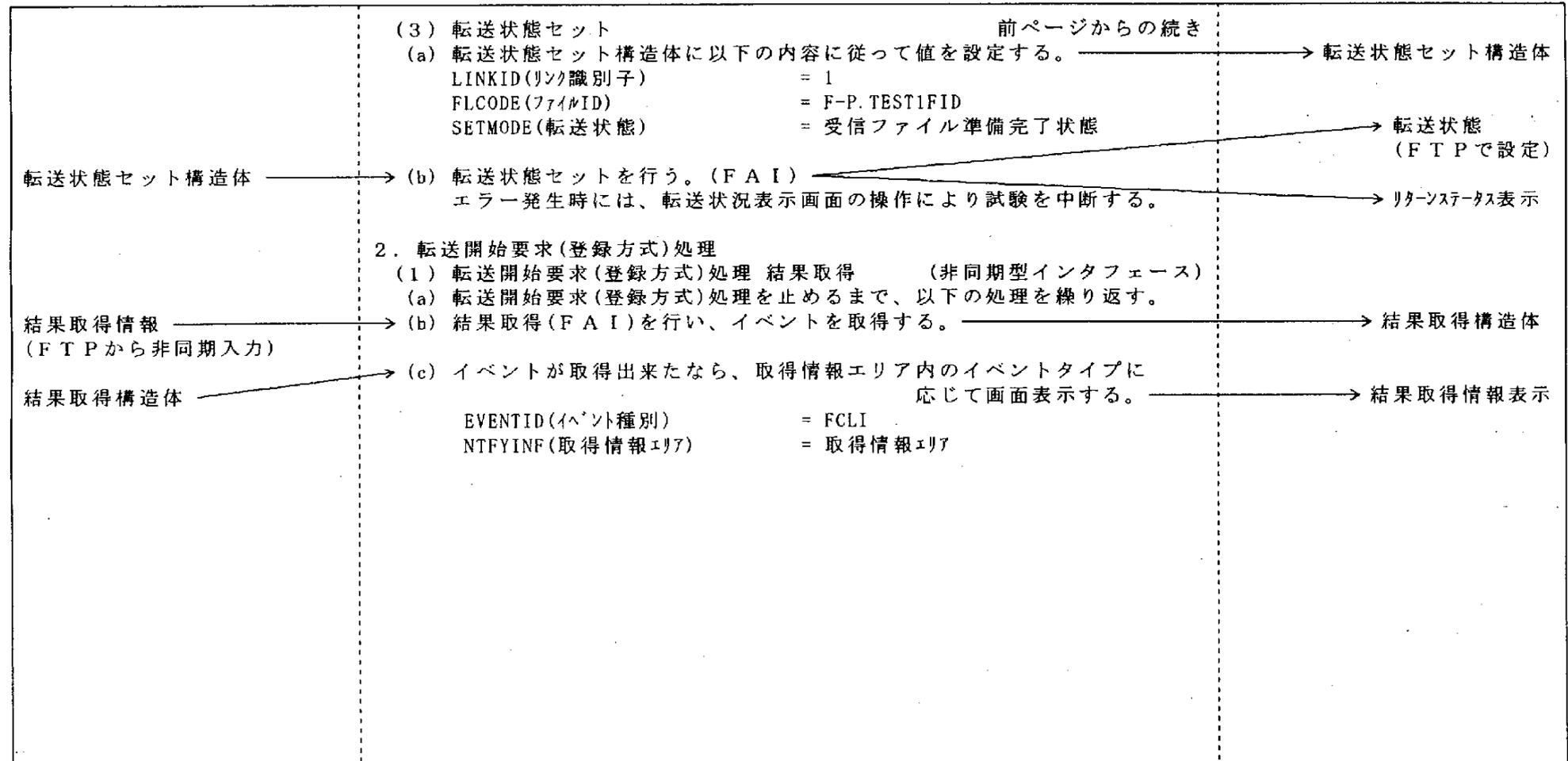
IP Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動側識別子	モジュール ID	SM-001-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	不正な起動側識別子による転送を拒否する機能を試験する。									(応答側受信)

入 力

処 理 (コメント)

出 力



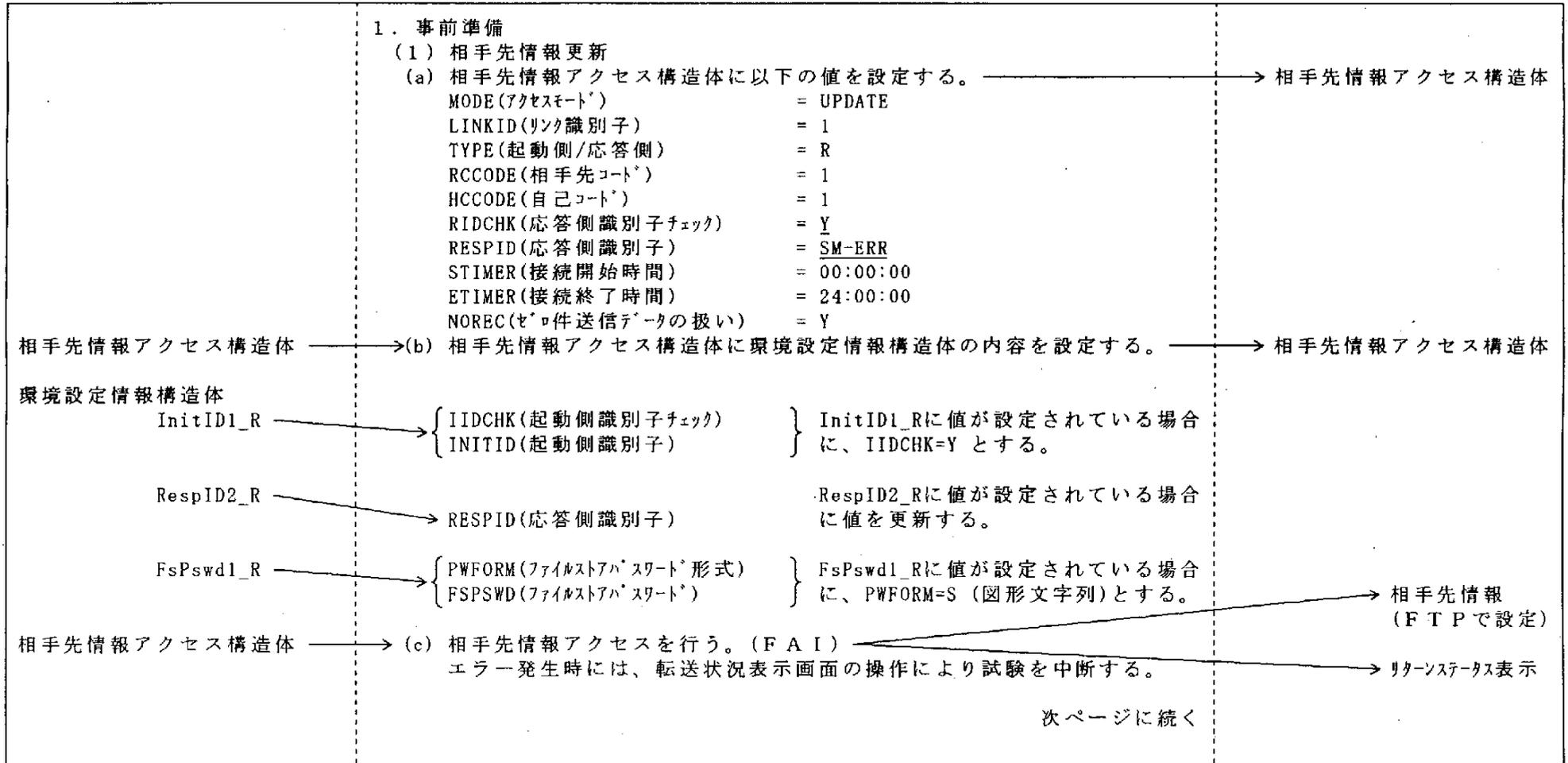
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



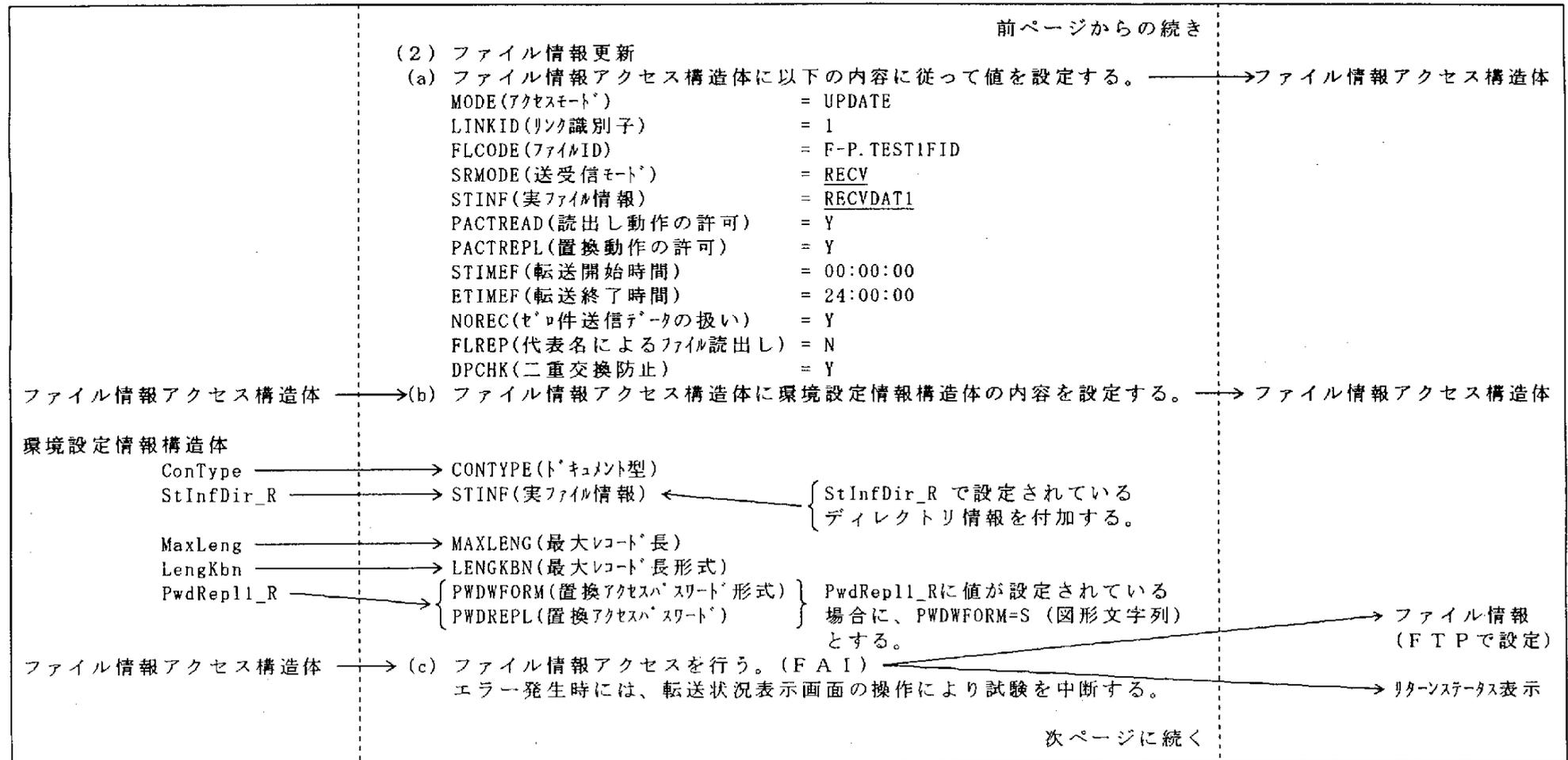
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。(応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



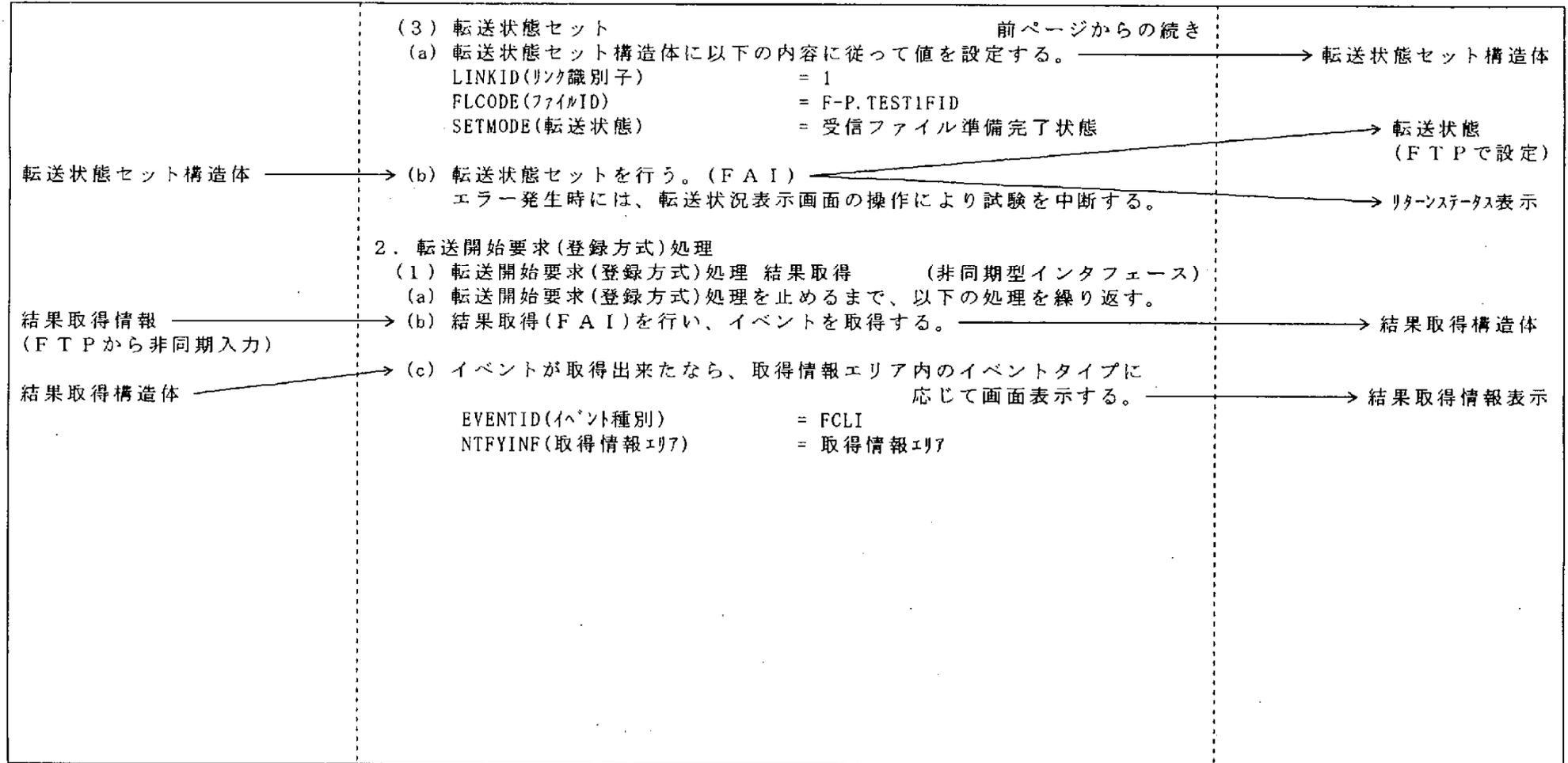
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な応答側識別子	モジュール ID	SM-101-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	不正な応答側識別子による転送を拒否する機能を試験する。 (応答側受信)									

入 力

処 理 (コメント)

出 力



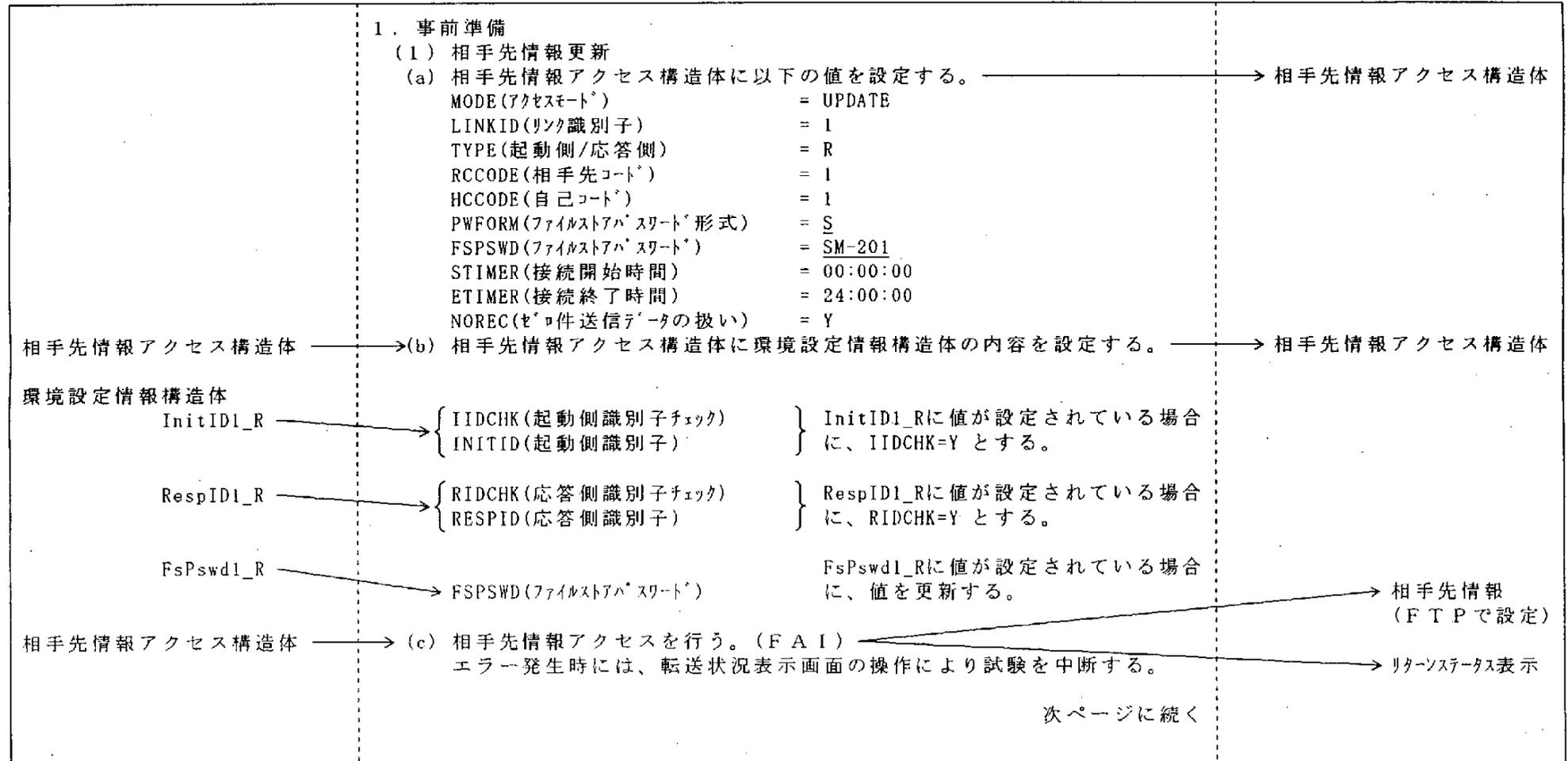
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。									(応答側受信)	

入 力

処 理 (コメント)

出 力



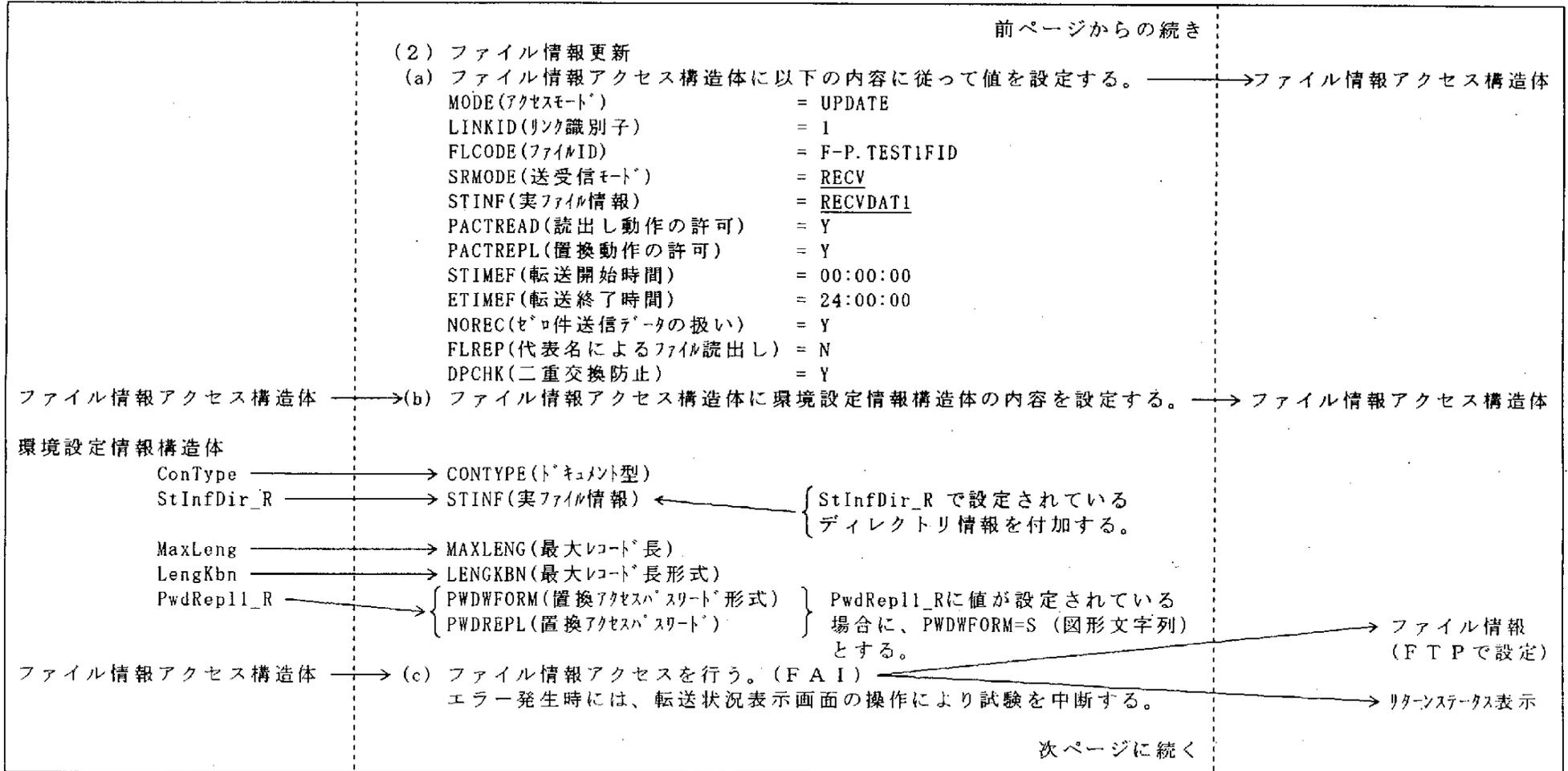
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。									(応答側受信)

入 力

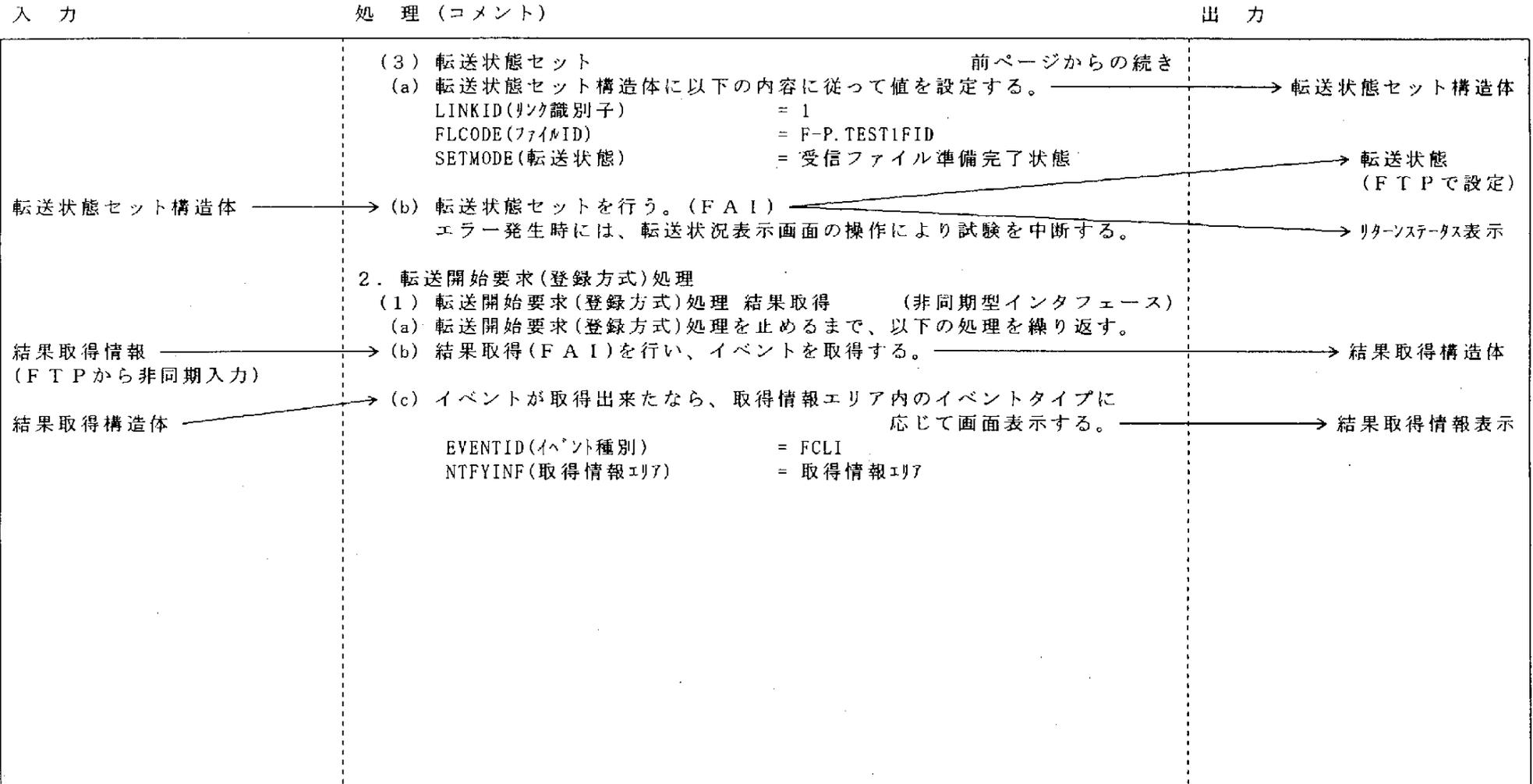
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正な起動者FSPSWD	モジュール ID	SM-201-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の、不正に起動者パスワード(ファイルストアパスワード)による転送を拒否する機能を試験する。 (応答側受信)									



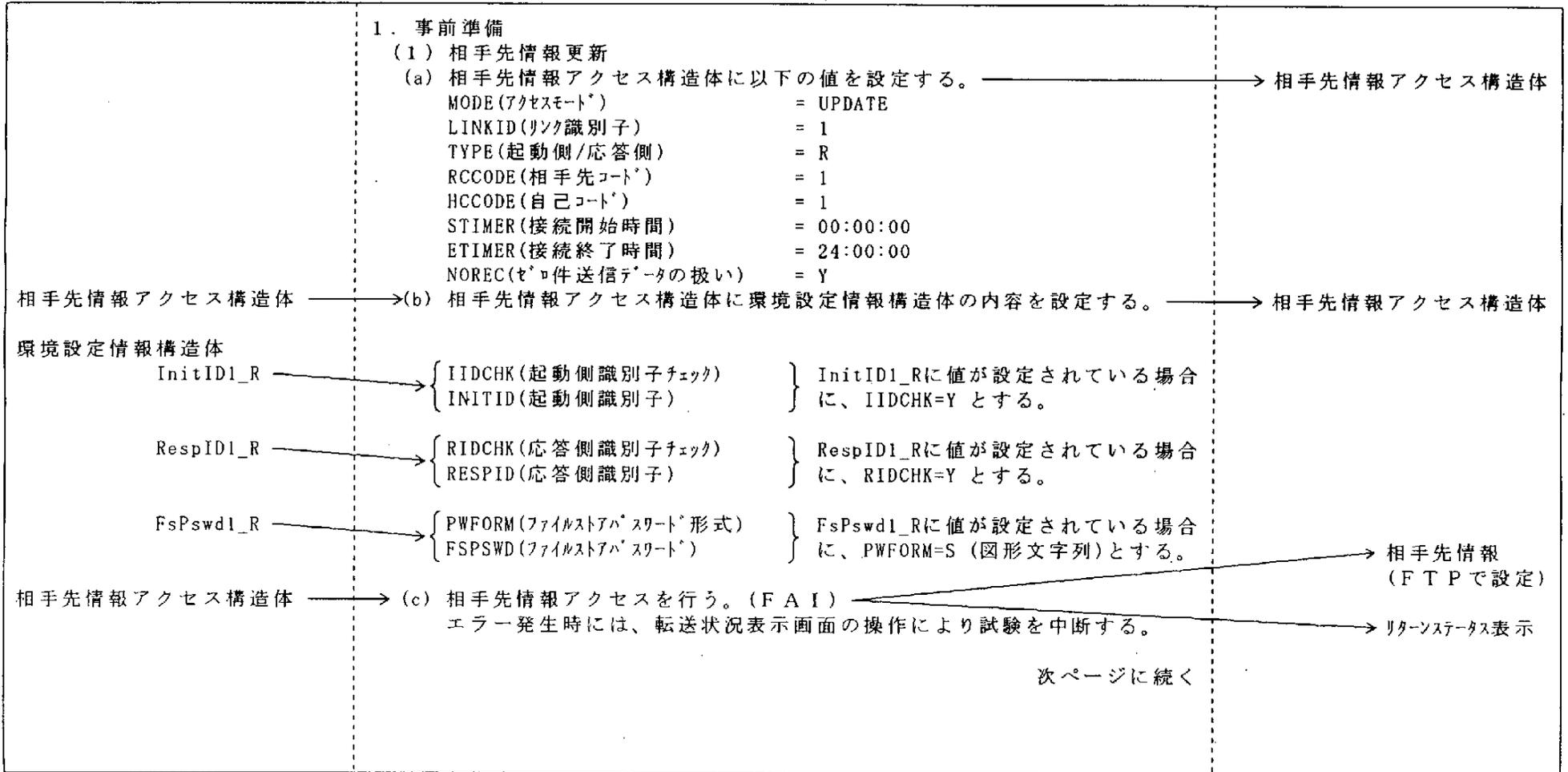
IPOダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正なアクセスパスワード	モジュール ID	SM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。 (応答側受信)										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



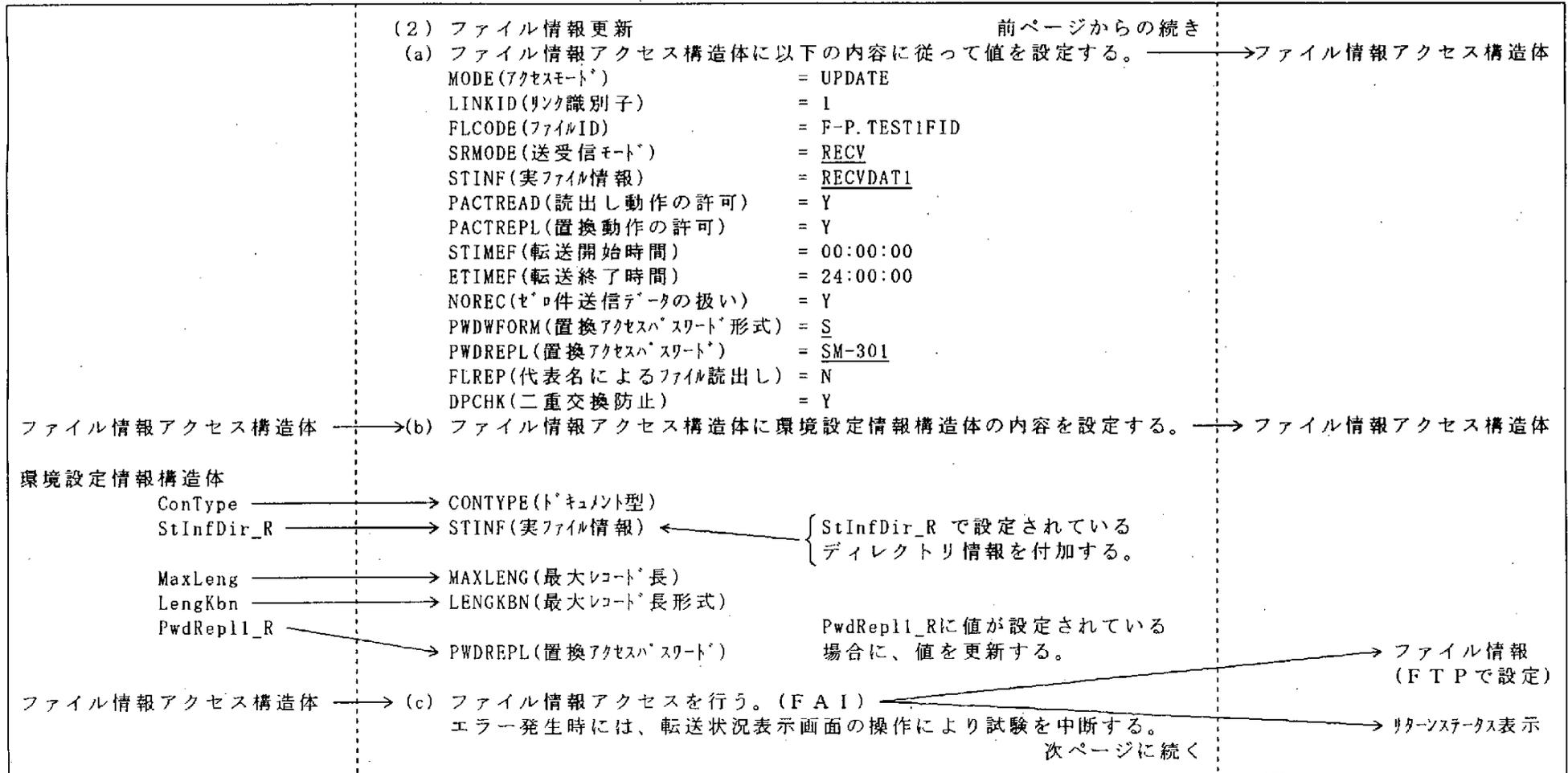
【POダイアグラム(モジュール詳細)】

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正なアクセスパスワード	モジュール ID	SM-301-R	ダイアグラム ID	作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。									(応答側受信)

入 力

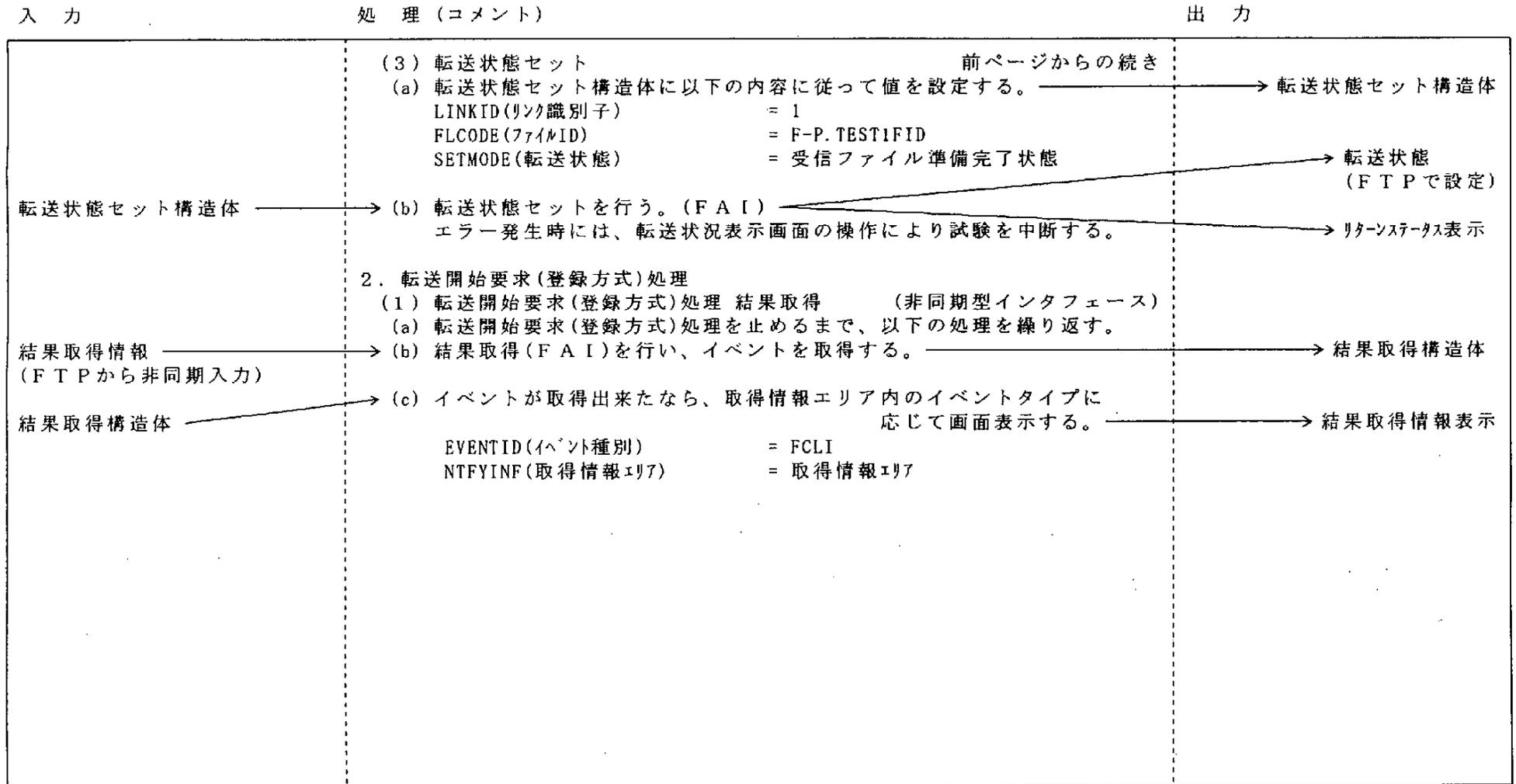
処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	セキュリティ機能 応答側 不正なアクセステスト	モジュール ID	SM-301-R	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	3/3
処理概要	応答側の、不正にファイルアクセスパスワードによる転送を拒否する機能を試験する。 (応答側受信)										



5. 3. 3 起動側/応答側共通処理

F-UAPにおける起動側/応答側共通処理のIPOダイアグラムを次頁より示す。

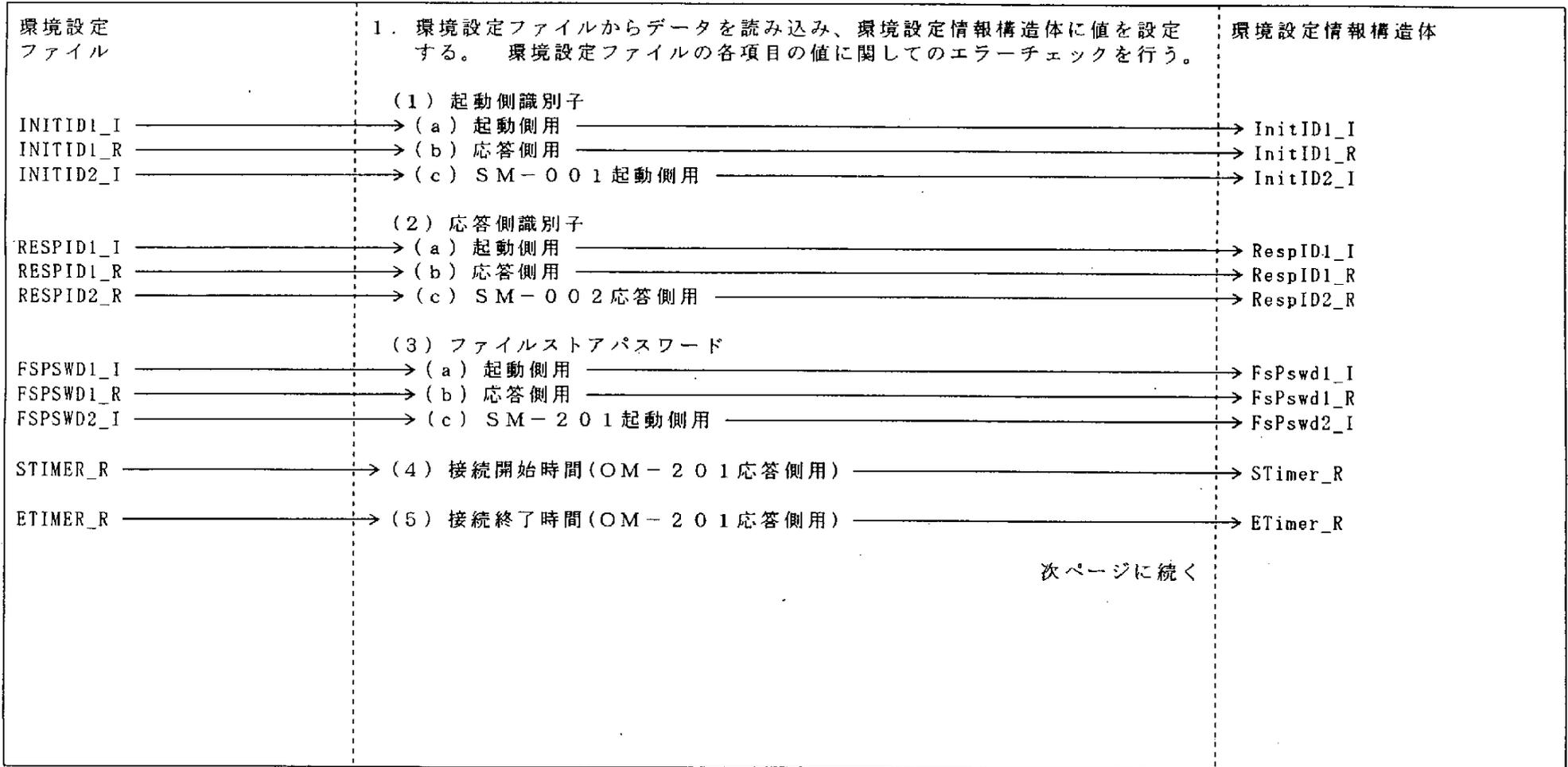
I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	共通モジュール 環境設定情報設定	モジュール ID	COM-001	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	1/2
処理概要	環境設定情報構造体に環境設定ファイルの情報を設定する。										

入 力

処 理 (コメント)

出 力



I P Oダイアグラム(モジュール詳細)

モジュール名	共通モジュール 環境設定情報設定	モジュール ID	COM-001	ダイアグラム ID		作成者 (日付)	濱中 敏 '95/10/16	確認者 (日付)	佐藤孝一 '95/10/16	ページ	2/2
処理概要	環境設定情報構造体に環境設定ファイルの情報を設定する。										

入 力	処 理 (コメント)	出 力
CONTYPE	→ (6) ドキュメント型	→ ConType
	(7) データフォーマット識別子	→ DFormNo
DFORMNOKEY	→ (a) オブジェクト識別子 環境設定ファイルに設定されているテキストを、オブジェクト 識別子を示す構造体に変換して設定する。	→ Key
DFORMNOGTX	→ (b) テキスト本体 環境設定ファイルに設定されているテキストを、図形文字列を示す テキストに変換して設定する。	→ Val
MAXLENG	→ (8) 最大レコード長	→ MaxLeng
LENKBN	→ (9) 最大レコード長形式	→ LengKbn
	(10) ファイル読出し用アクセスパスワード	
PWDREAD1_I	→ (a) 起動側用	→ PwdRead1_I
PWDREAD1_R	→ (b) 応答側用	→ PwdRead1_R
	(11) ファイル置換用アクセスパスワード	
PWDREPL1_I	→ (a) 起動側用	→ PwdRepl1_I
PWDREPL1_R	→ (b) 応答側用	→ PwdRepl1_R
PWDREPL2_I	→ (c) SM301 起動側用	→ PwdRepl2_I
STIMEF_R	→ (12) 転送開始時間(OM-202 応答側用)	→ STimef_R
ETIMEF_R	→ (13) 転送終了時間(OM-202 応答側用)	→ ETimef_R
	(14) 実ファイルディレクトリ	
STINF_DIR_I	→ (a) 起動側用	→ StInfDir_I
STINF_DIR_R	→ (b) 応答側用	→ StInfDir_R

KEIRIN



この資料は、競輪の補助金を受けて作成したものです。

————— 禁無断転載 —————

平成7年11月発行

発行所 財団法人 日本情報処理開発協会
産業情報化推進センター
東京都港区芝公園3丁目5番8号
機械振興会館内
TEL：(3432)9386

印刷所 有限会社 ア ル ス

東京都港区西新橋2丁目6番3号
TEL：(3501)3030

